

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(4/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 1193 1249 1358">防護区画番号</th> <th data-bbox="703 868 1249 1193">機器</th> <th data-bbox="703 264 1249 868">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="703 1193 1249 1358">R-2F-3</td> <td data-bbox="703 868 1249 1193">高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="703 264 1249 868">○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 1193 1249 1358">R-B3F-13</td> <td data-bbox="703 868 1249 1193">高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="703 264 1249 868">○当該機器の機能が求められる際の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 1193 1249 1358">R-M3F-3-1</td> <td data-bbox="703 868 1249 1193">原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ</td> <td data-bbox="703 264 1249 868">○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。		<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価													
R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													
R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													

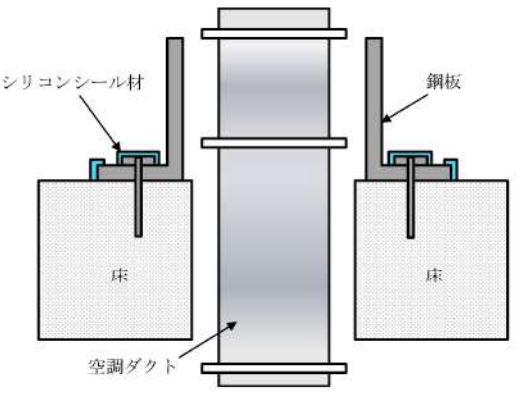
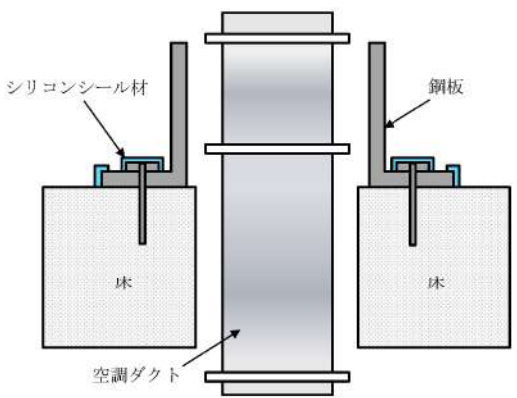
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(5/6)			
評価 ○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		
機器 主蒸気逃し安全弁遮断機能用アキユムレター 主蒸気逃し安全弁アキユムレター(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレター	主蒸気第二隔離弁用アキユムレター 原子炉補機冷却水サージタンク		
防護区画番号 -(PCV内)	R-B1F-3-2 R-3F-1		
		【大阪】 <a href="#">記載方針の相違</a> 女川審査実績の反映 【女川】 記載表現の相違 <a href="#">記載方針の相違</a> 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 <a href="#">設計方針の相違</a> プラント設計の違いによる相違	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価                  結果(6/6)</p> <table border="1" data-bbox="698 264 1270 1209"> <thead> <tr> <th data-bbox="698 1070 864 1209">防護区画番号</th> <th data-bbox="698 786 864 1070">機器</th> <th data-bbox="698 264 864 786">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="698 1070 864 1209">R-B3F-11, R-B3F-14</td> <td data-bbox="698 786 864 1070">原子炉補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="698 264 864 786">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="864 1070 1003 1209">R-1F-1, R-1F-11</td> <td data-bbox="864 786 1003 1070">残留熱除去系熱交換器</td> <td data-bbox="864 264 1003 786">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1003 1070 1270 1209">R-2F-3-1</td> <td data-bbox="1003 786 1270 1070">ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ</td> <td data-bbox="1003 264 1270 786">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B3F-11, R-B3F-14	原子炉補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-1F-1, R-1F-11	残留熱除去系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-2F-3-1	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a>                  泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。  <a href="#">設計方針の相違</a>                  プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価													
R-B3F-11, R-B3F-14	原子炉補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-1F-1, R-1F-11	残留熱除去系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-2F-3-1	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p><a href="#">女川審査実績の反映</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4-2 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響について より抜粋)</p> <p>3. 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響評価について                  耐環境性仕様である原子炉格納容器内防護対象設備については、LOCA時の原子炉格納容器内環境に対して機能維持が図れるよう、以下のことを確認している。確認結果の一覧は別表に示す。</p> <p>(1)被水影響                  LOCAに伴い原子炉格納容器内圧力が上昇すると、格納容器スプレイが動作し、スプレイ水により防護対象設備が被水する。原子炉格納容器内防護対象設備は、スプレイ水に対しても機能維持が図れることを、1. に述べた環境試験により確認している。</p> <p>(2)没水影響                  LOCAに伴う炉心注入及び格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水される。LOCA時に機能要求のある防護対象設備は、1次冷却系の漏えい水の他、これらの保有水全量が原子炉格納容器内にたまった場合においても、没水しない高さに設置している。</p>	<p>(2)②「PCV内耐環境仕様の設備」について                  原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.427MPa[gage]、温度：171℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価                  設計基準事故時にドライウエル内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水はドライウエル内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価                  原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器内のドライウエル下部に溜まった後、ドライウエル下部にあるベント管を通り、サブプレッションチェンバへ流れ込む設計となっている。                  高圧炉心スプレイ系の初期水源は復水貯蔵タンクであるが、サブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）又は復水貯蔵タンク水位低で、水源はサブプレッションチェンバに切り替わることから、原子炉冷却材喪失事故時にサブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）よりも高水位まで原子炉格納容器が溢水することは無い。                  原子炉格納容器内の防護対象設備は上述したサブプレッションチェンバ水位高（0.P.-3800）以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>(2)②「原子炉格納容器内耐環境仕様の設備」について                  原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.283MPa [gage]、温度：132℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価                  設計基準事故時に原子炉格納容器内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水は原子炉格納容器内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価                  原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器最下階まで流下した後、原子炉格納容器再循環サンプへ流れ込む設計となっている。                  原子炉冷却材喪失事故に伴う炉心注入及び原子炉格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水され、燃料取替用水ピット水位低となり、原子炉格納容器再循環に切り替わる。                  原子炉冷却材喪失事故による漏えい水も含めた水の全量が格納容器内に溜まった場合の水位はT.P.15.1mであり、原子炉格納容器内の防護対象設備はT.P.15.1mより高い位置に設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>【女川】                  設備名称の相違                  【大阪】                  記載方針の相違                  女川審査実績の反映                  【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違により、原子炉格納容器内の温度・圧力条件が異なる。                  【女川】                  設備名称の相違                  【大阪】                  記載表現の相違                  記載方針の相違                  女川審査実績の反映</p> <p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、原子炉格納容器内で発生する溢水水位の算出過程は異なるが、原子炉格納容器内の防護対象設備が溢水水位以上の高さに設置されており、没水によって機能喪失しない評価としていることに相違はない。                  【大阪】                  記載方針の相違                  女川審査実績の反映                  原子炉格納容器内の防護対象設備を没水しない高さに設置しているのは泊と女川で同じ。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3)蒸気影響</p> <p>LOCAに伴い原子炉格納容器内には蒸気が充満する。原子炉格納容器内防護対象設備は、蒸気環境下においても機能維持が図れることを、1. に述べた環境試験により確認している。</p> <p>【伊方3号炉】まとめ資料 添付資料1                      9条-別添1-添1-28より抜粋</p> <p>3. 蒸気影響評価</p> <p>LOCAに伴ってフラッシュ蒸発した1次冷却材の蒸気により、C/V内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>C/V内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう、設計および試験を実施している。</p>  <p>図-2 LOCA時のC/V内温度、圧力変化（環境条件）</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での再循環配管破断及び主蒸気配管破断時の環境（図3、図4参照）を包絡した条件で行っている。図5に試験条件の代表例を示す。</p>  <p>図3 原子炉格納容器圧力変化（再循環配管破断）</p>  <p>図4 原子炉格納容器温度変化（主蒸気配管破断）</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での原子炉冷却材喪失事故時の環境条件（図3参照）で行っている。図4に試験条件の代表例を示す。</p>  <p>図3 原子炉格納容器圧力変化（原子炉冷却材喪失事故時）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊は原子炉格納容器内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊は原子炉格納容器内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。（伊方と同様）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【伊方】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

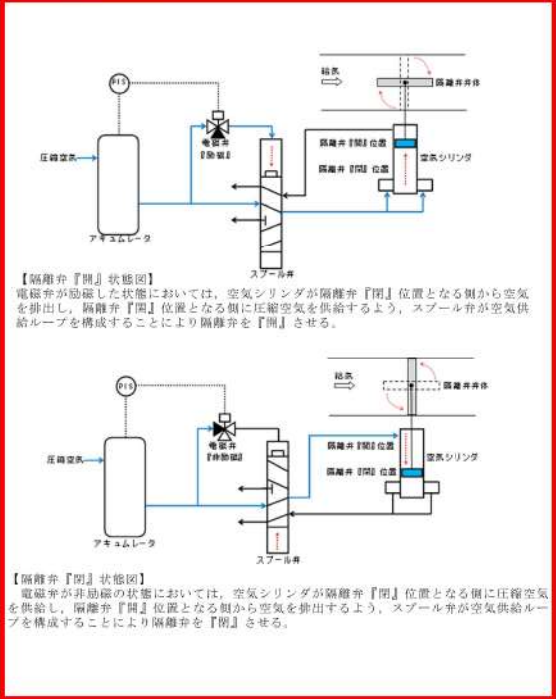
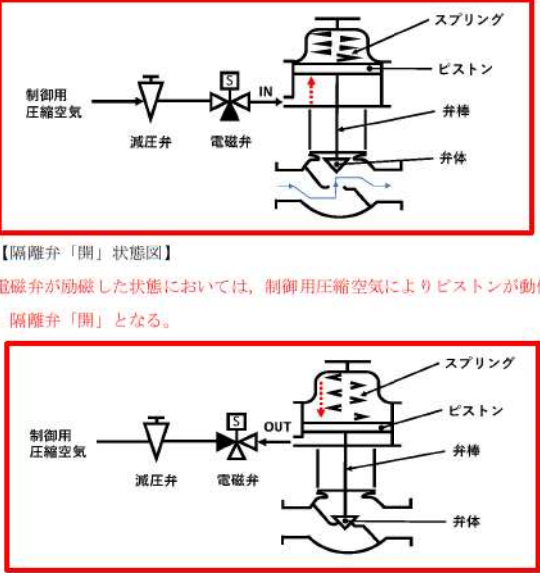
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>4-3 原子炉格納容器内機器の耐環境性試験におけるスプレイ条件について</p> <p>1. 耐環境性試験の試験条件の考え方</p> <p>原則として、米国の民間規格 IEEE-323 を参考に、実機条件及び試験装置条件を考慮して設定する。</p> <p>なお、格納容器スプレイによる被水については、機器のシール性能が確認できれば機能への影響はないものと判断している。</p> <p>表1 実機条件と試験条件の比較</p> <table border="1" data-bbox="129 486 683 641"> <thead> <tr> <th></th> <th>試験条件 (伝送器の例)</th> <th>実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)</th> <th>実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)</th> <th>IEEE-323</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スプレイ 流量</td> <td>63.7 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> <td>13.8 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> <td>12.5 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> <td>6.1 [L/min/m<sup>2</sup>]</td> </tr> <tr> <td>スプレイ 時間</td> <td>24[h]</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[γ]</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. スプレイ条件の保守性に関する考察</p> <p>格納容器スプレイは下図のとおり、LOCA後の環境温度、圧力が高い条件で24時間実施している。</p> <p>この条件でシール性能に問題のないことを確認できれば、温度、圧力が低下した24時間以降のシール性能についても問題はないと考えられ、IEEE-323にしたがったスプレイ条件は試験条件として妥当と判断している。</p>  <p>図1 耐環境性試験プロファイル</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323	スプレイ 流量	63.7 [L/min/m <sup>2</sup> ]	13.8 [L/min/m <sup>2</sup> ]	12.5 [L/min/m <sup>2</sup> ]	6.1 [L/min/m <sup>2</sup> ]	スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[γ]	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p>  <p>図5 耐環境性仕様の試験条件（代表例）</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p>  <p>図4 耐環境性仕様の試験条件（代表例）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>  <a href="#">プラント設計の相違</a>  <a href="#">記載表現の相違</a></p>
	試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323														
スプレイ 流量	63.7 [L/min/m <sup>2</sup> ]	13.8 [L/min/m <sup>2</sup> ]	12.5 [L/min/m <sup>2</sup> ]	6.1 [L/min/m <sup>2</sup> ]														
スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[γ]														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セイフ機能により溢水影響評価対象外とした設備は空気作動のもの(A0)と電磁石によるもの(S0)に分類される。次項以降でそれぞれその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p> <p>a. 電磁弁(S0)への影響</p> <p>代表例として移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要を図6に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は電磁石を励磁させる。これにより弁閉状態を維持するばね力に打ち勝って鉄心が電磁石に吸着し、弁開となり、またその状態を保持する。溢水によって当該隔離弁の動作機能が喪失した(電磁石が非励磁になった)場合、ばね力により鉄心は電磁石から離れて弁閉になり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p> <div data-bbox="728 938 1232 1308"> <p>弁“開”状態図              電磁石が励磁すると、鉄心が電磁石に吸着し、弁体が押し下られて、弁体はシート部より離れる。このときばねは伸ばされ、常に弁「閉」側にばね力が加わった状態となる。</p> <p>弁“閉”状態図              電磁石が非励磁となると、鉄心は電磁石から吸放され、ばねが縮みばね力にて弁体がシート部に密着する。</p> </div> <p>図6 移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要図</p>	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セイフ機能により溢水影響評価対象外とした空気作動弁(A0V)について、次項以降でその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p>	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>              女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>              泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>              泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p>



大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 空気作動弁（AO）への影響</p> <p>代表例として原子炉棟給気隔離弁の動作概要を図7に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、圧縮空気によりスプール弁を動作させる。これにより圧縮空気供給ループの構成が変化して隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、スプール弁は通常位置に復帰する。これにより圧縮空気供給ループが変化し、隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁「開」状態図】          電磁弁が励磁した状態においては、空気シリンダが隔離弁「開」位置となる側から空気を排出し、隔離弁「開」位置となる側に圧縮空気を供給するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を「開」させる。</p> <p>【隔離弁「閉」状態図】          電磁弁が非励磁の状態においては、空気シリンダが隔離弁「閉」位置となる側に圧縮空気を供給し、隔離弁「開」位置となる側から空気を排出するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を「閉」させる。</p> <p>図7 原子炉棟給気隔離弁の動作概要図</p>	<p>a. 空気作動弁（AOV）への影響</p> <p>フェイルポジションが「閉」である空気作動弁（隔離弁）の動作概要を図5に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、制御用圧縮空気によりピストンを動作させる。これにより隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、ピストンは通常位置に復帰する。これにより隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。隔離弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁「開」状態図】          電磁弁が励磁した状態においては、制御用圧縮空気によりピストンが動作し、隔離弁「開」となる。</p> <p>【隔離弁「閉」状態図】          電磁弁が非励磁の状態においては、ピストンは通常位置に復帰し、隔離弁「閉」となる。</p> <p>図5 空気作動弁（隔離弁）の動作概要図</p>	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>  <a href="#">女川審査実績の反映</a></p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a>          泊は具体的な弁を代表例としてあげるのではなく、空気作動弁（隔離弁）の共通的な動作概要として記載している。</p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>          隔離弁の構造の相違により、記載が異なる。</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 基本的には端子箱が没水した時点で電源が遮断され、電磁弁が作動し、弁のフェイル動作が完了する（電源が落ちれば誤作動はしない）。</p> <p>(b) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(c) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(d) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁動作は可能である。</p> <p>(例 計装用圧縮空気系系統圧：約0.7MPa⇒水頭約70m)</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする。代替する設備はすべて逆止弁であり、またQMSに基づいた保全活動により、その機能維持を図っている。図8に系統構成例を示す。</p> <div data-bbox="703 893 1258 1417" data-label="Diagram"> </div> <p>図8 システム構成例（放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁））</p>	<p>b. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(b) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(c) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁動作は可能である。</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする基準であるが、現状において、泊発電所3号炉の防護対象設備への適用実績はない。</p>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無いため、記載していない。</p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>図4に示したとおり隔離弁の開閉機構が異なるため、泊では女川のような例示は記載していない。</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では「他の設備で代替できる」との基準を適用し、溢水評価対象外とした設備は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
(2-1 防護対象設備の抽出の考え方 より抜粋)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/9)					【大阪】 記載表現の相違 【女川】 記載表現の相違 プラント設計の違いによる相違
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)															
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>			
1次冷却系	2号炉炉容積		×	③	AC	T48-F001	バージ用空気供給側隔離弁	③	1次冷却系	3PCV-452A, B	加圧器逃がし弁	②	【大阪】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
	3A, 3B, 3C, 3D 蒸気発生器		×	②	AC	T48-F002	D/Wバージ用入口隔離弁	②	1次冷却系	3V-RC-054A, B	加圧器逃がし弁元弁	③			
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ		×	①	AC	T48-F003	S/Cバージ用入口隔離弁	②	1次冷却系	3V-RC-055, 056, 057	加圧器安全弁	①			
	3加圧器		×	③	AC	T48-F004A	格納容器外真空逃がし逆止隔離弁(A)	①	1次冷却系	3LCY-451, 452	抽出ライン第1(2)止め弁	②			
	3A, 3B, 3C加圧器安全弁	3V-RC-055, 056, 067	×	①	AC	T48-F004B	格納容器外真空逃がし逆止隔離弁(B)	①	1次冷却系	3LT-451, 452, 453, 454	加圧器水位	②			
	3A, 3B加圧器逃がし弁	3PCV-452A, B	×	②	AC	T48-F005A	格納容器外真空逃がし隔離弁(A)	③	1次冷却系	3PT-451, 452, 453, 454	加圧器圧力	②			
	3A, 3B加圧器逃がし弁閉弁	3V-RC-064A, B	×	①	AC	T48-F005B	格納容器外真空逃がし隔離弁(B)	③	1次冷却系	3PT-410, 430	1次冷却材圧力	②			
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-077	×	②	AC	T48-F010	補給用変素ガス供給側第二隔離弁	③	1次冷却系	3TE-411A, 413A, 415A, 421A, 423A, 425A, 431A, 433A, 435A, 441A, 443A, 445A	1次冷却材高温側温度(狭域)	②			
	3加圧器逃がしタンクガス分析ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-078	×	①	AC	T48-F010	補給用変素ガス供給側第二隔離弁	③	1次冷却系	3TE-411B, 413B, 415B, 421B, 423B, 425B, 431B, 433B, 435B, 441B, 443B, 445B	1次冷却材低温側温度(狭域)	②			
	3加圧器逃がしタンク変素供給ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-084	×	①	AC	T48-F011	D/W補給用変素ガス供給用第一隔離弁	③	1次冷却系	3TE-417, 427, 437	1次冷却材低温側温度(広域)	②			
	3格納容器内補給水供給ライン格納容器側隔離弁	3V-RC-095	×	①	AC	T48-F012	S/C補給用変素ガス供給用第一隔離弁	③	1次冷却系	3FT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435	1次冷却材流量	③			
	3A, 3B加圧器スプレイド弁	3PCV-451A, B	×	①	AC	T48-F020	ベント用SGTS側隔離弁	③	1次冷却系	3FT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②			
	3-1次冷却材圧力	3PT-420, 430	×	②	AC	T48-F021	ベント用HVAC側隔離弁	②	1次冷却系	3V-RC-077	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③			
	3加圧器水位	3LT-401, 452, 453, 454	×	②	AC	T48-F022	S/Cベント用出口隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-078	加圧器逃がしタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③			
	3A, B, C, Dバージ1次冷却材高温側・低濃縮濃度(狭域)	3TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 440, 445	×	②	AC	T48-F023	D/Wベント用出口隔離弁バイパス弁	③	1次冷却系	3V-RC-084	加圧器逃がしタンク変素供給ラインC/V外側隔離弁	③			
	3A, B, C, Dバージ1次冷却材高温側・低濃縮濃度(広域)	3TE-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D	×	②	AC	T48-F024	S/Cベント用出口隔離弁バイパス弁	③	1次冷却系	3V-RC-093	加圧器逃がしタンク補給水ラインC/V外側隔離弁	③			
	3加圧器圧力	3PT-451, 452, 453, 454	×	②	AC	T48-F043	P/CV副圧強化ベント用遠程配管隔離弁	③	1次冷却系						
	3A, B, C, Dバージ1次冷却材流量	3FT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445	×	②	AC	T48-F768	事後後サンプリング設備戻り第二隔離弁	③	1次冷却系						
	1次冷却材ポンプ回転数	3SE-418A, 428A, 438A, 448A	×	②	AC	T48-F769	事後後サンプリング設備戻り第一隔離弁	③	1次冷却系						
	化学体積制御系	3A, 3B, 3C, 3D 酸ポンプ		○	—	AC	T48-F7901	バージ用変素供給流量	③	※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②P/CV内側環境仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる					
3体積制御タンク			×**	③	AC	T48-F7019	圧力抑制空圧力	③							
3再生熱交換器			×	②	AC	T48-S0-F042A	真空破壊弁(A)計装用空気配管隔離弁	③							
3A, 3B, 3C, 3D 酸タンク			×**	③	AC	T48-S0-F042B	真空破壊弁(B)計装用空気配管隔離弁	③							
31号酸フィルタ			×**	③	AC	T48-S0-F042C	真空破壊弁(C)計装用空気配管隔離弁	③							
32号水冷却器			×**	②	AC	T48-S0-F042D	真空破壊弁(D)計装用空気配管隔離弁	③							
3A, 3B, 3C, 3D 水注入フィルタ			×**	③	AC	T48-S0-F042E	真空破壊弁(E)計装用空気配管隔離弁	③							
33号水ストレーナ			×**	③											
3体積制御タンク出口第1止め弁		3UCV-121B	○	—											
3体積制御タンク出口第2止め弁		3UCV-121C	○	—											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（2/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（2/24）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（2/9）				【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由*1	
化学体積制御系	緊急ほうげんライン補給弁	3V-CS-673	○	—	AC	748-50-F042F	真空破棄弁（F）計装用空気配管隔離弁	③	化学体積制御系	IFCV-138	充てん流量制御弁	③	
	3充てんポンプ入口燃料取替用ホットヘッド側直前弁	3LCV-1210, E	○	—	AC	748-50-F708	LSO15 D/W冠水水位計表配管（H）側隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-167	充てんライン流量制御弁補助オリフィスバイパス弁	③	
	3充てんライン格納容器隔離弁	3V-CS-157	○	—	AC	748-50-F710	LSO15 D/W冠水水位計表配管（L）側隔離弁	③	化学体積制御系	ICST1	体積制御タンク	①	
	3充てんライン止め弁	3V-CS-155	○	—	AC	748-50-F721	露点サンプリング入口第一隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-191	充てんライン止め弁	③	
	3充てんライン流量制御弁	3FCV-138	×	①	AC	748-50-F722	露点サンプリング入口第二隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-186	加圧器補助スプレイ弁	②	
	3次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	3FCV-149	×	①	AC	748-50-F723	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③	化学体積制御系	ICSH1	再生熱交換器	①	
	3抽出ライン第1止め弁	3LCV-451	×	②	AC	748-50-F724	露点サンプリング戻り第二隔離弁	③	化学体積制御系	ICST5A, B	ほう酸タンク	①	
	3抽出ライン第2止め弁	3LCV-452	×	②	AC	748-50-F727	漏えい検出系放射線モニタ入口第一隔離弁	③	化学体積制御系	ICST5A, B	ほう酸タンク	①	
	3A, 3B, 3C抽出オリフィス出口格納容器隔離弁	3V-CS-004A, B, C	×	②	AC	748-50-F728	漏えい検出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③	化学体積制御系	ICSF4	ほう酸フィルタ	①	
	3加圧器補助スプレイ弁	3V-CS-169	×	②	AC	748-50-F729	漏えい検出系放射線モニタ戻り第二隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-455A, B	ほう酸タンク出口弁	③	
	余熱抽出ライン第1止め弁	3V-CS-301	×	②	AC	748-50-F730	漏えい検出系放射線モニタ戻り第一隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-466A, B	ほう酸ポンプ出口補給ライン切替弁	③	
	余熱抽出ライン第2止め弁	3V-CS-301	×	②	AC	748-50-F772	T48-LSD25 D/W水位計表配管（L）側隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-473A, B	ほう酸ポンプ出口循環ライン切替弁	③	
	3抽出ライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-007	×	①	AC	748-50-F774	T48-LSD25 D/W水位計表配管（H）側隔離弁	③	化学体積制御系	IV-CS-474A, B	ほう酸フィルタ出口A（B）ほう酸タンク戻り弁	③	
	3充てんライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-151	×	①	CMSS	IC23-0001A	校正ガスボンベサポート	①	化学体積制御系	IV-CS-490A, B	ほう酸ポンプ入口切替弁	③	
	3Bループ充てんライン止め弁	3V-CS-163	×	①	CRD	IC23-0001B	校正ガスボンベサポート	①	化学体積制御系	IV-CS-004A, B, C	抽出オリフィス出口C/V内側隔離弁	②	
	3-1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-177	×	①	CRD	IC12	制御棒駆動機構	①	化学体積制御系	IV-CS-006	抽出ライン格納容器外側隔離弁	③	
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御隔離弁	3V-CS-190A, B, C, D	×	①	CRD	IC12-0001-120	方向制御弁	③	化学体積制御系	IV-CS-006	抽出ライン格納容器外側隔離弁	③	
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-310	×	②	CRD	IC12-0001-123	方向制御弁	③	化学体積制御系	ICSH1	封水冷却器	①	
	3-1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-312	○	—	CRD	IC12-0001-125	アキュムレータ	①	化学体積制御系	IV-CS-224A, B, C	1次冷却材ポンプ封水注入ラインC/V外側隔離弁	③	
	3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水戻りライン止め弁	3V-CS-208A, B, C, D	×	②	CRD	IC12-0001-126	スクラム入口弁	②	化学体積制御系	IV-CS-254	1次冷却材ポンプ封水戻りラインC/V内側隔離弁	②	
	3A, 3B, 3Cほう酸タンク水位	3LT-206, 208	○	—	CRD	IC12-0001-128	異常警報	①	化学体積制御系	IV-CS-212A, B, C	1次冷却材ポンプ封水戻りオリフィスバイパス弁	③	
	3充てんポンプ速度制御盤	3SC	○	—	CRD	IC12-0001-132	制御棒駆動水圧素ラプチャディスク	①					
	3充てんポンプ速度制御補助盤	3CSMC	○	—	CRD	IC12-0001-135	方向制御弁フィルタ	①					
	3A, 3B, 3CL, 3C充てんポンプ現場操作箱	3LB-5, 6, 7, 8	○	—	CRD	IC12-0001-139	スクラムバイパス弁	②					
3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作箱	3LB-9, 10	○	—	CRD	IC12-L06129	HCUアキュムレータレベルスイッチ	③						
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ		○	—	CRD	IC12-P131	HCUアキュムレータ圧力指示計	③					
	3A, 3B, 3C, 3D高圧タンク		×	②	CRD	IC12-PS130	HCUアキュムレータ圧力スイッチ	③					
	3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁	3V-S1-015A, B	○	—									
	3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁	3V-S1-016A, B	○	—									
	3A, 3B高圧注入ポンプ格納容器内側遮断弁	3V-S1-090A, B	○	—									
	3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用ホットヘッド入口弁	3V-S1-092A, B	○	—									

※1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない  
 ② PCV内耐環境仕様の設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/9)				【大阪】
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方		系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由**	
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ高圧側圧入ライン止め弁	3V-SI-067A, B	×	②		CUW	631-P002	C.U.W入口ライン第一隔離弁	②	高圧注入系	3SIT2	ほう酸注入タンク	①	【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	3A, 3B, 3C, 3D蓄圧タンク出口弁	3V-SI-132A, B, C, D	×	②		DG	R43-A001A	清水膨張タンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-061A, B	高圧注入ポンプ出口 C/V 内側隔離弁	②	
	3格納容器再循環サンプ水位(狭域)・(広域)	3LT-970, 971 372, 972	×	②		DG	R43-A001B	清水膨張タンク (B)	①	高圧注入系	3V-SI-062A, B	高圧側高圧注入 (B) ライン止め弁	②	
	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱	3LB-12, 13	○	—		DG	R43-A100A	潤滑油サンプタンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-141	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁	③	
	3A高圧注入流量(I), 3B高圧注入流量(II)	3FT-962, 963	○	—		DG	R43-A100B	潤滑油サンプタンク (B)	①	高圧注入系	3V-SI-145, 146	ほう酸注入タンク循環ライン出口第1(2)止め弁	③	
	3燃料取扱用水ピット水位 1, II, III, IV	3LT-1400, 1401 1402, 1403	○	—		DG	R43-A101A	機関付動弁注油タンク (A)	①	高圧注入系	3CVT2, 3	格納容器再循環サンプ	①	
	3A, 3B余熱除去ポンプ		○	—		DG	R43-A101B	機関付動弁注油タンク (B)	①	高圧注入系	3LT-620, 630	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	②	
	3A, 3B余熱除去冷却器		×	③		DG	R43-A102A	軽油タンク (A)	①	高圧注入系	3LT-621, 631	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	②	
	3A, 3B余熱除去ポンプミニマムフローライン止め弁	3FCV-601, 611	○	—		DG	R43-A200A	軽油タンク (B)	①	高圧注入系	3SIT1A, B, C	蓄圧タンク	①	
	3A, 3B余熱除去冷却器出口流量設定弁	3BCV-603, 613	×	①		DG	R43-A200B	軽油タンク (C)	①	高圧注入系	3V-SI-123A, B, C	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 内側隔離弁	②	
余熱除去系	3A, 3B余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	3FCV-604, 614	×	①		DG	R43-A200C	軽油タンク (D)	①	高圧注入系	3V-SI-124	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 外側隔離弁	③	【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	3A, 3B余熱除去ポンプB, Cグループ高圧側入口止め弁	3FCV-420, 430	×	②		DG	R43-A200D	軽油タンク (E)	①	高圧注入系	3V-SI-164	蓄圧タンク流量供給ライン C/V 外側隔離弁	③	
	3A, 3B余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	3V-6H-002A, B	×	②		DG	R43-A200E	軽油タンク (F)	①	高圧注入系	3V-SI-184	安全注入逆止弁テストライン C/V 内側隔離弁	②	
	3A, 3B余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	3V-6H-043A, B	×	①		DG	R43-A200F	軽油タンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-185	蓄圧タンク補給ライン C/V 外側隔離弁	③	
	3A, 3B 余熱除去冷却器出口連通弁	3V-6H-047A, B	×	②		DG	R43-A201A	燃料デایتンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-186	安全注入逆止弁テストライン C/V 外側隔離弁	③	
	3B, 3Cグループ高圧側圧入ライン止め弁	3V-6H-048A, B	×	②		DG	R43-A201B	燃料デایتンク (B)	①	余熱除去系	3RH1A, B	余熱除去冷却器	①	
	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量	3FT-601, 611	○	—		DG	R43-A201C	燃料デایتンク (A)	①	余熱除去系	3RHV-603, 613	余熱除去冷却器出口流量調節弁	③	
	3A, 3B余熱除去ポンプ現場操作箱	3LB-14, 15	○	—		DG	R43-A201D	燃料デایتンク (B)	①	余熱除去系	3FCV-604, 614	余熱除去 (B) ライン流量制御弁	③	
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ		○	—		DG	R43-A201E	燃料デایتンク (A)	①	余熱除去系	3FCV-110, 430	余熱除去 (B) ライン入口止め弁	②	
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器		×	③		DG	R43-A300A	空気だめ (自動) (A)	①	余熱除去系	3V-RH-002A, B	余熱除去ポンプ入口 C/V 内側隔離弁	②	
格納容器スプレイ系	3よう素除去薬品タンク		×	②		DG	R43-A300B	空気だめ (自動) (B)	①	余熱除去系	3V-RH-029A, B	余熱除去 (B) ライン C/V 外側隔離弁	③	*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②原子炉格納容器内前環境仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④その他の設備で代替できる
	3-IV調整剤タンク		×	②		DG	R43-B001A	清水冷却器 (A)	①	余熱除去系	3V-RH-033A, B	余熱除去冷却器出口 C/V 内側隔離弁	②	
	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁	3V-CP-054A, B	○	—		DG	R43-B001B	清水冷却器 (B)	①	余熱除去系	3V-RH-034A, B	高圧側低圧圧入ライン止め弁	②	
	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁	3V-CP-056A, B	○	—		DG	R43-B003A-1	機関付空気冷却器 (L 側)	①	主給水系	3LT-460, 461, 462, 473, 480, 481, 482, 483	蒸気発生器水位 (狭域)	②	
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料取扱用水ピット入口止め弁	3V-CP-001A, B	○	—		DG	R43-B003A-2	機関付空気冷却器 (R 側)	①	主給水系	3LT-464, 474, 484	蒸気発生器水位 (広域)	②	
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンプ入口格納容器隔離弁	3V-CP-003A, B	○	—		DG	R43-B003B-1	機関付空気冷却器 (L 側)	①					
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器出口格納容器隔離弁	3V-CP-024A, B	○	—		DG	R43-B003B-2	機関付空気冷却器 (R 側)	①					
	3格納容器圧力 (広域) 1, II, III, IV	3PT-950, 951, 952, 953	○	—		DG	R43-B100A	潤滑油冷却器 (A)	①					
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ現場操作箱	3LB-18, 19	○	—		DG	R43-B100B	潤滑油冷却器 (B)	①					
	3タービン蒸機補助給水ポンプ		○	—		DG	R43-D100A	潤滑油フィルタ (A)	①					
主蒸気及び主給水系、補助給水系	3A, 3B電動補助給水ポンプ		○	—		DG	R43-D100B	潤滑油フィルタ (B)	①					
	3復水ピット		×	②										
	3タービン蒸機補助給水ポンプ起動弁A, B	3V-W5-670A, B	○	—										
3A, 3B, 3C, 3D補助給水隔離弁	3V-PW-074A, B, C, D	×	④											

\*1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②PCV内耐腐蝕仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由																															
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（4/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/24）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/9）				【大阪】																															
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>																																
主蒸気及び 上給水系 補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D電動補助給水ライン流量調節弁	3V-FW-557A, B, C, D	×	①	⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥	⑥	④3-⑩200A	燃料移送ポンプ入ロストレーナ（A）	①	主蒸気系 30KV-3616, 3626, 3636 主蒸気バイパス隔離弁	③	【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違																																
	3重水ビット電動補助給水ポンプ阻止弁	3V-FW-580	×	①		⑥	④3-⑩200B	燃料移送ポンプ入ロストレーナ（B）	①					主蒸気系 3V-MS-521A, B, C, 522A, B, C, 523A, B, C, 524A, B, C, 525A, B, C 主蒸気安全弁	④																													
	3重水ビットタービン駆動補助給水ポンプ阻止弁	3V-FW-581	×	①		⑥	④3-⑩201A	D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ（A）	①								主蒸気系 3V-MS-575A, B タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気B（C） 主蒸気ライン弁弁	③	【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違																									
	3A, 3B, 3C, 3Dタービン補助給水ライン流量調節弁	30KV-3715, 3725, 3735, 3745	×	①		⑥	④3-⑩201B	D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ（B）	①												主蒸気系 3V-MS-518A, B, C 主蒸気遮断弁上流ドレンライン隔離弁	③																						
	3A, 3B, 3C, 3Dタービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気供給ライン止弁	3V-MS-575A, B	×	①		⑥	④3-⑩202A-1	燃料油フィルタ（A）-1	①															補助給水系 30W-P 補助給水ビット	④																			
	3A, 3B, 3C, 3D主給水隔離弁	3V-FW-520A, B, C, D	×	②		⑥	④3-⑩202A-2	燃料油フィルタ（A）-2	①																		原子炉 格納容器 スプレイ系	30CT1 よう素除去薬品タンク	④															
	3重水ビット水位皿, IV	3LT-3760, 3761	○	—		⑥	④3-⑩202B-1	燃料油フィルタ（B）-1	①																						原子炉 格納容器 スプレイ系	30PH1A, B 格納容器スプレイ冷却器	④											
	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助給水流量	3PT-3716, 3726, 3736, 3746	○	—		⑥	④3-⑩202B-2	燃料油フィルタ（B）-2	①																										原子炉 格納容器 スプレイ系	3V-CP-056A, B よう素除去薬品タンク注入（B）ライン止め弁後弁	③							
	3A, B, C, D蒸気発生器立域水位	3LT-464, 474, 484, 494	×	②		⑥	④3-⑩5105A	潤滑油フィルタ差圧スイッチ	③																														原子炉補機 冷却水系	30CT1 原子炉補機冷却水サーージタンク	④			
	3A, B, C, D蒸気発生器熱域水位	3LT-460, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 490, 491, 492, 493	×	②		⑥	④3-⑩5105B	潤滑油フィルタ差圧スイッチ	③																																		原子炉補機 冷却水系	30CCH1A, B, C, D 原子炉補機冷却水冷却器
	3タービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気, B	3TDV-A, B	○	—		⑥	④3-⑩5105A	潤滑油フィルタ差圧スイッチ	③	原子炉補機 冷却水系	3V-CC-054A, B, C, D 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水出口弁	③																																
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁	3V-MS-528A, B, C, D	○	—		⑥	④3-⑩5105B	潤滑油フィルタ差圧スイッチ	③					原子炉補機 冷却水系	3V-CC-526 1次冷却材ポンプ補助冷却水出口C/V内側隔離弁	②																												
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気遮断弁	3V-MS-528A, B, C, D	○	—		⑥	④3-⑩5105B	潤滑油タンク水位指示計（接点付）	③								使用済燃料 ビット水浄化 冷却系	3A-SFP, 3B-SFP 使用済燃料ビット	④																									
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気遮断弁がし弁	3V-MS-529A, B, C, D	×	①		⑥	④3-L1S050A	潤滑油サンプタンク前面指示計（接点付）	③												*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②PCX内耐震域仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる																							
	3A, 3B, 3C, 3D-1主蒸気安全弁	3V-MS-528A, B, C, D	×	①		⑥	④3-L1S050B	潤滑油サンプタンク前面指示計（接点付）	③																																			
	3A, 3B, 3C, 3D-2主蒸気安全弁	3V-MS-527A, B, C, D	×	①		⑥	④3-L1S100A	潤滑油サンプタンク前面指示計（接点付）	③																																			
	3A, 3B, 3C, 3D-3主蒸気安全弁	3V-MS-528A, B, C, D	×	①		⑥	④3-L1S100B	潤滑油サンプタンク前面指示計（接点付）	③																																			
	3A, 3B, 3C, 3D-4主蒸気安全弁	3V-MS-529A, B, C, D	×	①		⑥	④3-L1S201A	軽油貯蔵タンクA液面計	③																																			
	3A, 3B, 3C, 3D-5主蒸気安全弁	3V-MS-530A, B, C, D	×	①		⑥	④3-L1S201B	軽油貯蔵タンクB液面計	③																																			
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁上流ドレンライン止弁	3V-MS-585A, B, C, D	×	①		⑥	④3-LS116A	機関付動弁注油タンク油面	③																																			
3A, 3B, 3C, 3D主蒸気遮断弁がし弁弁弁	3V-MS-529A, B, C, D	×	①	⑥	④3-LS116B	機関付動弁注油タンク油面	③																																					
1, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D主蒸気圧力	3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498	○	—	⑥	④3-LS257A	シリンダー浸水スイッチ	③																																					
3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ		○	—	⑥																																								
3原子炉補機冷却水サーージタンク		×	①	⑥																																								
3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器		×	①	⑥																																								
3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止弁	3V-CC-178A, B	○	—	⑥																																								
3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水供給母管連絡管	3V-CC-056A, B	○	—	⑥																																								
3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水戻り母管連絡管	3V-CC-043A, B	○	—	⑥																																								
3A, 3B余熱除去冷却器冷却水止弁	3V-CC-114A, B	○	—	⑥																																								
5-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁	3V-CC-400	○	—	⑥																																								
5-2次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁	3V-CC-427	×	②	⑥																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)				【大阪】
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>*1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>*1</sup>	
原子炉補機冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第1隔離弁	3V-CC-429	○	—	⑥	R43-LS257B	シリンダー戻水スイッチ	⑥	①	3SFD1A,B	使用済燃料ピット冷却器	①	【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	3-4回冷却ユニット・全動抽出冷却器取水供給ラインの隔離弁	3V-CC-342	○	—		R43-PI052A	機器付排水ポンプ出口圧力指示計	③		3SFD1A,B	使用済燃料ピット冷却器	①	
	3-4回冷却ユニット・全動抽出冷却器取水供給ラインの隔離弁	3V-CC-365	○	—		R43-PI052B	機器付排水ポンプ出口圧力指示計	③		3SFD1A,B	使用済燃料ピット冷却器	①	
	3A-B,3B-C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器第1隔離弁	3V-CC-189A,B	○	—		R43-PI101A	機器付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③		3SFD1A,B	使用済燃料ピット冷却器	①	
	3A,3B,3C,3D 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器第2隔離弁	3V-CC-198A,B,C,D	○	—		R43-PI101B	機器付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③		3SFD1A,B	使用済燃料ピット冷却器	①	
	3-4廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1,2止弁（3号機室）	34Y-CC-600,601	○	—		R43-PI202A	燃料油ストレーナ前後圧力指示計	③		3S-SF-01A,B,C,D	原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ	①	
	3号炉補機冷却水タンク水位計,IV	3LT-1200,1201	○	—		R43-PI202B	燃料油ストレーナ前後圧力指示計	③		3S-SF-02A,B,C,D	原子炉補機冷却海水ポンプ入口ストレーナ	①	
	3A,3B,3C,3D原子炉補機冷却水ポンプ駆動機作箱	3LB-20,21,22,23	○	—		R43-PI203A	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		3V-9L-005	CVBT自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②	
	3A,3B,3C海水ポンプ	—	○	—		R43-PI203B	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		3V-9L-006	CVBT自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③	
	3海水ポンプ出口3A,3B,3C,3D海水ストレーナ	3S-SF-01A,B,C,D	× <sup>1</sup>	③		R43-PI211A	機器入口燃料油圧力指示計	③		3V-9L-010	格納容器冷却材ドレンタンクバントラインC/V内側隔離弁	②	
	3A,3B,3C海水ポンプ輸送ストレーナII	3S-SF-02A,B,C 3S-SF-03A,B,C	×	②		R43-PI211B	機器入口燃料油圧力指示計	③		3V-9L-011	格納容器冷却材ドレンタンクバントラインC/V外側隔離弁	③	
	3A,3B原子炉補機冷却水冷却器海水止弁	3V-SW-670A,B	○	—		R43-PI218A	機器入口燃料油圧力指示計	③		3V-9L-017	格納容器冷却材ドレンタンク電素供給C/V隔離弁	③	
	3A,3B1,3B2,3C海水ポンプ駆動機作箱	3LB-26,27,28,29	○	—		R43-PI255A	機器入口吸気圧力（L側）指示計	③		3V-9L-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁	②	
	3A,3B使用済燃料ピットポンプ	—	○	—		R43-PI255B	機器入口吸気圧力（R側）指示計	③		3V-9L-032	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V外側隔離弁	③	
	3A,3B使用済燃料ピット	—	× <sup>1</sup>	②		R43-PI256A	機器入口吸気圧力（R側）指示計	③		3V-9L-113	格納容器サンポンプ出口C/V内側隔離弁	②	
3A,3B使用済燃料ピット配管	—	×	②	R43-PI256B	機器入口吸気圧力（R側）指示計	③	3V-9L-114	格納容器サンポンプ出口C/V外側隔離弁	③				
3A,3B使用済燃料ピットフィルタ	—	×	②	R43-PTS108A	機器潤滑油圧力	③	3V-SS-504	加圧器気相部サンプリングラインC/V内側隔離弁	②				
3A,3B使用済燃料ピットポンプ駆動機作箱	3LB-24,25	○	—	R43-PTS108B	機器潤滑油圧力	③	3V-SS-509	加圧器液相部サンプリングラインC/V内側隔離弁	②				
3A,3B燃料取替用水ポンプ	—	○	—	R43-PI1S108B	機器潤滑油圧力	③							
3燃料取替用水ピット	—	× <sup>1</sup>	③	R43-PI1S113A	潤滑油ブライミングポンプ出口圧力指示計（接点付）	③							
3A,3B燃料取替用水ポンプ駆動機作箱	3LB-33,34	○	—	R43-PI1S113B	潤滑油ブライミングポンプ出口圧力指示計（接点付）	③							
蒸気発生器ブローダウン系	3A,3B,3C,3Dブローダウンライン格納容器隔離弁	3V-BD-101A,B,C,D	×	①	R43-PI3253A	空気だめ圧力（自動）指示計（接点付）	③						
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試料採取ライン格納容器隔離弁	3V-BD-010A,B,C,D	×	①	R43-PI3253B	空気だめ圧力（自動）指示計（接点付）	③						
1次系試料採取系	3加圧器気相部試料採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-603	×	②	R43-Ps8260A	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③						
	3加圧器液相部試料採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-606	×	②	R43-Ps8260B	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③						
	3Bグループ高濃縮試料採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-622	×	②	R43-Ps8262A	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③						
	3Bグループ高濃縮試料採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-607	×	①	R43-Ps8262B	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③						
	3Bグループ高濃縮試料採取ライン格納容器第3隔離弁	3V-SS-625	×	②	R43-PS250A	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③						
	3Dグループ高濃縮試料採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-626	×	①	R43-PS250B	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③						
	3A,3B,3C,3D高圧タンク試料採取ライン格納容器第1隔離弁	3V-SS-593A,B,C,D	×	②									
	3高圧タンク試料採取ライン格納容器第2隔離弁	3V-SS-594	×	①									
	3-1次冷却材試料採取戻りライン格納容器隔離弁	3V-SS-674	×	①									
	制御用空気系	3A,3B制御用空気圧縮機	—	○	—								

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②CVBT耐腐蝕仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

\*1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②原子炉格納容器内耐腐蝕仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/9)				【大阪】
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由*	【女川】
制御用空気系	SA, 3B制御用空気乾燥器	3IAHA, B	×	②	06	R43-PS251A	空気だめ圧力（自動）スイッチ	②	06	IV-SS-514, 519	B (C) ループ高温側サンプリングライン C/V 内側隔離弁	②	記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	SA, 3B制御用空気だめ	3IAFA, B	×	②	06	R43-PS251B	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③	06	IV-SS-521A	B ループ高温側、加圧器サンプリングライン C/V 外側隔離弁	③	
	SA, 3B制御用空気主配管遮断弁	3V-1A-505A, B	○	—	06	R43-TE331A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	06	IV-SS-521B	C ループ高温側サンプリングライン C/V 内側隔離弁	③	
	SA-C, 3B-C制御用空気母管連通弁	3V-1A-501A, B	○	—	06	R43-TE331B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	06	IV-SS-718	PASS 1 次冷却材サンプル戻りライン C/V 外側隔離弁	③	
	SA, 3B制御用空気格納容器隔離弁	3V-1A-508A, B	○	—	06	R43-TE332A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③	06	IV-DP-001A, B	格納容器減圧ライン格納容器内側隔離弁	②	
	SA, 3B格納容器内前部8クラス制御用空気母管遮断弁	3V-1A-510A, B	○	②	06	R43-TE332B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③	06	IV-DP-002A, B	格納容器減圧ライン格納容器外側隔離弁	③	
	SA, 3B制御用空気供給管圧力	3PT-1800, 1810	○	—	06	R43-TE333A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③	06	IV-DE-304A, B	格納容器水素ページ給気ライン格納容器外側隔離弁	④	
	SA, 3B制御用空気圧縮機結露警	3IAC-A, B	○	—	06	R43-TE333B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③	06	IV-RE-304A, B	格納容器水素ページ給気ライン格納容器外側隔離弁	④	
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分岐ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-078	×	②	06	R43-TE334A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	06	IV-RM-001	格納容器空気サンプル取出し格納容器内側隔離弁	②	
	3格納容器冷却材ドレンタンクガス分岐ライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-079	×	①	06	R43-TE334B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	06	IV-RM-002	格納容器空気サンプル取出し格納容器外側隔離弁	③	
廃棄物処理系	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-083	×	②	06	R43-TE334A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	06	IV-RM-015	格納容器空気サンプル取り格納容器外側隔離弁	③	【大阪】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-084	×	①	06	R43-TE334B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	06	IV-RM-015	格納容器空気サンプル取り格納容器外側隔離弁	③	
	3格納容器冷却材ドレンタンク集塵器給排水ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-094	×	①	06	R43-TE335A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③	06	IV-RM-015	格納容器空気サンプル取り格納容器外側隔離弁	③	
	3格納容器冷却材ドレンタンク集塵器給排水ライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-094	×	①	06	R43-TE335B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③	06	IV-RM-015	格納容器空気サンプル取り格納容器外側隔離弁	③	
	3格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第1隔離弁	3V-ML-042	×	②	06	R43-TE336A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③	06	IV-RM-015	格納容器空気サンプル取り格納容器外側隔離弁	③	
	3格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第2隔離弁	3V-ML-043	×	①	06	R43-TE336B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③	06	IV-RM-015	格納容器空気サンプル取り格納容器外側隔離弁	③	
	3格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第1隔離弁	3V-ML-143	×	②	06	R43-TE336B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③	06	IV-RM-015	格納容器空気サンプル取り格納容器外側隔離弁	③	
	3格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第2隔離弁	3V-ML-144	×	①	06	R43-TE337A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	06	IV-RM-015	格納容器空気サンプル取り格納容器外側隔離弁	③	
	3雨水ライン格納容器隔離弁	3V-PS-002	×	①	06	R43-TE337B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	06	IV-RM-015	格納容器空気サンプル取り格納容器外側隔離弁	③	
	3炉内排気計測装置ガスバーライン格納容器第1隔離弁	3V-T0-009	×	②	06	R43-TE337B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③	06	IV-RM-015	格納容器空気サンプル取り格納容器外側隔離弁	③	
炉内排気計測装置ガスバーライン系	3炉内排気計測装置ガスバーライン格納容器第2隔離弁	3V-T0-008	×	①	06	R43-TE338A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③	06	IV-RM-015	格納容器空気サンプル取り格納容器外側隔離弁	③	
	—	手動弁一式	×	②	06	R43-TE338B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③	06	IV-RM-015	格納容器空気サンプル取り格納容器外側隔離弁	③	
	—	遮断弁一式	×	②	06	R43-TE338B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③	06	IV-RM-015	格納容器空気サンプル取り格納容器外側隔離弁	③	
	換気空調系	3換気空調機	3VB	○	—	06	R43-TE339A	非常用D/G (A) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③	06	IV-HD-028A, B, C	ブローダウン止め弁	③
		SA, 3B中央制御室空調ファン	—	○	—	06	R43-TE339B	非常用D/G (B) 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③	06	IV-HD-008A, B, C	蒸気発生器ブローダウン系	③
		SA, 3B中央制御室隔離ファン	—	○	—	06	R43-TE341A	非常用D/G (A) 軸受温度検出器	③	06	IV-HD-008A, B, C	蒸気発生器ブローダウン系	③
		SA, 3B中央制御室非常用換気ファン	3VFS22A, B	○	—	06	R43-TE341B	非常用D/G (B) 軸受温度検出器	③	06	IV-HD-026A, B, C	ブローダウン C/V 外側隔離弁	③
		SA, 3B中央制御室外気取入止めダンパ	3D-VS-601A, B	×	①	06	R43-T1051A	機関入口ディーゼセル冷却水温度指示計	③	06	IV-HD-026A, B, C	ブローダウン C/V 外側隔離弁	③
		SA, 3B中央制御室非常用換気ファン入口ダンパ	3D-VS-602A, B	○	—	06	R43-T1051B	機関入口ディーゼセル冷却水温度指示計	③	06	IV-HD-026A, B, C	ブローダウン C/V 外側隔離弁	③
		SA, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ	3D-VS-603A, B	○	—	06	R43-T1052A	機関出口ディーゼセル冷却水温度指示計 (接点付)	③	06	IV-HD-026A, B, C	ブローダウン C/V 外側隔離弁	③
SA, 3B中央制御室空調ファン入口ダンパ		3D-VS-602A, B	○	—	06	R43-T1052B	機関出口ディーゼセル冷却水温度指示計 (接点付)	③	06	IV-HD-026A, B, C	ブローダウン C/V 外側隔離弁	③	
SA, 3B中央制御室非常用換気ファン入口ダンパ		3D-VS-604A, B	○	—	06	R43-T1054A	機関入口ディーゼセル冷却水温度指示計 (接点付)	③	06	IV-HD-026A, B, C	ブローダウン C/V 外側隔離弁	③	
SA, 3B中央制御室非常用換気ファン出口ダンパ		3D-VS-603A, B	○	—	06	R43-T1054B	機関入口ディーゼセル冷却水温度指示計 (接点付)	③	06	IV-HD-026A, B, C	ブローダウン C/V 外側隔離弁	③	
換気空調系	SA, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ	3HD-2874, 2875	○	—	06	R43-T1059A	機関入口潤滑油温度指示計 (接点付)	④	06	IV-HD-026A, B, C	ブローダウン C/V 外側隔離弁	③	
	SA, 3B中央制御室前積流調節ダンパ	3HD-2885, 2886	○	—									
	SA, 3B中央制御室大気放出流量調節ダンパ	3HD-2887, 2888	×	①									
	SA, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ	3HD-2889, 2890	○	—									

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②PCV内前環境仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④その他の設備で代替できる

\*1 評価対象外とした理由  
 ①溢水により機能を喪失しない  
 ②原子炉格納容器内前環境仕様の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④その他の設備で代替できる



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (7/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/9)					【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	系統	機器番号	機器名称	理由 <sup>※1</sup>			
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常時前照流風調節ダンパ	3BFD-2991, 2992	○	—	① 溢水により機能を喪失しない ② PCI内部腐蝕仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる	DC	R43-TIS1098	機関入口潤滑油温度指示計 (接点付)	②	燃料取替用水系	3BFD-F	燃料取替用水ホット	①		
	3中央制御室風量(1), (2)	3FS-2908, 2909	○	—		DC	R43-TIS343A	非常用D/G(A) 軸受温度指示計 (接点付)	②	燃料取替用水系	3BFDH	燃料取替用水加熱器	①		
	3A, 3B中央制御室非常用前照ファン出口流量	3FS-2904, 2905	○	—		DC	R43-TIS343B	非常用D/G(B) 軸受温度指示計 (接点付)	②	制御用空気系	3F-1A-514A, B	制御用空気原子炉格納容器内供給弁	②		
	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量	3FS-2910, 2911	○	—		DC	R43-TS112A	潤滑油ブライミングポンプ入口風度スイッチ	②	換気空調系	3F-VS-291A, B	燃料取扱機事故時排気ライン隔離ダンパ	③		
	34キックン排気扇1, 2個機ダンパ	34D-VS-605, 606	×	①		DC	R43-TS112B	潤滑油ブライミングポンプ入口風度スイッチ	②	換気空調系	3FSG7A, B	アニュラス空気浄化フィルタユニット	①		
	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	3HC-2874, 2875	○	—		PCS	T49-4001A	FCS再結合器(A)	①	換気空調系	3F-VS-055	格納容器給気ライン格納容器外側隔離弁	③		
	3A, 3B中央制御室前照ダンパ流量設定	3HC-2885, 2886	○	—		PCS	T49-4001B	FCS再結合器(B)	①	換気空調系	3F-VS-056	格納容器給気ライン格納容器内側隔離弁	②		
	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定	3HC-2887, 2888	×	①		PCS	T49-4001A	FCS冷却器(A)	①	換気空調系	3F-VS-061	格納容器排気ライン格納容器内側隔離弁	②		
	3A, 3B中央制御室非常時外気取入調節ダンパ流量設定	3HC-2889, 2890	○	—		PCS	T49-4001B	FCS冷却器(B)	①	換気空調系	3F-VS-062	格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁	③		
	3A, 3B中央制御室非常時前照ダンパ流量設定	3HC-2891, 2892	○	—		PCS	T49-4001A	FCS気水分離器(A)	①	換気空調系	3FSA18A, B	安全補機室冷却ユニット	①		
	34A, 35安全補機閉閉器室空調ファン	—	○	—		PCS	T49-4001B	FCS気水分離器(B)	①	換気空調系	3D-VS-301A, B	安全補機室給気第1隔離ダンパ	③		
	34C, 34D安全補機閉閉器室空調ファン	—	○	—		PCS	T49-4001A	FCS気水分離器(B)	①	換気空調系	3D-VS-302A, B	安全補機室給気第2隔離ダンパ	③		
	3安全系電気監視室給気止めダンパ(A), B	3D-VS-532, 533	○	—		PCS	T49-4001B	FCS再結合器(A) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-303A, B	安全補機室排気第1隔離ダンパ	③		
	3安全系電気監視室排気止めダンパ(A), B	3D-VS-536, 537	○	—		PCS	T49-4001A	FCS再結合器(B) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-304A, B	安全補機室排気第2隔離ダンパ	③		
	3A, 3B安全補機閉閉器室風量	3FS-2817, 2818	○	—		F/DW	R21-F052A	F/DW第二隔離弁(A)	②	換気空調系	3F-VS-402A, B, C, D	ディーゼル発電機室排気ダンパ	③		
	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	—	○	—		F/DW	R21-F052B	F/DW第二隔離弁(B)	②	換気空調系	3FSG2A, B	原子炉建屋給気ガラリ	①		
	3制御用空気圧縮機室風量	3FS-2771, 2772, 2773, 2774	○	—		FPV	F31	使用済燃料プール	①	換気空調系	3FSM6A, B	安全補機閉閉器室給気ユニット	①		
	3制御用空気圧縮機室排気ダンパ(A), B	3D-VS-431A, B	○	—		FPV	641-4001A	スキママージタック	①	換気空調系	—	—	—		
	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	—	○	—		FPV	641-4001B	スキママージタック	①	換気空調系	—	—	—		
	3A, 3B電動補助給水ポンプ室風量(1), (2)	3FS-2731, 2742, 2733, 2734	○	—		FPV	641-6001A	燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)	①	換気空調系	—	—	—		
	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパ(A), B	3D-VS-411A, B	○	—		FPV	641-6001B	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)	①	換気空調系	—	—	—		
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼル発電機室給気ファン	—	○	—		FPV	641-0006A	燃料プール冷却浄化水戻りデフューザ	①	換気空調系	—	—	—		
	3A, 3Bディーゼル発電機室風量(1), (2), (3), (4)	3FS-2791, 2792, 2793, 2794, 2711, 2712, 2713, 2714	○	—		FPV	641-0006B	燃料プール冷却浄化水戻りデフューザ	①	換気空調系	—	—	—		
	3ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2	3D-VS-401A, B, 403A, B	○	—		FPV	641-F013	FPCろ過脱気装置出口弁	②	換気空調系	—	—	—		
	3A, 3B安全補機室冷却ファン	—	○	—											
	3A, 3B安全補機室風量(1), (2)	3FS-2880, 2881, 2886, 2891	○	—											
	3A, 3B3号機ポンプ室空調ファン	—	○	—											
	3A, 3B3号機ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	—	○	—											
	3A, 3B3号機ポンプ室風量調節弁	3FS-2801, 2811	○	—											
	313号機タンク室風量(1), (2), (3), (4)	3FS-2802, 2803, 2812, 2813	○	—											
	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン	3VSP9A, B	○	—											
	アニュラス空気浄化フィルタユニット電圧加熱コイル	3VSH18A, B	×	①											
	3A, 3Bアニュラス排気ダンパ	3D-VS-101A, B	○	—											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/9)					【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由①	系統	機器番号	機器名称	理由②			
換気空調系	3A, 3Bアニュラス吸りダンパ	3D-Y5-104A, B	○	—	FPC	641-TS016	燃料貯蔵プール水位スイッチ	③	換気空調系	3VS44A, B	中央制御室給気ユニット	①			
	3A, 3Bアニュラス全量排気弁	3V-Y5-102A, B	○	—	FPC	641-P1006	F P C ポンプ出口圧力指示計	③	換気空調系	3D-Y5-601A, B	中央制御室外気取入ダンパ	③			
	3A, 3Bアニュラス少量排気弁	3V-Y5-103A, B	○	—	FPC	641-TB001	F P C ポンプ入口温度検出器	③	換気空調系	3D-Y5-611, 612	中央制御室排気第1 (2) 隔離ダンパ	③			
	3A, 3Bアニュラス圧力制御器	3W-2522, 2542	×	①	FPC	641-TS014A	F P C 熱交換器 (A) 出口温度検出器	③	換気空調系	3HKD-2838, 2839	中央制御室排気風量調節ダンパ	③			
	3A, 3B格納容器排気ファン出口ダンパ	3D-Y5-660A, B	×	①	FPC	641-TS014B	F P C 熱交換器 (B) 出口温度検出器	③	換気空調系	3VS8	中央制御室非常用扇風機フィルタユニット	①			
	3格納容器排気止めダンパ	3D-Y5-041	×	①	FPC	641-TB015	燃料貯蔵プール温度	③	換気空調系	3D-Y5-053	格納容器給気密閉ダンパ	③			
	3補助送風排気流量調節ダンパ	3PCD-2760	×	①	FPMU	P15-P1001	F P M U W ポンプ入口圧力	③	換気空調系	3D-Y5-064	格納容器排気密閉ダンパ	③			
	3補助送風排気止めダンパ	3D-Y5-351	×	①	FPMU	P15-P1004	F P M U W ポンプ出口圧力	③	換気空調系	3D-Y5-065A, B	格納容器排気ファン出口ダンパ	③			
	3放射線管理室排気流量調節ダンパ	34PCD-2976	×	①	FPMU	P15-P1001	F P M U W ポンプ出口圧力	③	換気空調系	3D-Y5-232	補助送風排気隔離ダンパ	③			
	3放射線管理室排気止めダンパ	34D-Y5-658	×	①	FPMU	P15-P1004	F P M U W ポンプ出口圧力	③	換気空調系	3PCD-2526	補助送風排気流量調節ダンパ	③			
	3A, 3B安全備機室排気ダンパ	3D-Y5-105A, B	○	—	HECW	P25-3002A	換気空調機非常用冷却水系サージタンク (A)	①	空調用冷水系	3CH1	空調用冷水貯留タンク	①			
	3安全備機室排気第1, 2隔離ダンパ	3D-Y5-301, 302	×	①	HECW	P25-3002B	換気空調機非常用冷却水系サージタンク (B)	①	木消火系	3V-FS-504	消火水 C/V 外側隔離弁	②			
	3安全備機室排気第1, 2隔離ダンパ	3D-Y5-303, 304	×	①	HECW	P25-3002A	中央制御室給気冷卻コイル (A) 温度調節弁	③	炉内核計装置 置ガスバーージ 設備系	3V-IG-008	炉内核計装置置二酸化炭素バーージライン C/V 外側隔離弁	③			
	3アニュラス給気第1, 2隔離ダンパ	3D-Y5-052, 053	×	①	HECW	P25-F007A	中央制御室給気冷卻コイル (A) 温度調節弁	③	炉内核計装置 置ガスバーージ 設備系	3V-IG-009	炉内核計装置置二酸化炭素バーージライン C/V 内側隔離弁	②			
	3アニュラス排気第1, 2隔離ダンパ	3D-Y5-058, 059	×	①	HECW	P25-F007B	中央制御室給気冷卻コイル (B) 温度調節弁	③	原子炉格納容 器真空逃がし 装置系	3V-VR-001A, B	真空逃がし装置 C/V 外側隔離弁	③			
	3格納容器給気第2隔離弁	3V-Y5-054	×	①	HECW	P25-P018A	計測制御電源 (A) 室給気冷卻コイル温度調節弁	③	非常用所内 電源系	3DG11A, B	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①			
	3格納容器給気第1隔離弁	3V-Y5-055	×	②	HECW	P25-P018B	計測制御電源 (B) 室給気冷卻コイル温度調節弁	③	非常用所内 電源系	3DG2A, B	ディーゼル発電機燃料油サービスタンク	①			
	3格納容器排気第1隔離弁	3V-Y5-056	×	②	HECW	P25-P024A	原子炉補機 (A) 室給気冷卻コイル温度調節弁	③							
	3格納容器排気第2隔離弁	3V-Y5-057	×	①	HECW	P25-P024B	原子炉補機 (B) 室給気冷卻コイル温度調節弁	③							
	3A, 3B安全備機室冷却ファン現場操作箱	3LB-82, 83	○	—	HECW	P25-LS011A	HE C W サージタンク (A) 水位スイッチ	③							
	3A1・A2, 3B1・B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱	3LB-84, 85	○	—	HECW	P25-LS011B	HE C W サージタンク (B) 水位スイッチ	③							
	3A, 3B電機制御室給気ポンプ室給気ファン現場操作箱	3LB-86, 87	○	—	HECW	P25-P001A	HE C W 冷水ポンプ (A) 出口圧力	③							
	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱	3LB-90, 91	○	—	HECW	P25-P001B	HE C W 冷水ポンプ (B) 出口圧力	③							
	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱	3LB-95, 99	○	—	HECW	P25-P1001C	HE C W 冷水ポンプ (C) 出口圧力	③							
	3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱	3LB-101, 102	○	—	HECW	P25-P1001D	HE C W 冷水ポンプ (D) 出口圧力	③							
	3A4, 3B4, 3C4, 3D4安全備機室空調ファン現場操作箱	34LB-13, 14, 20, 21	○	—	HECW	P25-P1007A	HE C W 冷水ポンプ (A) 入口圧力	③							
	3A, 3Bほう電ポンプ室空調ファン現場操作箱	3LB-77, 78	○	—	HECW	P25-P1007B	HE C W 冷水ポンプ (B) 入口圧力	③							
	3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱	3LB-82, 83	○	—	HECW	P25-P1007C	HE C W 冷水ポンプ (C) 入口圧力	③							
	3A, 3B中央制御室非常用扇風機ファン現場操作箱	3LB-97, 98	○	—	HECW	P25-P1007D	HE C W 冷水ポンプ (D) 入口圧力	③							
	3空調用冷水貯留タンク			×	③										
	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水槽			○	—										
	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ			○	—										
	34C, 34D安全備機室空調ユニット冷水温度制御弁	34DCV-2800, 2801	○	—											
3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁	3TCV-2878, 2879	○	—												

※1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない  
 ② C/V内前環境比検の設備  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 別の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由

- ① 溢水により機能を喪失しない
- ② 原子炉格納容器内前環境比検の設備
- ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない
- ④ その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由		
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/24)			表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/9)			【大阪】		
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*	系統	機器番号	機器名称	理由*	
冷水系	5号調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁	3V-CF-002, 003	○	—	HPCV	P24-F102	HNCW供給ライン第二隔離弁	④	関連設備	3NE41A, B, 3NE42A, B, 3NE43A, B, 3NE44A, B	出力領域検出器	②	
	5号調用排水ポンプ冷却ユニット冷水入口、出口格納容器隔離弁	3V-CF-403, 407	×	①	HPCV	P24-F107	HNCW戻りライン第一隔離弁	②					
	3A, 3B, 3C, 3D号調用冷水ポンプ現地操作箱	3B-B-103, 104, 105, 106	○	—	HPCS	E22-0010	高圧炉心スプレイズシステムレーナ	①	関連設備	3NE31, 32	中性子源領域検出器	②	
格納容器減圧弁及び水素材料補給装置	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器第1隔離弁	3V-DC-001A, B	×	②	HPCS	E22-gP1006	HPCSノズル差圧伝送器	③	関連設備	3RE-91A, 92A	格納容器高レンジエリアモニタ（低レンジ）	②	
	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器第2隔離弁	3V-DC-002A, B	×	①	HPCS	E22-F1010	HPCS S/C相対検出調整弁	③	関連設備	3RE-91B, 92B	格納容器高レンジエリアモニタ（高レンジ）	②	
	3A, 3B格納容器水素バーン給気ライン格納容器第1隔離弁	3V-DC-304A, B	×	①	HPCS	E22-F021	HPCS注入ライン試験可能逆止平均圧弁	②	—	—	手動弁一式	①	
放射線監視設備空気サンプリング系	3A, 3B格納容器水素バーン給気ライン格納容器第2隔離弁	3V-DC-305A, B	×	①	HPCS	E22-F1005B	HPCSポンプ出口流量変換器	③	—	—	逆止弁一式	①	
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器第1隔離弁	3V-ID-001	×	②	HPCS	E22-P1001	HPCSポンプ入口圧力	③	—	—	配管一式	①	
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器第2隔離弁	3V-ID-002	×	①	HPCS	E22-P1004	HPCSポンプ出口圧力	③	*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②原子が格納容器内漏環境仕様の設備 ③動作機種の喪失により安全機能に影響しない ④その他の設備で代替できる				
3格納容器サンプル取り出しライン格納容器健全弁	3V-ID-013	×	①	HPCS	E22-P1004	HPCSポンプ出口圧力	③						
電気盤	3主盤（原子炉盤）	3MCB	○	—	HPCS	E22-F1001A	HPCSポンプ入口圧力伝送器	③	HPCSDG	R44-A001	潤滑油漏検タング	①	
	3原子炉補助盤	3BAB	○	—	HPCSDG	R44-A102	潤滑油漏検タング	①	HPCSDG	R44-A200	軽油タンク（G）	①	
	3原子炉安全保護計装機1, II, III, IV	3BPr-1, II, III, IV	○	—	HPCSDG	R44-A201	燃料ディランク	①	HPCSDG	R44-A300	空気だめ（自動）	①	
	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤	3BPL-A, B, C, D	○	—	HPCSDG	R44-8001	清水冷却器	①	HPCSDG	R44-8003	機関付空気冷却器	①	
	2安全保護シーケンス盤AG1, AG2, BG1, BG2	3SPS-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSDG	R44-8100	潤滑油冷却器	①	HPCSDG	R44-8102	発電機軸受潤滑油冷却器	①	
	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4プレフィード電盤	3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	○	—	HPCSDG	R44-9100	機関付潤滑油フィルタ	①	HPCSDG	R44-9200	燃料移送ポンプ入口ストレーナ	①	
	3原子炉トリアップ遮断装置	3BTS	○	—	HPCSDG	R44-9201	HPCS S-D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ	①	HPCSDG	R44-9202-1	燃料油フィルタ-1	①	
	3A, 3Bドロップ盤	3BCP-A-00P, 3BCP-B-00P	○	—	HPCSDG	R44-9202-2	燃料油フィルタ-2	①	HPCSDG	R44-9300	始動用空気Y型ストレーナ	①	
	3A, 3B直流充電盤	3BPr-A, B	○	—	HPCSDG	R44-9301	始動用空気Y型ストレーナ	①	HPCSDG	R44-gPS112	機関付潤滑油フィルタ差圧	③	
	3A, 3B直流分電盤	3BDF-A, B	○	—									
	3A, 3B蓄電池	—	○	—									
	3A, 3B充電器盤	3BCP-A, B	○	—									
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクラッドスイッチギヤ	3BC-A1, A2, B1, B2	○	—									
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ	3PC-A1, A2, B1, B2	○	—									
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉フロントロールセンタ	3BCC-A1, A2, B1, B2	○	—									
	3A, 3B, 3C, 3D計装用電線盤(1)~(3)	3IBC-A, B, C, D	○	—									
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤	3IFD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—									
	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電線切り替盤	3ISP-A, B, C, D	○	—									
	3炉内盤	3IBD	○	—									
	3AG, 3BD計装用後備分電盤	3IBD-AG, BD	○	—									
	3事故時放射線監視盤	3IPRS-III, IV	○	—									
	計装	3B1力領域中性子束	3S-41, 42, 43, 44	×	②								

【大阪】  
 記載表現の相違  
 女川審査実績の反映  
 設計方針の相違  
 プラント設計の違いによる相違  
 【女川】  
 記載表現の相違  
 設計方針の相違  
 プラント設計の違いによる相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉	相違理由				
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (10/24)									
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>						
計器	3中性線領域中性子束	3N-31,32	×	②	HPVSDG	E4-4FS210	燃料前ワイルタ差圧スイッチ	③		【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違				
	3格納容器高レベルアラーム(既レンジ)・(高レベル)	3RH-91A, 91B, 92A, 92B	×	②	HPVSDG	E4-4200	フレンチバルブチューブ	①						
	3A, 3Bディーゼル機関		○	—	HPVSDG	E4-4L5050	消水膨脹タンク水位指示計（接点付）	③						
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機		○	—	HPVSDG	E4-4LS257	シリンドー浸水スイッチ	③						
	3A, 3Bディーゼル発電機コントロールセンサ	300C-A,B	○	—	HPVSDG	E4-4PI052	機関待排水ポンプ出口圧力	③						
	3A, 3Bディーゼル発電機制御盤	300C-A,B	○	—	HPVSDG	E4-4PI102	機関待排水ポンプ出口圧力指示計	③						
スクリーンアウトの考え方 ①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルポジションとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない（動作要求のない原子格納容器格納管閉鎖弁を含む）。 ②原子格納容器内の防護対象設備は、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐震仕様が確保された機器喪失しない。又は、溢水事故が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。 ③タンク、熱交換器、送水弁、手動弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。 ④他の設備で代替できる。					スクリーンアウトの考え方 ①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルポジションとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない（動作要求のない原子格納容器格納管閉鎖弁を含む）。 ②原子格納容器内の防護対象設備は、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐震仕様が確保された機器喪失しない。又は、溢水事故が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。 ③タンク、熱交換器、送水弁、手動弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。 ④他の設備で代替できる。									
＜溢水影響評価対象外の注＞ ※1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対応設備を明確にするために防護対象機器リストに追加した。一方、機能喪失高さは「—」として溢水影響評価の対象外とした。					※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない。 ②PCV内耐震仕様設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④他の設備で代替できる。									
					HPVSDG	E4-4PI203	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③				【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
					HPVSDG	E4-4PI211	機関入口燃料油圧力指示計	③						
					HPVSDG	E4-4PI256	機関入口吸気圧力指示計	③						
					HPVSDG	E4-4PIS108	潤滑油プライミングポンプ出口圧力指示計（接点付）	③						
					HPVSDG	E4-4PIS113	機関入口潤滑油圧力	③						
					HPVSDG	E4-4PIS253	空気の圧力（自動）指示計（接点付）	③						
					HPVSDG	E4-4Ps200	燃料ハンドル位置異常スイッチ	③						
					HPVSDG	E4-4Ps202	ターニングハンドル位置異常スイッチ	③						
					HPVSDG	E4-4PS250	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③						
					HPVSDG	E4-4PS251	空気だめ圧力（自動）スイッチ	③						
					HPVSDG	E4-4TE301E	H P C S D / G 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③						
					HPVSDG	E4-4TE302E	H P C S D / G 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③						
					HPVSDG	E4-4TE303E	H P C S D / G 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③						
					HPVSDG	E4-4TE304E	H P C S D / G 固定子巻線温度 (U相) 検出器	③						
					HPVSDG	E4-4TE305E	H P C S D / G 固定子巻線温度 (V相) 検出器	③						
					HPVSDG	E4-4TE306E	H P C S D / G 固定子巻線温度 (W相) 検出器	③						
					HPVSDG	E4-4TE307E	H P C S D / G 固定子巻線温度 (U相予備) 検出器	③						
					HPVSDG	E4-4TE308E	H P C S D / G 固定子巻線温度 (V相予備) 検出器	③						
					HPVSDG	E4-4TE309E	H P C S D / G 固定子巻線温度 (W相予備) 検出器	③						
					HPVSDG	E4-4TE341E	H P C S D / G 反直結軸受温度検出器	③						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (11/24)								【大阪】 <a href="#">記載表現の相違</a> 女川審査実績の反映 <a href="#">設計方針の相違</a> プラント設計の違いによる相違 【女川】 <a href="#">記載表現の相違</a> <a href="#">設計方針の相違</a> プラント設計の違いによる相違	
系統	設備	番号	溢水影響評価対象 スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由	系統	機器番号	設備	理由		
1次冷却材系	4号炉予備器		×	⑤	HPSSDG	44-T342H	H P C S D / G 直結軸受温度検出器	③	HPSSDG	44-T342H	H P C S D / G 直結軸受温度検出器	③	
	4A, 4B, 4C, 4D 蒸気発生器		×	⑤	HPSSDG	44-T1051	機関入口グリースル冷却水温度指示計	③	HPSSDG	44-T1051	機関入口グリースル冷却水温度指示計	③	
	4A, 4B, 4C, 4D-1次冷却材ポンプ		×	①	HPSSDG	44-T1103	機関出口潤滑油温度指示計	③	HPSSDG	44-T1103	機関出口潤滑油温度指示計	③	
	4D圧器		×	⑤	HPSSDG	44-T5064	機関出口グリースル冷却水温度指示計（検点付）	③	HPSSDG	44-T5064	機関出口グリースル冷却水温度指示計（検点付）	③	
	4A, 4B, 4C 3D 圧器安全弁	4V-BC-055, 056, 057		×	⑤	HPSSDG	44-T5111	機関潤滑油温度	③	HPSSDG	44-T5111	機関潤滑油温度	③
	4A, 4B 圧器遮断弁	4V-BC-052A, B		×	②	HPSSDG	44-T5343H	H P C S D / G 直結軸受温度指示計（検点付）	③	HPSSDG	44-T5343H	H P C S D / G 直結軸受温度指示計（検点付）	③
	4A, 4B 圧器遮断弁（安全弁）	4V-BC-054A, B		×	①	HPSSDG	44-T5344H	H P C S D / G 直結軸受温度指示計（検点付）	③	HPSSDG	44-T5344H	H P C S D / G 直結軸受温度指示計（検点付）	③
	4D 圧器遮断弁	4V-BC-077		×	②	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③	HPSSDG	44-TS107	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	③
	4D 圧器遮断弁（タンクガス分析ライン格納容器系）	4V-BC-078		×	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
	4D 圧器遮断弁（タンクガス分析ライン格納容器系）	4V-BC-084		×	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
	4D 圧器遮断弁（タンクガス分析ライン格納容器系）	4V-BC-095		×	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
	4A, 4B 圧器スプレイン弁	4PV-451A, B		×	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
	4-1次冷却材圧力	4PT-420, 430		×	②	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
	4D 圧器水位	4LT-451, 452, 453, 454		×	②	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
	4A, B, C, D ループ1次冷却材高温度・低温度（広域）	410, 415, 420, 425 430, 435, 440, 445		×	②	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
	4A, B, C, D ループ1次冷却材高温度・低温度（狭域）	410E, 411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D		×	②	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
	4D 圧器圧力	4PT-401, 452, 453, 454		×	②	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
	4A, B, C, D ループ1次冷却材流量	4F1-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445		×	②	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
	1次冷却材ポンプ回転数	4SR-4185, 425A, 4385, 4435		×	②	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
	化学体積制御系	4A, 4B ほう酸ポンプ		○	—	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
		4A, 4B, 4C 充てんポンプ		○	—	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
		4A 体積制御タンク		×	③	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
		4再生熱交換器		×	⑤	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
4A, 4B ほう酸タンク			×	⑤	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	
4ほう酸フィルタ			×	③	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	
4貯水冷却器			×	⑤	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	
4A, 4B 貯水注入フィルタ			×	⑤	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	
4貯水ストレーナ			×	⑤	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	
4体積制御タンク出口第1止め弁		4LV-121B		○	—	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①
4体積制御タンク出口第2止め弁	4LV-121C		○	—	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	
4緊急ほう酸注入ライン補給弁	4V-CS-573		○	—	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	HPV	44-T001	高圧炉心スプレッド補機冷却水サージタンク	①	
表1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② PCVが耐腐蝕仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (12/24)						【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違  【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
化学体積制御系	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4FCV-121D,E	○	—	04AC	010-D204	D/C-MCC 2A変圧専用排気隔離ダンパ	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-157	○	—	04AC	010-F001A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ	①			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-155	○	—	04AC	010-F001A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4FCV-138	×	①	04AC	010-F001B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ	①			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4FCV-140	×	①	04AC	010-F001B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4FCV-151	×	②	04AC	010-F001B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4FCV-152	×	②	04AC	010-F002A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ	①			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-004A,B,C	×	②	04AC	010-F002A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-109	×	②	04AC	010-F002B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ	①			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-301	×	②	04AC	010-F002B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-302	×	②	04AC	010-F002B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-007	×	①	04AC	010-F022A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-151	×	①	04AC	010-F022B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-153	×	①	04AC	010-F030A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ(電磁弁)	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-177	×	①	04AC	010-F030B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ(電磁弁)	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-190A,B,C,D	×	①	04AC	010-PI5015A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ圧力	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-310	×	②	04AC	010-PI5015B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ圧力	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-312	○	—	04AC	010-PI5016A	原子炉排気隔離弁(A)用アキュムレータ圧力	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-CS-208A,B,C,D	×	②	04AC	010-PI5016B	原子炉排気隔離弁(B)用アキュムレータ圧力	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4LT-206,208	○	—	04AC	011-B001	原子炉補機(A)冷却気加熱コイル	①			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4SC	○	—	04AC	011-B002	原子炉補機(A)冷却気加熱コイル	①			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4SAC	○	—	04AC	011-D001	原子炉補機(A)冷却気加熱コイル	①			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4B-5,6,7,8	○	—	04AC	011-D002	D/G(A)冷却気加熱コイル	①			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4B-9,10	○	—	04AC	011-4P1001	原子炉補機(A)冷却気加熱コイル	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4A,4B,4C,4D	○	—	04AC	011-4P1003	D/G(A)冷却気加熱コイル	③			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-015A,B	○	—	04AC	011-X001	原子炉補機(A)冷却気加熱コイル	①			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-016A,B	○	—	04AC	011-X002	原子炉補機(A)冷却気加熱コイル	①			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-099A,B	○	—	04AC	011-X003	D/G(A)冷却気加熱コイル	①			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-002A,B	○	—	04AC	011-X004	D/G(A)冷却気加熱コイル	①			
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-006A,B	○	—	04AC						
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-062A,B	×	①							
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-099A,B	×	②							
	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-067A,B	×	②							
	安全注入系	4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-015A,B	○	—						
		4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-016A,B	○	—						
		4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-099A,B	○	—						
		4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-002A,B	○	—						
		4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-006A,B	○	—						
		4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-062A,B	×	①						
		4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-099A,B	×	②						
		4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-067A,B	×	②						
		4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-067A,B	×	②						
		4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-067A,B	×	②						
		4号炉冷却材ポンプ排水戻りライン流量制御弁	4V-S1-067A,B	×	②						

※1 評価対象外とした理由  
 ①設計により機能を喪失しない  
 ②FCV/逆止弁等の設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (13/24)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方		系統	機器番号	設備	理由 <sup>①</sup>			
安全注水系	IA, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ高圧タンク出口弁	IV-S1-132A, B, C, D	×	②		HVAC	V12-B001	原子炉補機 (B) 室給気冷却コイル	①		【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違  【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違	
	格納容器再循環ポンプ水取(熱源)・(圧縮)	4LT-976, 977, 978, 979	×	②		HVAC	V12-B002	原子炉補機 (B) 室給気加熱コイル	①			
	IA, Ⅲ高圧注入ポンプ見操縦作箱	4IB-12, 13	○	—		HVAC	V12-0001	原子炉補機 (B) 室給気バッグエアフィルタ	①			
	格納容器注水ピット水位1, II, III, IV	4LT-1400, 1401, 1402, 1403	○	—		HVAC	V12-0002	D/G (B) 室給気バッグエアフィルタ	①			
	IA高圧注入流量(1), Ⅳ高圧注入流量(1)	4FT-962, 963	○	—		HVAC	V12-4P1001	原子炉補機 (B) 室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	②			
	IA, Ⅲ余熱除去ポンプ		○	—		HVAC	V12-4P1003	D/G (B) 室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	②			
	IA, Ⅲ余熱除去ポンプスリムマフローイング止め弁	4FCV-691, 611	○	—		HVAC	V12-3001	原子炉補機 (B) 室排気ループ	①			
	IA, Ⅲ余熱除去冷却器出口流量測定弁	4FCV-693, 613	×	①		HVAC	V12-3002	原子炉補機 (B) 室排気ループ	①			
	IA, Ⅲ余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	4FCV-694, 614	×	①		HVAC	V12-3003	D/G (B) 室排気ループ	①			
	IA, Ⅲ余熱除去ポンプR,Cループ高圧側入口止弁	4FCV-420, 430	×	②		HVAC	V12-3004	D/G (B) 室排気ループ	①			
余熱除去系	IA, Ⅲ余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	4V-RH-092A, B	×	②		HVAC	V12-3004A	D/G (B) 室排気ループ (A)	①			
	IA, Ⅲ余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	4V-RH-043A, B	×	①		HVAC	V12-3004B	D/G (B) 室排気ループ (B)	①			
	IA, Ⅲ余熱除去冷却器出口建荷弁	4V-RH-047A, B	×	②		HVAC	V13-B001A	原子炉補機 (HPCS) 室給気加熱コイル (A)	①			
	Ⅲ, Ⅳループ高圧側圧力注入ライン止め弁	4V-RH-048A, B	×	②		HVAC	V13-B001B	原子炉補機 (HPCS) 室給気加熱コイル (B)	①			
	IA, Ⅲ余熱除去ポンプ出口流量	4FT-691, 611	○	—		HVAC	V13-0001	原子炉補機 (HPCS) 室給気バッグエアフィルタ	①			
	IA, Ⅲ余熱除去ポンプ見操縦作箱	4IB-14, 15	○	—		HVAC	V13-0002	D/G (HPCS) 室給気バッグエアフィルタ	①			
	IA, Ⅲ格納容器スプレイポンプ		○	—		HVAC	V13-4P1001	原子炉補機 (HPCS) 室給気バッグエアフィルタ差圧	②			
	IA, Ⅲ格納容器スプレイ冷却器		×	②		HVAC	V13-4P1003	D/G (HPCS) 室給気バッグエアフィルタ差圧指示計	②			
	IA, Ⅲより新築去雑品注入ライン第1止め弁	4V-CP-054A, B	○	—		HVAC	V13-3001	原子炉補機 (HPCS) 室排気ループ	①			
	IA, Ⅲより新築去雑品注入ライン第2止め弁	4V-CP-056A, B	○	—		HVAC	V13-3002	原子炉補機 (HPCS) 室排気ループ	①			
格納容器スプレイ系	IA, Ⅲ格納容器スプレイポンプ燃料取替用高圧側入口止め弁	4V-CP-093A, B	○	—		HVAC	V13-3003	D/G (HPCS) 室排気ループ	①			
	IA, Ⅲ格納容器スプレイポンプ再循環ポンプ種入口供給用隔離閥	4V-CP-093A, B	○	—		HVAC	V13-3004	D/G (HPCS) 室排気ループ	①			
	IA, Ⅲ格納容器スプレイ冷却器出口格納容器隔離弁	4V-CP-092A, B	○	—		HVAC	V30-B001A	中央制御室給気冷却コイル (A)	①			
	格納容器圧力 (圧縮) I, II, III, IV	4PT-950, 951, 952, 953	○	—		HVAC	V30-B001B	中央制御室給気冷却コイル (B)	①			
	IA, Ⅲ格納容器スプレイポンプ見操縦作箱	4IB-18, 19	○	—		HVAC	V30-B001C	中央制御室給気冷却コイル (C)	①			
	4タービン動機給水ポンプ		○	—		HVAC	V30-B001D	中央制御室給気冷却コイル (D)	①			
	IA, Ⅲ電動機給水ポンプ		○	—		HVAC	V30-B001E	中央制御室給気冷却コイル (E)	①			
	4復水ピット		×	②		HVAC	V30-B001F	中央制御室給気冷却コイル (F)	①			
	4タービン動機給水ポンプ駆動弁A, B	4V-M5-570A, B	○	—								
	IA, Ⅲ, Ⅳ電動機給水隔離弁	4V-F8-574A, B, C, D	×	①								
主配気及び主給水系補助給水系	IA, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ電動機補助給水ライン流量測定弁	4V-F8-557A, B, C, D	×	①								

※1 評価対象外とした理由  
 ①長さにより機能を喪失しない  
 ②PCV内耐電圧仕様は設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（4/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（14/24）						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
主蒸気及び 主給水蒸、 補助給水蒸	4号炉ピット電動補助給水ポンプ阻止弁 止め弁	4V-FF-580	×	①	IRAC	730-1002A	中央初級室給気加熱コイル（A）	①			【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違  【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	4号炉ピットタービン補助給水ポンプ阻止弁	4V-FF-581	×	①	IRAC	730-1002B	中央初級室給気加熱コイル（B）	①			
	IA, 4B, 4C, 4Dタービン補助給水ライン流量 調整弁	4RCV-3715, 3725 , 3735, 3745	×	①	IRAC	730-1002C	中央初級室給気加熱コイル（C）	①			
	IA, 4Dタービン補助給水ポンプ駆動蒸気 供給ライン止め弁	4V-MS-575A, B	×	①	IRAC	730-1002D	中央初級室給気加熱コイル（D）	①			
	IA, 4B, 4C, 4D主給水隔離弁	4V-FF-520A, B, C, D	×	②	IRAC	730-1002E	中央初級室給気加熱コイル（E）	①			
	4号炉ピット水位Ⅲ, IV	4LT-3760, 3761	○	—	IRAC	730-1002F	中央初級室給気加熱コイル（F）	①			
	IA, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助給水流量 調整弁	4FT-3718, 3720 , 3728, 3730	○	—	IRAC	730-1002G	中央初級室給気加熱コイル（G）	①			
	IA, B, C, D蒸気発生器広域水位	4LT-494, 474 , 484, 494	×	②	IRAC	730-1002H	中央初級室給気加熱コイル（H）	①			
	IA, B, C, D蒸気発生器狭域水位	4LT-491, 462, 463 , 470, 471, 472, 473 , 480, 481, 482, 483 , 490, 491, 492, 493	×	②	IRAC	730-1002I	中央初級室給気加熱コイル（I）	①			
	タービン駆動用給水ポンプ駆動電機II	4TDP-3, B	○	—	IRAC	730-1001	中央初級室再循環中性化エアフィルタ	①			
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁	4V-MS-533A, B, C, D	○	—	IRAC	730-1002A	中央初級室再循環高性能エアフィルタ（A）	①			
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁バイパス弁	4RCV-3615, 3625 , 3635, 3645	×	①	IRAC	730-1002B	中央初級室再循環高性能エアフィルタ（B）	①			
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気過熱弁	4RCV-3610, 3620 , 3630, 3640	○	—	IRAC	730-1003	中央初級室再循環チャコールエアフィルタ	①			
	IA, 4B, 4C, 4D-1主蒸気安全弁	4V-MS-526A, B, C, D	×	①	IRAC	730-1004A	MCR給気バッグフィルタ（A）	①			
	IA, 4B, 4C, 4D-2主蒸気安全弁	4V-MS-527A, B, C, D	×	①	IRAC	730-1004B	MCR給気バッグフィルタ（B）	①			
	IA, 4B, 4C, 4D-3主蒸気安全弁	4V-MS-528A, B, C, D	×	①	IRAC	730-1005A	中央初級室加温器（A）	③			
	IA, 4B, 4C, 4D-4主蒸気安全弁	4V-MS-529A, B, C, D	×	①	IRAC	730-1005B	中央初級室加温器（B）	③			
	IA, 4B, 4C, 4D-5主蒸気安全弁	4V-MS-530A, B, C, D	×	①	IRAC	730-1005C	中央初級室加温器（C）	③			
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁上流ドレンライ ン止め弁	4V-MS-588A, B, C, D	×	①	IRAC	730-1005D	中央初級室加温器（D）	③			
	IA, 4B, 4C, 4D主蒸気過熱弁元弁	4V-MS-523A, B, C, D	×	①	IRAC	730-4P1001A	中央初級室給気バッグエアフィルタ（A）差圧指示計	③			
I, II, III, IV, IA, 4B, 4C, 4D主蒸気圧力	4PT-465, 466, 467, 468 , 475, 476, 477, 478 , 485, 486, 487, 488 , 495, 496, 497, 498	○	—	IRAC	730-4P1001B	中央初級室給気バッグエアフィルタ（B）差圧指示計	③				
原子炉補機 冷却蒸	IA, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ		○	—	IRAC	730-4P1005	中央初級室再循環高性能エアフィルタ差圧指示計	③			
	4原子炉補機冷却水サージタンク		×	②	IRAC	730-4P1006	中央初級室再循環高性能エアフィルタ（A）差圧指示計	③			
	IA, 4B原子炉補機冷却水冷却器		×	②	IRAC	730-4P1007	中央初級室再循環チャコールエアフィルタ差圧指示計	③			
	IA, 4B冷却器スプレッド冷却器冷却水止め 弁	4V-CC-128A, B	○	—	IRAC	730-4P1008	中央初級室再循環高性能エアフィルタ（B）差圧指示計	③			
	IA-C, 4B-C原子炉補機冷却水供給母管遮断 弁	4V-CC-056A, B	○	—	IRAC	730-ME1003A	中央初級室蒸気湿度（A）検出器（変換器付）	③			
	IA-C, 4B-C原子炉補機冷却水戻り母管遮断 弁	4V-CC-043A, B	○	—	IRAC	730-ME1003B	中央初級室蒸気湿度（B）検出器（変換器付）	③			
	IA, 4B余熱除去冷却器冷却水止め弁	4V-CC-114A, B	○	—	IRAC	730-3001	MCR給気ルーバ	①			
	1号冷却材ポンプ冷却水供給ライン蒸餾 器冷却器弁	4V-CC-400	○	—							
	1号冷却材ポンプ冷却水戻りライン蒸餾 器冷却器弁	4V-CC-427	×	②							
	1号冷却材ポンプ冷却水戻りライン蒸餾 器冷却器弁	4V-CC-429	○	—							

※1 評価対象外とした理由  
 ①溢水より機能を喪失しない  
 ②PCV内耐腐蝕仕様設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (15/24)						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
原子炉補機 冷却系	4号炉常圧コック・空熱抽出冷却器 取水式冷却ラインの配管等	4V-CC-342	○	—	BYAC	V30-X002	MCR 排気ループ	①			【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	4号炉常圧ユニット・空熱抽出冷却器 取水式冷却ラインの配管等	4V-CC-365	○	—	BYAC	V31-B001	計測制御電源 (A) 空給気冷却コイル	①			
	4A, 4B, 4C 高圧冷却器再循環ユニット冷却水 供給ライン高圧配管配管等	4V-CC-180A, B	○	—	BYAC	V31-B002	計測制御電源 (A) 空給気加熱コイル	①			
	4A, 4B, 4C 高圧冷却器再循環ユニット冷却水 戻りライン低圧配管配管等	4V-CC-198A, B, C, D	○	—	BYAC	V31-D001	計測制御電源 (A) 空給気バッグフィルタ	①			
	4号炉予備機冷却水サータンク水位置 計	4V-CC-605, 606	○	—	BYAC	V31-4PT001	計測制御電源 (A) 空給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
	4号炉予備機冷却水ポンプ現機 操作箱	4LT-1200, 1201	○	—	BYAC	V31-X001	計測制御電源 (A) 空給気ループ	①			
	4A, 4B, 4C 海水ポンプ	4LB-20, 21, 22, 23	○	—	BYAC	V31-X002	計測制御電源 (A) 空排気ループ	①			
	1号海水ポンプ出口4A, 4B, 4C, 4号海水スト レーナ	4S-SF-01A, B, C, D	× <sup>※1</sup>	②	BYAC	V32-B001	計測制御電源 (B) 空給気冷却コイル	①			
	4A, 4B, 4C 海水ポンプ軸流ストレーナ8	4S-SF-02A, B, C 4S-SF-03A, B, C	×	②	BYAC	V32-B002	計測制御電源 (B) 空給気加熱コイル	①			
	4A, 4B 原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁	4V-SF-570A, B	○	—	BYAC	V32-D001	計測制御電源 (B) 空給気バッグフィルタ	①			
	4A, 4B1, 4B2, 4C 海水ポンプ現機操作箱	4LB-26, 27, 28, 29	○	—	BYAC	V32-4PT001	計測制御電源 (B) 空給気バッグエアフィルタ差圧指示計	③			
	4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ		○	—	BYAC	V32-X001	計測制御電源 (B) 空排気ループ	①			
	4A, 4B 使用済燃料ピット		× <sup>※1</sup>	②	BYAC	V32-X002	計測制御電源 (B) 空排気ループ	①			
	4A, 4B, 4C 使用済燃料ピット冷却器		× <sup>※1</sup>	②	IA/H/IN	P52-F111	I A第二隔離弁	④			
	4A, 4B 使用済燃料ピット脱脂槽		×	②	IA/H/IN	P54-F015	H P I N 常用第二隔離弁	④			
4A, 4B 使用済燃料ピットフィルタ		×	②	IA/H/IN	P54-F068A	H P I N 非常用第二隔離弁 (A)	④				
4A, 4B 使用済燃料ピットポンプ現機操作箱	4LB-24, 25	○	—	IA/H/IN	P54-F068B	H P I N 非常用第二隔離弁 (B)	④				
4A, 4B 燃料池常用海水ポンプ		○	—	LPCS	E21-D001	圧入貯心スプレイストレーナ	①				
燃料取替用水系	4燃料取替用水ピット		× <sup>※1</sup>	②	LPCS	E21-P006	L P C S 試験用調整弁	③			
4A, 4B 燃料池常用海水ポンプ現機操作箱	4LB-23, 24	○	—	LPCS	E21-P016	L P C S 注入ライン試験可能遮止弁	②				
4A, 4B, 4C, 4D プロセッサライン格納容器 設備等	4V-BD-010A, B, C, D	×	①	LPCS	E21-P1001	L P C S ポンプ入口圧力	③				
4A, 4B, 4C, 4D 高圧気発生用燃料採取ライン格 納容器設備等	4V-BD-010A, B, C, D	×	①	LPCS	E21-P1004	L P C S ポンプ出口圧力	③				
1次系燃料採取 系	4加工部空気用燃料採取ライン格納容器第 1隔離弁	4V-SS-503	×	②	LPCS	E21-PT006	L P C S ポンプ出口圧力	③			
	4加工部燃料用燃料採取ライン格納容器第 1隔離弁	4V-SS-505	×	②	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-ワークエンチャ (A)	①			
	4加工部高圧燃料採取ライン格納容器第 1隔離弁	4V-SS-522	×	②	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-ワークエンチャ (B)	①			
	4加工部高圧燃料採取ライン格納容器第 2隔離弁	4V-SS-507	×	①	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-ワークエンチャ (C)	①			
	4加工部高圧燃料採取ライン格納容器第 1隔離弁	4V-SS-525	×	②	MS	B21	主蒸気速がし安全弁排気管 T-ワークエンチャ (D)	①			
	4加工部高圧燃料採取ライン格納容器第 2隔離弁	4V-SS-526	×	②							
	4A, 4B, 4C, 4D 加工部燃料採取ライン格 納容器設備等	4V-SS-503A, B, C, D	×	②							
	4加工部燃料採取ライン格納容器第2 隔離弁	4V-SS-504	×	①							
	4加工部燃料採取ライン格納容器第2 隔離弁	4V-SS-574	×	①							
	4加工部燃料採取ライン格納容器 設備等		○	—							
制御用空気系	4A, 4B 制御用空気圧縮機		○	—							
4A, 4B 制御用空気乾燥器	4IAHA, B	× <sup>※1</sup>	②								

※1 評価対象外とした理由  
 ① 溢水により機能を喪失しない  
 ② PCV耐震増設仕様の設置  
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④ 他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (16/24)								【大阪】 <a href="#">記載表現の相違</a> 女川審査実績の反映 <a href="#">設計方針の相違</a> プラント設計の違いによる相違 【女川】 <a href="#">記載表現の相違</a> <a href="#">設計方針の相違</a> プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>					
制御用空気系	4A、4B制御用空気ため	4IAT1A、B	× <sup>※1</sup>	⑤	MS	R21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (E)	①					
	4A、4B制御用空気主蒸気逃がし弁等供給ライン止弁弁	4V-1A-506A、B	○	—		MS	R21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (F)	①				
	4A、4B-C制御用空気母管連絡弁	4V-1A-503A、B	○	—		MS	R21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (G)	①				
	4A、4B制御用空気格納容器隔離弁	4V-1A-508A、B	○	—		MS	R21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (H)	①				
	4A、4B格納容器隔離クラス制御用空気母管体阻止弁	4V-1A-510A、B	×	②		MS	R21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (I)	①				
	4A、4B制御用空気体管管圧力	4PT-1800、1810	○	—		MS	R21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (J)	①				
	4A、4B制御用空気圧縮機制御盤	4IAC-A、B	○	—		MS	R21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (K)	①				
	4格納容器高圧材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第一隔離弁	4V-FL-078	×	②		MS	R21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチャ (L)	①				
	4格納容器高圧材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第二隔離弁	4V-FL-079	×	①		MS	R21-000JA	主蒸気逃し安全弁 (A) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器高圧材ドレンタンクベントライン格納容器第一隔離弁	4V-FL-080	×	②		MS	R21-000JB	主蒸気逃し安全弁 (B) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
廃棄物処理系	4格納容器高圧材ドレンタンクベントライン格納容器第二隔離弁	4V-FL-081	×	③	MS	R21-000JC	主蒸気逃し安全弁 (C) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器高圧材ドレンタンク重質供給ライン格納容器第一隔離弁	4V-FL-094	×	①	MS	R21-000JD	主蒸気逃し安全弁 (D) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器高圧材ドレンポンプ出口格納容器第一隔離弁	4V-FL-042	×	②	MS	R21-000JE	主蒸気逃し安全弁 (E) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器高圧材ドレンポンプ出口格納容器第二隔離弁	4V-FL-043	×	①	MS	R21-000JF	主蒸気逃し安全弁 (F) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器中間ポンプ出口格納容器第一隔離弁	4V-FL-143	×	②	MS	R21-000JG	主蒸気逃し安全弁 (G) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4格納容器中間ポンプ出口格納容器第二隔離弁	4V-FL-144	×	①	MS	R21-000JH	主蒸気逃し安全弁 (H) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4内蔵計測装置ガスバーン系	4V-FS-502	×	①	MS	R21-000JI	主蒸気逃し安全弁 (I) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4内蔵計測装置ガスバーン系	4V-1G-008	×	②	MS	R21-000JK	主蒸気逃し安全弁 (K) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4内蔵計測装置ガスバーン系	4V-1G-008	×	①	MS	R21-000JL	主蒸気逃し安全弁 (L) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	4内蔵計測装置ガスバーン系	4V-1G-008	×	②	MS	R21-0002A	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (A) ADS	①					
換気空調系	4換気空調機	4VB	○	—	MS	R21-0002C	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (C) ADS	①					
	4A、4B中央制御室空調ファン		○	—	MS	R21-0002E	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (E) ADS	①					
	4A、4B中央制御室乾燥ファン		○	—	MS	R21-0002J	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (H) ADS	①					
	4A、4B中央制御室非常用乾燥ファン	4VSP22A、B	○	—	MS	R21-0002L	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (L) ADS	①					
	4A、4B中央制御室外気取入止めダンパ	4D-VS-601A、B	×	①	MS	R21-0003A	主蒸気第一隔離弁 (A) 用アキュムレータ	①					
	4A、4B中央制御室非常用乾燥ファン入口ダンパ	4D-VS-602A、B	○	—	MS	R21-0003B	主蒸気第一隔離弁 (B) 用アキュムレータ	①					
	4A、4B中央制御室空調ファン出口ダンパ	4D-VS-603A、B	○	—	MS	R21-0003C	主蒸気第一隔離弁 (C) 用アキュムレータ	①					
	4A、4B中央制御室乾燥ファン入口ダンパ	4D-VS-604A、B	○	—									
	4A、4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ	4HCP-2874、2875	○	—									
	4A、4B中央制御室新備流量調節ダンパ	4HCP-2885、2886	○	—									
4A、4B中央制御室大気放出流量調節ダンパ	4HCP-2887、2889	×	①										
4A、4B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ	4HCP-2889、2890	○	—										
4A、4B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ	4HCP-2891、2892	○	—										

※1 評価対象外とした理由  
 ①原水により機能を喪失しない  
 ②ICV耐環境仕様設備  
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない  
 ④他の設備で代替できる



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由	
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (18/24)							
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由※1				
換気空調系	IA, 4Bアニューラス少量排気弁	4B-VS-103A, B	○	—	MS	B21-F002	事故時貯水タンク第二隔離弁	㊸				
	IA, 4Bアニューラス圧力制御器	4BT-2522, 2512	×	㊸	PLR	B32-F002A	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁	㊸				
	IA, 4B格納容器排気ファン出口ダンパ	4B-VS-090A, B	×	㊸	PLR	B32-F002B	原子炉再循環ポンプ(B)吐出弁	㊸				
	4格納容器排気止めダンパ	4B-VS-061	×	㊸	PLR	B32-F013	P.L.R.タンク用ライン第一隔離弁	㊸				
	4補助配管排気装置調整ダンパ	4BPC-2590	×	㊸	PLR	B32-F014	P.L.R.タンク用ライン第二隔離弁	㊸				
	4補助配管排気止めダンパ	4B-VS-351	×	㊸	BCTC	E51-B004	原子炉隔離時冷却システム	㊸				
	34放射線管理系排気装置調整ダンパ	34PCD-2976	×	㊸	BCTC	E51-B005	スパーージャ	㊸				
	34放射線管理系排気止めダンパ	34B-VS-658	×	㊸	BCTC	E51-F007	R.C.I.C.タービン入口蒸気ライン第一隔離弁	㊸				
	IA, 4B安全補機室排気ダンパ	4B-VS-105A, B	○	—	BCTC	E51-F027	R.C.I.C.タービン入口蒸気ライン第二隔離弁	㊸				
	4安全補機室排気第1,2隔離ダンパ	4B-VS-301, 302	×	㊸	BCTC	E51-F1001	R.C.I.C.ポンプ入口圧力指示計	㊸				
	4安全補機室排気第1,2隔離ダンパ	4B-VS-303, 304	×	㊸	BCTC	E51-F1003	R.C.I.C.ポンプ出口圧力指示計	㊸				
	4アニューラス排気第1,2隔離ダンパ	4B-VS-052, 053	×	㊸	BCTC	E51-F1007	R.C.I.C.ポンプ駆動用タービン入口蒸気圧力指示計	㊸				
	4アニューラス排気第1,2隔離ダンパ	4B-VS-058, 059	×	㊸	BCTC	E51-F1009	R.C.I.C.タービン排気圧力指示計	㊸				
	4格納容器給気第2隔離弁	4B-VS-054	×	㊸	BCTC	E51-F1001A	R.C.I.C.ポンプ入口圧力伝送器	㊸				
	4格納容器給気第1隔離弁	4B-VS-055	×	㊸	BCV	P42-A001A	原子炉補機冷却水サーージタンク(A)	㊸				
	4格納容器排気第1隔離弁	4B-VS-056	×	㊸	BCV	P42-A001B	原子炉補機冷却水サーージタンク(B)	㊸				
	4格納容器排気第2隔離弁	4B-VS-057	×	㊸	BCV	P42-B001A	原子炉補機冷却水系統交換器(A)	㊸				
	IA, 4B安全補機室冷却ファン現場操作箱	4LB-82, 83	○	—	BCV	P42-B001B	原子炉補機冷却水系統交換器(B)	㊸				
	IA1-A2, 4B1-4B2ディーゼル発電機室給気ファン現場操作箱	4LB-84, 85	○	—	BCV	P42-B001C	原子炉補機冷却水系統交換器(C)	㊸				
	IA, 4B緊急排気給水ポンプ供給ファン現場操作箱	4LB-86, 87	○	—	BCV	P42-B001D	原子炉補機冷却水系統交換器(D)	㊸				
	IA, 4B排気用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱	4LB-90, 91	○	—	BCV	P42-F000A	R.C.W.冷却水供給温度熱交換器(A) 調整弁	㊸				
	IA, 4B中央制御室循環ファン現場操作箱	4LB-95, 96	○	—	BCV	P42-F000B	R.C.W.冷却水供給温度熱交換器(B) 調整弁	㊸				
	IA, 4B中央制御室空調ファン現場操作箱	4LB-101, 102	○	—	BCV	P42-F000C	R.C.W.冷却水供給温度熱交換器(C) 調整弁	㊸				
	34A, 34B, 34C, 34D安全補機室空調ファン現場操作箱	34LB-13, 14, 20, 21	○	—	BCV	P42-F010A	R.C.W.冷却水供給温度ポンプ(A) 調整弁	㊸				
	IA, 4B排気用給気ファン現場操作箱	4LB-77, 78	○	—	BCV	P42-F010B	R.C.W.冷却水供給温度ポンプ(B) 調整弁	㊸				
	IA, 4Bアニューラス空気浄化ファン現場操作箱	4LB-52, 53	○	—	BCV	P42-F085A	R.C.W.常用冷却水緊急シャ断弁(A)	㊸				
	IA, 4B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱	4LB-97, 98	○	—	BCV	P42-F085B	R.C.W.常用冷却水緊急シャ断弁(B)	㊸				
	4空調用冷水貯タンク			×	㊸	BCV	P42-F085C	R.C.W.常用冷却水緊急シャ断弁(C)	㊸			
	IA, 4B, 4C, 4D空調用冷水機			○	—							
	IA, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ			○	—							
	IA, 4B中央制御室空調ユニット冷水温度検出器	4BCV-2878, 2879	○	—								
	34A, 34B安全補機室空調ユニット冷水温度検出器	34BCV-2798, 2799	○	—								
	4空調用冷水N-ヘッド供給、戻りライン止め弁	4B-CH-032, 033	○	—								
	4補助配管排気装置冷却ユニット冷水入口、出口供給装置調整弁	4B-CH-483, 487	×	㊸								
	IA, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ現場操作箱	4LB-103, 104, 105, 106	○	—								
	※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②BCV内断電時任務の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる											
												【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (19/24)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>			
格納容器減圧装置及び大気排気設備	1A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0P-001A,B	×	②	R/W	P42-F0890	R C W 常用冷却水緊急しり断弁 (D)	⑤			
	1A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0P-002A,B	×	①	R/W	P42-F112A	R C W 供給側第二隔離弁 (A)	④			
	1A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0C-004A,B	×	①	R/W	P42-F112B	R C W 供給側第二隔離弁 (B)	④			
	1A, 4B格納容器減圧装置排気ライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0C-005A,B	×	①	R/W	P42-F115A	R C W 戻り側第一隔離弁 (A)	②			
放射性監視設備 空気サンプリング系	1格納容器サンプル取り出しライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0M-001	×	②	R/W	P42-F115B	R C W 戻り側第一隔離弁 (B)	②			
	1格納容器サンプル取り出しライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0M-002	×	①	R/W	P42-F115B	R C W 戻り側第一隔離弁 (B)	②			
	1格納容器サンプル取り出しライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0M-013	×	①	R/W	P42-FT006A	R C W A 系系統流量発信器	③			
	1格納容器サンプル取り出しライン格納容器緊急閉塞弁	IV-0M-013	×	①	R/W	P42-FT006B	R C W B 系系統流量発信器	③			
電気盤	1主変 (原子炉室)	4BCD	○	—	R/W	P42-FT014A	R C W A 系常用系入口流量発信器	③			
	1原子炉補助盤	4BAD	○	—	R/W	P42-FT014B	R C W B 系常用系入口流量発信器	③			
	1原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV	4BP0-1, II, III, IV	○	—	R/W	P42-FT016A	R H R 熱交換器 (A) 冷却水入口流量発信器	③			
	1原子炉トリップ遮断装置	4BTS	○	—	R/W	P42-FT016B	R H R 熱交換器 (B) 冷却水入口流量発信器	③			
電気盤	1A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤	4BP1-A, B, C, D	○	—	R/W	P42-L1000A	R C W サージタンク (A) 水位	⑤			
	1安全保護シーケンス盤A01, A02, B01, B02	4SPS-A1, A2, B1, B2	○	—	R/W	P42-L1000B	R C W サージタンク (B) 水位	⑤			
	1A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4プレイド分電盤	4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	○	—	R/W	P42-LT010A	R C W サージタンク (A) 水位発信器	⑤			
	1A, 4Bトリップ遮断装置	4BTS	○	—	R/W	P42-LT010B	R C W サージタンク (B) 水位発信器	⑤			
	1A, 4Bトリップ盤	4BTP-A-00P, 4BTP-B-00P	○	—	R/W	P42-P1001A	R C W ボンプ (A) 出口圧力	③			
	1A, 4B直流電盤	4DDP-A, B	○	—	R/W	P42-P1001B	R C W ボンプ (B) 出口圧力	③			
	1A, 4B交流電盤	4DDP-A, B	○	—	R/W	P42-P1001C	R C W ボンプ (C) 出口圧力	③			
	1A, 4B蓄電池	4BCC-A, B	○	—	R/W	P42-P1001D	R C W ボンプ (D) 出口圧力	③			
	1A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクワッドスイッチング	4MC-A1, A2, B1, B2	○	—	R/W	P42-P1007A	R C W ボンプ (A) 入口圧力	③			
	1A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ	4PC-A1, A2, B1, B2	○	—	R/W	P42-P1007B	R C W ボンプ (B) 入口圧力	③			
	1A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンタ	4BCC-A1, A2, B1, B2	○	—	R/W	P42-P1007C	R C W ボンプ (C) 入口圧力	③			
	1A, 4B, 4C, 4D計装用電線盤(1)~(5)	4IBC-A, B, C, D	○	—	R/W	P42-P1007D	R C W ボンプ (D) 入口圧力	③			
	1A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤	4IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—	R/W	P42-TE005A	R C W A 系冷却水供給温度検出器	③			
	1A, 4B, 4C, 4D計装用交流電源切替盤	4ISP-A, B, C, D	○	—	R/W	P42-TE005B	R C W B 系冷却水供給温度検出器	③			
	1炉内盤	4BS0	○	—	R/W	P42-TE017A	R H R 熱交換器 (A) 冷却水出口温度検出器	③			
	1A, 4B計装用炭粉分電盤	4IB0-AC, BD	○	—	R/W	P42-TE017B	R H R 熱交換器 (B) 冷却水出口温度検出器	③			
1事故時放射線監視盤	4PRMS-III, IV	○	—								
計器	1出力領域中性子束	4S-41, 42, 43, 44	×	②							
	1中性子監視域中性子束	4S-31, 32	×	②							
	1格納容器高レベルエリアモニタ(低レンジ・高レンジ)	4BE-91A, 91B, 92A, 92B	×	②							
					※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②炉内耐環境仕様での設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる						
【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																						
<p>大阪4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)</p> <table border="1" data-bbox="134 215 672 343"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>番号</th> <th>溢水影響評価対象</th> <th>スクリーンアウトの考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">非常用電源系</td> <td>4A, 4Bディーゼル機関</td> <td></td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4A, 4Bディーゼル発電機</td> <td></td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ</td> <td>40CC-A, B</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>4A, 4Bディーゼル発電機制御盤</td> <td>40CA, B</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>スクリーンアウトの考え方                  ①プラント停止運転時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルポジションとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない（動作要求のない原子炉格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む）。                  ②原子炉格納容器内の防護対象設備は温度、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐震設計であるため機能喪失しない。又は、溢水現象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。                  ③ダンプ、熱弁、遮断弁、平衡弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。                  ④他の設備で代替できる。</p> <p>＜溢水影響評価対象機とは記＞                  *1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対応設備を明確にするために防護対象設備リストに追加した。一方、機能喪失時は「—」として溢水影響評価の対象外とした。</p>	系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関		○	—	4A, 4Bディーゼル発電機		○	—	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ	40CC-A, B	○	—	4A, 4Bディーゼル発電機制御盤	40CA, B	○	—	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (20/24)</p> <table border="1" data-bbox="705 215 1265 965"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由*1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F003</td> <td>D/W LCVサンプ第一隔離弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F103</td> <td>D/W HCVサンプ第一隔離弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-B001A</td> <td>残留熱除去系熱交換器（A）</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-B001B</td> <td>残留熱除去系熱交換器（B）</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-D001A</td> <td>残留熱除去系A系ストレーナ</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-D001B</td> <td>残留熱除去系B系ストレーナ</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-D001C</td> <td>残留熱除去系C系ストレーナ</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-0PT009A</td> <td>L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝送器</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-0PT009B</td> <td>L P C I系B・C注入ライン差圧伝送器</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F012A</td> <td>R H R A系試験用調整弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F012B</td> <td>R H R B系試験用調整弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F012C</td> <td>R H R C系試験用調整弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F014A</td> <td>R H R A系停止時冷却吸込弁</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F014B</td> <td>R H R B系停止時冷却吸込弁</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F015A</td> <td>R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F015B</td> <td>R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F021</td> <td>R H R ヘッドスブレイ注入隔離弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F044A</td> <td>R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F044B</td> <td>R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F044C</td> <td>R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F045A</td> <td>R H R A系 R W連絡第一弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F045B</td> <td>R H R B系 R W連絡第一弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F049A</td> <td>R H R A系系統隔離弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F049B</td> <td>R H R B系系統隔離弁</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F058A</td> <td>R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F058B</td> <td>R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>BD</td> <td>E11-F014</td> <td>原子炉ヘッドスブレイ流量変換器</td> <td>③</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 評価対象外とした理由                  ①溢水より機能を喪失しない                  ②FCV内耐震設計の設備                  ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない                  ④他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由*1	BD	E11-F003	D/W LCVサンプ第一隔離弁	②	BD	E11-F103	D/W HCVサンプ第一隔離弁	②	BD	E11-B001A	残留熱除去系熱交換器（A）	①	BD	E11-B001B	残留熱除去系熱交換器（B）	①	BD	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレーナ	①	BD	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレーナ	①	BD	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレーナ	①	BD	E11-0PT009A	L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝送器	③	BD	E11-0PT009B	L P C I系B・C注入ライン差圧伝送器	③	BD	E11-F012A	R H R A系試験用調整弁	③	BD	E11-F012B	R H R B系試験用調整弁	③	BD	E11-F012C	R H R C系試験用調整弁	③	BD	E11-F014A	R H R A系停止時冷却吸込弁	①	BD	E11-F014B	R H R B系停止時冷却吸込弁	①	BD	E11-F015A	R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	②	BD	E11-F015B	R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	②	BD	E11-F021	R H R ヘッドスブレイ注入隔離弁	③	BD	E11-F044A	R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BD	E11-F044B	R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BD	E11-F044C	R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BD	E11-F045A	R H R A系 R W連絡第一弁	③	BD	E11-F045B	R H R B系 R W連絡第一弁	③	BD	E11-F049A	R H R A系系統隔離弁	③	BD	E11-F049B	R H R B系系統隔離弁	③	BD	E11-F058A	R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②	BD	E11-F058B	R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②	BD	E11-F014	原子炉ヘッドスブレイ流量変換器	③		<p>【大阪】                  記載表現の相違                  女川審査実績の反映                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p>
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方																																																																																																																																					
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関		○	—																																																																																																																																					
	4A, 4Bディーゼル発電機		○	—																																																																																																																																					
	4A, 4Bディーゼル発電機コントロールセンサ	40CC-A, B	○	—																																																																																																																																					
	4A, 4Bディーゼル発電機制御盤	40CA, B	○	—																																																																																																																																					
系統	機器番号	設備	理由*1																																																																																																																																						
BD	E11-F003	D/W LCVサンプ第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F103	D/W HCVサンプ第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-B001A	残留熱除去系熱交換器（A）	①																																																																																																																																						
BD	E11-B001B	残留熱除去系熱交換器（B）	①																																																																																																																																						
BD	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BD	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BD	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BD	E11-0PT009A	L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝送器	③																																																																																																																																						
BD	E11-0PT009B	L P C I系B・C注入ライン差圧伝送器	③																																																																																																																																						
BD	E11-F012A	R H R A系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F012B	R H R B系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F012C	R H R C系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F014A	R H R A系停止時冷却吸込弁	①																																																																																																																																						
BD	E11-F014B	R H R B系停止時冷却吸込弁	①																																																																																																																																						
BD	E11-F015A	R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F015B	R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F021	R H R ヘッドスブレイ注入隔離弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F044A	R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F044B	R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F044C	R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F045A	R H R A系 R W連絡第一弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F045B	R H R B系 R W連絡第一弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F049A	R H R A系系統隔離弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F049B	R H R B系系統隔離弁	③																																																																																																																																						
BD	E11-F058A	R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F058B	R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BD	E11-F014	原子炉ヘッドスブレイ流量変換器	③																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (21/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 209 1270 981"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI001A</td><td>RHRポンプ(A) 入口圧力</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI001B</td><td>RHRポンプ(B) 入口圧力</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI001C</td><td>RHRポンプ(C) 入口圧力</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI004A</td><td>RHRポンプ(A) 出口圧力</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI004B</td><td>RHRポンプ(B) 出口圧力</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PI004C</td><td>RHRポンプ(C) 出口圧力</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005A</td><td>RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005B</td><td>RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT005C</td><td>RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT013A</td><td>RHR A系入口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-PT013B</td><td>RHR B系入口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE007A</td><td>RHR熱交換器(A) 出口温度検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE007B</td><td>RHR熱交換器(B) 出口温度検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE010A</td><td>RHR熱交換器(A) 入口温度検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>E11-TE010B</td><td>RHR熱交換器(B) 入口温度検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001A</td><td>原子炉補機冷却係水系ストレータ(A)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001B</td><td>原子炉補機冷却係水系ストレータ(B)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001C</td><td>原子炉補機冷却係水系ストレータ(C)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001D</td><td>原子炉補機冷却係水系ストレータ(D)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003A</td><td>R C W熱交換器(A) 管側差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003B</td><td>R C W熱交換器(B) 管側差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003C</td><td>R C W熱交換器(C) 管側差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003D</td><td>R C W熱交換器(D) 管側差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001A</td><td>R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001B</td><td>R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001C</td><td>R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001D</td><td>R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由                  ㊸ 海水により機能を喪失しない。                  ㊹ PCV内耐震増設仕様の設備                  ㊺ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない。                  ㊻ 他の設備で代替できる。</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	RHR	E11-PI001A	RHRポンプ(A) 入口圧力	㊸	RHR	E11-PI001B	RHRポンプ(B) 入口圧力	㊸	RHR	E11-PI001C	RHRポンプ(C) 入口圧力	㊸	RHR	E11-PI004A	RHRポンプ(A) 出口圧力	㊸	RHR	E11-PI004B	RHRポンプ(B) 出口圧力	㊸	RHR	E11-PI004C	RHRポンプ(C) 出口圧力	㊸	RHR	E11-PT005A	RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器	㊸	RHR	E11-PT005B	RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器	㊸	RHR	E11-PT005C	RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器	㊸	RHR	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	㊸	RHR	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	㊸	RHR	E11-TE007A	RHR熱交換器(A) 出口温度検出器	㊸	RHR	E11-TE007B	RHR熱交換器(B) 出口温度検出器	㊸	RHR	E11-TE010A	RHR熱交換器(A) 入口温度検出器	㊸	RHR	E11-TE010B	RHR熱交換器(B) 入口温度検出器	㊸	RSW	P45-D001A	原子炉補機冷却係水系ストレータ(A)	㊸	RSW	P45-D001B	原子炉補機冷却係水系ストレータ(B)	㊸	RSW	P45-D001C	原子炉補機冷却係水系ストレータ(C)	㊸	RSW	P45-D001D	原子炉補機冷却係水系ストレータ(D)	㊸	RSW	P45-4PI003A	R C W熱交換器(A) 管側差圧指示計	㊸	RSW	P45-4PI003B	R C W熱交換器(B) 管側差圧指示計	㊸	RSW	P45-4PI003C	R C W熱交換器(C) 管側差圧指示計	㊸	RSW	P45-4PI003D	R C W熱交換器(D) 管側差圧指示計	㊸	RSW	P45-PI001A	R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計	㊸	RSW	P45-PI001B	R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計	㊸	RSW	P45-PI001C	R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計	㊸	RSW	P45-PI001D	R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計	㊸		<p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
RHR	E11-PI001A	RHRポンプ(A) 入口圧力	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PI001B	RHRポンプ(B) 入口圧力	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PI001C	RHRポンプ(C) 入口圧力	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PI004A	RHRポンプ(A) 出口圧力	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PI004B	RHRポンプ(B) 出口圧力	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PI004C	RHRポンプ(C) 出口圧力	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PT005A	RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PT005B	RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PT005C	RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-TE007A	RHR熱交換器(A) 出口温度検出器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-TE007B	RHR熱交換器(B) 出口温度検出器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-TE010A	RHR熱交換器(A) 入口温度検出器	㊸																																																																																																																
RHR	E11-TE010B	RHR熱交換器(B) 入口温度検出器	㊸																																																																																																																
RSW	P45-D001A	原子炉補機冷却係水系ストレータ(A)	㊸																																																																																																																
RSW	P45-D001B	原子炉補機冷却係水系ストレータ(B)	㊸																																																																																																																
RSW	P45-D001C	原子炉補機冷却係水系ストレータ(C)	㊸																																																																																																																
RSW	P45-D001D	原子炉補機冷却係水系ストレータ(D)	㊸																																																																																																																
RSW	P45-4PI003A	R C W熱交換器(A) 管側差圧指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-4PI003B	R C W熱交換器(B) 管側差圧指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-4PI003C	R C W熱交換器(C) 管側差圧指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-4PI003D	R C W熱交換器(D) 管側差圧指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-PI001A	R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-PI001B	R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-PI001C	R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計	㊸																																																																																																																
RSW	P45-PI001D	R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計	㊸																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (22/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 209 1270 983"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ESW</td><td>F45-F1001A</td><td>R SWポンプ (A) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-F1001B</td><td>R SWポンプ (B) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-F1001C</td><td>R SWポンプ (C) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-F1001D</td><td>R SWポンプ (D) 出口圧力伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-T1004A</td><td>R CW熱交換器 (A) 海水出口温度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-T1004B</td><td>R CW熱交換器 (B) 海水出口温度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-T1004C</td><td>R CW熱交換器 (C) 海水出口温度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>F45-T1004D</td><td>R CW熱交換器 (D) 海水出口温度</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-W1002A</td><td>空気乾燥装置 (A) デミスタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-W1002B</td><td>空気乾燥装置 (B) デミスタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-W1004</td><td>フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-W1005</td><td>フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-W1010</td><td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-W1013</td><td>フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001A</td><td>非常用ガス処理系入口弁 (A)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001B</td><td>非常用ガス処理系入口弁 (B)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41</td><td>ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-M001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-M003A</td><td>ほう酸水注入系アクムレータ (A)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-M003B</td><td>ほう酸水注入系アクムレータ (B)</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-B001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-B002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-LE001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-P1010A</td><td>ほう酸水注入系ポンプ (A) 潤滑油圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>C41-P1010B</td><td>ほう酸水注入系ポンプ (B) 潤滑油圧力指示計</td><td>㊸</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由                  ㊸ 溢水により機能を喪失しない                  ㊹ PCV内耐環境仕様の設備                  ㊺ 動作確率の喪失により安全機能に影響しない                  ㊻ 別の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	ESW	F45-F1001A	R SWポンプ (A) 出口圧力伝送器	㊸	ESW	F45-F1001B	R SWポンプ (B) 出口圧力伝送器	㊸	ESW	F45-F1001C	R SWポンプ (C) 出口圧力伝送器	㊸	ESW	F45-F1001D	R SWポンプ (D) 出口圧力伝送器	㊸	ESW	F45-T1004A	R CW熱交換器 (A) 海水出口温度	㊸	ESW	F45-T1004B	R CW熱交換器 (B) 海水出口温度	㊸	ESW	F45-T1004C	R CW熱交換器 (C) 海水出口温度	㊸	ESW	F45-T1004D	R CW熱交換器 (D) 海水出口温度	㊸	SGTS	T46-W1002A	空気乾燥装置 (A) デミスタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-W1002B	空気乾燥装置 (B) デミスタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-W1004	フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-W1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-W1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-W1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸	SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁 (A)	㊸	SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁 (B)	㊸	SLC	C41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊸	SLC	C41-M001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊸	SLC	C41-M003A	ほう酸水注入系アクムレータ (A)	㊸	SLC	C41-M003B	ほう酸水注入系アクムレータ (B)	㊸	SLC	C41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	㊸	SLC	C41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ	㊸	SLC	C41-LE001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊸	SLC	C41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊸	SLC	C41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊸	SLC	C41-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ (A) 潤滑油圧力指示計	㊸	SLC	C41-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ (B) 潤滑油圧力指示計	㊸		<p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
ESW	F45-F1001A	R SWポンプ (A) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
ESW	F45-F1001B	R SWポンプ (B) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
ESW	F45-F1001C	R SWポンプ (C) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
ESW	F45-F1001D	R SWポンプ (D) 出口圧力伝送器	㊸																																																																																																																
ESW	F45-T1004A	R CW熱交換器 (A) 海水出口温度	㊸																																																																																																																
ESW	F45-T1004B	R CW熱交換器 (B) 海水出口温度	㊸																																																																																																																
ESW	F45-T1004C	R CW熱交換器 (C) 海水出口温度	㊸																																																																																																																
ESW	F45-T1004D	R CW熱交換器 (D) 海水出口温度	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-W1002A	空気乾燥装置 (A) デミスタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-W1002B	空気乾燥装置 (B) デミスタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-W1004	フィルタ装置中性能エアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-W1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-W1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-W1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁 (A)	㊸																																																																																																																
SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁 (B)	㊸																																																																																																																
SLC	C41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊸																																																																																																																
SLC	C41-M001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊸																																																																																																																
SLC	C41-M003A	ほう酸水注入系アクムレータ (A)	㊸																																																																																																																
SLC	C41-M003B	ほう酸水注入系アクムレータ (B)	㊸																																																																																																																
SLC	C41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	㊸																																																																																																																
SLC	C41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保温用ヒータ	㊸																																																																																																																
SLC	C41-LE001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊸																																																																																																																
SLC	C41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊸																																																																																																																
SLC	C41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊸																																																																																																																
SLC	C41-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ (A) 潤滑油圧力指示計	㊸																																																																																																																
SLC	C41-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ (B) 潤滑油圧力指示計	㊸																																																																																																																



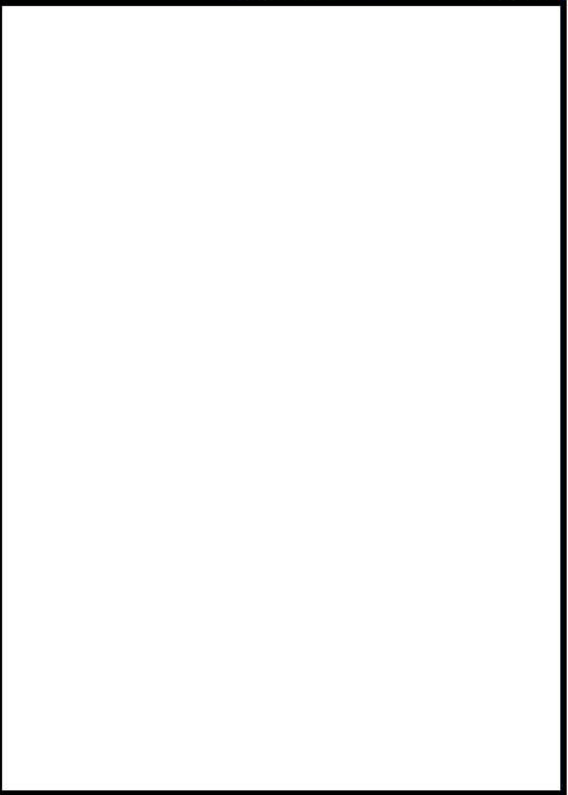
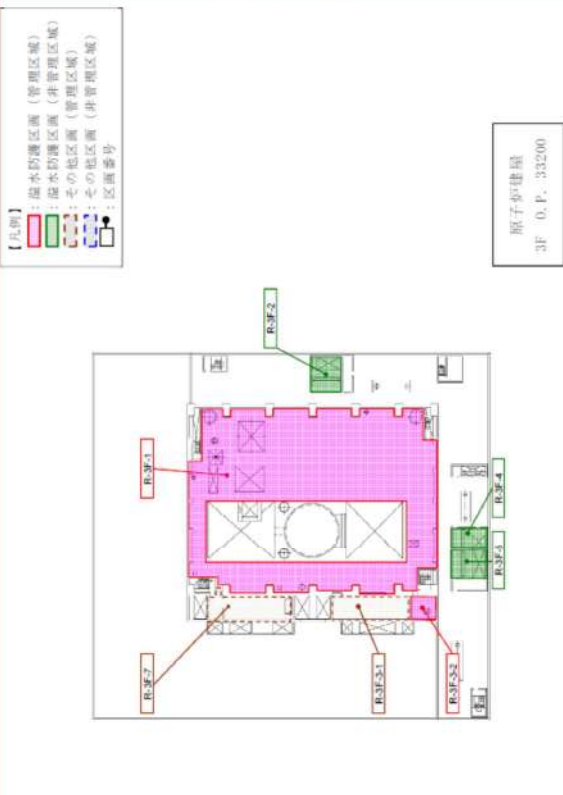
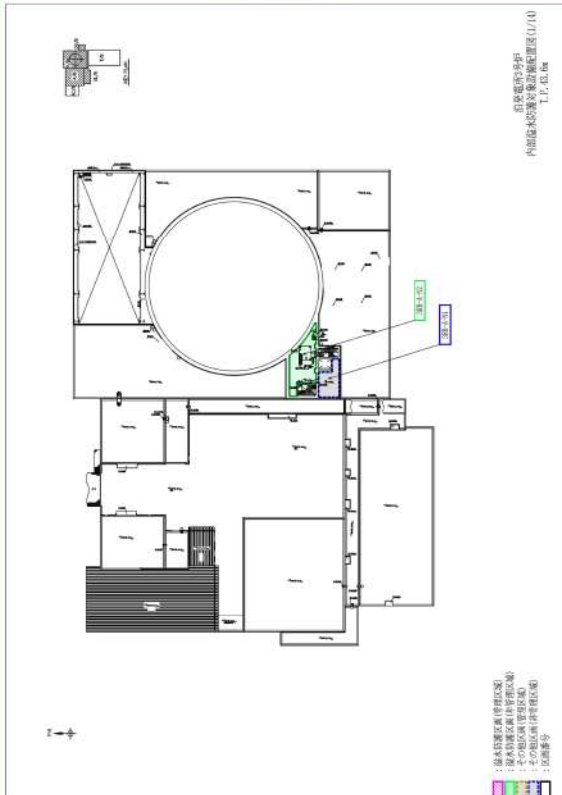
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (23/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 212 1270 986"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SIC</td><td>E41-TE002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SIC</td><td>E41-TE003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SIC</td><td>E41-TE004</td><td>S L C貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>SIC</td><td>E41-TIS002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SIC</td><td>E41-TIS003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>SIC</td><td>E41-TIS004</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度</td><td>④</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE001A</td><td>サブプレッションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE001B</td><td>サブプレッションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE002A</td><td>サブプレッションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE002B</td><td>サブプレッションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE003A</td><td>サブプレッションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE003B</td><td>サブプレッションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE004A</td><td>サブプレッションプール水温度（7.0°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE004B</td><td>サブプレッションプール水温度（7.0°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE005A</td><td>サブプレッションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE005B</td><td>サブプレッションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE006A</td><td>サブプレッションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE006B</td><td>サブプレッションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE007A</td><td>サブプレッションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE007B</td><td>サブプレッションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE008A</td><td>サブプレッションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE008B</td><td>サブプレッションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE009A</td><td>サブプレッションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE009B</td><td>サブプレッションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE010A</td><td>サブプレッションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE010B</td><td>サブプレッションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>SFTM</td><td>T11-TE011A</td><td>サブプレッションプール水温度（23.6°）</td><td>②</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由                  ①未知より機能を喪失しない                  ②PCV内耐震減仕様の設備                  ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない                  ④他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	SIC	E41-TE002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	SIC	E41-TE003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	SIC	E41-TE004	S L C貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度検出器	③	SIC	E41-TIS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	SIC	E41-TIS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	SIC	E41-TIS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度	④	SFTM	T11-TE001A	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②	SFTM	T11-TE001B	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②	SFTM	T11-TE002A	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②	SFTM	T11-TE002B	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②	SFTM	T11-TE003A	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②	SFTM	T11-TE003B	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②	SFTM	T11-TE004A	サブプレッションプール水温度（7.0°）	②	SFTM	T11-TE004B	サブプレッションプール水温度（7.0°）	②	SFTM	T11-TE005A	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②	SFTM	T11-TE005B	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②	SFTM	T11-TE006A	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②	SFTM	T11-TE006B	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②	SFTM	T11-TE007A	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②	SFTM	T11-TE007B	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②	SFTM	T11-TE008A	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②	SFTM	T11-TE008B	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②	SFTM	T11-TE009A	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②	SFTM	T11-TE009B	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②	SFTM	T11-TE010A	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②	SFTM	T11-TE010B	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②	SFTM	T11-TE011A	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②		<p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																																																
SIC	E41-TE002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
SIC	E41-TE003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
SIC	E41-TE004	S L C貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度検出器	③																																																																																																																
SIC	E41-TIS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
SIC	E41-TIS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
SIC	E41-TIS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータシース表面温度	④																																																																																																																
SFTM	T11-TE001A	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE001B	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE002A	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE002B	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE003A	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE003B	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE004A	サブプレッションプール水温度（7.0°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE004B	サブプレッションプール水温度（7.0°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE005A	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE005B	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE006A	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE006B	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE007A	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE007B	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE008A	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE008B	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE009A	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE009B	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE010A	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE010B	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
SFTM	T11-TE011A	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②																																																																																																																

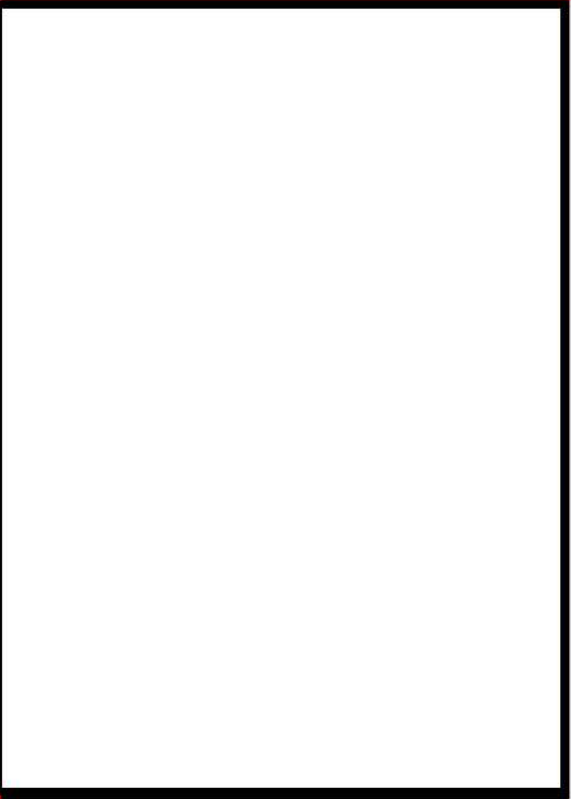
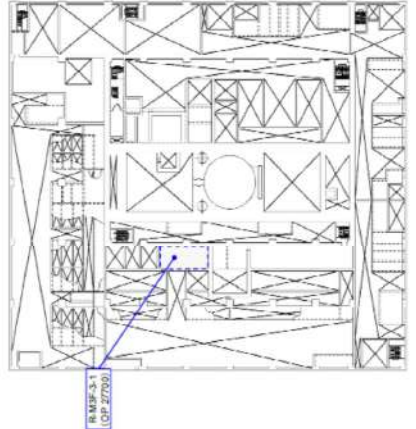
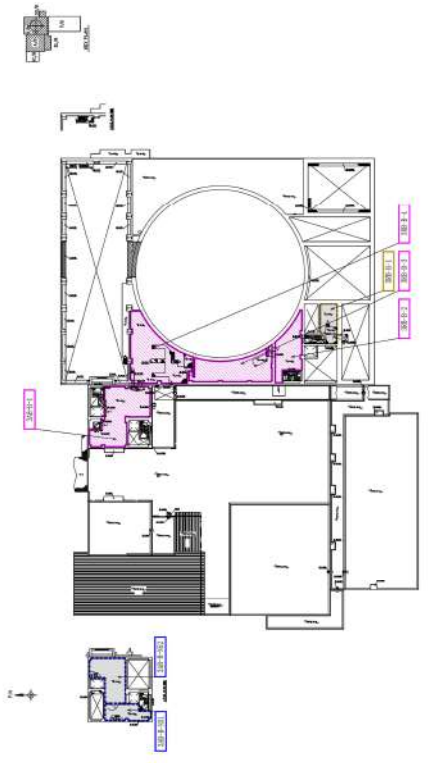
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (24/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 213 1270 769"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由<sup>※1</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE011D</td><td>サブプレッションプール水温度(236°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012A</td><td>サブプレッションプール水温度(259°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012B</td><td>サブプレッションプール水温度(259°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013A</td><td>サブプレッションプール水温度(281°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013B</td><td>サブプレッションプール水温度(281°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014A</td><td>サブプレッションプール水温度(304°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014B</td><td>サブプレッションプール水温度(304°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015A</td><td>サブプレッションプール水温度(326°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015B</td><td>サブプレッションプール水温度(326°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016A</td><td>サブプレッションプール水温度(349°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016B</td><td>サブプレッションプール水温度(349°)</td><td>②</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>F51-F081A</td><td>TIPバルブアセンブリ(ボール弁A・爆発弁A)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>F51-F081B</td><td>TIPバルブアセンブリ(ボール弁B・爆発弁B)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>F51-F081C</td><td>TIPバルブアセンブリ(ボール弁C・爆発弁C)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>F51-F081D</td><td>TIPバルブアセンブリ(ボール弁D・爆発弁D)</td><td>③</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>F51-F083</td><td>TIPバージ隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>手動弁一式</td><td>①</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>逆止弁一式</td><td>①</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>配管一式</td><td>①</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由                  ①溢水により機能を喪失しない                  ②PCV内耐腐蝕仕様の設置                  ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない                  ④他の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>	SPTM	T11-TE011D	サブプレッションプール水温度(236°)	②	SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度(259°)	②	SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度(259°)	②	SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度(281°)	②	SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度(281°)	②	SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度(304°)	②	SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度(304°)	②	SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度(326°)	②	SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度(326°)	②	SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度(349°)	②	SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度(349°)	②	TIP	F51-F081A	TIPバルブアセンブリ(ボール弁A・爆発弁A)	③	TIP	F51-F081B	TIPバルブアセンブリ(ボール弁B・爆発弁B)	③	TIP	F51-F081C	TIPバルブアセンブリ(ボール弁C・爆発弁C)	③	TIP	F51-F081D	TIPバルブアセンブリ(ボール弁D・爆発弁D)	③	TIP	F51-F083	TIPバージ隔離弁	③	その他	-	手動弁一式	①	その他	-	逆止弁一式	①	その他	-	配管一式	①		<p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 <sup>※1</sup>																																																																																
SPTM	T11-TE011D	サブプレッションプール水温度(236°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度(259°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度(259°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度(281°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度(281°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度(304°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度(304°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度(326°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度(326°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度(349°)	②																																																																																
SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度(349°)	②																																																																																
TIP	F51-F081A	TIPバルブアセンブリ(ボール弁A・爆発弁A)	③																																																																																
TIP	F51-F081B	TIPバルブアセンブリ(ボール弁B・爆発弁B)	③																																																																																
TIP	F51-F081C	TIPバルブアセンブリ(ボール弁C・爆発弁C)	③																																																																																
TIP	F51-F081D	TIPバルブアセンブリ(ボール弁D・爆発弁D)	③																																																																																
TIP	F51-F083	TIPバージ隔離弁	③																																																																																
その他	-	手動弁一式	①																																																																																
その他	-	逆止弁一式	①																																																																																
その他	-	配管一式	①																																																																																

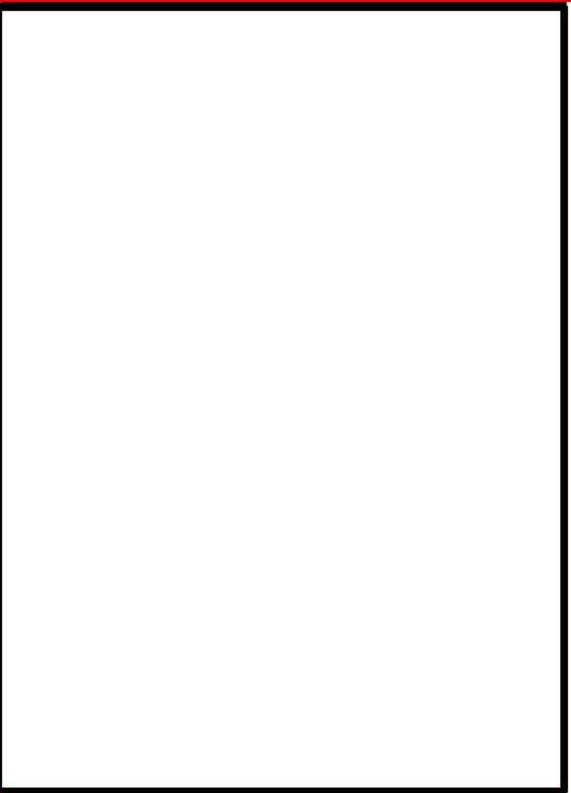

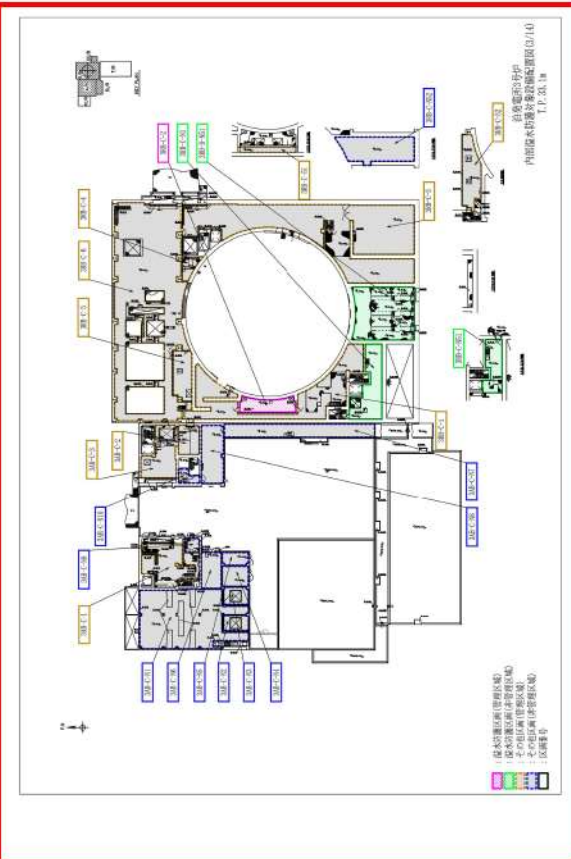
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.3-1	添付資料 7	添付資料 7	
溢水防護区画の設定	溢水防護区画図	溢水防護区画図	【大阪】 記載表現の相違
 <p data-bbox="114 1053 680 1093">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="705 263 817 510">【凡例】                  溢水防護区画（管理区域）                  溢水防護区画（非管理区域）                  その他区画（管理区域）                  その他区画（非管理区域）                  ；：区画番号</p> <p data-bbox="1198 375 1265 510">原子力発電所 3F 0.P. 33200</p>	 <p data-bbox="1780 255 1848 406">内部給水配管管線設置位置図(1/10) L.P. 03. 0m</p> <p data-bbox="1780 917 1848 1053">溢水防護区画(管理区域)                  溢水防護区画(非管理区域)                  その他区画(管理区域)                  その他区画(非管理区域)                  ；：区画番号</p>	<p data-bbox="1865 247 1982 271">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1865 279 1982 303">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1865 311 2136 335">プラント構成及び機器配置の相違</p>

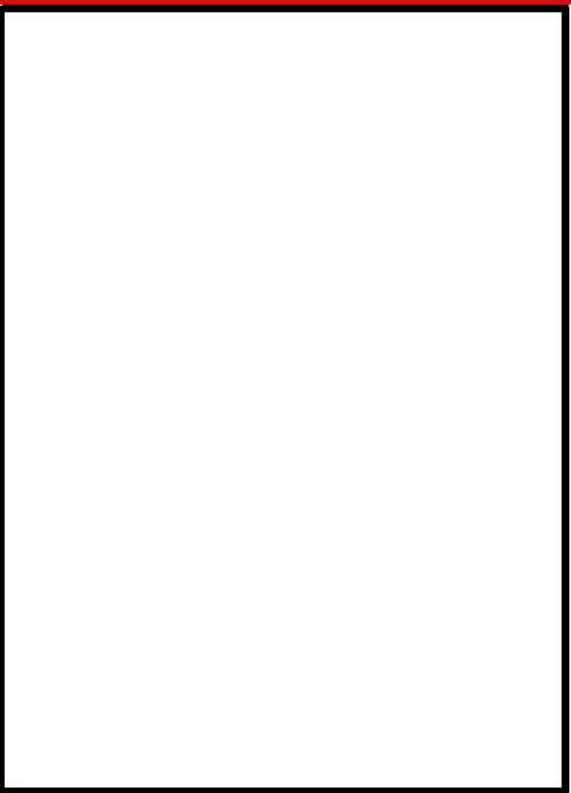
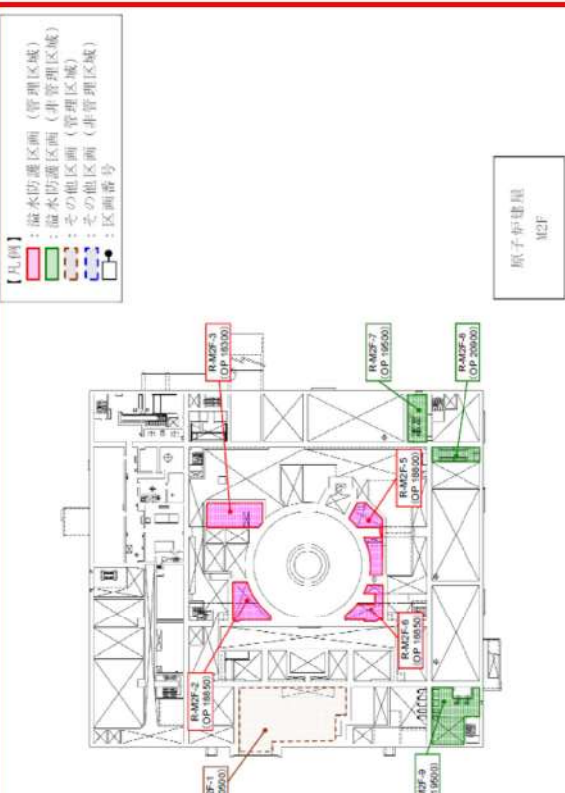
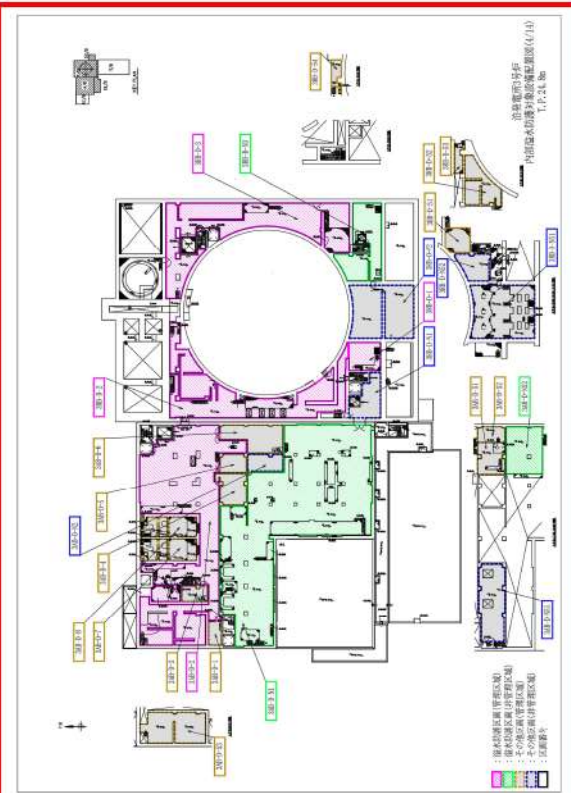
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="257 997 672 1021">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="705 199 817 454">【凡例】                  ■ 基本防護区域（管理区域）                  ■ 溢水防護区域（非管理区域）                  ■ その他区域（管理区域）                  ■ その他区域（非管理区域）                  ■ 区画番号</p> <p data-bbox="1198 327 1265 470">原子炉建屋 M3F</p> 	 <p data-bbox="1780 183 1848 343">図例番号の付与 内部溢水防護対象設備設置図(1) T.P. 49.3a</p> <p data-bbox="1780 853 1848 981">■ 基本防護区域（管理区域）                  ■ 溢水防護区域（非管理区域）                  ■ その他区域（管理区域）                  ■ その他区域（非管理区域）                  ■ 区画番号</p>	<p data-bbox="1877 183 1982 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1877 215 1993 231">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 263">プラント構成及び機器配置の相違</p>

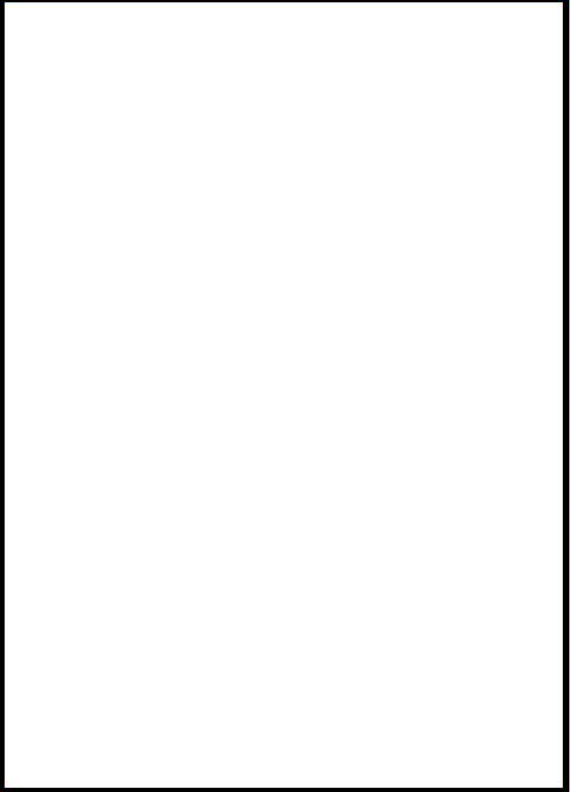
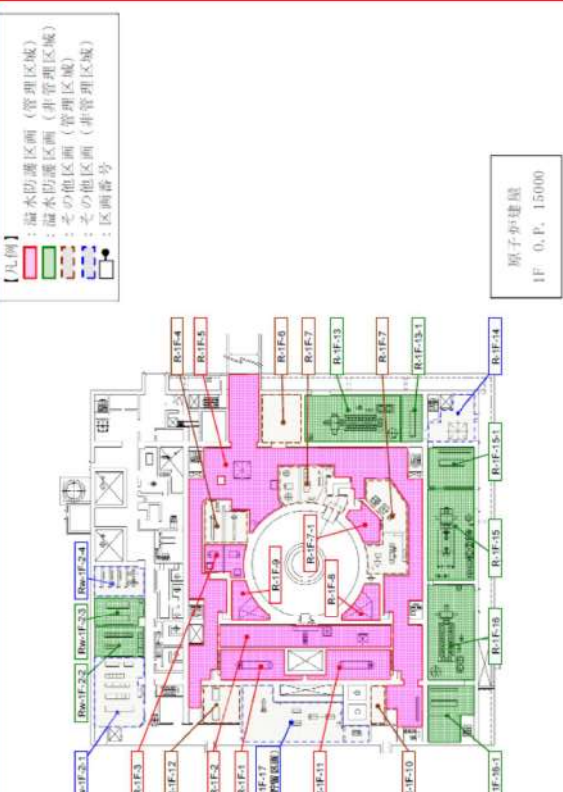
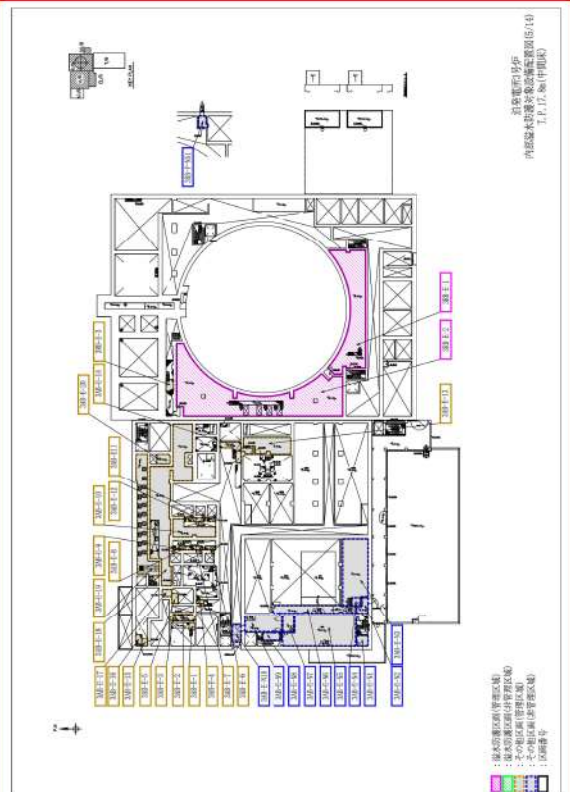
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="257 989 672 1021">作組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 199 817 470">【凡例】                  ■：基本防護区域 (管理区域)                  ■：氾水防護区域 (非管理区域)                  ■：その他区域 (管理区域)                  ■：その他区域 (非管理区域)                  □：区域番号</p> <p data-bbox="1198 335 1265 470">原子炉建屋 2F O.P. 22500</p>	 <p data-bbox="1758 845 1848 973">基本防護区域 (管理区域)                  氾水防護区域 (非管理区域)                  その他区域 (管理区域)                  その他区域 (非管理区域)                  区域番号</p>	<p data-bbox="1874 177 1982 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1874 215 1993 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2130 269">プラント構成及び機器配置の相違</p>

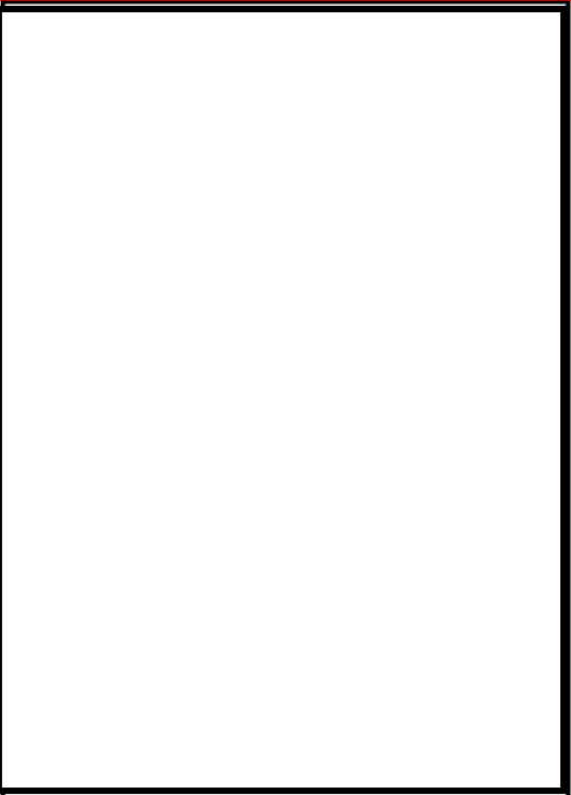

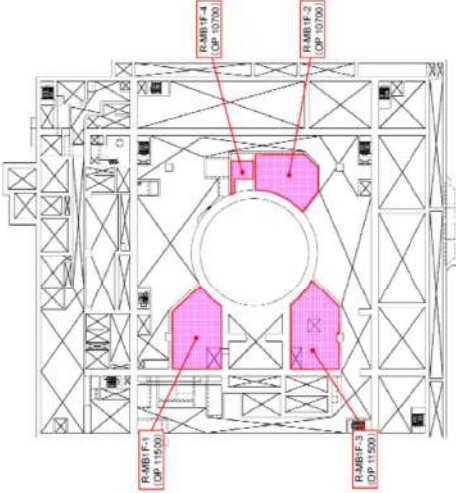
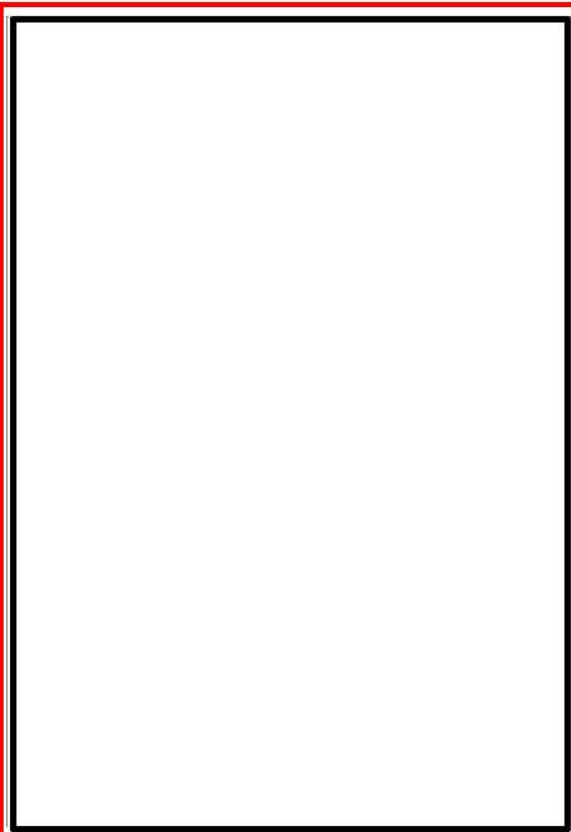
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 981 683 1029">※組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 183 817 478">【凡例】                  ■：溢水防護区域（管理区域）                  ■：溢水防護区域（非管理区域）                  ■：その他区域（管理区域）                  ■：その他区域（非管理区域）                  ■：区域番号</p> <p data-bbox="1187 335 1265 478">原子炉建屋 M2F</p>	 <p data-bbox="1758 183 1836 319">泊発電所3号炉 内部溢水の発生集積区域(注) 1F、2F、3F</p> <p data-bbox="1758 845 1836 973">■：溢水防護区域(管理区域)                  ■：溢水防護区域(非管理区域)                  ■：その他区域(管理区域)                  ■：その他区域(非管理区域)                  ■：区域番号</p>	<p data-bbox="1868 175 1982 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1868 215 1993 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1868 247 2128 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

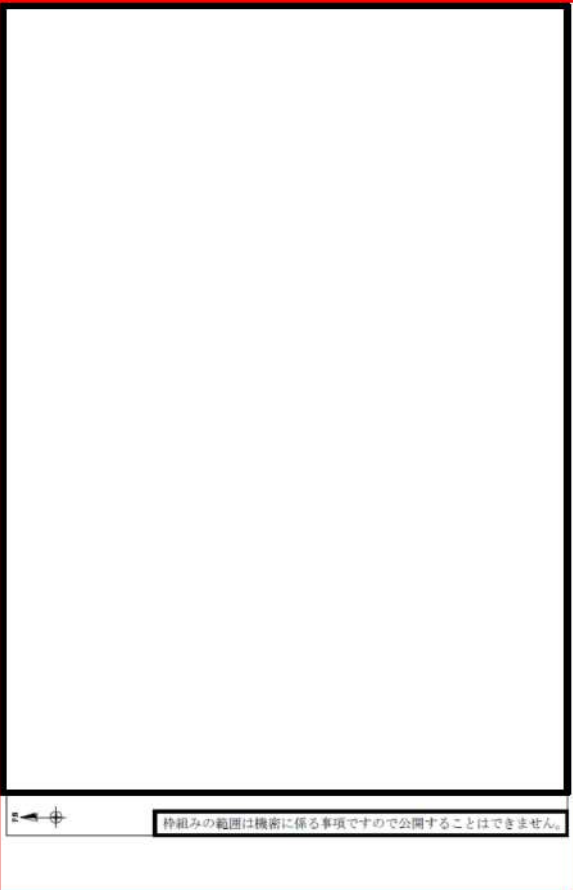
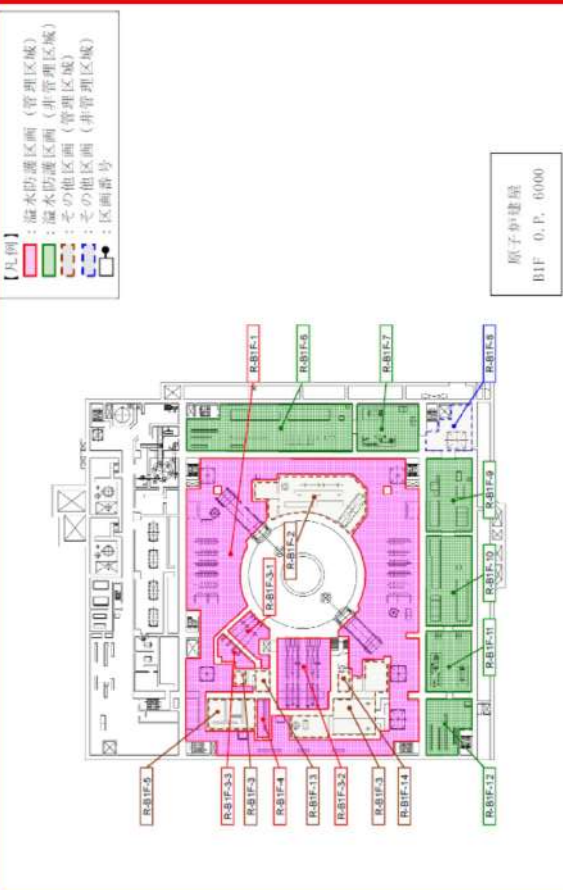
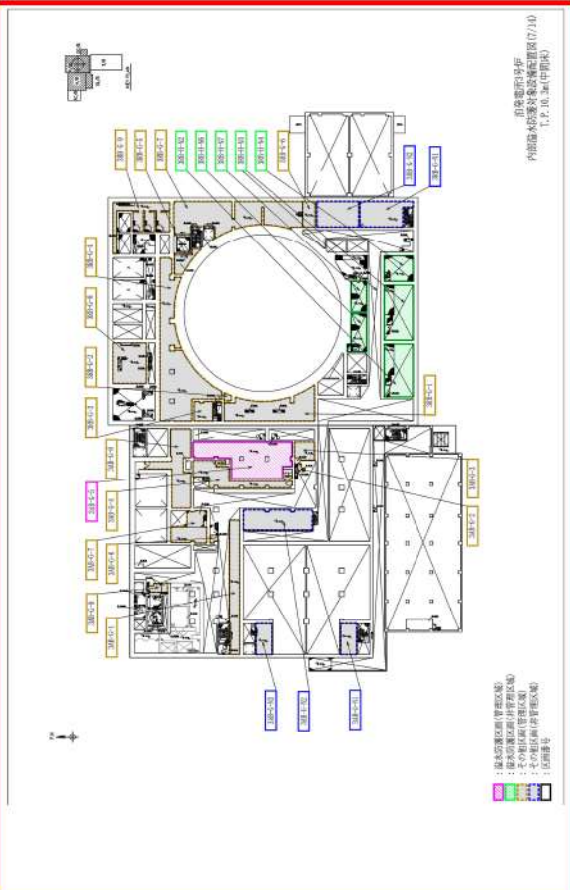
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 981 683 1029">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="705 199 817 470">【凡例】                  赤：溢水防護区画 (管理区画)                  緑：溢水防護区画 (非管理区画)                  青：その他区画 (管理区画)                  黄：その他区画 (非管理区画)                  白：区画番号</p> <p data-bbox="1187 335 1254 470">原子力発電所                  1F 0. P. 15000</p>	 <p data-bbox="1769 183 1848 343">泊発電所3号炉                  内部設備配置図(設計図)                  1.F.17. (中図)</p> <p data-bbox="1769 845 1848 973">赤：溢水防護区画 (管理区画)                  緑：溢水防護区画 (非管理区画)                  青：その他区画 (管理区画)                  黄：その他区画 (非管理区画)                  白：区画番号</p>	<p data-bbox="1872 178 1982 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 215 1982 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2128 268">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


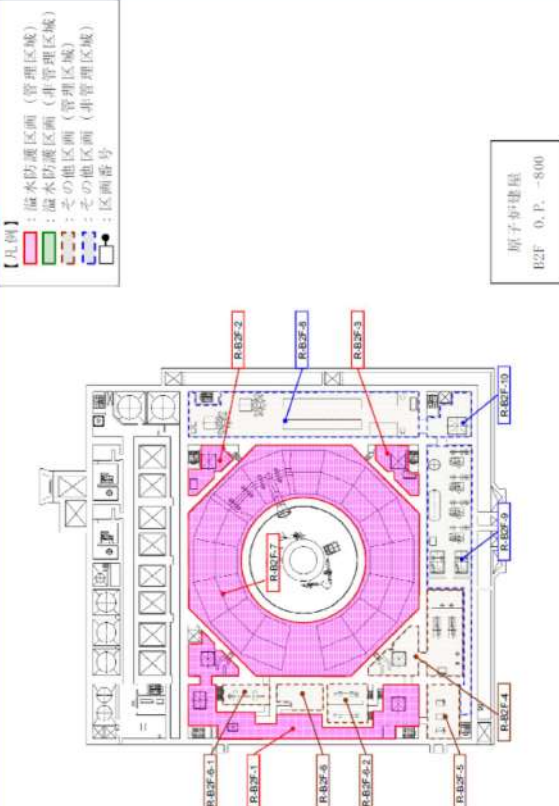
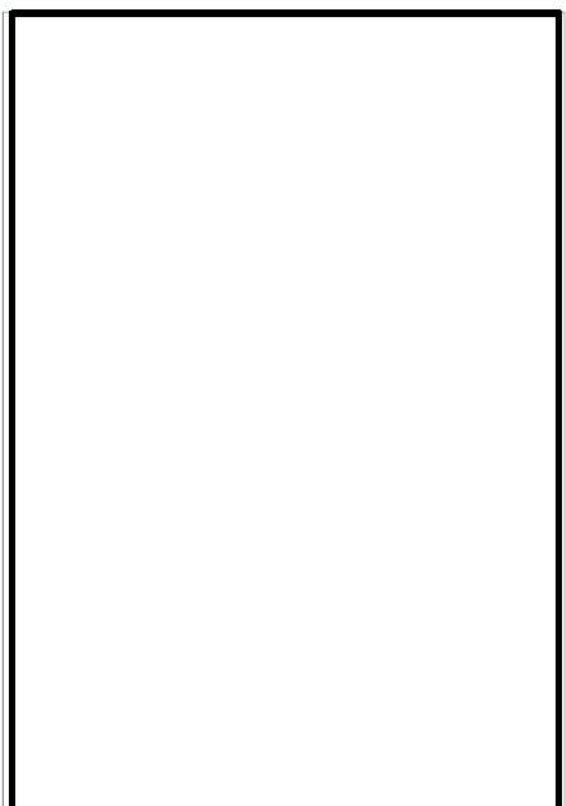
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 986 683 1018">  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</span> </p>	<div data-bbox="703 199 824 480" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #f08080; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：溢水防護区域（管理区域）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #90ee90; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：溢水防護区域（非管理区域）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #add8e6; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：その他区域（管理区域）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #9370db; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：その他区域（非管理区域）</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: #ffff00; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span>：区域番号</li> </ul> </div> <div data-bbox="757 507 1211 1002" style="text-align: center;">  </div>	 <p data-bbox="1285 1038 1854 1070"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</span> </p>	<p>【女川・大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>



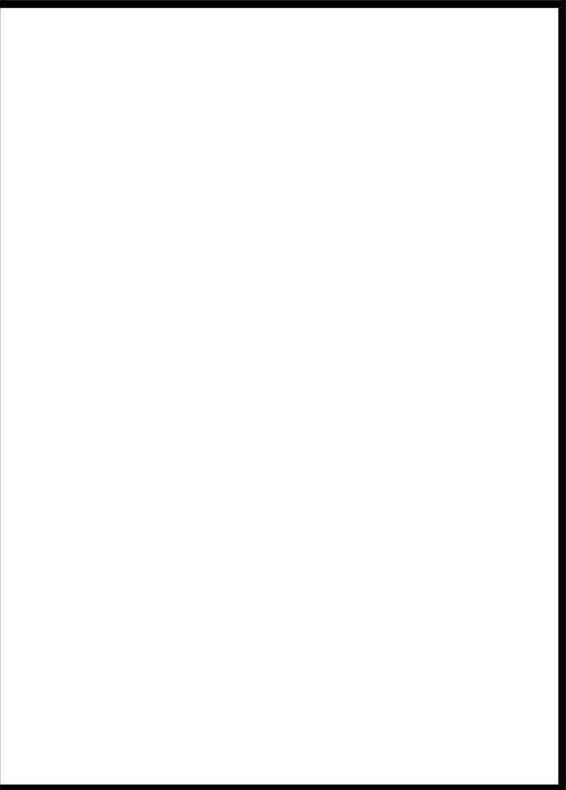
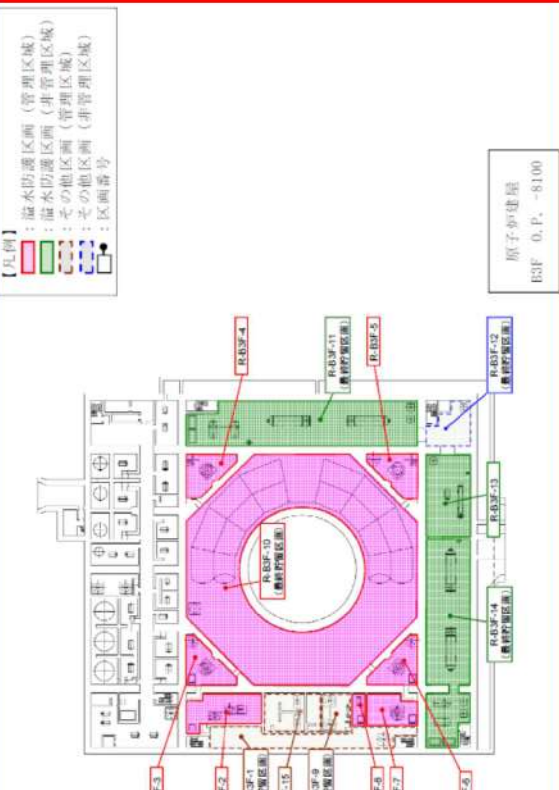
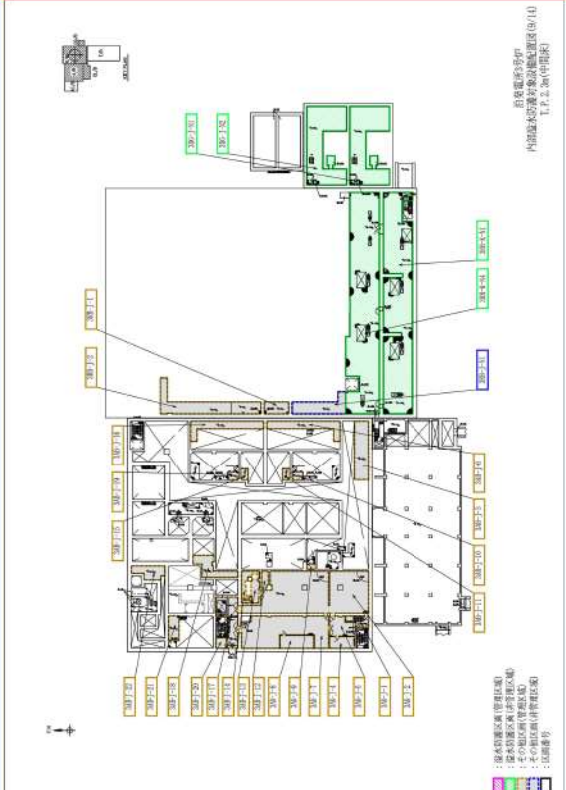
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="257 989 672 1013">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="705 406 817 470">【凡例】                  ■：溢水防護区域 (管理区域)                  ■：溢水防護区域 (非管理区域)                  ■：その他区域 (管理区域)                  ■：その他区域 (非管理区域)                  ○：区域番号</p> <p data-bbox="1198 335 1254 470">原子炉建屋 B1F 0.F. 6000</p>	 <p data-bbox="1769 853 1848 981">■：溢水防護区域 (管理区域)                  ■：溢水防護区域 (非管理区域)                  ■：その他区域 (管理区域)                  ■：その他区域 (非管理区域)                  ○：区域番号</p> <p data-bbox="1792 183 1848 343">泊発電所3号炉 外部設備の対称配置位置図(7/10 1.F.10.3a(中間版))</p>	<p data-bbox="1870 175 1982 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1870 215 1993 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2128 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>


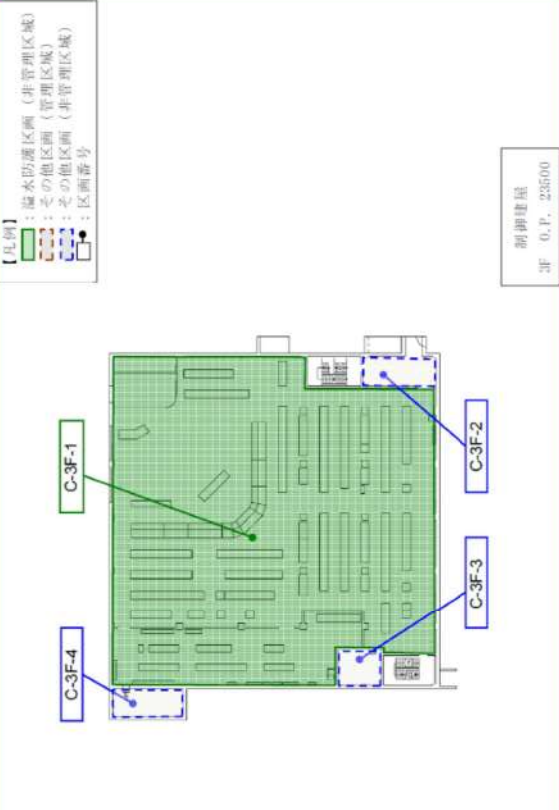
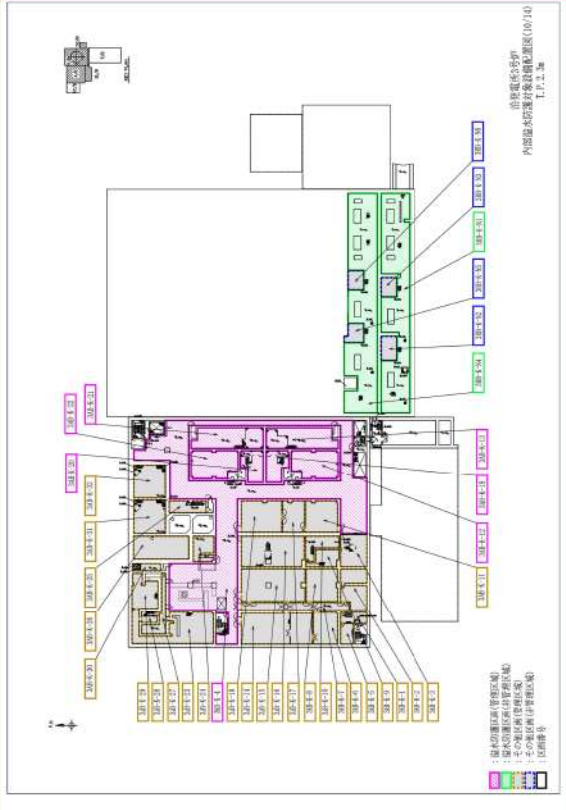
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1008 680 1034">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 1008 1263 1034">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p data-bbox="1290 1008 1854 1034">枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1872 185 2134 210">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 217 2134 242">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 248 2134 274">プラント構成及び機器配置の相違</p>

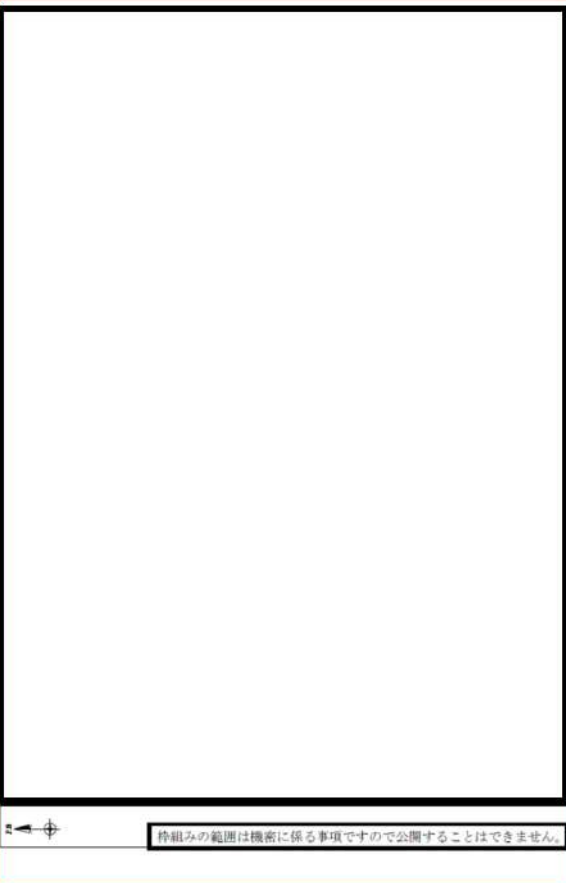
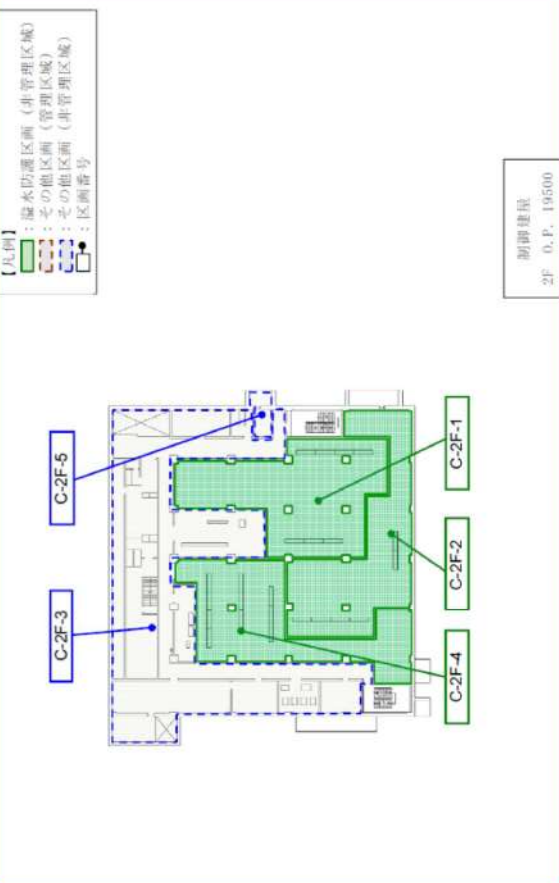
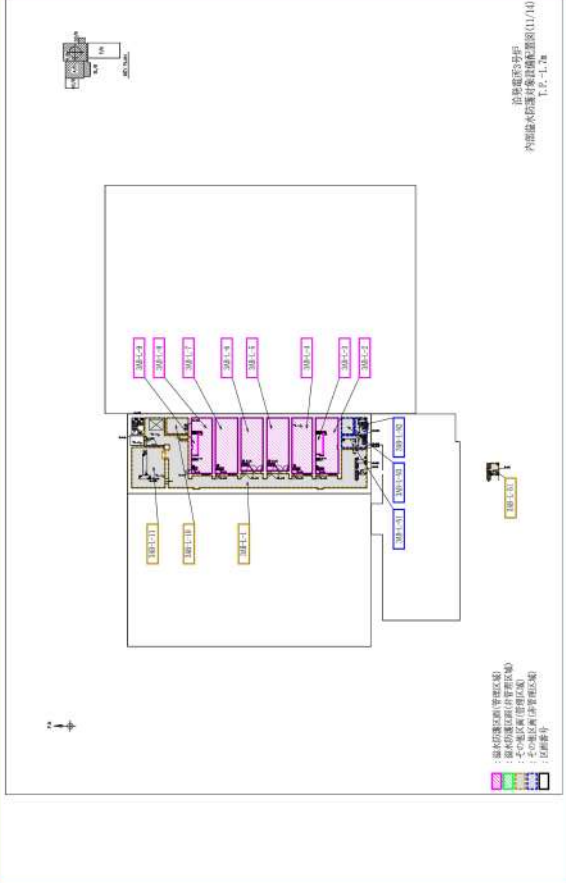
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 981 179 1013">N</p> <p data-bbox="264 997 672 1013">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 406 817 470">【凡例】                  ■：溢水防護区域（管理区域）                  ■：溢水防護区域（非管理区域）                  ■：その他区域（管理区域）                  ■：その他区域（非管理区域）                  ■：区域番号</p> <p data-bbox="1198 335 1254 470">原子炉建屋 E3F 0. P. -8100</p>	 <p data-bbox="1780 183 1848 335">島根電力株式会社                  泊発電所3号炉                  外部保安設備対象施設配置図(6/11)                  T.P. 2.2m(中間室)</p> <p data-bbox="1780 853 1848 973">■：溢水防護区域(管理区域)                  ■：溢水防護区域(非管理区域)                  ■：その他区域(管理区域)                  ■：その他区域(非管理区域)                  ■：区域番号</p>	<p data-bbox="1872 180 1982 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 215 1993 234">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2128 266">プラント構成及び機器配置の相違</p>

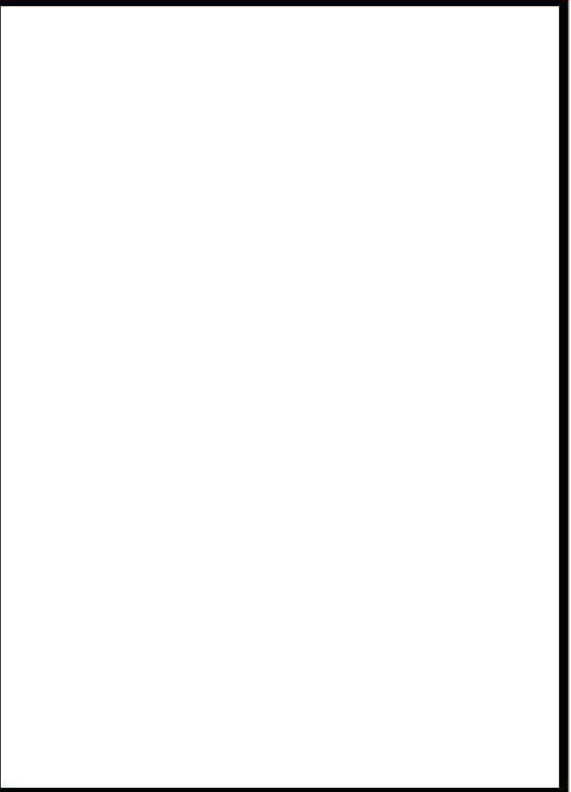
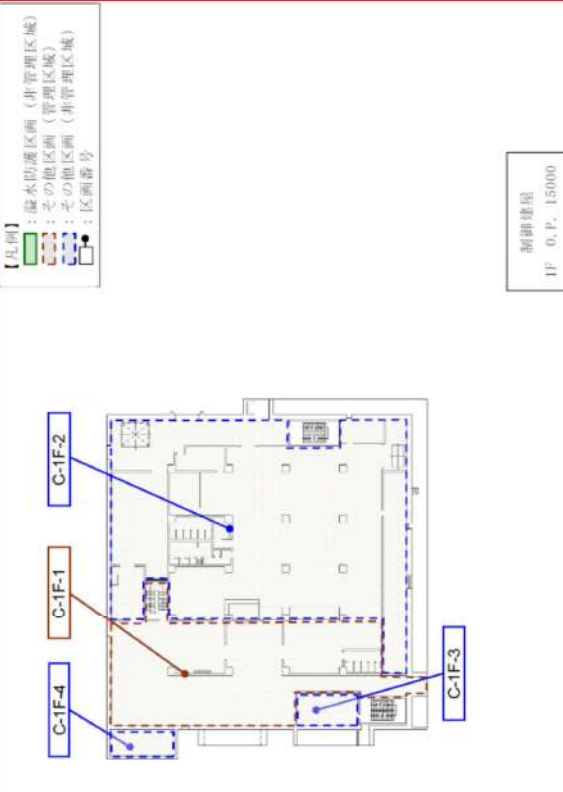
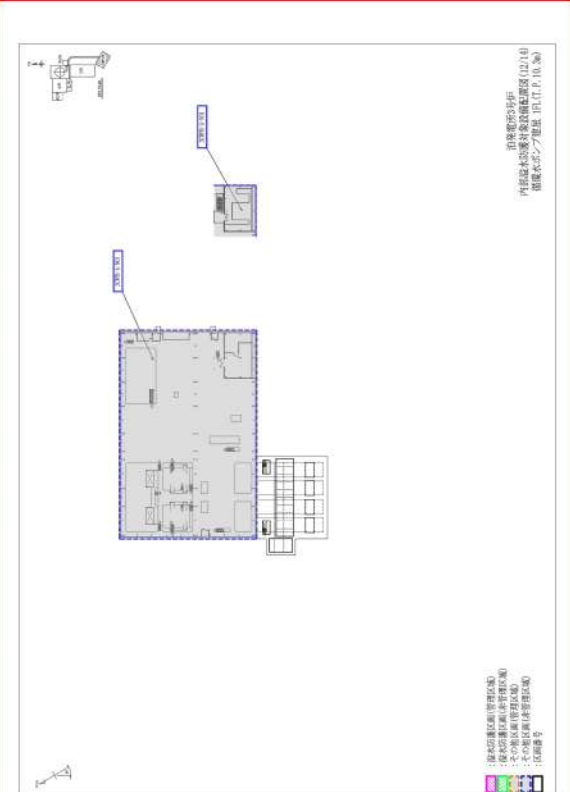
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 1013 680 1037">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p data-bbox="1872 183 2134 207">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 215 2134 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2134 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

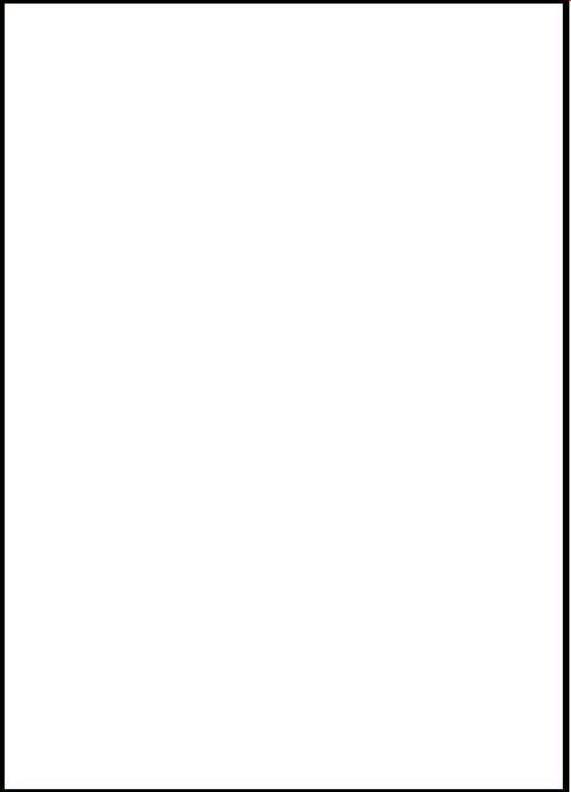
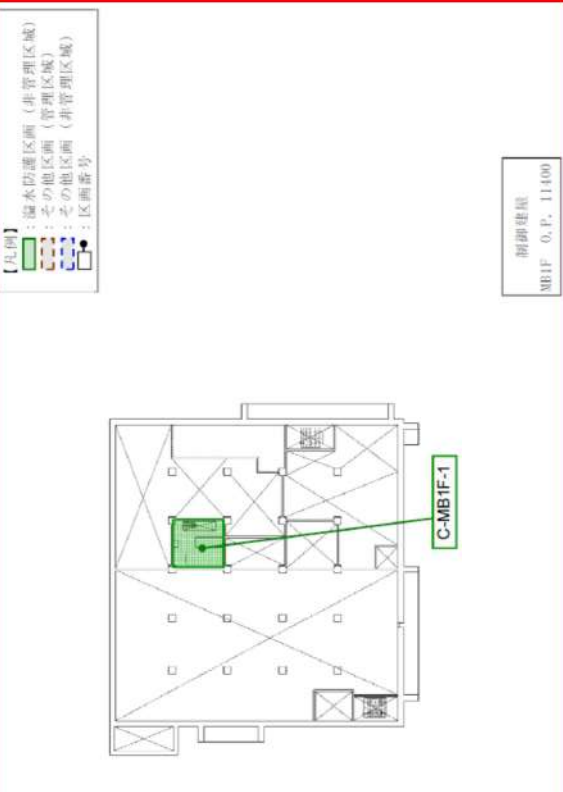
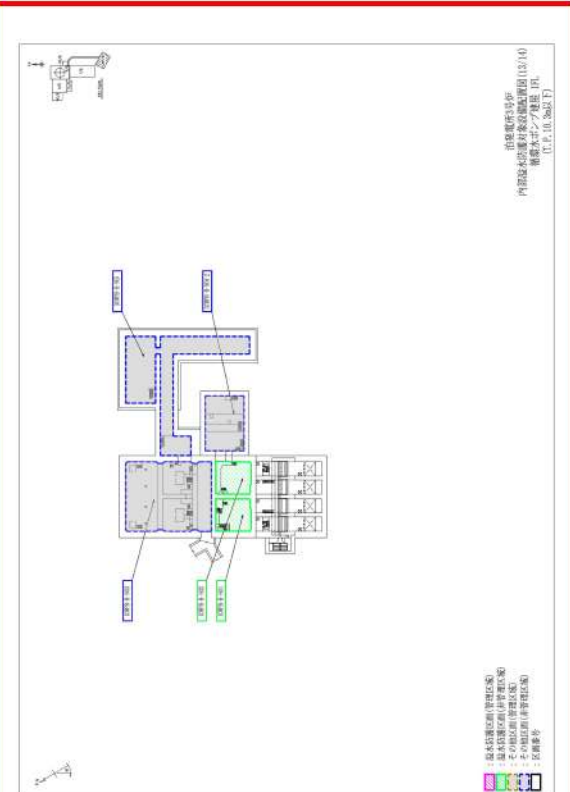
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 1011 680 1034">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 344 801 472">【凡例】              ■：溢水防護区域（非管理区域）              ■：その他区域（管理区域）              ■：その他区域（非管理区域）              ○：区域番号</p> <p data-bbox="1209 344 1263 485">別棟建屋              2F O.P. 19500</p>	 <p data-bbox="1783 185 1845 341">泊発電所3号炉              外部溢水防護対象機器配置図(1/10)              T.F. 1.7</p> <p data-bbox="1783 855 1845 979">溢水防護区域(管理区域)              ■：その他区域(管理区域)              ■：その他区域(非管理区域)              ○：区域番号</p>	<p data-bbox="1872 178 1989 201">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 213 1998 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 248 2132 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

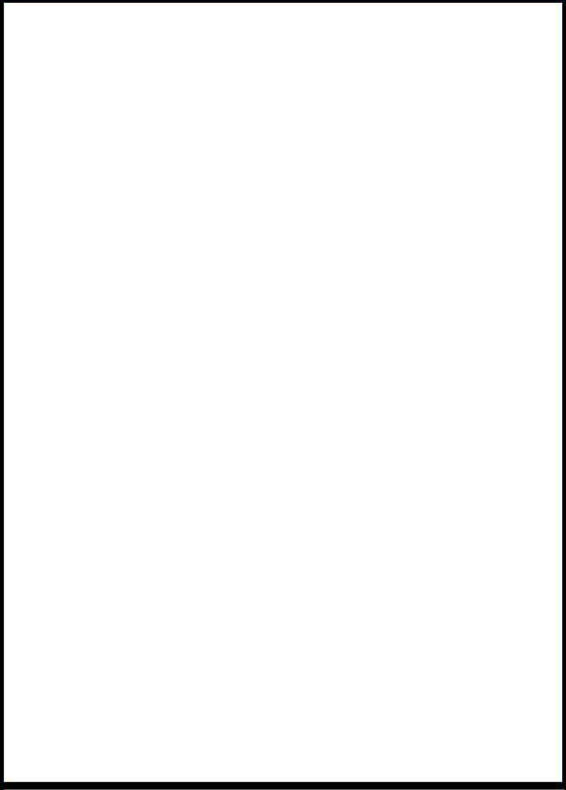
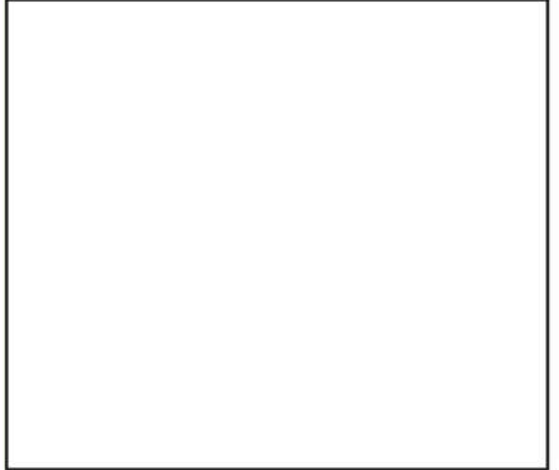
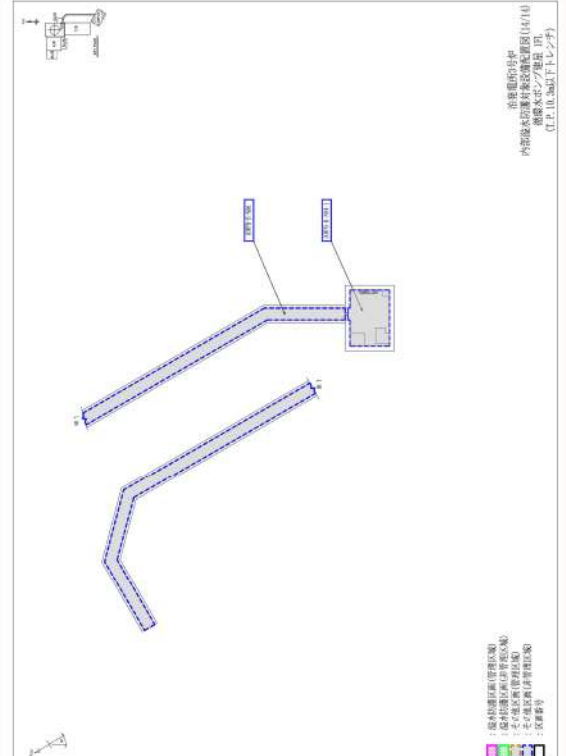
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 989 683 1021">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="705 335 739 446">【凡例】                  ■：基本防護区域（非管理区域）                  ■：その他区域（管理区域）                  ■：その他区域（非管理区域）                  ■：区域番号</p> <p data-bbox="1209 335 1265 462">耐震建屋 IF 0. P. 15000</p>	 <p data-bbox="1758 845 1848 973">基本防護区域（非管理区域）                  ■：その他区域（管理区域）                  ■：その他区域（非管理区域）                  ■：区域番号</p> <p data-bbox="1780 223 1848 375">泊発電所3号炉 IF 0. P. 15000 耐震建屋</p> <p data-bbox="1780 223 1848 375">外周壁面構造等 IF 0. P. 1500 耐震建屋</p>	<p data-bbox="1872 178 1982 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 215 1993 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2128 268">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

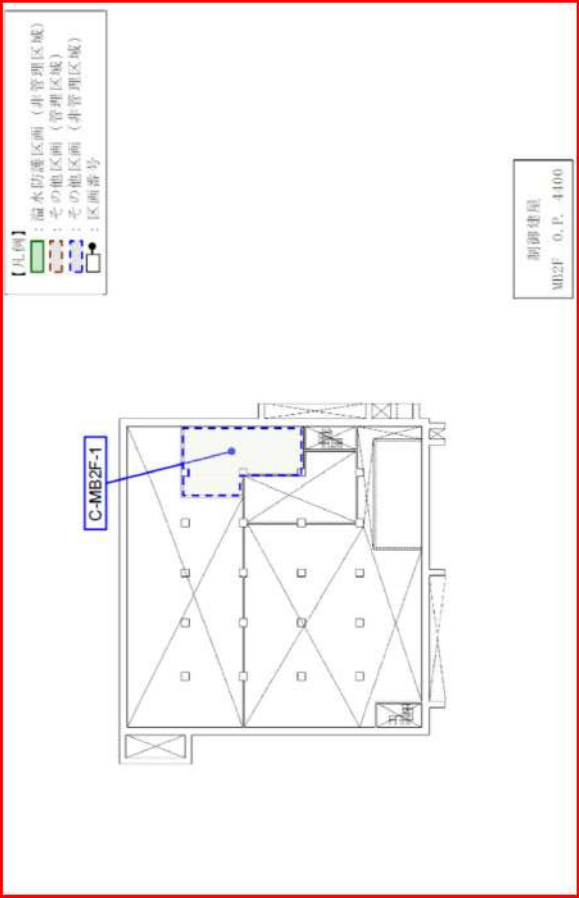
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 981 683 1021">                     枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </p>	 <p data-bbox="705 183 795 470"> <b>【凡例】</b>                      ■：漏水防護区域（非管理区域）                      ■：その他区域（管理区域）                      ■：その他区域（非管理区域）                      ○：区域番号                 </p> <p data-bbox="1198 335 1265 478">                     制御室                      MB1F 0. P. 11.100                 </p>	 <p data-bbox="1758 215 1848 359">                     泊発電所3号炉                      内部図4号機室管理図(03/10)                      機室番号：P.11.100                      (T.P.10.362/F)                 </p> <p data-bbox="1758 845 1848 981">                     ■：基本防護区域(管理区域)                      ■：基本防護区域(非管理区域)                      ■：その他区域(管理区域)                      ■：その他区域(非管理区域)                      ○：区域番号                 </p>	<p data-bbox="1872 178 2134 263"> <b>【女川・大阪】</b>                      設計方針の相違                      プラント構成及び機器配置の相違                 </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 981 680 1013">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="707 215 801 486">【凡例】                  溢水防護区画（非管理区域）                  その他区画（管理区域）                  その他区画（非管理区域）                  区画番号</p>  <p data-bbox="1198 359 1254 486">制御建屋 BIF 0.P. 8000</p> <p data-bbox="772 981 1254 1013">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	 <p data-bbox="1780 215 1848 359">常備電源の号炉 内部放水設備対象設備区画(0101) 常備電源(3号炉) (注:0102は、上下2号炉)</p> <p data-bbox="1780 853 1848 973">溢水防護区画(管理区域) その他区画(管理区域) その他区画(非管理区域) 区画番号</p>	<p data-bbox="1872 180 1982 199">【女川・大阪】</p> <p data-bbox="1872 215 1982 234">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2128 266">プラント構成及び機器配置の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

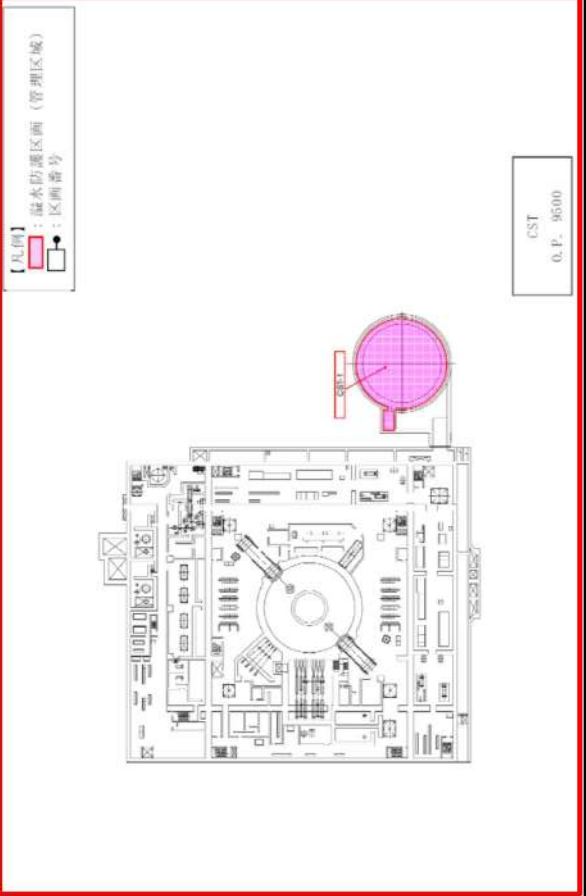
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>【凡例】  <span style="background-color: #90EE90; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>：漏水防護区域（非管理区域）  <span style="background-color: #FFDAB9; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>：その他区域（管理区域）  <span style="background-color: #ADD8E6; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>：その他区域（非管理区域）  <span style="border-bottom: 1px dashed black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>：区域番号</p> <p>副御建屋          B2F 0. P. 1500</p> <p>C-B2F-1 (最終貯留区画)          C-B2F-2 (最終貯留区画)          C-B2F-3          C-B2F-4          C-B2F-5          C-B2F-6</p>		<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

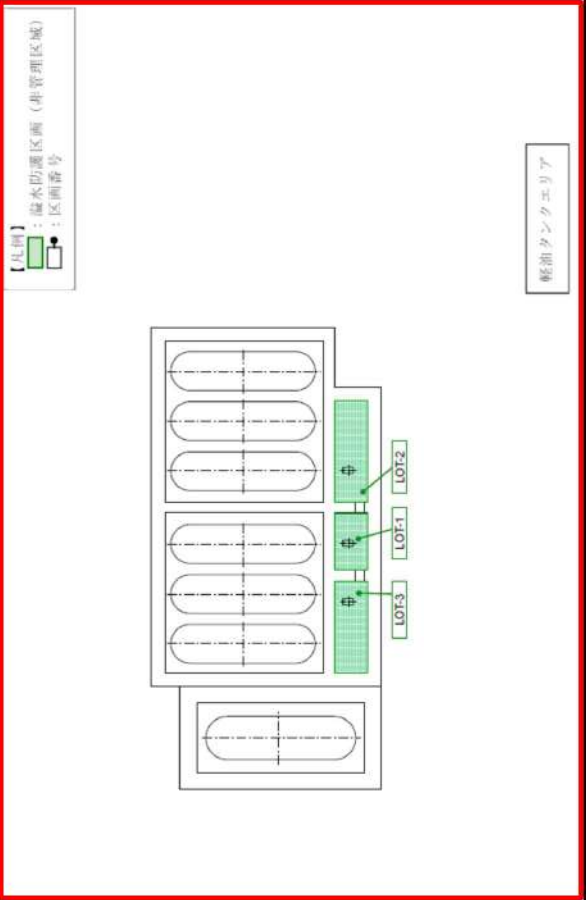
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="698 199 795 478" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【凡例】</p> <p>■：溢水防護区画（非管理区域）</p> <p>□：その他区画（非管理区域）</p> <p>●：区画番号</p> </div> <div data-bbox="1227 347 1261 478" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>揚水ポンプ室</p> </div> <div data-bbox="698 494 1261 981" style="border: 1px solid black; height: 300px; margin: 10px 0;"> </div> <div data-bbox="768 997 1261 1029" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

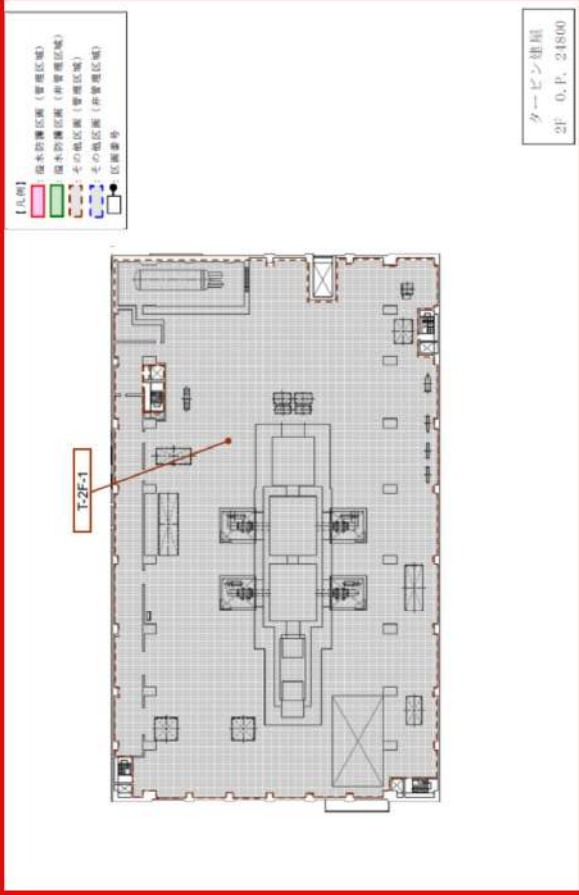
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

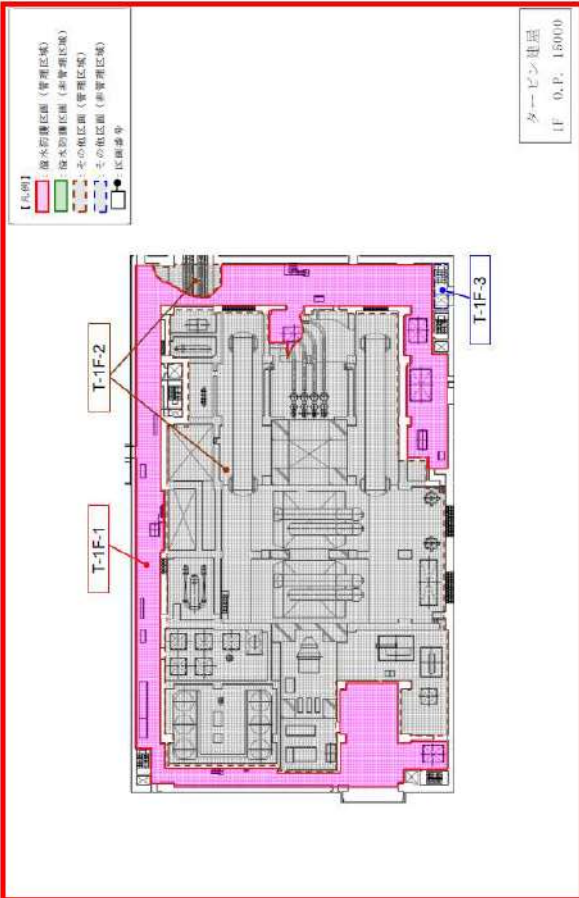
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【凡例】  <span style="border: 1px solid green; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>：溢水防護区画（非管理区画）  <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>：区画番号</p> <p>軽油タンクエリア</p>		<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント構成及び機器配置の相違</p>

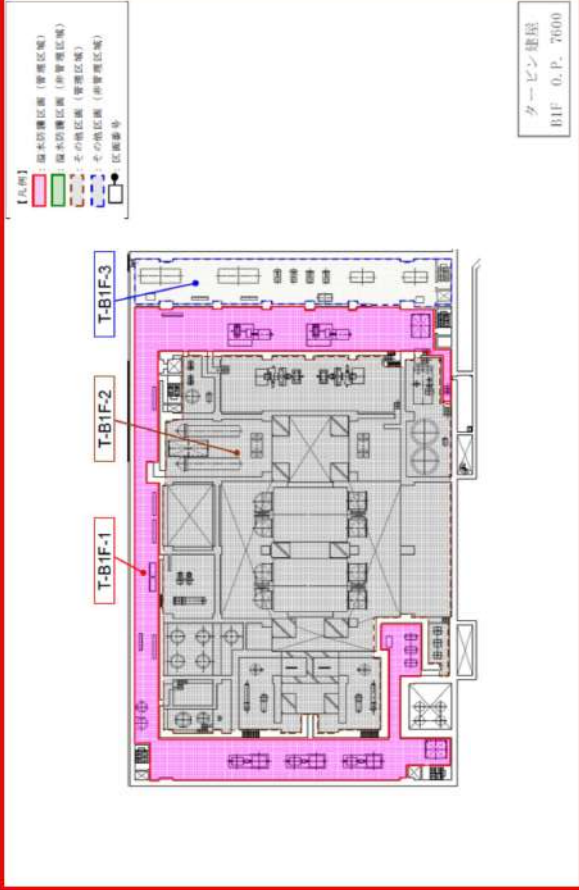
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

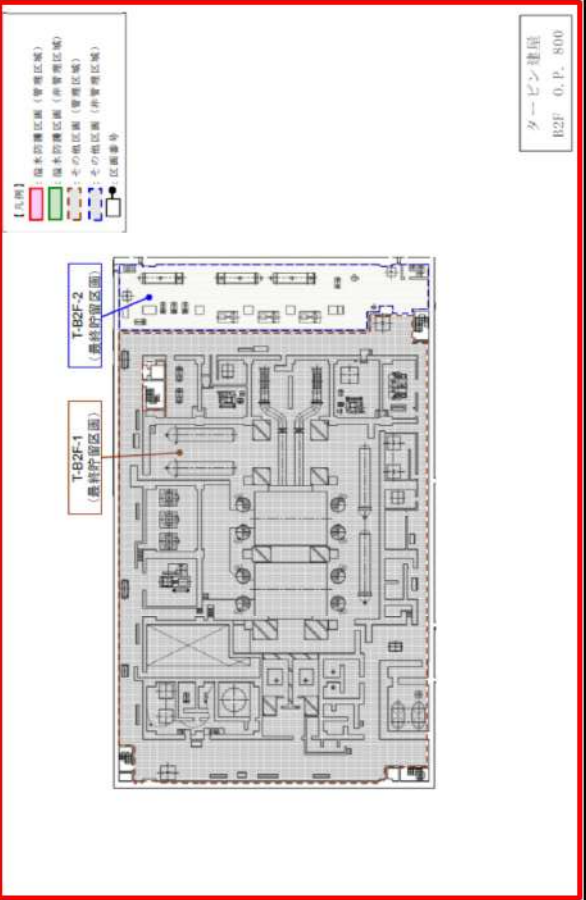
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料8）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																															
<p>17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について</p> <p>1. はじめに</p> <p>前回の現場調査以降、火災防護設備、重大事故等対処設備、多様性拡張設備等の追加設置に伴い没水影響評価に用いる滞留面積の減少があることから、今回、滞留面積の精緻化を図り没水影響評価について再評価を実施した。</p> <p>2. 没水影響評価</p> <p>没水影響評価に用いる滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価の変更については、ゆらぎも含め溢水水位の上昇はわずかであり、防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>没水評価結果の例を表1に示す。</p> <p>表1 滞留面積を精緻化の伴う没水影響評価について（例）</p> <table border="1" data-bbox="129 726 654 949"> <thead> <tr> <th colspan="8">原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー</th> </tr> <tr> <th></th> <th>① 溢水量 [m<sup>3</sup>]</th> <th>② 滞留面積 [m<sup>2</sup>]</th> <th>床勾配 [m]</th> <th>③ 溢水水位 [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>④ 機能喪失高さ [m]</th> <th>⑤ 影響評価</th> <th>⑥ 判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前</td> <td>21.6</td> <td>165.7</td> <td>0.00</td> <td>0.131</td> <td rowspan="2">3A、3B制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)</td> <td rowspan="2">0.44</td> <td rowspan="2">③&lt;④</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td></td> <td>71.8</td> <td>0.00</td> <td>0.301</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー									① 溢水量 [m <sup>3</sup> ]	② 滞留面積 [m <sup>2</sup> ]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定	変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○	変更後		71.8	0.00	0.301	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することを<b>基本</b>とし、評価における保守性を確保する。</p>	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することとし、評価における保守性を確保する。</p> <p>(1) 算出方法</p> <p>a. 滞留面積の算出エリアを設定し、その内側の面積を算出する。(以下「全面積」という)</p> <p>b. エリア内側にあるコンクリート基礎、柱、ピット、スロープ、床開口等、欠損となるコンクリート構造物の面積を算出する。(以下「基礎等欠損面積」という)</p> <p>c. 常設機器、現場資機材、床貫通部等、滞留面積の欠損となるものの面積を現場調査により算出する。(以下「現場調査欠損面積」という)</p> <p>d. 上記a. で算出した面積より、b. 及びc. の欠損面積を差し引く。この結果を没水評価に用いる滞留面積とする。</p>	<p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>大阪は没水評価実施後に追加設置した設備等による滞留面積の減少分を精緻化して没水評価の再評価を実施していることを説明しているが、滞留面積の算出方法は泊と同様であり、欠損面積を現場実測している。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「基本」という記載はしていない。</p> <p>【女川・大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出過程が明確となるよう、最初に算出方法を記載する構成としている。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものとなるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。</p> <p>(大阪3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p>
原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー																																		
	① 溢水量 [m <sup>3</sup> ]	② 滞留面積 [m <sup>2</sup> ]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定																										
変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○																										
変更後		71.8	0.00	0.301																														

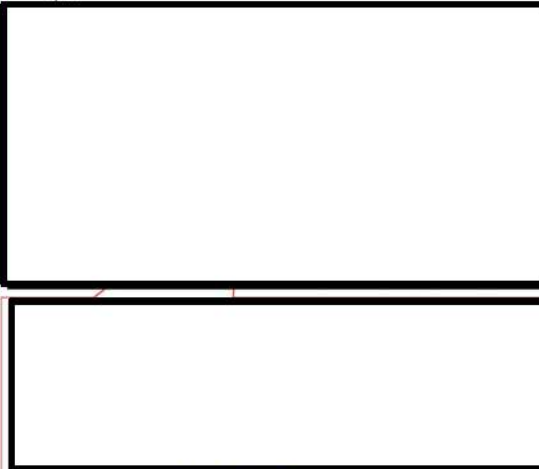
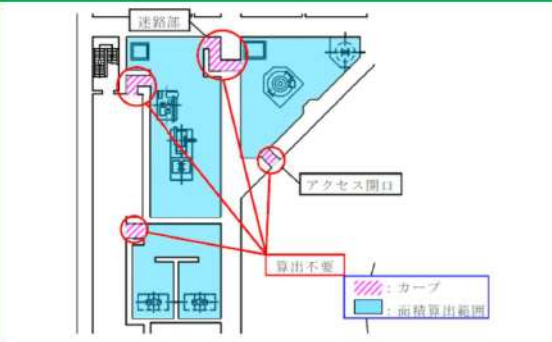
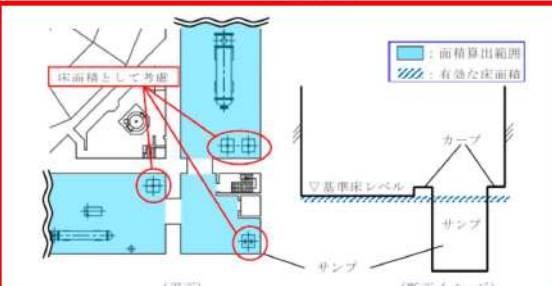
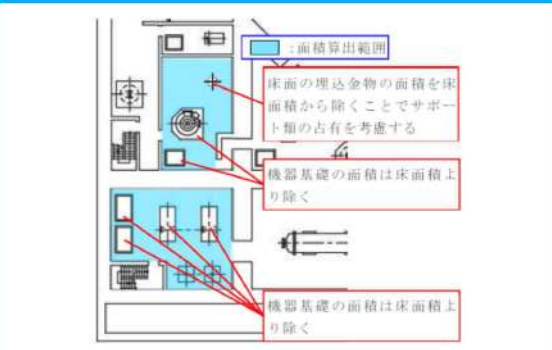
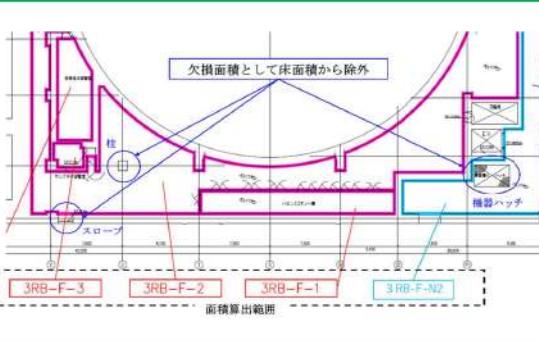
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(1) インプット</p> <p>a. 原則として、床躯体図を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 一部形状が複雑なエリアは計算が複雑となることから、CADデータを使用し床面積を算出する。</p> <p>(2) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. アクセス開口及び迷路部等は床面積から除く。(図1参照)</p> <p>c. サンプ等、基準床面より掘り込んでいる部分については、有効な床面積として算出する。(図2参照)</p>	<p>(2) インプット</p> <p>a. 全面積及び基礎等欠損面積は、建築図（コンクリート形状図）を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 現場調査欠損面積は、現場調査により対象となる機器等の寸法を実測し、欠損面積を算出する。</p> <p>(3) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. コンクリート基礎、柱、ビット、スロープ、床開口は床面積から除く。(図1参照)</p>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「原則」という記載はしていない。</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものとなるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。</p> <p>(大阪3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p> <p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊では迷路部も床面積として算出している。(大阪3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</li> <li>また、ビットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。(大阪3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

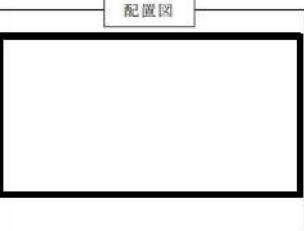

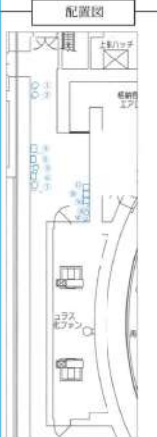

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																								
	<p>(3) 通常評価</p> <p>没水評価を実施する際は、原則として、算出した床面積の値に0.7倍した値を使用する。基準床面より盛り上がっている部分（機器基礎、床ハッチ、スロープ、ランプ周りのカーブ、サポート類等）は0.7の係数に含まれるものとする。ただし、床面積に対して機器基礎の占有率が30%以上となる区画は、占有率に応じた係数を使用する。機器基礎の占有率に応じた係数使用区画について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 機器基礎の占有率に応じた係数使用区画</p> <table border="1" data-bbox="696 518 1272 906"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>機器基礎の占有率 [%]</th> <th>使用する係数</th> <th>エリア名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B1F-12</td><td>R/B</td><td>B1F</td><td>102.6</td><td>33.5</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>区分B非常用MCC室</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1F-15</td><td>R/B</td><td>1F</td><td>200.9</td><td>65.2</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>D/G (MPCS) 室</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-2F-2-2</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 西結合装置 (A) 室</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-2F-2-3</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 西結合装置 (B) 室</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-2F-2-5</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS フック (A) 室</td></tr> <tr><td>6</td><td>R-2F-2-6</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS フック (B) 室</td></tr> <tr><td>7</td><td>R-2F-13-1</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>33.1</td><td>11.6</td><td>36.0</td><td>0.6</td><td>D/G (A) 非常用送風機室</td></tr> <tr><td>8</td><td>R-2F-17</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.4</td><td>10.2</td><td>38.0</td><td>0.6</td><td>燃料デイトンク (A) 室</td></tr> <tr><td>9</td><td>R-2F-18</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>32.1</td><td>10.2</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (B) 室</td></tr> <tr><td>10</td><td>R-2F-19</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.7</td><td>9.1</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (MPCS) 室</td></tr> <tr><td>11</td><td>C-B2F-3</td><td>C/B</td><td>B2F</td><td>113.7</td><td>57.9</td><td>51.0</td><td>0.45</td><td>DC250V バッテリー室</td></tr> <tr><td>12</td><td>C-B1F-2</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>44.4</td><td>13.7</td><td>31.0</td><td>0.65</td><td>DC125V バッテリー室 (A)</td></tr> <tr><td>13</td><td>C-B1F-4</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>70.3</td><td>28.0</td><td>40.0</td><td>0.55</td><td>DC125V バッテリー室 (B)</td></tr> <tr><td>14</td><td>C-B1F-5</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>211.8</td><td>62.1</td><td>30.0</td><td>0.65</td><td>計測制御電機室 (B)</td></tr> <tr><td>15</td><td>C-B1F-6-1</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>32.5</td><td>10.1</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>ISS 盤室</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 詳細評価</p> <p>最終的な溢水の滞留先となる最地下階の共通エリアや、復水器室等の機器の占有率が大きいエリアについては、詳細に算出した面積を使用する。(図3参照)</p> <p>対象とする区画は表2のとおり。</p> <p style="text-align: center;">表2 詳細に面積を算出した区画</p> <table border="1" data-bbox="696 1201 1272 1385"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>埋込金物面積 [㎡]</th> <th>合計面積 [㎡]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B3F-1</td><td>156.7</td><td>0.4</td><td>1.0</td><td>155.3</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-B3F-12</td><td>70.8</td><td>0</td><td>0</td><td>70.8</td></tr> <tr><td>3</td><td>復水器室<sup>※</sup></td><td>1621.5</td><td>286.0</td><td>73.0</td><td>1262.5</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 復水器室は T-B2F-1 の面積に含め、没水評価で使用している。</p>	No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称	1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分B非常用MCC室	2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (MPCS) 室	3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (A) 室	4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (B) 室	5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (A) 室	6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (B) 室	7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室	8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室	9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室	10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (MPCS) 室	11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250V バッテリー室	12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125V バッテリー室 (A)	13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125V バッテリー室 (B)	14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)	15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室	No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	埋込金物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]	1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	155.3	2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8	3	復水器室 <sup>※</sup>	1621.5	286.0	73.0	1262.5	<p>(4) 現場調査欠損面積の算出</p> <p>現場調査欠損面積は、現場実測により算出した欠損面積に対し、すべてのエリアにおいて一律に25%の割り増しを行う。現場調査による欠損面積の対象外とした0.01㎡未満の機器は割り増しに含まれるものとする。</p> <p>現場調査欠損面積の現場実測の例を図2に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・女川は床面積に対する機器等の占有率に応じて通常評価又は詳細評価を実施しているのに対し、泊は全エリアに対して同様の算出方法としている。</p> <p>・また、女川は滞留面積の算出時に係数を乗じることで保守性を確保しているのに対し、泊は全区画の欠損面積を一律に25%割り増しすることで保守性を確保している。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>同上</p>
No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称																																																																																																																																																																			
1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分B非常用MCC室																																																																																																																																																																			
2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	D/G (MPCS) 室																																																																																																																																																																			
3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (A) 室																																																																																																																																																																			
4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 西結合装置 (B) 室																																																																																																																																																																			
5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (A) 室																																																																																																																																																																			
6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS フック (B) 室																																																																																																																																																																			
7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	D/G (A) 非常用送風機室																																																																																																																																																																			
8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室																																																																																																																																																																			
9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室																																																																																																																																																																			
10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (MPCS) 室																																																																																																																																																																			
11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250V バッテリー室																																																																																																																																																																			
12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125V バッテリー室 (A)																																																																																																																																																																			
13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125V バッテリー室 (B)																																																																																																																																																																			
14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)																																																																																																																																																																			
15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室																																																																																																																																																																			
No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	埋込金物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]																																																																																																																																																																						
1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	155.3																																																																																																																																																																						
2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8																																																																																																																																																																						
3	復水器室 <sup>※</sup>	1621.5	286.0	73.0	1262.5																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>9 スロープ部の滞留面積の考え方について</p> <p>大阪発電所の現場にあるスロープ部の考え方については、図1のとおり、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いて評価している。</p> <div data-bbox="112 550 672 1061" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例)</p>  </div> <p>3号炉 E.L.+26.0m 北側通路部には、勾配が76cmのスロープがあるため、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いている。</p> <p>図1 スロープ部の滞留面積の考え方</p> <div data-bbox="190 1236 593 1284" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p> </div>	<p>(5) 数値処理</p> <p>面積の算出は「㎡」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。<b>(床面積算出後に切り捨てを実施し、更に0.7倍後に切り捨てる。)</b></p> <div data-bbox="694 311 1265 670" style="border: 1px solid green; padding: 5px;">  </div> <p>図1 面積算出範囲</p> <div data-bbox="694 710 1265 1013" style="border: 1px solid red; padding: 5px;">  </div> <p>図2 掘り込み部の扱い (例：最地下階サンプ)</p> <div data-bbox="694 1093 1265 1460" style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">  </div> <p>図3 詳細に床面積を算出する場合の算出範囲 (例)</p>	<p>(5) 数値処理</p> <p>面積の算出は「㎡」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。</p> <div data-bbox="1288 311 1848 670" style="border: 1px solid green; padding: 5px;">  </div> <p>図1 面積算出範囲</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                  泊では最終的な滞留面積算出時に切り捨て処理を行っている。</p> <p>【大阪】  <u>記載方針の相違</u>                  女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>                  建屋構成の違いによる</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                  泊ではビットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。</p> <p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  泊ではすべてのエリアに対して同様の算出方法により滞留面積を算出していることから、女川のように「通常評価」と「詳細評価」の区別は無いが、機器基礎を床面積から除外していることは同様である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料8）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																												
<p>(17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について)</p> <p>(例) 大災防護設備(盤)</p> <p>大阪3号炉 床面積精緻化に伴う対象物の調査結果</p> <table border="1" data-bbox="152 359 672 582"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">対象物 種類</th> <th colspan="2">測定寸法(mm)</th> <th rowspan="2">欠損面積 (m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>形状 縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>033 ①</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>033 ②</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>033 ③</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>033 ④</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>034 ①</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1種</td> </tr> <tr> <td>034 ②</td> <td>土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m<sup>2</sup></td> <td>盤1種</td> </tr> </tbody> </table> <p>配置図</p>  <p>写真</p>  <p>No. 33①～④</p> <p>No. 34①～②</p>	番号	対象物 種類	測定寸法(mm)		欠損面積 (m <sup>2</sup> )	備考	形状 縦	横	033 ①	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種	033 ②	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種	033 ③	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種	033 ④	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種	034 ①	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種	034 ②	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種		<p>(例) 原子炉建屋 33.1m 3RB-C-1_通路, エアロック室①</p> <table border="1" data-bbox="1288 263 1848 550"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">形状</th> <th colspan="2">寸法</th> <th colspan="2">床面積</th> <th colspan="2">滞留面積</th> </tr> <tr> <th>縦</th> <th>横</th> <th>縦</th> <th>横</th> <th>縦</th> <th>横</th> <th>縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>常設機器</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>常設機器</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>非常用電源(200V-1)</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>200V非常用電源(300V-1)</td> <td>400</td> <td>200</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>非常用電源</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.042</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>非常用電源</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>非常用電源</td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>0.01</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>非常用電源</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.042</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>エアロック室</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>エアロック室</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>エアロック室</td> <td>300</td> <td>200</td> <td>0.021</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>配置図</p>  <p>写真</p>  <p>No. 1, 2</p> <p>No. 3</p> <p>No. 4</p> <p>No. 5</p> <p>No. 6</p> <p>No. 7</p>	No.	設備名称	形状		寸法		床面積		滞留面積		縦	横	縦	横	縦	横	縦	横	1	常設機器			300	0.021					2	常設機器			300	0.021					3	非常用電源(200V-1)	300	200	0.021				300	300	4	200V非常用電源(300V-1)	400	200	0.021				300	300	5	非常用電源			300	0.042					6	非常用電源	300	300	0.021						7	非常用電源			100	0.01					8	非常用電源			300	0.042					9	エアロック室	300	200	0.021						10	エアロック室	200	200	0.021						11	エアロック室	300	200	0.021						<p>【女川】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      泊では常設機器等の欠損面積を現場実測により算出していることから、現場実測の例を図2に示している。</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>
番号			対象物 種類	測定寸法(mm)			欠損面積 (m <sup>2</sup> )	備考																																																																																																																																																																							
	形状 縦	横																																																																																																																																																																													
033 ①	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種																																																																																																																																																																										
033 ②	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種																																																																																																																																																																										
033 ③	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種																																																																																																																																																																										
033 ④	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種																																																																																																																																																																										
034 ①	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種																																																																																																																																																																										
034 ②	土台	650mm	410mm	0.267m <sup>2</sup>	盤1種																																																																																																																																																																										
No.	設備名称	形状		寸法		床面積		滞留面積																																																																																																																																																																							
		縦	横	縦	横	縦	横	縦	横																																																																																																																																																																						
1	常設機器			300	0.021																																																																																																																																																																										
2	常設機器			300	0.021																																																																																																																																																																										
3	非常用電源(200V-1)	300	200	0.021				300	300																																																																																																																																																																						
4	200V非常用電源(300V-1)	400	200	0.021				300	300																																																																																																																																																																						
5	非常用電源			300	0.042																																																																																																																																																																										
6	非常用電源	300	300	0.021																																																																																																																																																																											
7	非常用電源			100	0.01																																																																																																																																																																										
8	非常用電源			300	0.042																																																																																																																																																																										
9	エアロック室	300	200	0.021																																																																																																																																																																											
10	エアロック室	200	200	0.021																																																																																																																																																																											
11	エアロック室	300	200	0.021																																																																																																																																																																											
<p>図1 滞留面積精緻化に伴う資料について</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>		<p>図2 床面積欠損対象物の測定結果例</p>																																																																																																																																																																													

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

第9条 溢水による損傷の防止等 (別添1 添付資料9)

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由					
添付資料 1.3-3						添付資料9						添付資料9						【大阪】 記載表現の相違 ・女川審査実績の反映により表の名称が異なる。 ・また、表中の記載表現も一部異なるが、「号炉」以外の記載情報量に差異はない。  【女川】 記載表現の相違 設備名称の相違					
溢水影響評価で止水を期待できる設備 表1 止水を期待できる設備						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(1/5)						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備 (1/3)											
号炉	設置場所	設置高さ	対象		新設 既設	箇所数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分		箇所数				
3号炉	原子炉 周辺建屋 (管理区域)	E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁	機器ドレン	既設	2	原子炉建屋 原子炉棟	B3F	RCTCタービンポンプ室 (R-B3F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	原子炉建屋	T.P. 2.3m	3V-W-500 (3-T/D AFWPT 排気管温水ビット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1					
				逆止弁	新設	10			FPMWポンプ室 (R-B3F-8)	水密扉	新設	1			3V-W-501 (3-T/D AFWPT リーク管温水ビット行きドレン管逆止弁) (-)	逆止弁	新設	1					
				ペント逆止弁	新設	1			悪流防止 フック	新設	5	3V-W-502 (3-R/B 非管理区域ドレン管定流ビット行きドレン管逆止弁) (-)			逆止弁	新設	1						
			目皿逆止弁	新設	11	RHRポンプ(C)室 (R-B3F-7)			水密扉	既設 (改造)	1	3V-W-503 (3-主蒸気管室ドレン管定流ビット行きドレン管逆止弁) (-)			逆止弁	新設	1						
			サンプタンク*	既設	1	RHRポンプ(B)室 (R-B3F-6)			水密扉	既設	1	T.P. 4.35m			水密扉 No.69 (3RB-K-N4)	水密扉	新設	1					
		E.L. + 10.0m	逆流 防止 弁	機器ドレン	既設	3			HPCSポンプ室 (R-B3F-5)	水密扉	既設	1			T.P. 10.3m	水密扉 No.93 (3RB-H-N1)	水密扉	新設	1				
				逆止弁	新設	9			LPCSポンプ室 (R-B3F-4)	水密扉	既設	1			水密扉 No.154 (3RB-H-N1)	水密扉	新設	1					
				目皿逆止弁	新設	14			RHRポンプ(A)室 (R-B3F-3)	水密扉	既設	1			止水板 No.A (3RB-H-N5)	止水板	新設	1					
			水密扉	新設	1							止水板 DG-A (3RB-H-N1)			止水板	新設	1						
			E.L. + 17.1m	堰		新設			1							止水板 DG-B (3RB-H-N10)	止水板	新設	1				
				堰		新設			2							DG-A 出入り口堰 (3DG-H-N2)	堰	既設	1				
4号炉	原子炉 周辺建屋 (管理区域)	E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁	機器ドレン	既設	2	原子炉建屋 原子炉棟	B2F	CUW配管・バルブ室 (R-B2F-6)	堰	新設	1	原子炉建屋	T.P. 17.8m	DG-B 出入り口堰 (3DG-H-N1)	堰	既設	1					
				逆止弁	新設	11			MURCポンプ室 (R-B2F-5)	堰	新設	1			水密扉 No.140 (3RB-F-N2)	水密扉	新設	1					
				サンプタンク*	既設	1			共通エリア・ハッチ (HR-207) (R-B2F-1)	堰	新設	1			水密扉 No.155 (3RB-F-N2)	水密扉	新設	1					
		E.L. + 10.0m	水密扉		新設	1									止水板 No.B (3RB-F-N3)	止水板	新設	1	T.P. 24.8m	水密扉 No.156 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1
			堰		新設	1									水密扉 No.157 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1	T.P. 29.4m	水密扉 No.157 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1
			堰		新設	1									水密扉 No.146 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1	T.P. 29.9m	水密扉 No.146 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1
E.L. + 17.1m	堰		新設	1																			
	堰		新設	1																			
	堰		新設	1																			
	堰		新設	2																			
	堰		新設	1																			
	堰		新設	2																			
※サンプタンクについては、水頭圧にて強度評価を実施した。																							

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																															
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="10">1F</td> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(A) (R-1F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(B) (R-1F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B大物搬入用小扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B連絡通路(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B連絡通路(西側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B大物搬入用扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">2F</td> <td>SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-01)北西階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CAMSラック(A)室 (R-2F-2-5)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CAMSラック(B)室 (R-2F-2-6)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTSヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTSフィルタユニット室 (R-2F-1-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3F</td> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-01)北西階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋 付属棟</td> <td rowspan="3">B3F</td> <td>RCW熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>RCW熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)</td> <td>水密扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HPCW熱交換器室 (R-B3F-13)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1	バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1	R/B大物搬入用小扉	水密扉	新設	1	T/B連絡通路(東側)	水密扉	新設	1	T/B連絡通路(西側)	水密扉	新設	1	R/B大物搬入用扉	水密扉	新設	1	2F	SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	CAMSラック(A)室 (R-2F-2-5)	堰	新設	1	CAMSラック(B)室 (R-2F-2-6)	堰	新設	1	SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	堰	新設	1	SGTSヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)	堰	新設	1	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	SGTSフィルタユニット室 (R-2F-1-1)	堰	新設	1	FCS再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)	堰	新設	1	FCS再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)	堰	新設	1	3F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1	RCW熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)	水密扉	既設	1	HPCW熱交換器室 (R-B3F-13)	水密扉	既設 (改造)	1	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象(区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">原子炉補助 建屋</td> <td rowspan="3">T.P.-3.7m</td> <td>湧水ヒット開口部ハッチ(3AB-L-N1)</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3V-FD-106(3-湧水ヒットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)進止弁) (3AB-L-N1)</td> <td>進止弁</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.68(-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P.2.8m</td> <td>止水板2.8-A(-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.73(3AB-K-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P.6.3m</td> <td>止水板6.3-A(-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板6.3-B(-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">T.P.10.3m</td> <td>水密扉No.77(3AB-H-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.78(3AB-H-N4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.87(-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.85(3AB-H-N2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理区域出入り口扉(-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10.3m(A-D階段前機器ハッチ廻り)堰 (3AB-K-4)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板No.80(3AB-H-N6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板No.81(3AB-H-N6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板No.82(3AB-H-N1)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉補助 建屋	T.P.-3.7m	湧水ヒット開口部ハッチ(3AB-L-N1)	ハッチ	新設	1	3V-FD-106(3-湧水ヒットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)進止弁) (3AB-L-N1)	進止弁	新設	1	水密扉No.68(-)	水密扉	新設	1	T.P.2.8m	止水板2.8-A(-)	止水板	新設	1	水密扉No.73(3AB-K-4)	水密扉	新設	1	T.P.6.3m	止水板6.3-A(-)	止水板	新設	1	止水板6.3-B(-)	止水板	新設	1	T.P.10.3m	水密扉No.77(3AB-H-1)	水密扉	新設	1	水密扉No.78(3AB-H-N4)	水密扉	新設	1	水密扉No.87(-)	水密扉	新設	1	水密扉No.85(3AB-H-N2)	水密扉	新設	1	管理区域出入り口扉(-)	堰	既設	1	10.3m(A-D階段前機器ハッチ廻り)堰 (3AB-K-4)	堰	既設	1	止水板No.80(3AB-H-N6)	止水板	新設	1	止水板No.81(3AB-H-N6)	止水板	新設	1	止水板No.82(3AB-H-N1)	止水板	新設	1	<p>【女川】</p> <p>設備名称の相違          記載表現の相違</p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																													
原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		R/B大物搬入用小扉	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		T/B連絡通路(東側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		T/B連絡通路(西側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		R/B大物搬入用扉	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		2F	SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																												
			(R-01)北西階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																												
			CAMSラック(A)室 (R-2F-2-5)	堰	新設	1																																																																																																																																																																												
	CAMSラック(B)室 (R-2F-2-6)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTSヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTSヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	(R-02)北東階段室		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTSフィルタユニット室 (R-2F-1-1)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	FCS再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	FCS再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	3F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		(R-01)北西階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																																																																																																																												
RCW熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)			水密扉	既設	1																																																																																																																																																																													
HPCW熱交換器室 (R-B3F-13)			水密扉	既設 (改造)	1																																																																																																																																																																													
設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																													
原子炉補助 建屋	T.P.-3.7m	湧水ヒット開口部ハッチ(3AB-L-N1)	ハッチ	新設	1																																																																																																																																																																													
		3V-FD-106(3-湧水ヒットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)進止弁) (3AB-L-N1)	進止弁	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉No.68(-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P.2.8m	止水板2.8-A(-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉No.73(3AB-K-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P.6.3m	止水板6.3-A(-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
		止水板6.3-B(-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P.10.3m	水密扉No.77(3AB-H-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉No.78(3AB-H-N4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉No.87(-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉No.85(3AB-H-N2)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		管理区域出入り口扉(-)	堰	既設	1																																																																																																																																																																													
		10.3m(A-D階段前機器ハッチ廻り)堰 (3AB-K-4)	堰	既設	1																																																																																																																																																																													
		止水板No.80(3AB-H-N6)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
		止水板No.81(3AB-H-N6)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
止水板No.82(3AB-H-N1)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																															



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																												
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(3/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">原子炉建屋 付属棟</td> <td rowspan="3">B2F</td> <td>静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">B1F</td> <td>D/G補機(A)室 (R-B1F-7)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分IIIPCS電気品室 (R-B1F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>D/G(II)PCS室 (R-1F-15)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>区分I非常用D/G制御盤室 (R-1F-13-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分III非常用D/G制御盤室 (R-1F-15-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2F</td> <td>HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2F通路(O.P.23600) (R-2F-16-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(B)室 送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)</td> <td rowspan="2">B3F</td> <td>2T-1トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>主排気ダクト連絡トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>1F共通エリア(大物搬入用扉)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F共通エリア (Rw-1F-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Rw制御室扉 Rw制御室送風機室 (Rw-1F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉建屋 付属棟	B2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)	堰	新設	1	IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)	堰	新設	1	区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1	B1F	D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1	区分IIIPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1	D/G(II)PCS室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1	1F	区分I非常用D/G制御盤室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1	区分III非常用D/G制御盤室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1	HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1	2F通路(O.P.23600) (R-2F-16-1)	水密扉	新設	1	原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)	堰	新設	1	原子炉補機(B)室 送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)	堰	新設	2	原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1	主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1	1F	1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1	1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1	Rw制御室扉 Rw制御室送風機室 (Rw-1F-4)	水密扉	新設	1	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象(区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">原子炉補助 建屋</td> <td rowspan="6">T.P.17.8m</td> <td>水密扉No.141(3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.142(-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.143(3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-S13)</td> <td>止水板<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N12)</td> <td>止水板<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)</td> <td>止水板<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P.21.2m</td> <td>B-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N2)</td> <td>止水板<sup>※1</sup></td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.144(3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">T.P.33.1m</td> <td>33.5m(区画境界)堰(-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>33.5m(区画境界②)堰(-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>33.5m(区画境界③)堰(-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を審査するに伴い変更が生じる可能性がある。</p>	設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉補助 建屋	T.P.17.8m	水密扉No.141(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	水密扉No.142(-)	水密扉	新設	1	水密扉No.143(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-S13)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1	A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N12)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1	B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1	T.P.21.2m	B-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1	水密扉No.144(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	T.P.33.1m	33.5m(区画境界)堰(-)	堰	既設	1	33.5m(区画境界②)堰(-)	堰	既設	1	33.5m(区画境界③)堰(-)	堰	既設	1	<p>【女川】</p> <p>設備名称の相違          記載表現の相違</p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																										
原子炉建屋 付属棟	B2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
	B1F	D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		区分IIIPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		D/G(II)PCS室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
	1F	区分I非常用D/G制御盤室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		区分III非常用D/G制御盤室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		2F通路(O.P.23600) (R-2F-16-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)	堰	新設	1																																																																																																																																										
		原子炉補機(B)室 送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)	堰	新設	2																																																																																																																																										
	原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																																																																									
主排気ダクト連絡トレンチ			水密扉	新設	1																																																																																																																																										
1F		1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		Rw制御室扉 Rw制御室送風機室 (Rw-1F-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																										
原子炉補助 建屋	T.P.17.8m	水密扉No.141(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		水密扉No.142(-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		水密扉No.143(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
		A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-S13)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1																																																																																																																																										
		A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N12)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1																																																																																																																																										
		B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1																																																																																																																																										
	T.P.21.2m	B-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 <sup>※1</sup>	新設	1																																																																																																																																										
		水密扉No.144(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																										
	T.P.33.1m	33.5m(区画境界)堰(-)	堰	既設	1																																																																																																																																										
		33.5m(区画境界②)堰(-)	堰	既設	1																																																																																																																																										
		33.5m(区画境界③)堰(-)	堰	既設	1																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉	相違理由	
	表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(4/5)						【女川】 <a href="#">設備名称の相違</a> <a href="#">記載表現の相違</a>	
	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分			箇所数
	制御建屋	B2F	制御建屋空調機械(B)室南側 (C-B2F-2)	水密扉	既設			1
			制御建屋空調機械(B)室北側 (C-B2F-2)	水密扉	既設			1
			制御建屋空調機械(B)室 【250V 直流主母線盤室境界】 (C-B2F-2)	水密扉	既設 (改造)			1
			T/B 連絡通路扉	水密扉	新設			1
			1号C/B 連絡通路	水密扉	新設			1
		B1F	計測制御電源室(A) 【計測制御電源室(B)境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設			1
			計測制御電源室(A) 【常用及び共通M/C、P/C室境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設			1
			常用及び共通M/C、P/C室 【BSS 盤室境界】 (C-B1F-1)	水密扉	新設			1
			計測制御電源室(B) (C-B1F-5)	水密扉	新設			1
			T/B 連絡通路扉	水密扉	新設			1
		1F	T/B 連絡通路扉	水密扉	新設			1
			1F 入退域エリア (管理区域) (C-1F-1)	水密扉	新設			1
			1F 入退域エリア (管理区域へ ヘルメット置場) (C-1F-1)	水密扉	新設			1
			1号C/B 連絡通路	水密扉	新設			2
			補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設			1
		2F	1号C/B 連絡通路	水密扉	新設			1
			区分-1 ケーブル処理室 (C-2F-1)	扉	新設			1
		3F	常用系ケーブル処理室 (C-2F-4)	扉	新設			2
1号MCR 境界			水密扉	新設	1			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(5/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">タービン 建屋</td> <td>B2F</td> <td>B2F エリア (T-B2F-1)</td> <td>止水壁</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>B1F エリア (T-B1F-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>大物搬入用扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大物搬入用横扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>共通エリア【東側】(No.1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>共通エリア【東側】(No.2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海水ポンプ 室</td> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(A)(C)室 (SW-1F-2)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(B)(D)室 (SW-1F-5)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">軽油タンク エリア</td> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1	大物搬入用横扉	堰	新設	1	共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1			共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1	海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A)(C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	—	RSW ポンプ(B)(D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1	軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1		<p>【女川】  <a href="#">設備名称の相違</a>  <a href="#">記載表現の相違</a></p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																							
タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1																																																																							
	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1																																																																							
	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1																																																																							
		大物搬入用横扉	堰	新設	1																																																																							
		共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1																																																																							
		共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1																																																																							
海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A)(C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
	—	RSW ポンプ(B)(D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1																																																																							
	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1																																																																							
	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2																																																																							
	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1																																																																							
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p> <p>添付資料1-3 水密区画について</p> <p>1. 概要</p> <p>水密区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンクおよび付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密区画を構成する壁については、耐震壁または学協会規格・基準の要件を満たす鉄筋コンクリート造の壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>伊方3号機における溢水源となりうる機器より、水密区画内設置として溢水源から対象外とした機器の一覧を表-1に示す。</p>		<p>水密区画について</p> <p>別紙1</p> <p>1. 概要</p> <p>水密区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンク及び付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密区画を構成する壁については、耐震壁又は「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）」の規準上の耐震壁と同等な壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>泊発電所3号炉における溢水源となりうる機器より、水密区画内設置として溢水源から対象外とした機器の一覧を表1に示す。</p>	<p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊は閉鎖区画内に設置されたタンク類が多数あり、これらの区画境界の止水性を確保することで水密区画としている。水密区画内のタンク類から生じた溢水は区画内に留まるため、溢水源として想定しないことを明記している。本資料にて水密区画である水密コンパートメントの詳細を記載した。</p> <p>記載に際し、先行審査実績のある伊方3号炉を掲載する。</p> <p>（泊欄の赤色は女川との相違を示しており、以下同様である。）</p> <p>【伊方】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>																																																																									

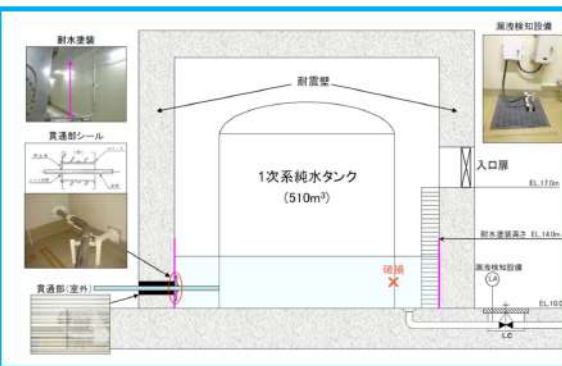
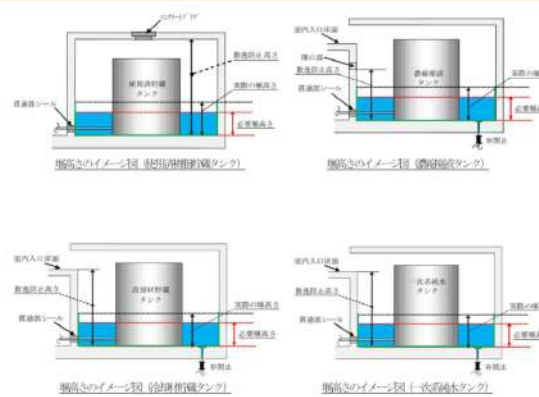
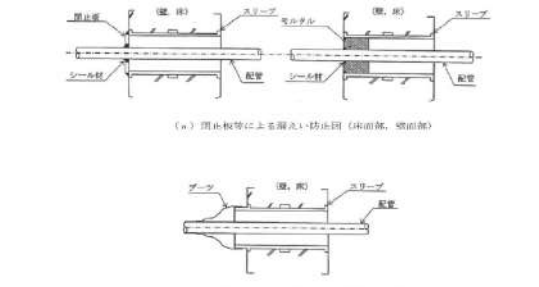

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																	
<p><b>【参考】伊方発電所3号炉</b></p> <p>表-1 伊方3号機における水密区画内設置機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水密区画内設置機器</th> <th>設置位置</th> <th>炉内容量</th> <th>電源種</th> <th>溢水高さ</th> <th>耐水塗膜高さ</th> <th>区画入口高さ</th> <th>区画壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却材貯蔵炉A</td> <td>A/B EL. 3. 3m</td> <td>204基</td> <td>150</td> <td>3. 06<sup>①</sup></td> <td>3. 7</td> <td>3. 7</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>冷却材貯蔵炉B</td> <td>A/B EL. 3. 3m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済軽核貯蔵炉A</td> <td>A/B EL. 3. 3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2. 2</td> <td>2. 4</td> <td>8. 45</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>使用済軽核貯蔵炉B</td> <td>A/B EL. 3. 3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2. 2</td> <td>2. 4</td> <td>8. 45</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>使用済重油炉</td> <td>A/B EL. 3. 3m</td> <td>5. 3</td> <td>16</td> <td>0. 4</td> <td>2. 1</td> <td>3. 3</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>原液貯蔵炉A</td> <td>A/B EL. 3. 3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1. 0</td> <td>2. 1</td> <td>1. 6</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>原液貯蔵炉B</td> <td>A/B EL. 3. 3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1. 0</td> <td>2. 1</td> <td>1. 6</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>一次系純水炉</td> <td>B/B EL. 10. 0m</td> <td>510</td> <td>170</td> <td>3. 0</td> <td>4. 0</td> <td>7. 1</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>濃縮液投入炉A</td> <td>A/B EL. 10. 0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1. 2</td> <td>2. 1</td> <td>3. 6</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>濃縮液投入炉B</td> <td>A/B EL. 10. 0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1. 2</td> <td>2. 1</td> <td>3. 6</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>予備濃縮液炉</td> <td>A/B EL. 10. 0m</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>0. 8</td> <td>2. 1</td> <td>1. 4</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>洗浄排水濃縮液投入炉</td> <td>A/B EL. 10. 0m</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>1. 1</td> <td>2. 1</td> <td>1. 4</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：冷却材貯蔵タンクは2基で400%（304m<sup>3</sup>）以上の受入余裕を確保するよう、マニュアルで規定されているが、溢水高さの算出においては90%容量（受入率インターロック閉止水位）×2基の水量（548m<sup>3</sup>）を適用した。（冷却材貯蔵タンク等A、B型は普通定で適用）</p> <p>②：区画壁は、「①耐震設計上考慮している耐震壁」、耐震設計上考慮していないが「②協会規格・基準の要件を満たす耐震壁」に分類する。なお、「②協会規格・基準の要件を満たす耐震壁」は、原子力施設鉄筋コンクリート構造計算規程・同解説（日本建築学会、2005年）「19条 耐震壁の断面算定」第5項の記載（壁板の厚さ、壁板のせん断補強筋比、壁板の縦筋配置、壁板の径と間隔等）を満たす壁とする。</p>	水密区画内設置機器	設置位置	炉内容量	電源種	溢水高さ	耐水塗膜高さ	区画入口高さ	区画壁	冷却材貯蔵炉A	A/B EL. 3. 3m	204基	150	3. 06 <sup>①</sup>	3. 7	3. 7	耐震壁 (①)	冷却材貯蔵炉B	A/B EL. 3. 3m							使用済軽核貯蔵炉A	A/B EL. 3. 3m	77	35	2. 2	2. 4	8. 45	耐震壁 (①)	使用済軽核貯蔵炉B	A/B EL. 3. 3m	77	35	2. 2	2. 4	8. 45	耐震壁 (①)	使用済重油炉	A/B EL. 3. 3m	5. 3	16	0. 4	2. 1	3. 3	耐震壁 (①、②)	原液貯蔵炉A	A/B EL. 3. 3m	60	65	1. 0	2. 1	1. 6	耐震壁 (①)	原液貯蔵炉B	A/B EL. 3. 3m	60	65	1. 0	2. 1	1. 6	耐震壁 (①)	一次系純水炉	B/B EL. 10. 0m	510	170	3. 0	4. 0	7. 1	耐震壁 (①)	濃縮液投入炉A	A/B EL. 10. 0m	38	32	1. 2	2. 1	3. 6	耐震壁 (①、②)	濃縮液投入炉B	A/B EL. 10. 0m	38	32	1. 2	2. 1	3. 6	耐震壁 (①、②)	予備濃縮液炉	A/B EL. 10. 0m	12	10	0. 8	2. 1	1. 4	耐震壁 (①、②)	洗浄排水濃縮液投入炉	A/B EL. 10. 0m	12	11	1. 1	2. 1	1. 4	耐震壁 (①、②)	<p>表1 泊発電所3号炉における水密区画内設置機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水密区画内設置機器</th> <th>設置場所</th> <th>タンク容量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>壁面積 (m<sup>2</sup>)</th> <th>溢水高さ (cm)</th> <th>耐水塗膜高さ (cm)</th> <th>区画入口高さ (cm)</th> <th>区画壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-濃縮液貯蔵タンク</td> <td>原子炉</td> <td>25</td> <td rowspan="2">37.1</td> <td rowspan="2">134.8</td> <td rowspan="2">160</td> <td rowspan="2">280</td> <td rowspan="2">①、②</td> </tr> <tr> <td>B-濃縮液貯蔵タンク</td> <td>補助建屋 T.P. 17. 8m</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>A-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋 T.P. 2. 8m</td> <td>360</td> <td>64. 46</td> <td>558. 5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>B-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋 T.P. 2. 8m</td> <td>360</td> <td>64. 46</td> <td>558. 5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>A-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>原子炉</td> <td>70</td> <td rowspan="3">72. 17</td> <td rowspan="3">291</td> <td rowspan="3">295</td> <td rowspan="3">810</td> <td rowspan="3">①</td> </tr> <tr> <td>B-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋 T.P. 2. 8m</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>C-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td></td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>一次系純水タンク</td> <td>原子炉 建屋 T.P. 17. 8m</td> <td>365</td> <td>92. 48</td> <td>394. 7</td> <td>395</td> <td>690</td> <td>①</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 区画壁は、「①耐震設計上考慮している耐震壁」、          「②鉄筋コンクリート構造計算規程・同解説（日本建築学会）の規準上の耐震壁と同等な耐震壁」に分類する。</p>	水密区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m <sup>3</sup> )	壁面積 (m <sup>2</sup> )	溢水高さ (cm)	耐水塗膜高さ (cm)	区画入口高さ (cm)	区画壁	A-濃縮液貯蔵タンク	原子炉	25	37.1	134.8	160	280	①、②	B-濃縮液貯蔵タンク	補助建屋 T.P. 17. 8m	25	A-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P. 2. 8m	360	64. 46	558. 5	561	740	①	B-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P. 2. 8m	360	64. 46	558. 5	561	740	①	A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉	70	72. 17	291	295	810	①	B-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P. 2. 8m	70	C-使用済樹脂貯蔵タンク		70	一次系純水タンク	原子炉 建屋 T.P. 17. 8m	365	92. 48	394. 7	395	690	①	<p>3. 水密区画の構造</p> <p>水密区画は下記に示す設計としており、溢水した保有水が区画外へ漏えいしない構造となっている。図1に水密区画の概要図を示す。</p> <p>①区画壁は鉄筋コンクリート造の壁であり地震時に倒壊、損傷しない強度を有するとともに、耐水性のあるエポキシ樹脂系塗料にて塗装が施されている。</p> <p>②区画入口は溢水高さ以上に設置されている。</p> <p>③溢水高さ以下の壁貫通部は、シール施工をしており、外部へ漏えいしない設計としている。また貫通配管は貫通部前後でサポート固定されており、貫通部シールに大きな荷重がかからないよう配慮されている。</p> <p>④床ドレン配管の隔離弁は常時閉鎖としており、水密区画内の漏水が検知できる設備を設置する。</p>	<p>相違理由</p> <p>【伊方】  <a href="#">設計方針の相違</a>          伊方ではタンク容量をインターロックによって設定される水位（全容量の90%）で評価しているが、泊は設計上のタンク全容量で設定し評価している。</p> <p>【伊方】  <a href="#">設備名称の相違</a>  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【伊方】  <a href="#">記載表現の相違</a>          泊は漏えい検知器若しくは水位計の低警報によって漏えいが検知できる（システム検知）。</p>
水密区画内設置機器	設置位置	炉内容量	電源種	溢水高さ	耐水塗膜高さ	区画入口高さ	区画壁																																																																																																																																																													
冷却材貯蔵炉A	A/B EL. 3. 3m	204基	150	3. 06 <sup>①</sup>	3. 7	3. 7	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
冷却材貯蔵炉B	A/B EL. 3. 3m																																																																																																																																																																			
使用済軽核貯蔵炉A	A/B EL. 3. 3m	77	35	2. 2	2. 4	8. 45	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
使用済軽核貯蔵炉B	A/B EL. 3. 3m	77	35	2. 2	2. 4	8. 45	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
使用済重油炉	A/B EL. 3. 3m	5. 3	16	0. 4	2. 1	3. 3	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
原液貯蔵炉A	A/B EL. 3. 3m	60	65	1. 0	2. 1	1. 6	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
原液貯蔵炉B	A/B EL. 3. 3m	60	65	1. 0	2. 1	1. 6	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
一次系純水炉	B/B EL. 10. 0m	510	170	3. 0	4. 0	7. 1	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
濃縮液投入炉A	A/B EL. 10. 0m	38	32	1. 2	2. 1	3. 6	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
濃縮液投入炉B	A/B EL. 10. 0m	38	32	1. 2	2. 1	3. 6	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
予備濃縮液炉	A/B EL. 10. 0m	12	10	0. 8	2. 1	1. 4	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
洗浄排水濃縮液投入炉	A/B EL. 10. 0m	12	11	1. 1	2. 1	1. 4	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
水密区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m <sup>3</sup> )	壁面積 (m <sup>2</sup> )	溢水高さ (cm)	耐水塗膜高さ (cm)	区画入口高さ (cm)	区画壁																																																																																																																																																													
A-濃縮液貯蔵タンク	原子炉	25	37.1	134.8	160	280	①、②																																																																																																																																																													
B-濃縮液貯蔵タンク	補助建屋 T.P. 17. 8m	25																																																																																																																																																																		
A-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P. 2. 8m	360	64. 46	558. 5	561	740	①																																																																																																																																																													
B-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P. 2. 8m	360	64. 46	558. 5	561	740	①																																																																																																																																																													
A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉	70	72. 17	291	295	810	①																																																																																																																																																													
B-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉 補助建屋 T.P. 2. 8m	70																																																																																																																																																																		
C-使用済樹脂貯蔵タンク		70																																																																																																																																																																		
一次系純水タンク	原子炉 建屋 T.P. 17. 8m	365	92. 48	394. 7	395	690	①																																																																																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料9）

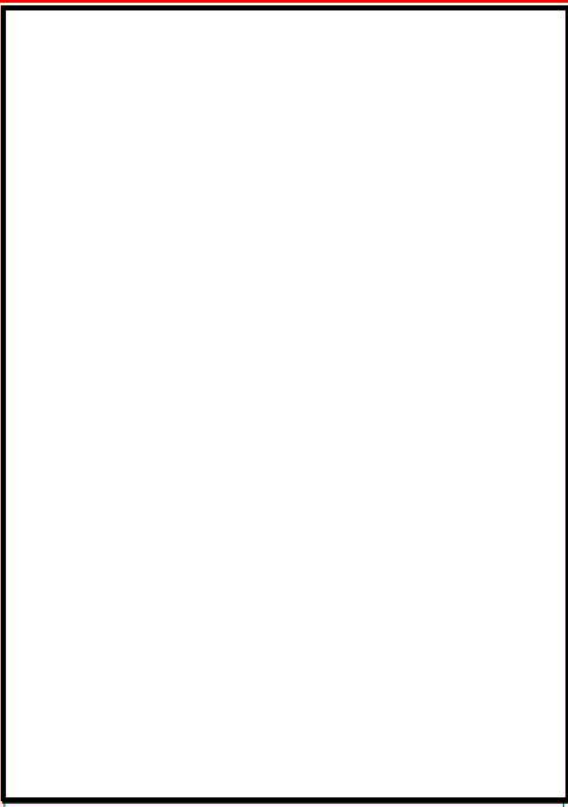
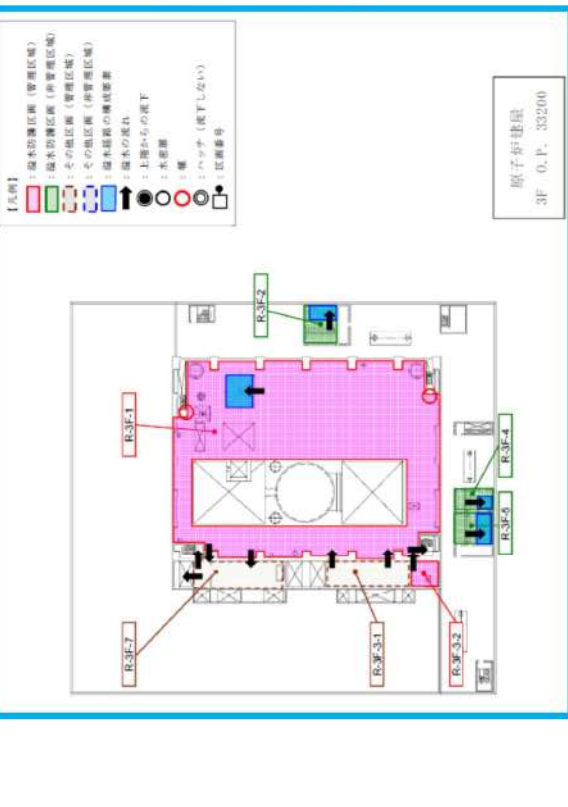
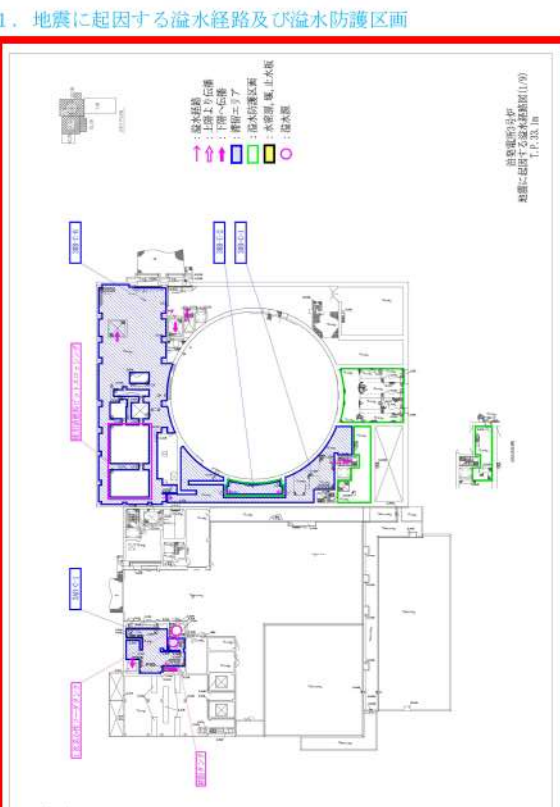
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p>  <p>図-1 水密区画概要図（1次系純水タンクの例）</p>		 <p>図1 水密区画内設置機器概要図</p>  <p>図2 貫通部シール施工概要図</p> <p>&lt;現地施工状況例&gt;</p>  <p>図3 貫通部シール施工例</p>	<p>【伊方】                  記載表現の相違                  ・伊方は一例として1次系純水タンクを記載しているのに対し、泊は水密区画にあるタンクすべての概要図を記載し、設計が異なるものではないことを明示している。                  ・水密区画の貫通部シール施工概要図及び貫通部シール施工例写真を図2及び図3として記載した（伊方は図-1の図中に記載）。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

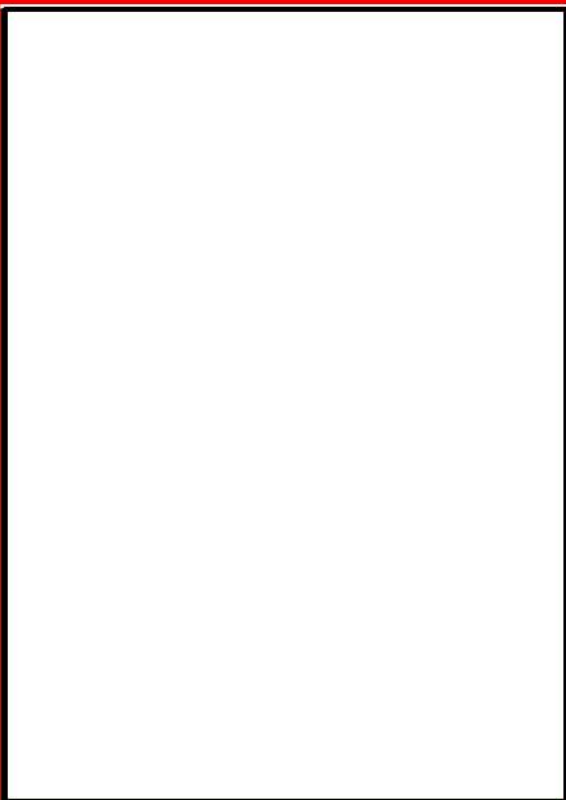
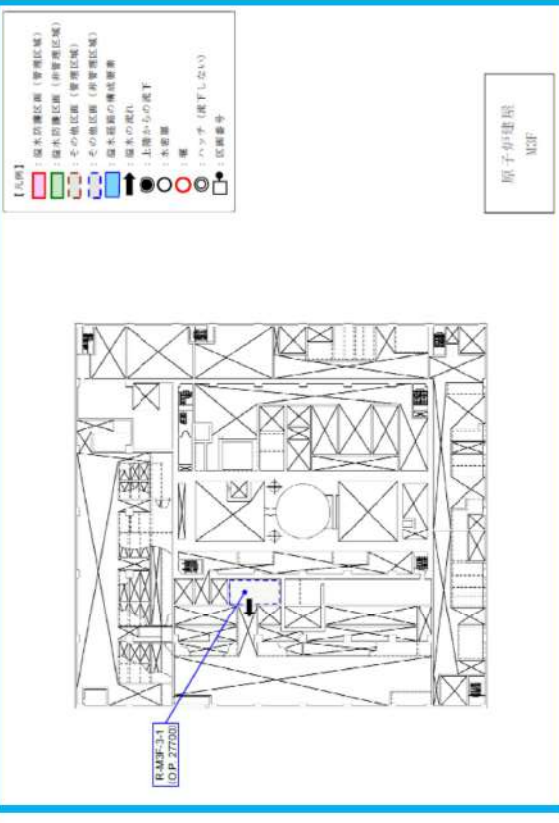
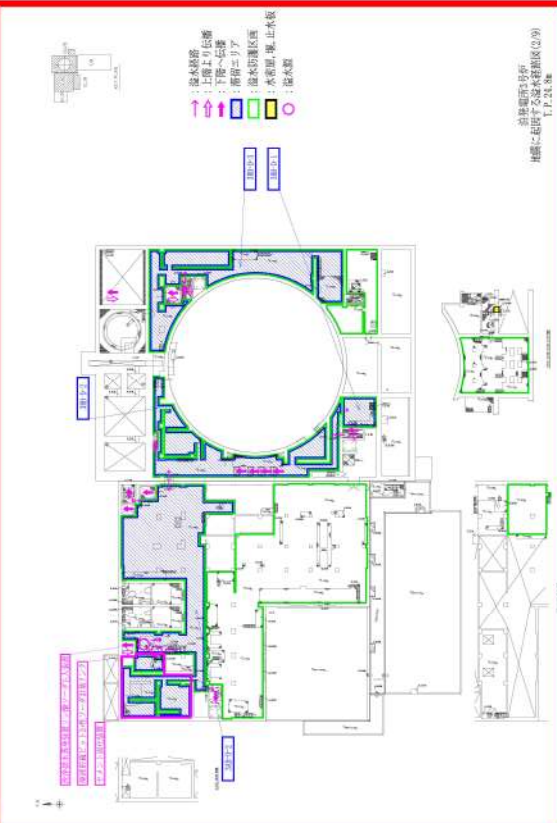
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p><b>【参考】伊方発電所3号炉</b></p> <p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について                  水密区画の隔壁はマッシブな鉄筋コンクリートであるが、基準地震動 <math>S_s</math> による最大せん断ひずみがせん断力-せん断ひずみ線図上の第一折れ点を上回る層もあり、ひび割れの発生による漏水を否定できないため、ひび割れによる漏水量について検討を実施した。別紙3に検討結果を示す。</p>		<p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について                  水密区画の隔壁は耐震壁又は「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）」の規準上の耐震壁と同等な壁であるが、基準地震動による最大せん断ひずみがせん断力-せん断ひずみ線図上の第一折れ点を上回る層もあり、ひび割れの発生による漏水を否定できないため、ひび割れによる漏水量について検討した結果、最大残留ひび割れ幅は「維持管理指針」に示される評価基準である「0.2mm」を超えないことを確認した。補足説明資料29「内部溢水評価における耐震壁等の確認について」に検討結果を示す。</p>	<p><b>【伊方】</b>  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">記載方針の相違</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊方は対象の隔壁を総称してマッシブな鉄筋コンクリートと表現しているが、泊は耐震壁及び規準上の耐震壁と同等な壁として分類し、記載している。（補足説明資料29）</li> <li>・検討結果より、最終貯留区画の耐震壁及び規準上の耐震壁と同等な壁において、ひび割れによる漏水が極めて少量であり、溢水影響評価へ影響しないことを確認した。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

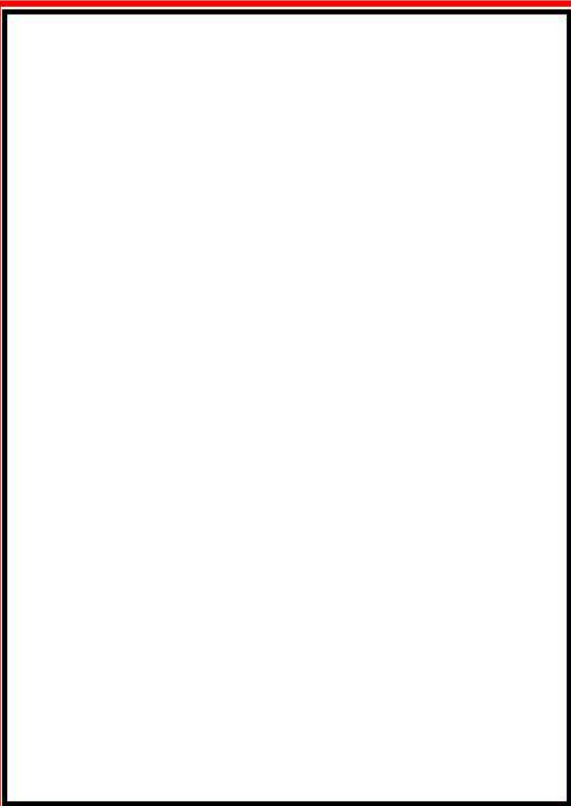
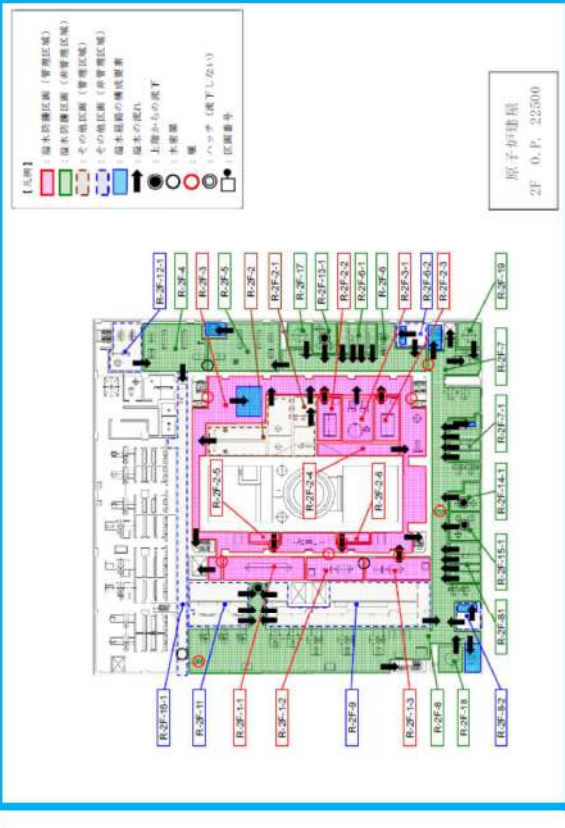
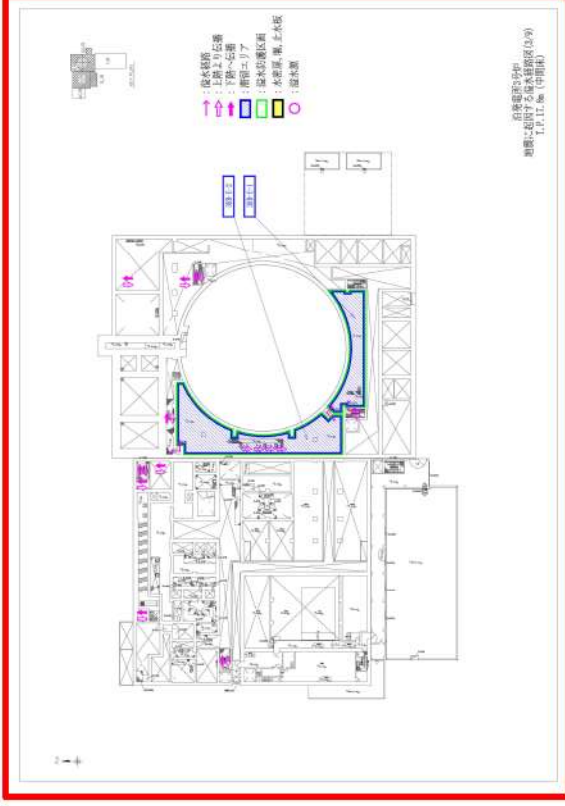
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.4.3-3	添付資料 10	添付資料 10	
	<p>女川原子力発電所2号炉                  添付資料 10                  溢水伝播経路図（平面図）</p> 	<p>泊発電所3号炉                  添付資料 10                  溢水伝播経路図（平面図）</p> <p>1. 地震に起因する溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p>【大阪】                  記載表現の相違</p> <p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

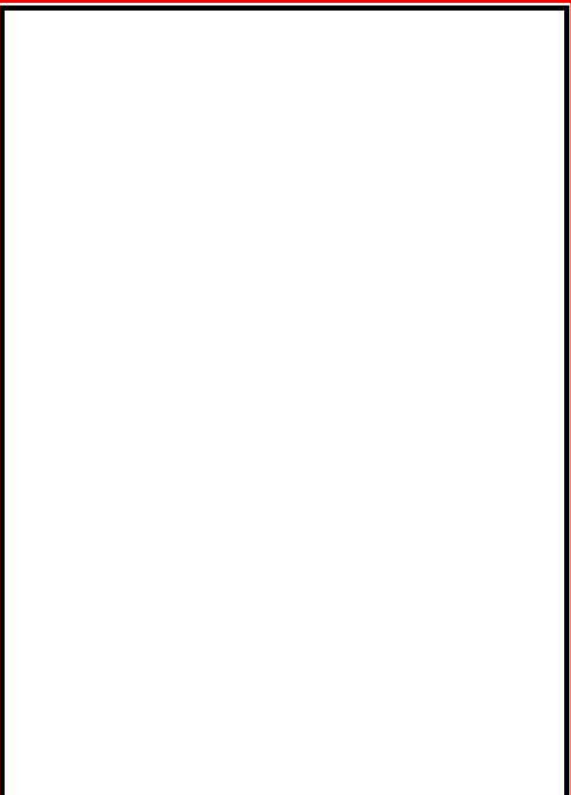
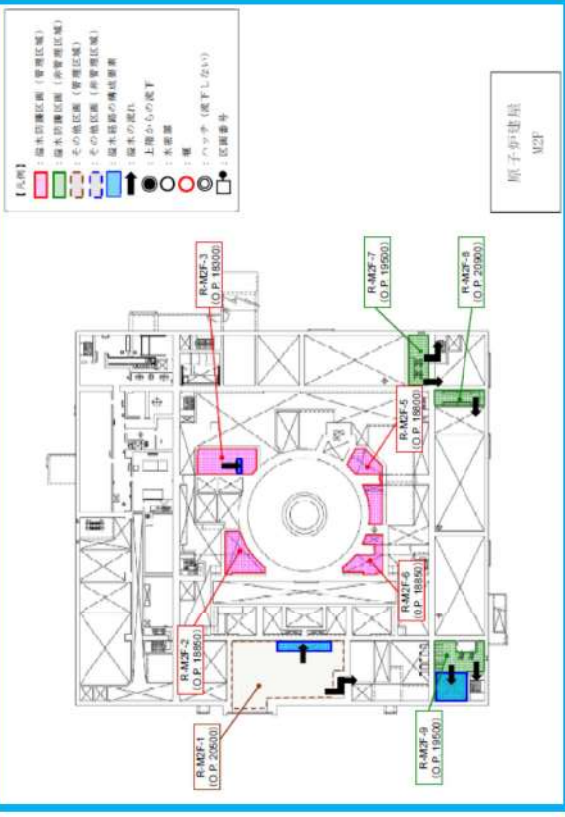
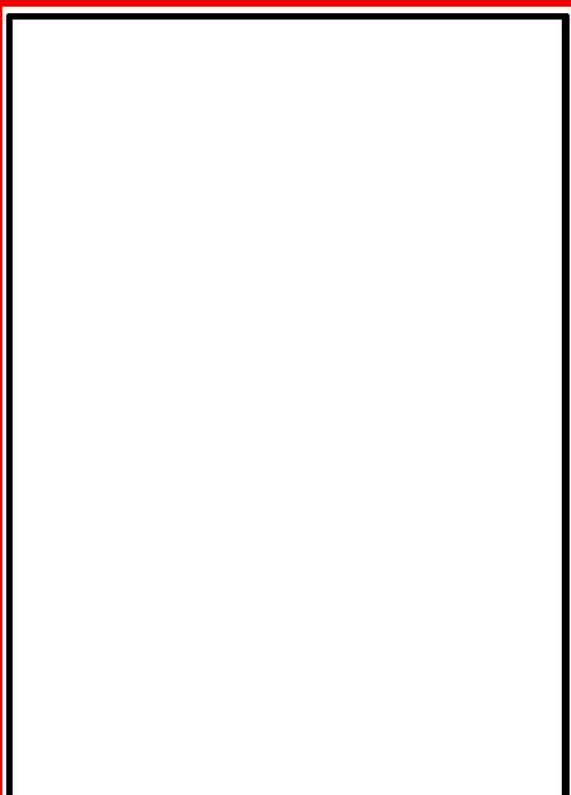
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>  <u>プラント設計の相違</u></p>
<p>特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			



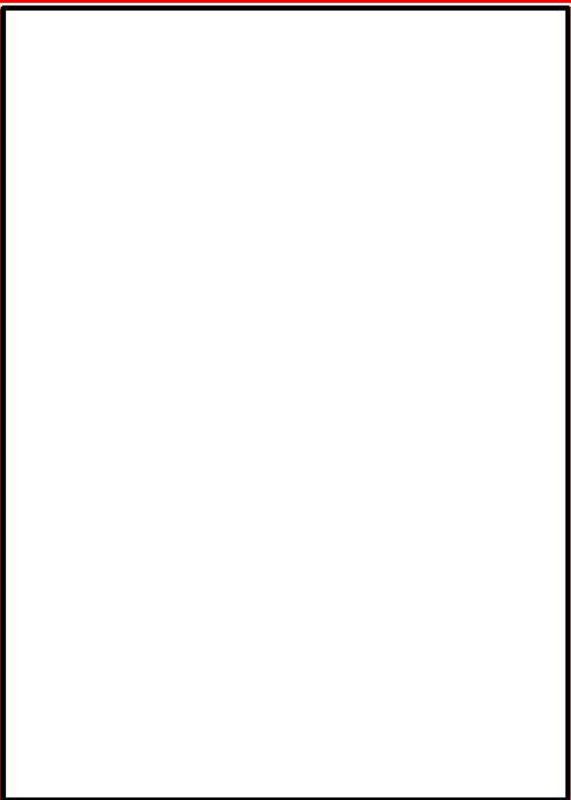
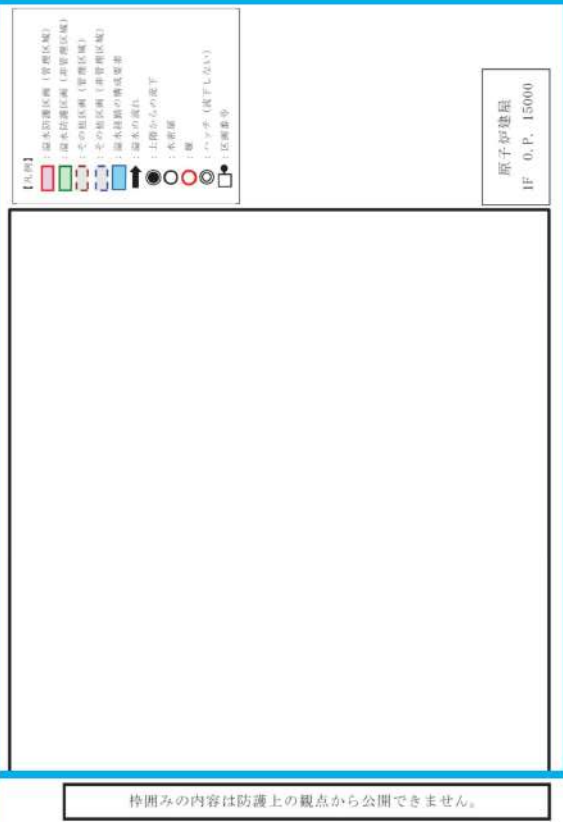
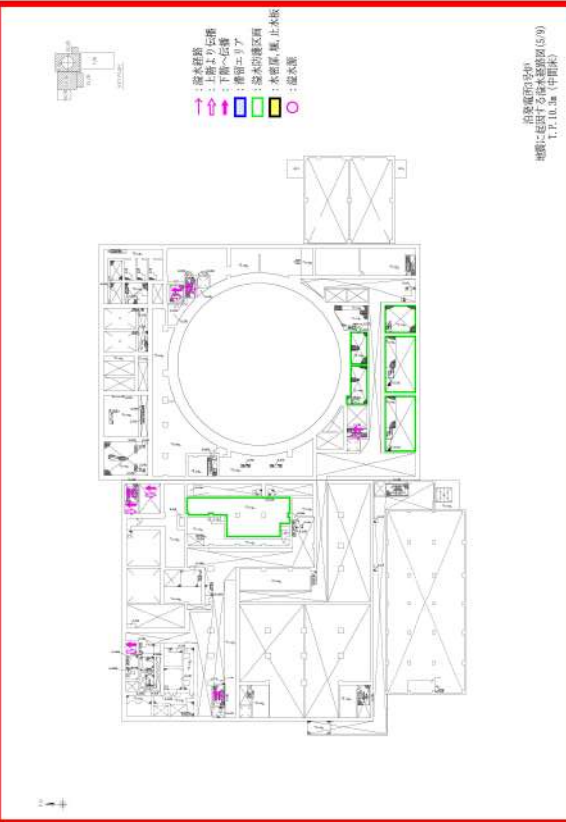
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>原子炉建屋 2F O.P. 22500</p>		<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

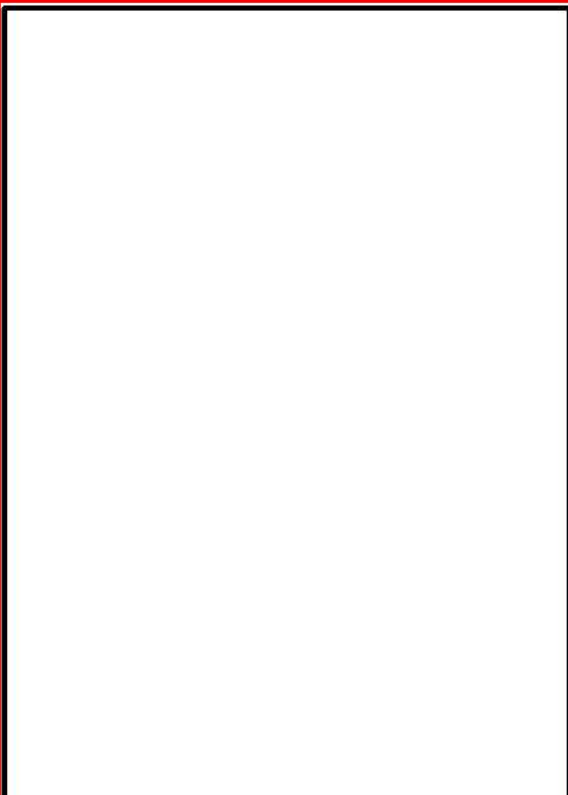
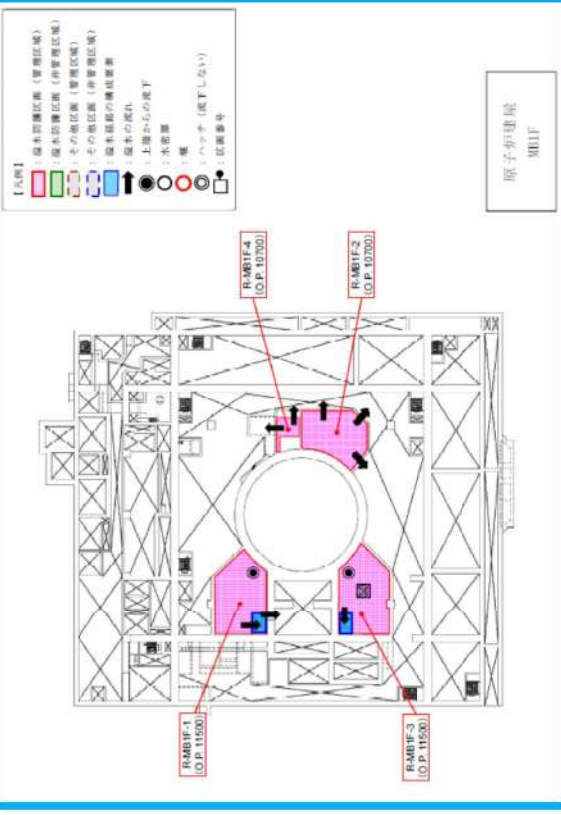
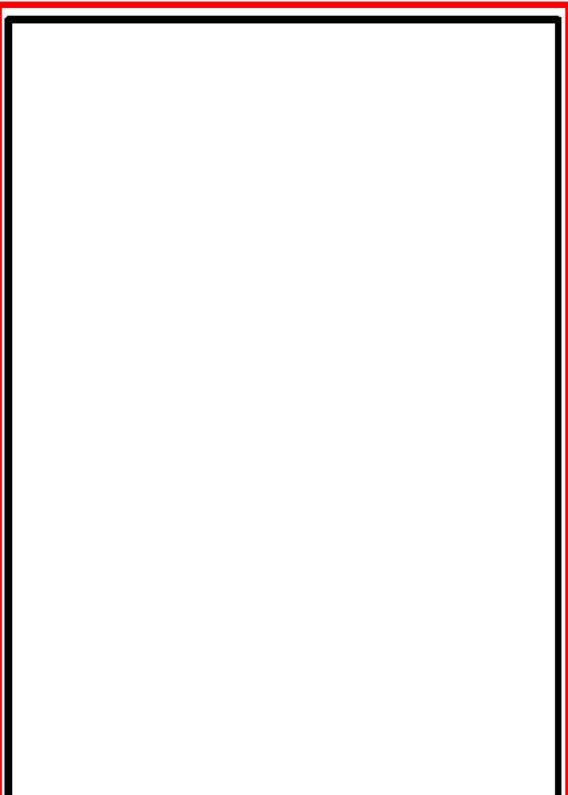
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

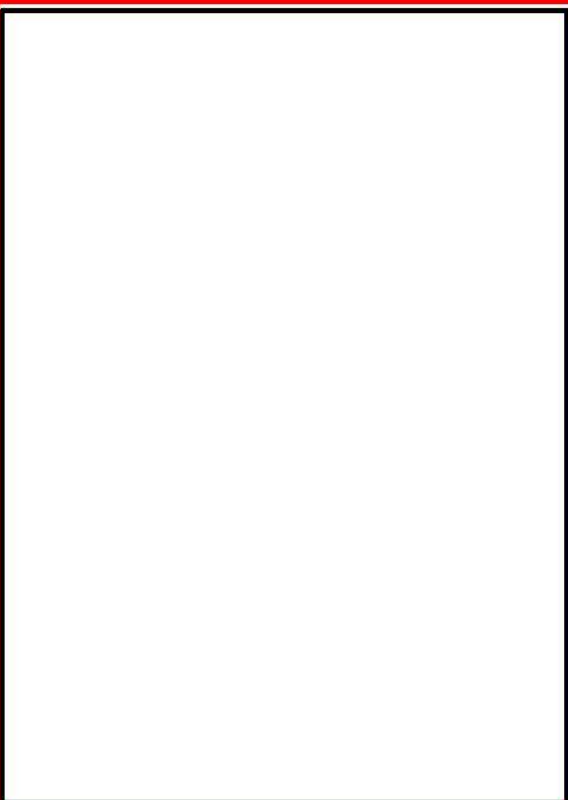

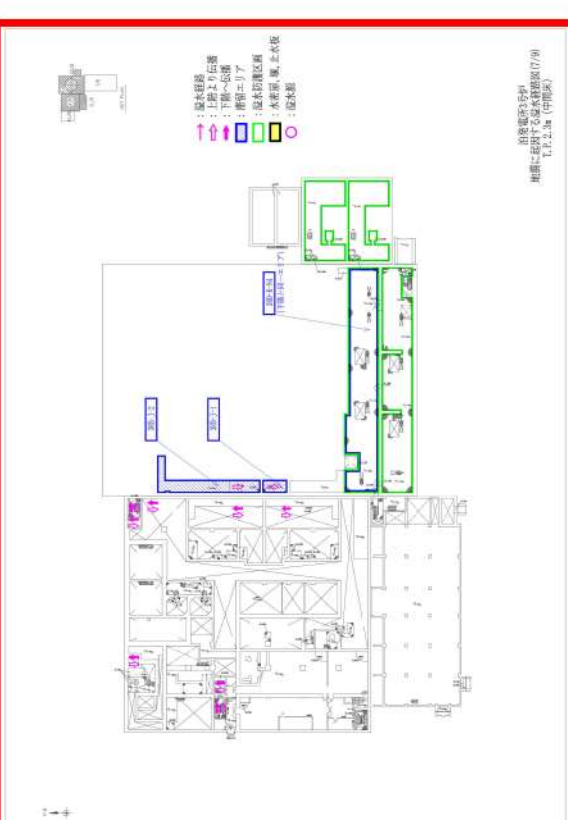
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

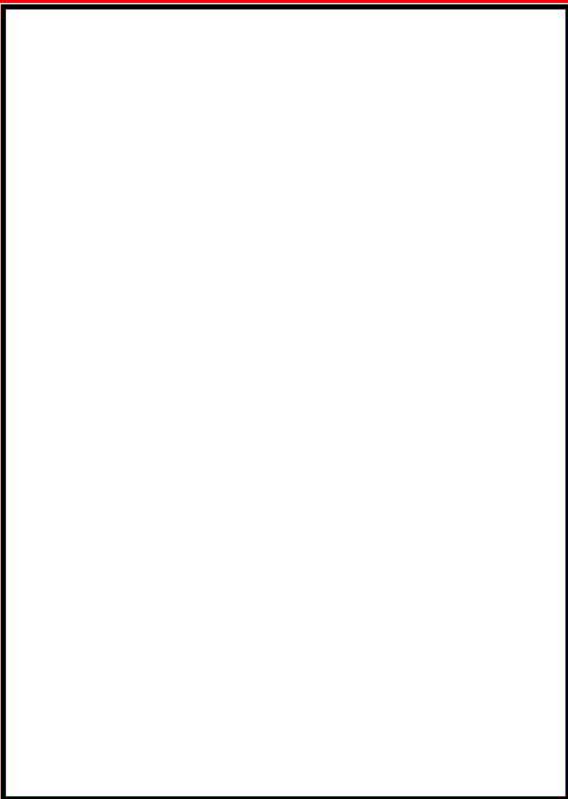
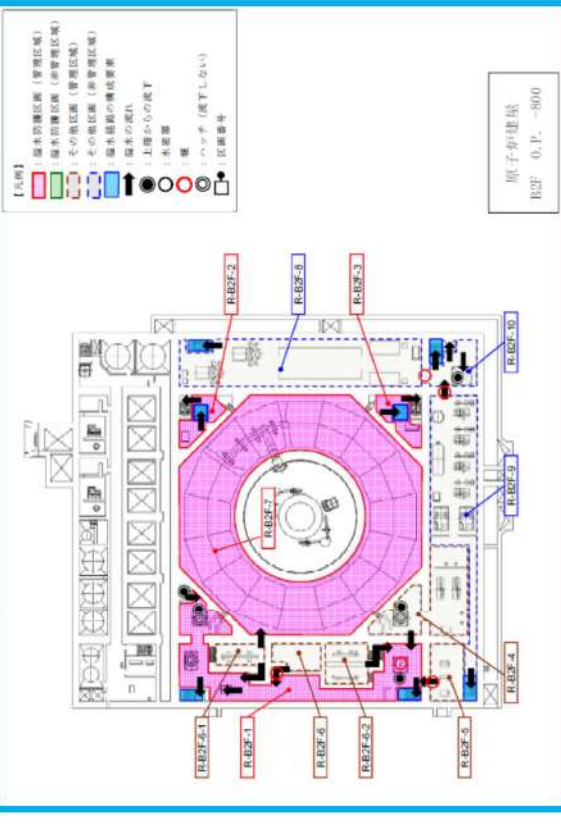
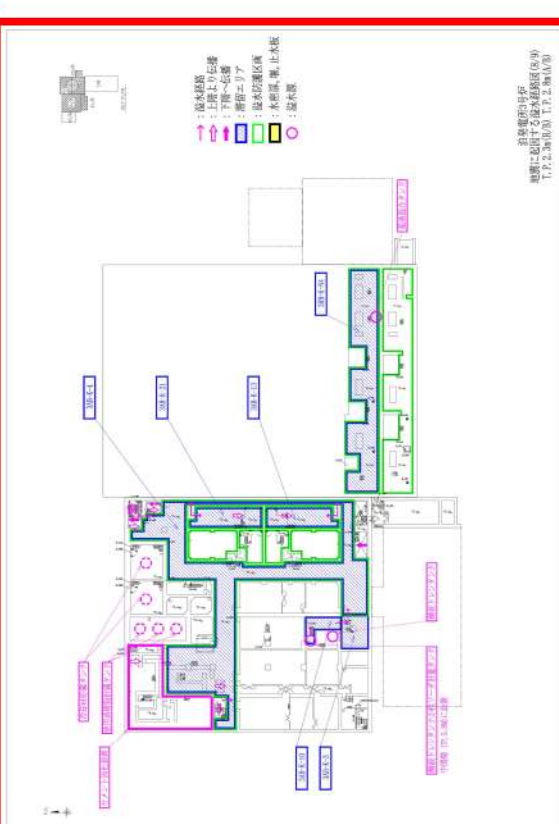
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>棒囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>棒囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

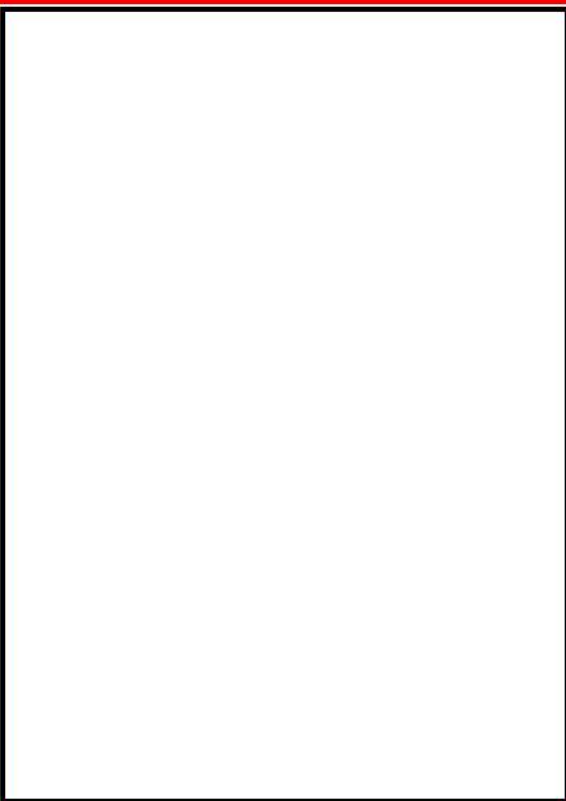

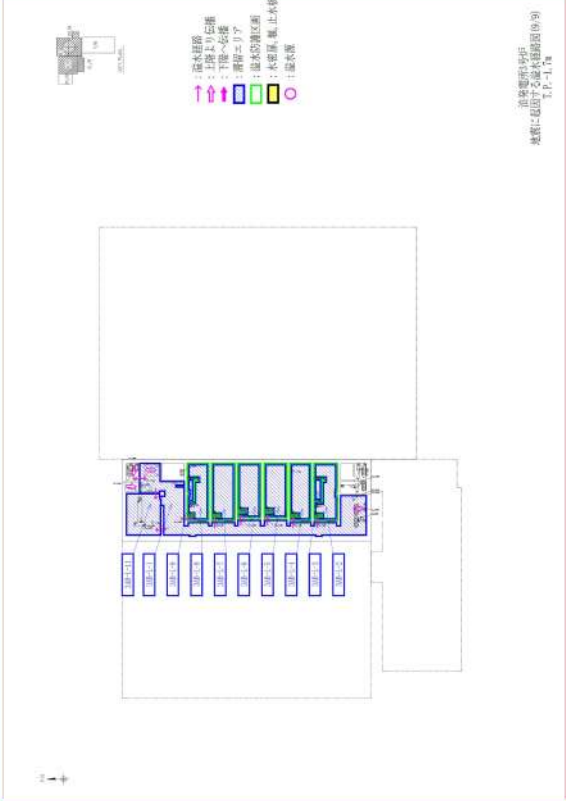
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

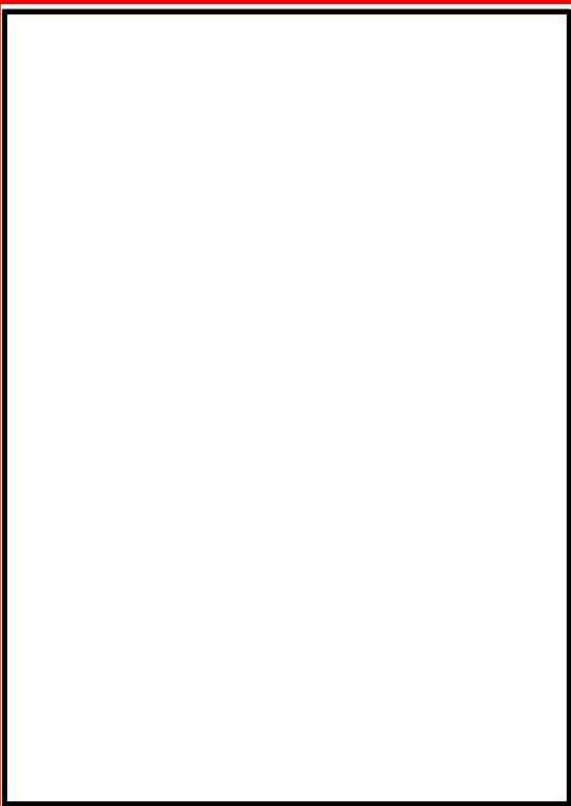

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">原子炉建屋 B3F 0.F. -8100</p>		<p><b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p><b>【大阪】</b>  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

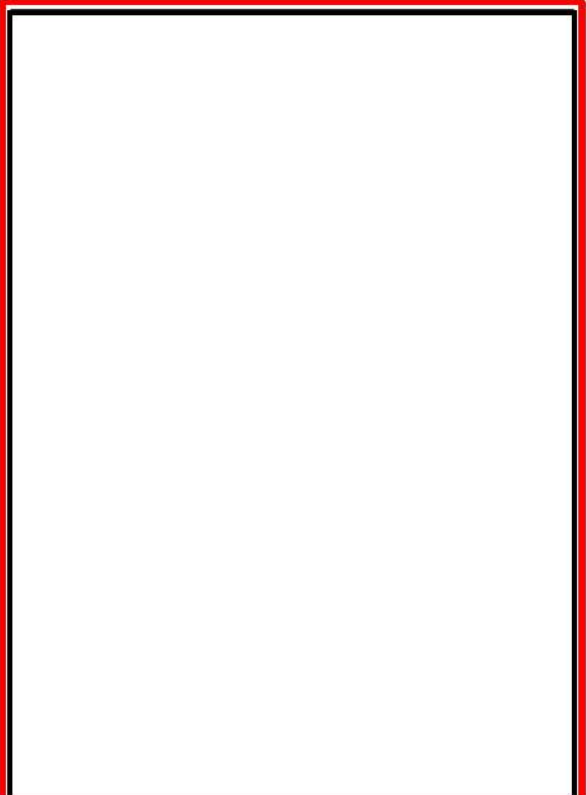

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 1023 683 1050">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="770 1002 1256 1029">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	<p data-bbox="1503 140 1644 167">泊発電所3号炉</p>	<p data-bbox="1874 177 1935 204">【女川】</p> <p data-bbox="1874 213 1995 240">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1874 250 2130 443">女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p data-bbox="1874 453 1935 480">【大阪】</p> <p data-bbox="1874 489 1995 517">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 526 2024 553">プラント設計の相違</p>



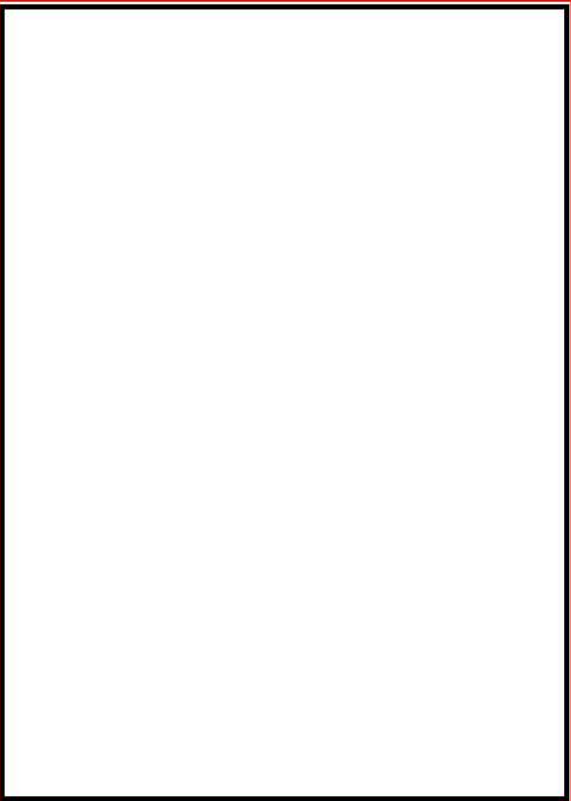
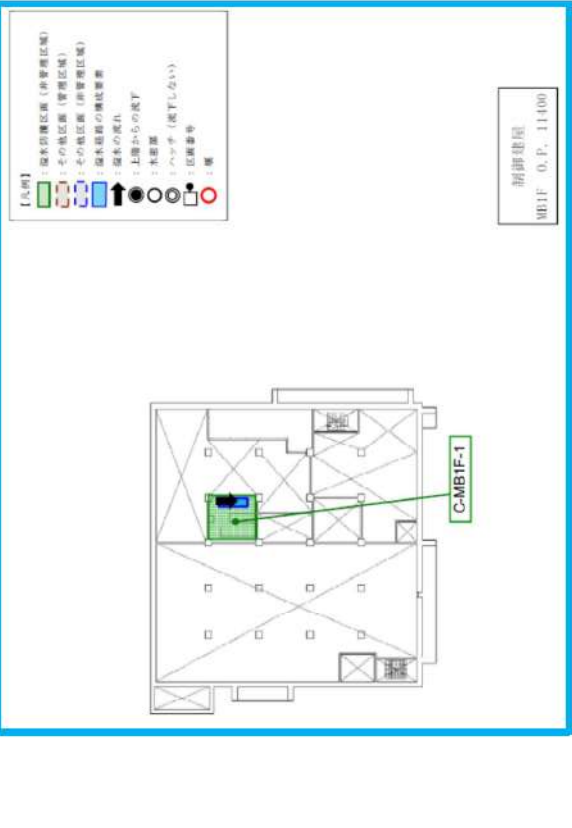
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 209 680 1018" style="border: 2px solid red; height: 500px;"></div> <div data-bbox="114 1023 680 1050" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<div data-bbox="703 177 1272 935" style="border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緑色塗り：溢水防護区画（非管理区画）</li> <li>黄色塗り：その他の区画（管理区画）</li> <li>青色塗り：溢水防護区画（非管理区画）</li> <li>黒色塗り：溢水防護区画の境界線</li> <li>↑：上階からの配水</li> <li>●：本体部</li> <li>○：ハッチ（落下しない）</li> <li>□：区画番号</li> <li>○：壁</li> </ul> <p>2F O.P. 19500</p> </div>		<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>

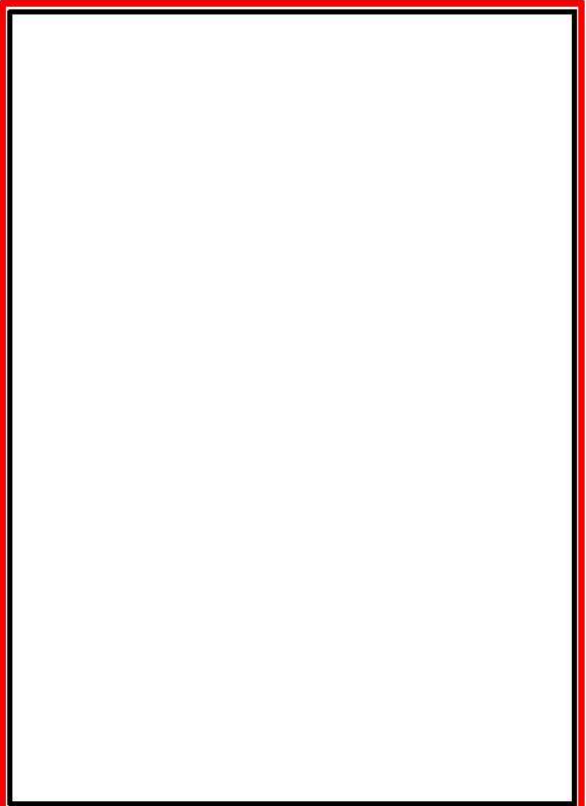
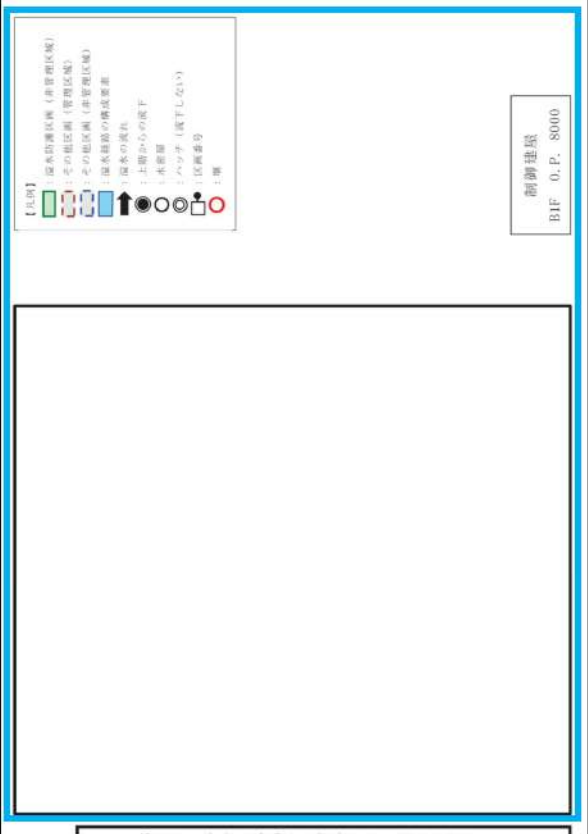
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 1021 672 1045">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="772 1005 1198 1029">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1870 175 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1870 207 2004 231"><u>記載方針の相違</u></p> <p data-bbox="1870 239 2128 438">女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p data-bbox="1870 446 1937 470">【大阪】</p> <p data-bbox="1870 478 2004 502"><u>設計方針の相違</u></p> <p data-bbox="1870 510 2027 534">プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

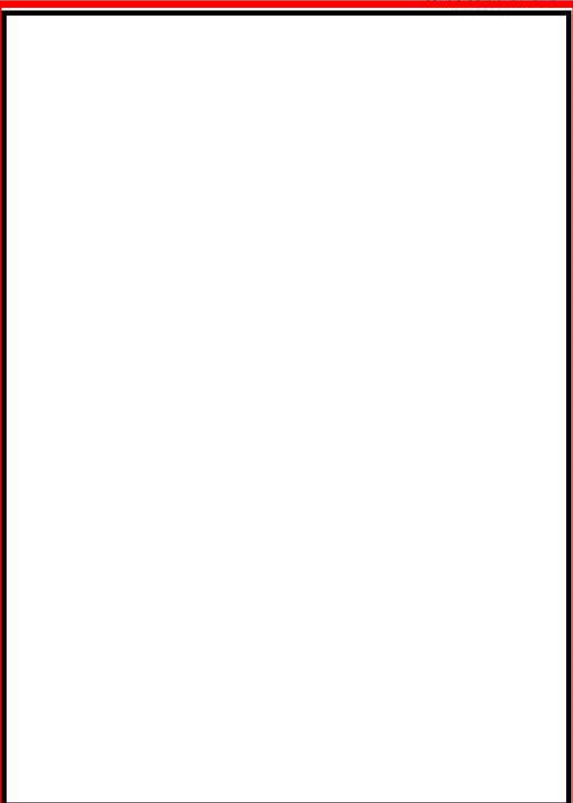
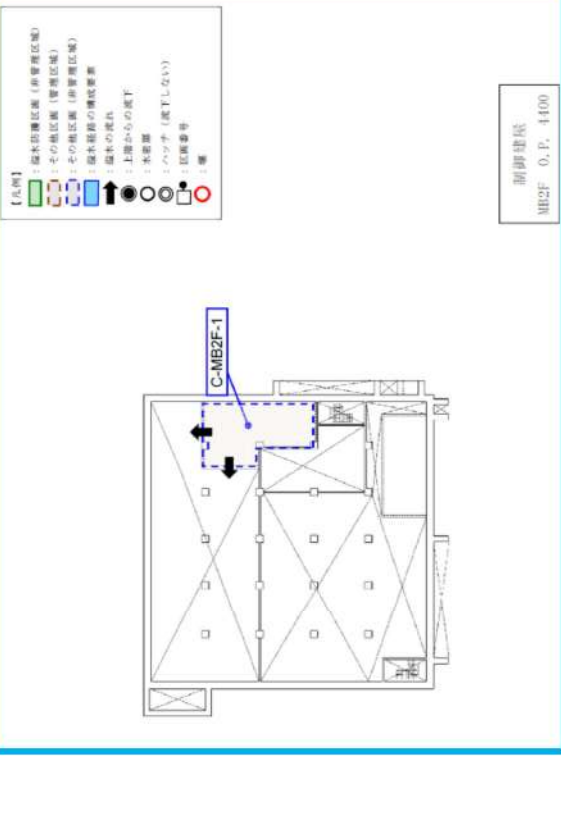
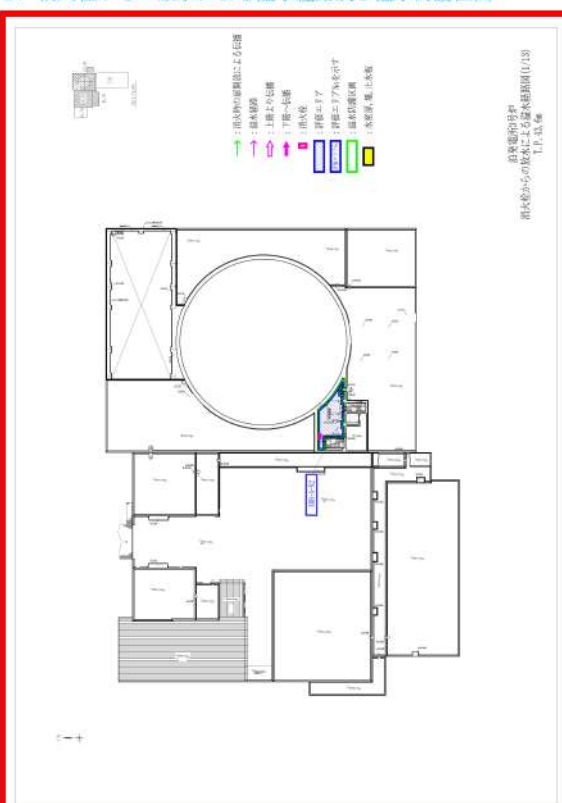
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】                  記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

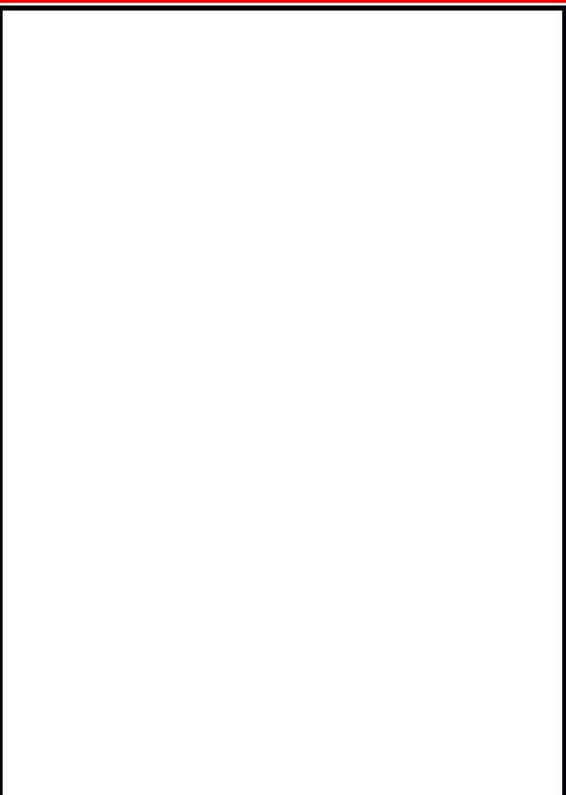
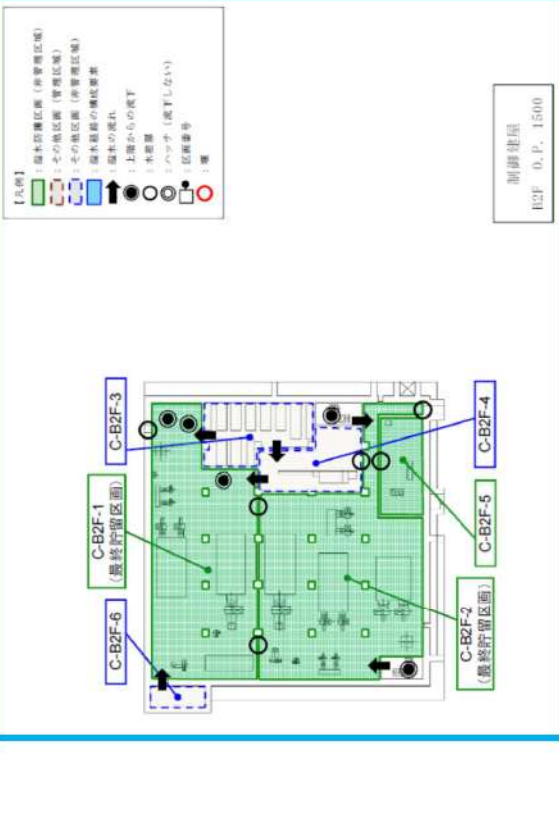
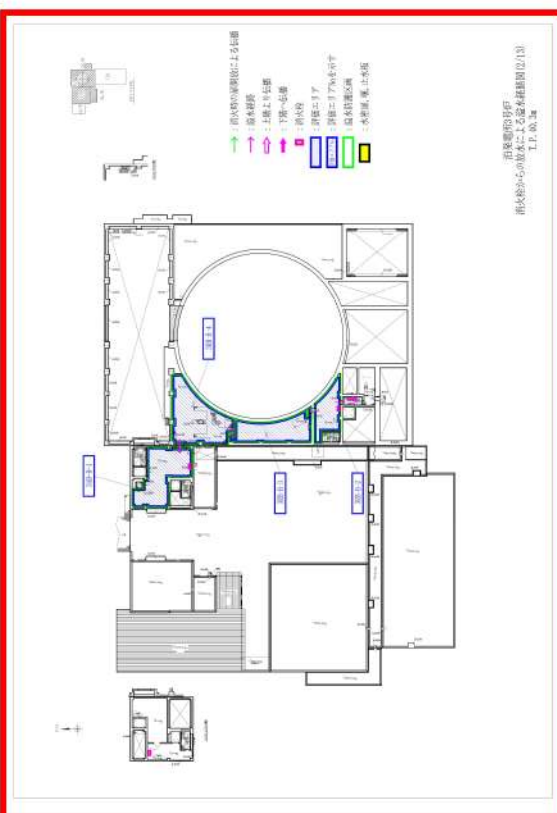
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="112 1021 683 1045">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="772 1013 1265 1037">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1872 175 2130 446"> <b>【女川】</b>  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）                 </p> <p data-bbox="1872 454 2130 542"> <b>【大阪】</b>  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の相違                 </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

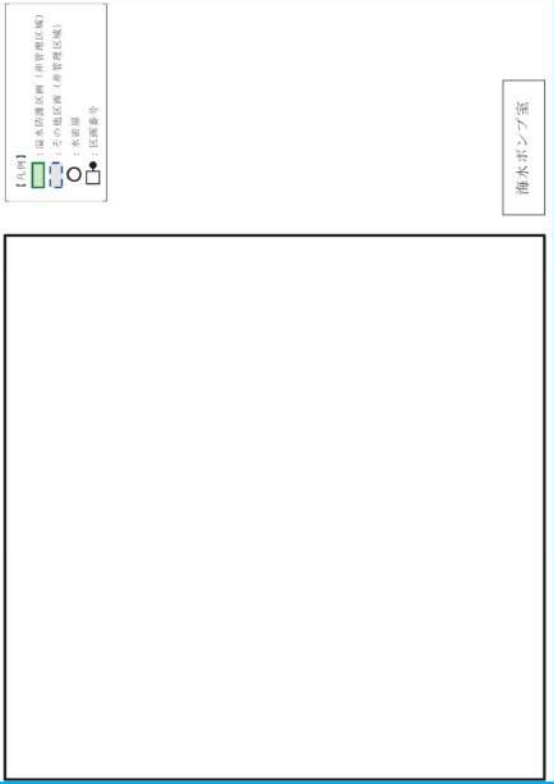
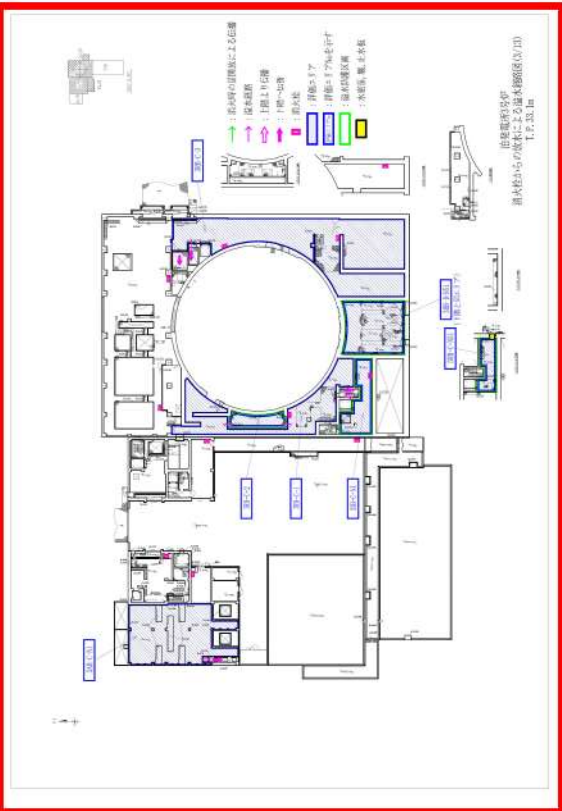
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料1.4.2-3</p> 	<p>新即建屋 MB2F O.P. 4400</p> 	<p>2. 消火栓からの放水による溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>  <u>プラント設計の相違</u>  <u>記載表現の相違</u></p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

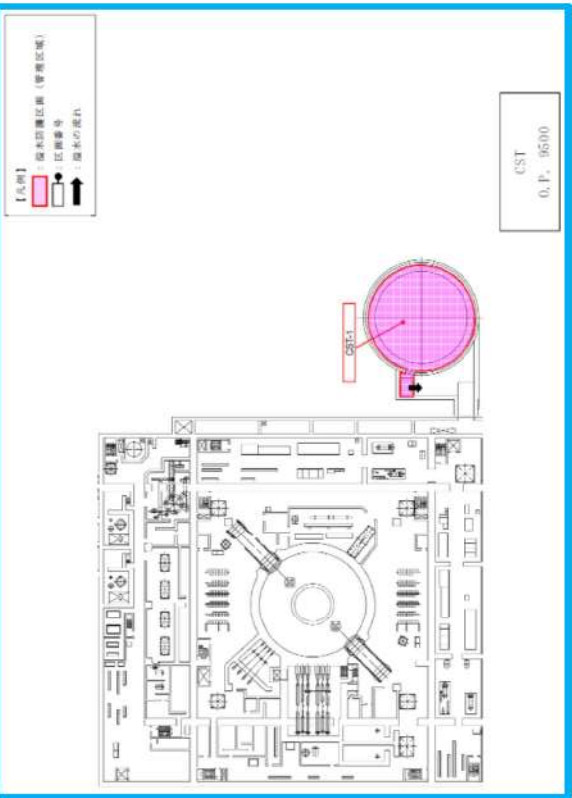
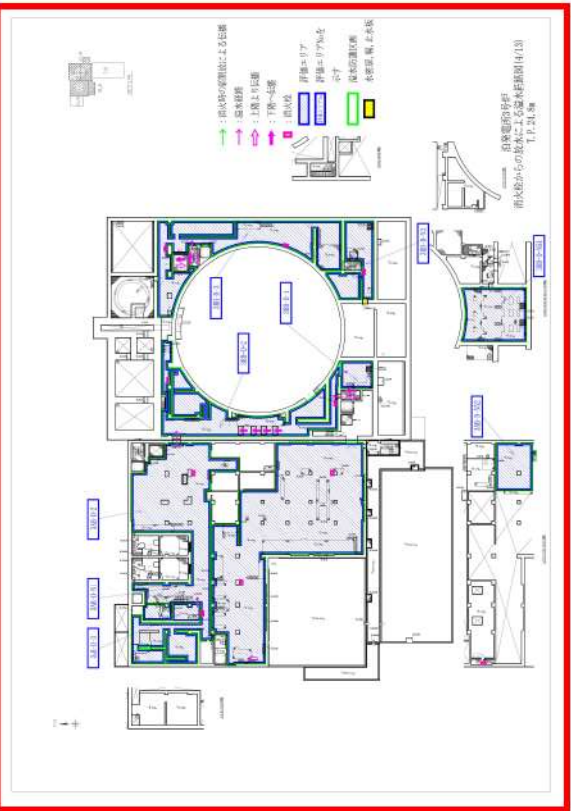
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                      女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="712 183 817 391">【凡例】                  ■ 溢水防護区画（非常時区域）                  ■ その他区域（非常時区域）                  ■ 水源地                  ■ 区域番号</p> <p data-bbox="1209 279 1243 391">海水ポンプ室</p> <p data-bbox="772 981 1249 1005">枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	 <p data-bbox="1294 215 1854 1029">泊発電所3号炉                  海水ポンプ室の配置と区域番号(0) 17.02.14</p>	<p data-bbox="1874 183 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1874 215 2130 438">記載方針の相違                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p data-bbox="1874 454 1937 470">【大阪】</p> <p data-bbox="1874 486 2130 542">設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>



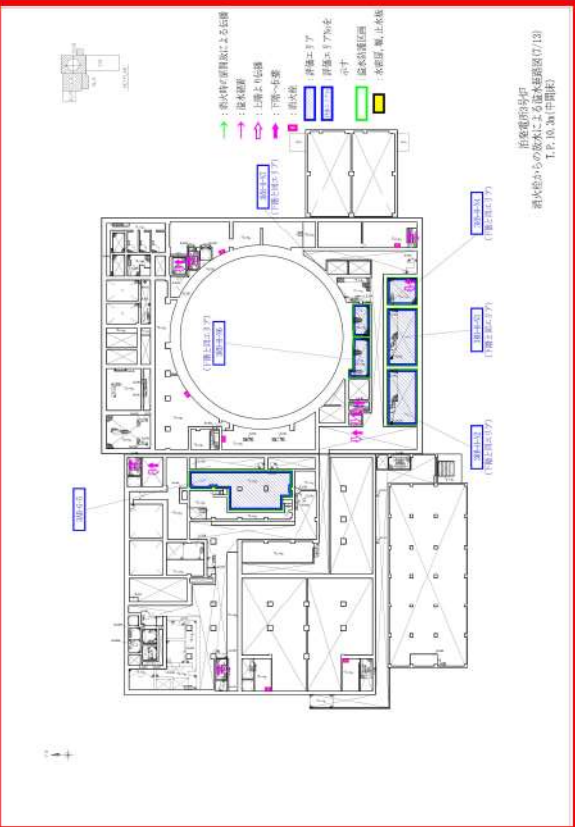
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; min-height: 500px;"> <!-- Redacted content --> </div>	<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                         枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                     </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

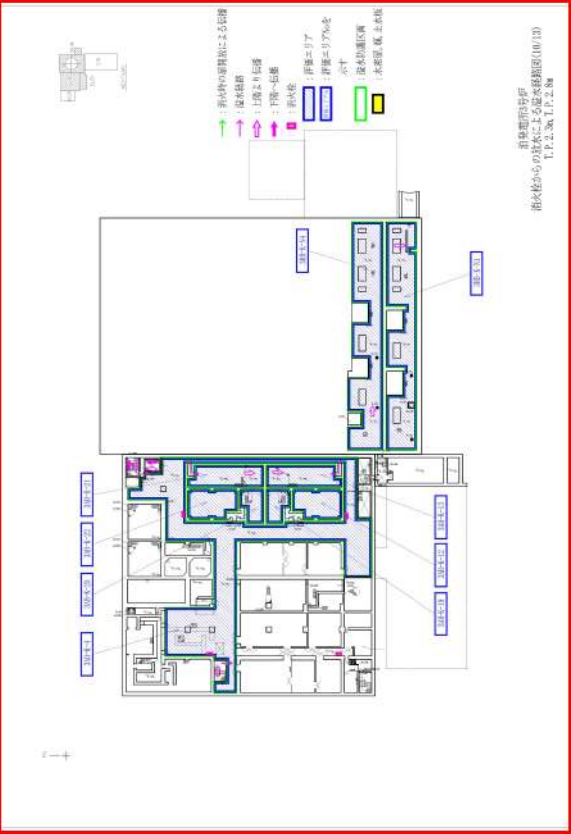
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
		<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。	



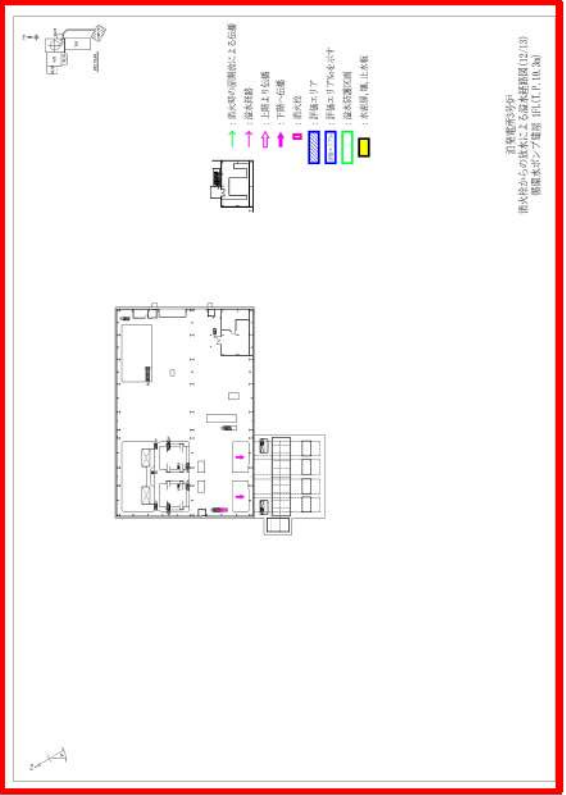
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

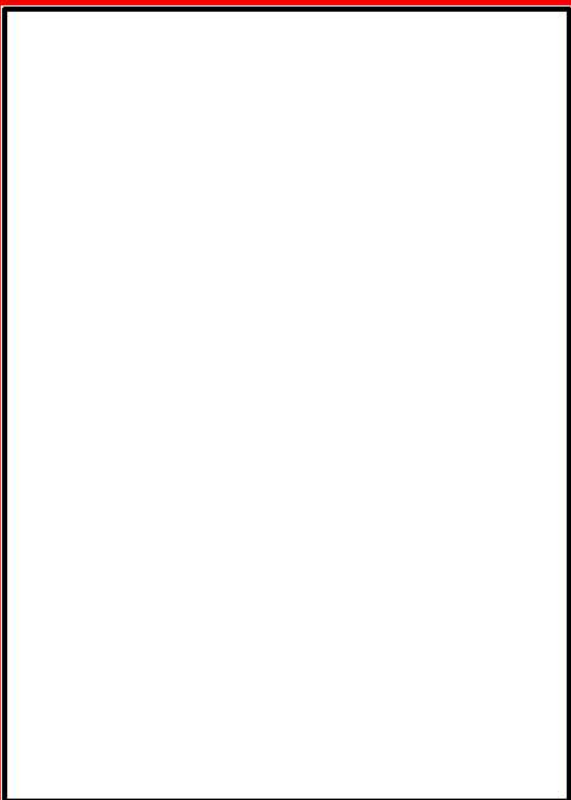
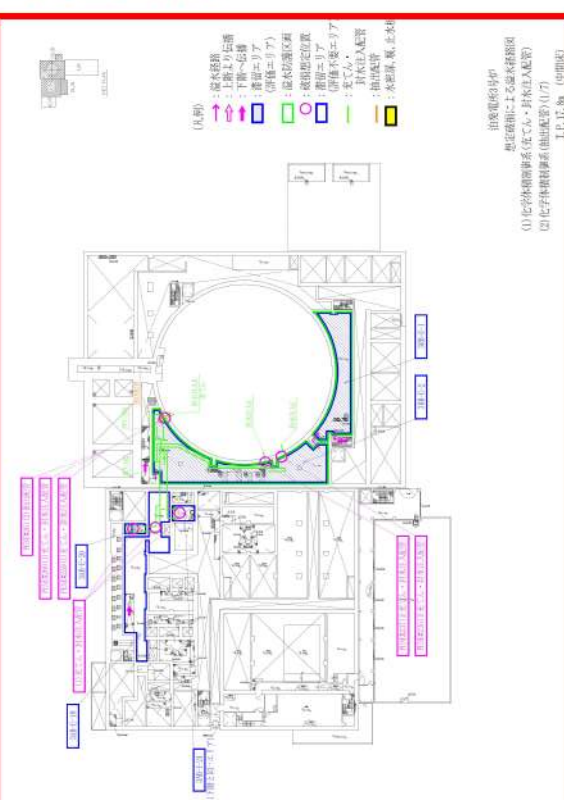
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>



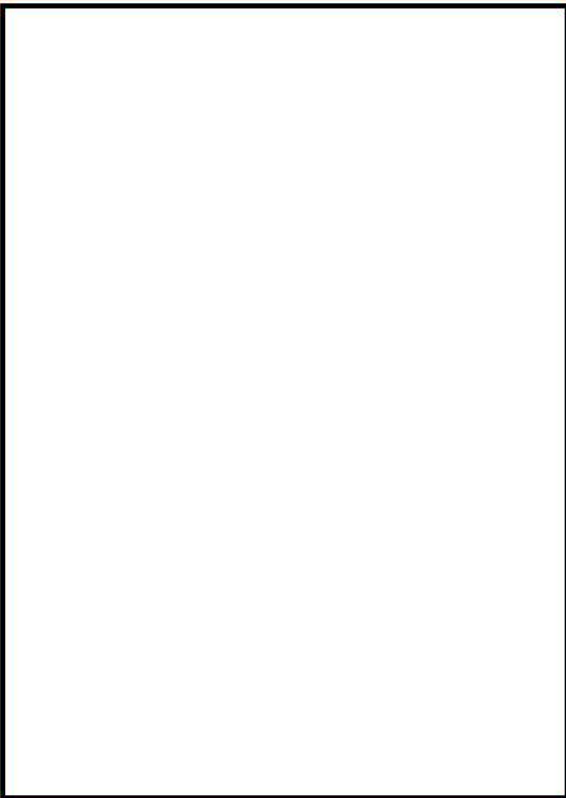
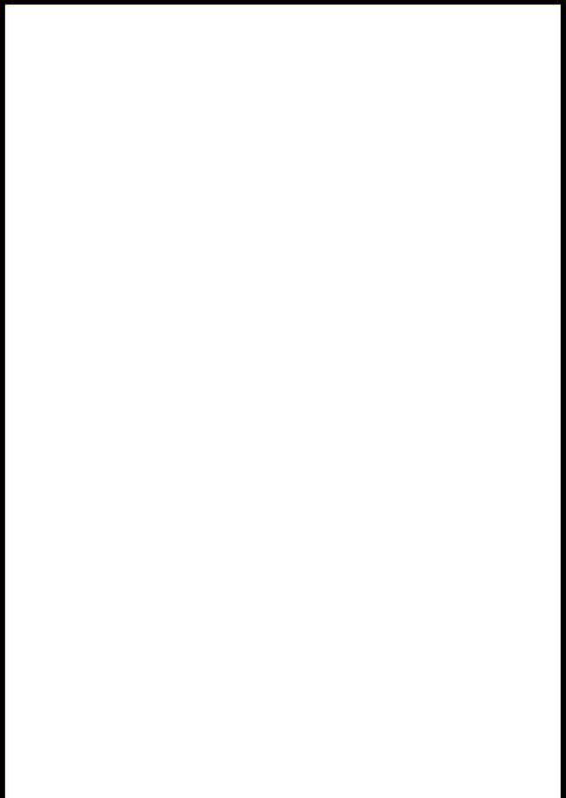
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

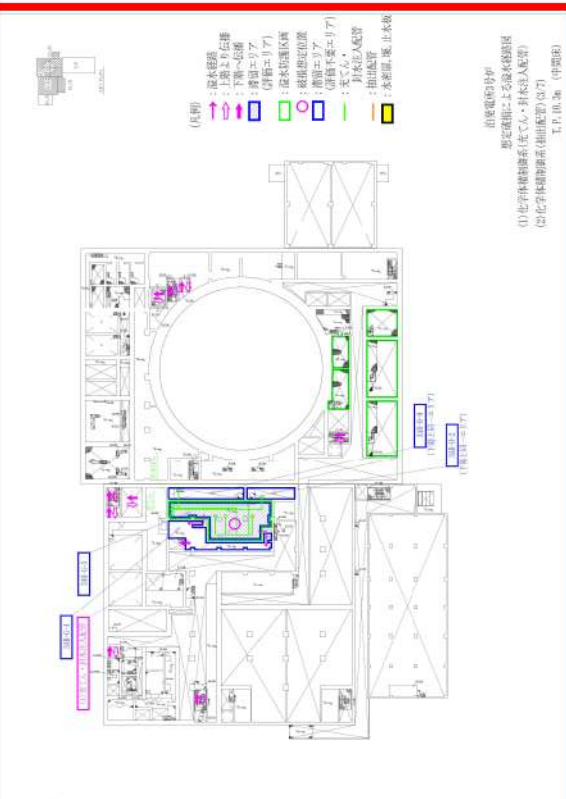
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>3. 想定破損による溢水経路及び溢水防護区画                      (1) 化学体積制御系統</p>  <p> <small>                         出発電機の中                          想定破損による溢水経路                          (1) 化学体積制御系統(主待てん・封水注入配管)                          (2) 化学体積制御系統(抽出配管)(1/7)                          T.P.12.8a (中間区)                     </small> </p>	<p><b>【女川】</b>                      記載方針の相違                      女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大阪と同様)</p> <p><b>【大阪】</b>                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

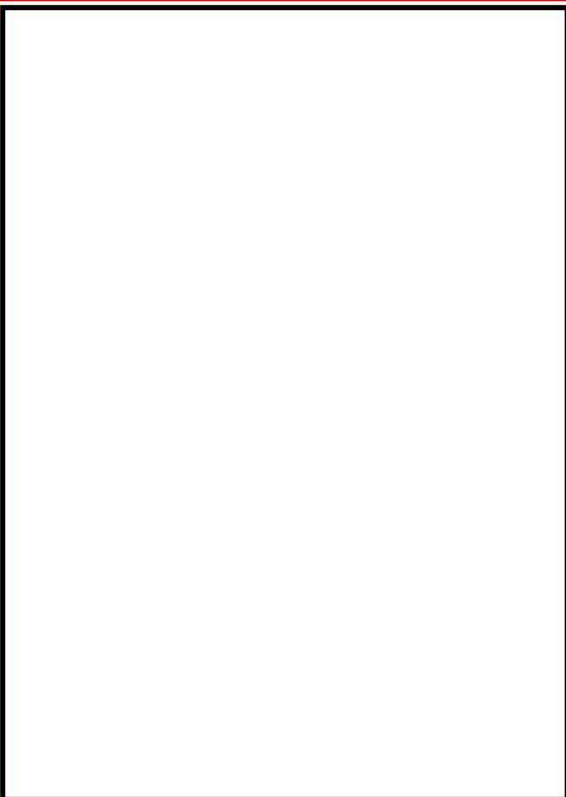
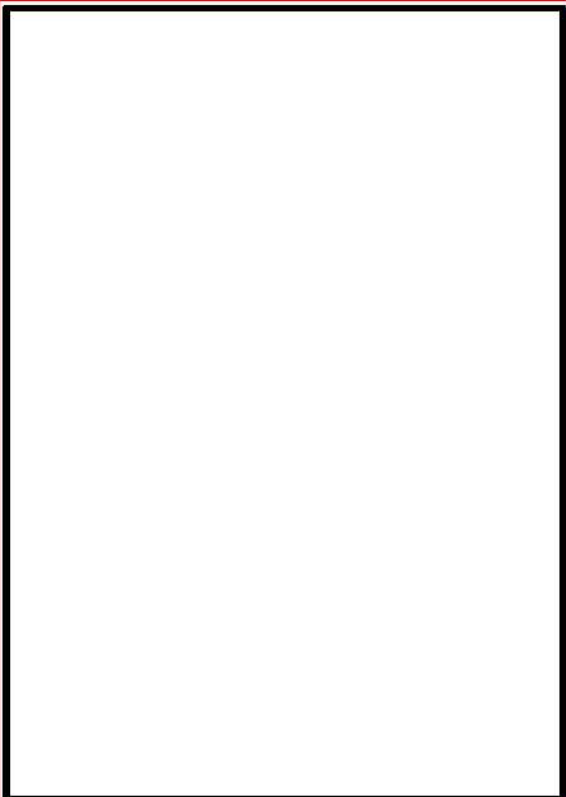
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>※ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

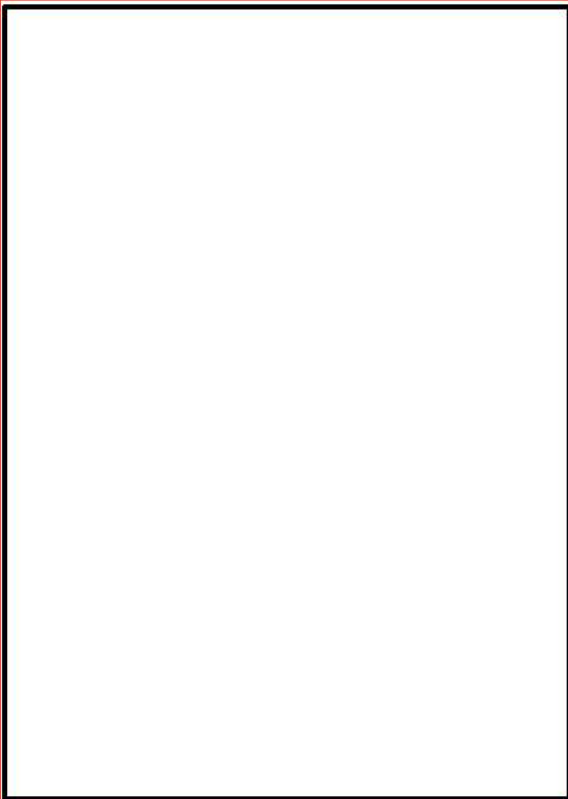

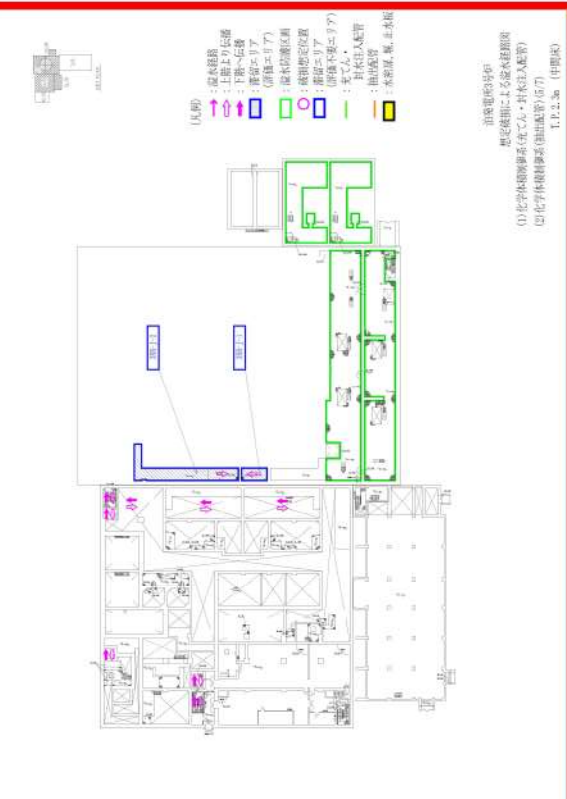
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>※ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

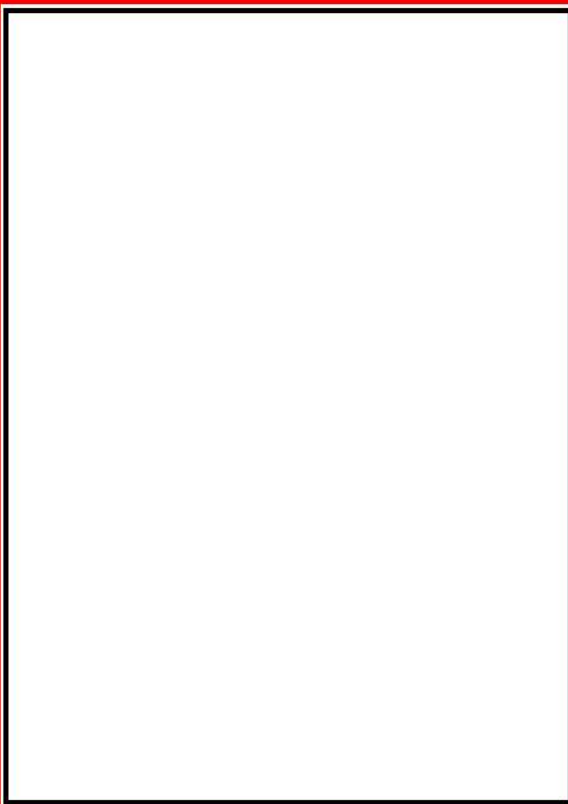
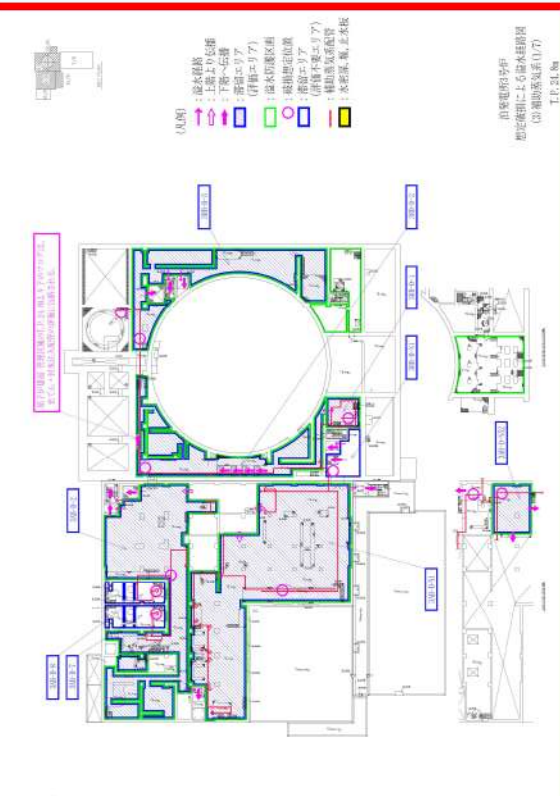
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>                 (凡例) 色付線                  赤：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）                  青：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）                  緑：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）             </p> <p>                 (1) 化学体積調整部 (注出風管) (57)                  (2) 化学体積調整部 (注出風管) (57)                  T.P.2.36 (中継区)             </p>	<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>※ 特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			





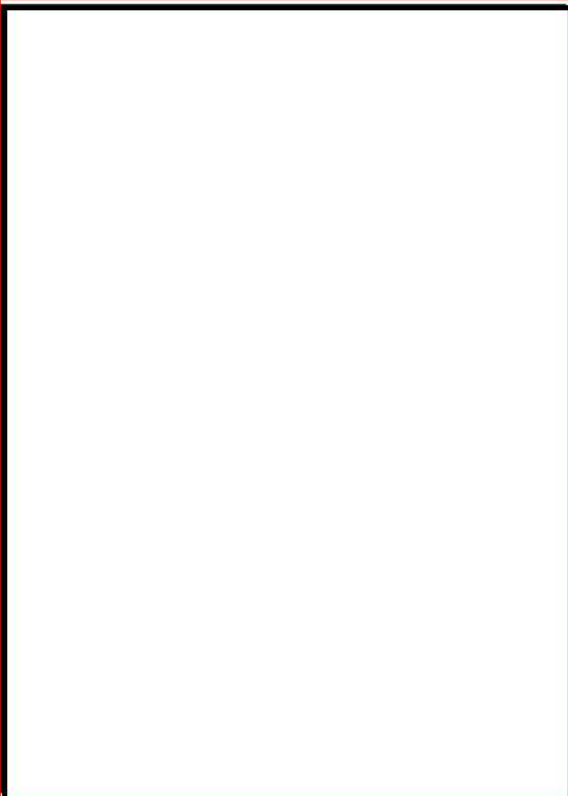
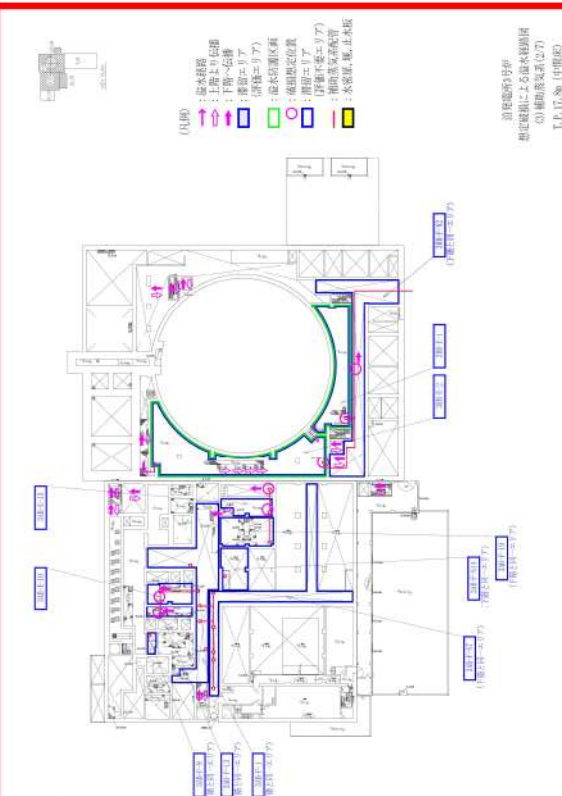


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(2) 補助蒸気系統</p> 	<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大阪と同様)</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

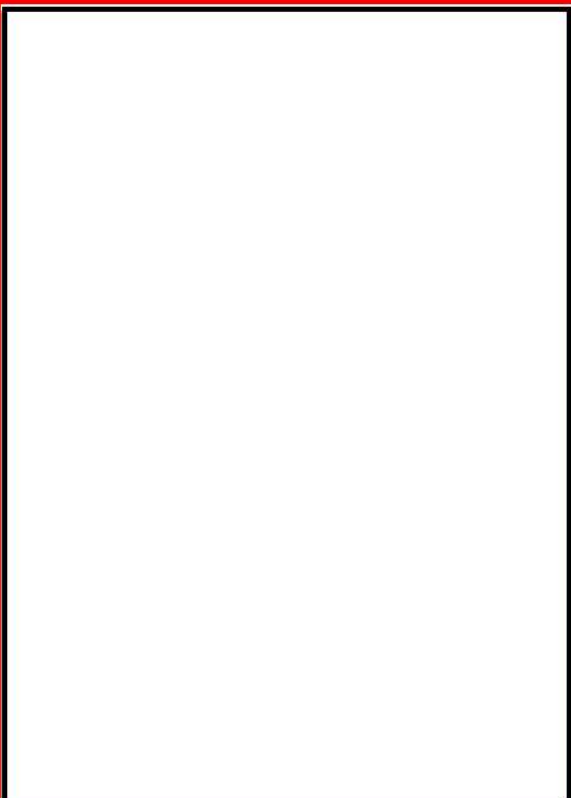
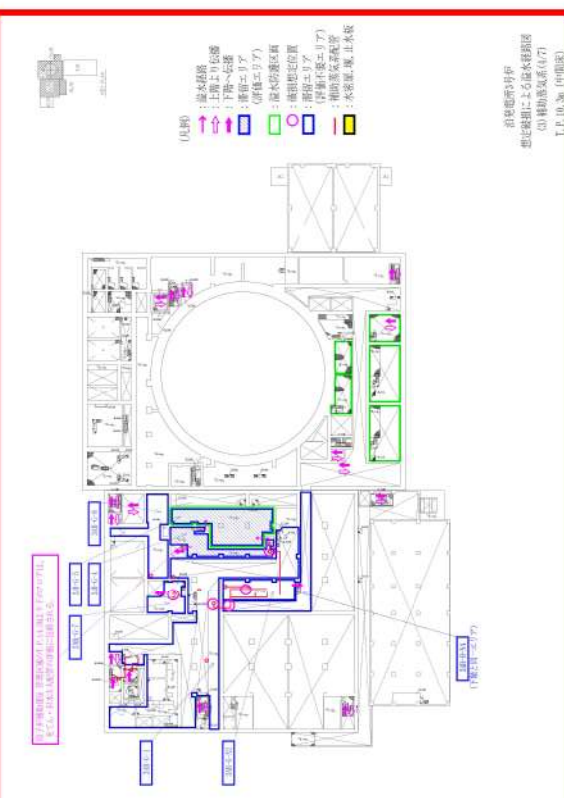
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

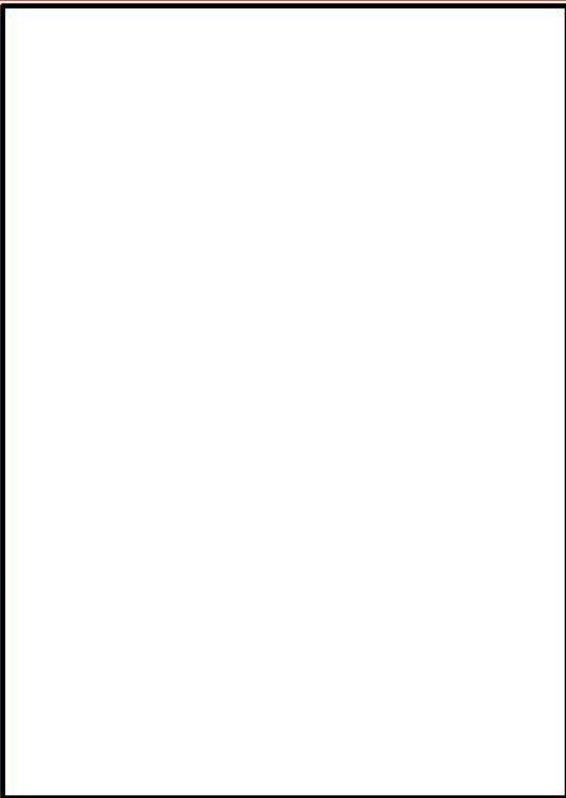

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大阪】                      設計方針の相違                      グラント設計の相違</p>
<p>※ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>※ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                  設計方針の相違                  プラント設計の相違</p>
<p>←→</p> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

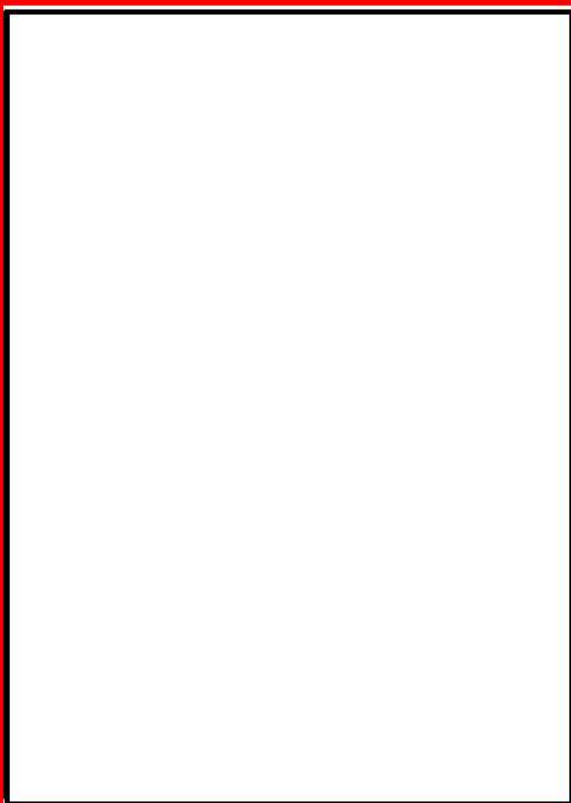

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>※ 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

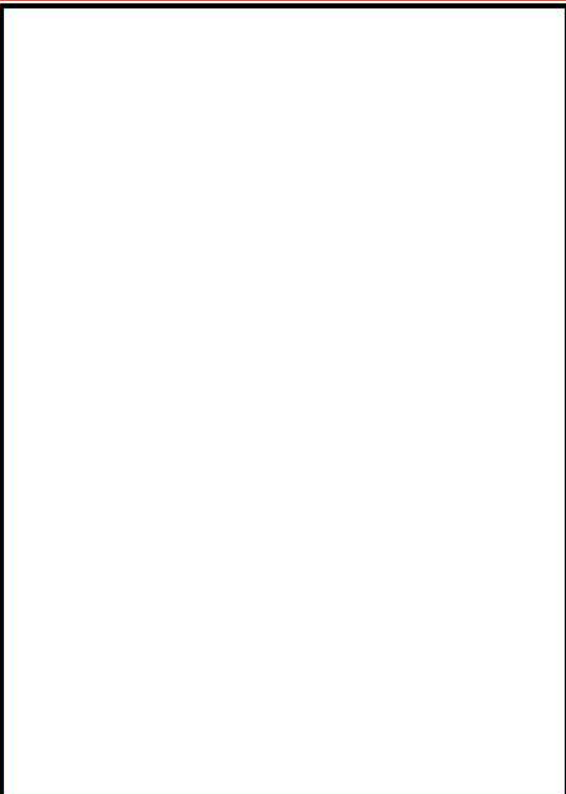

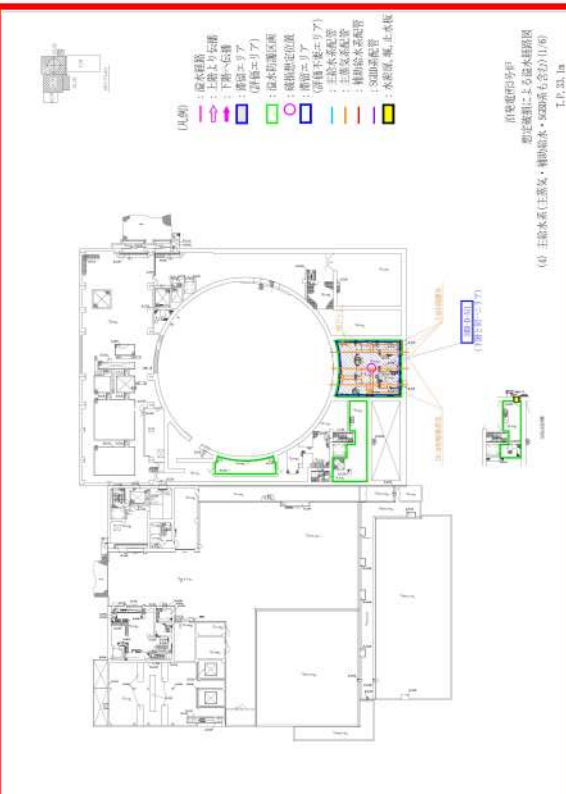
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 209 683 1023" style="border: 2px solid red; height: 510px; width: 254px;"></div> <div data-bbox="277 1026 674 1043" style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: small;">                     管組みの範囲は機器に係る事項ですので公開することはありません。                 </div>		<div data-bbox="1292 209 1856 1043" style="border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p style="font-size: small;">                         市電電機6号炉                          特定機組による設計相違                          (3) 補助送水機(67)                          T.F.2.3b (中継区)                     </p> </div>	<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

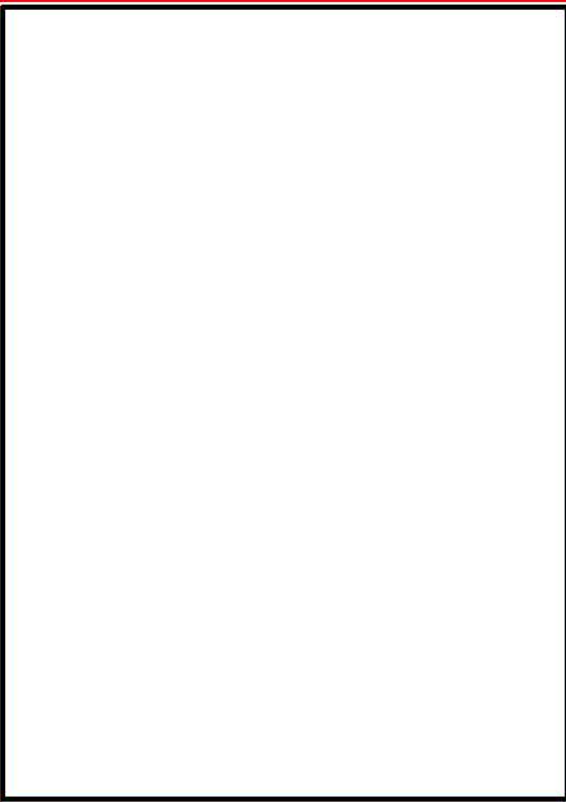
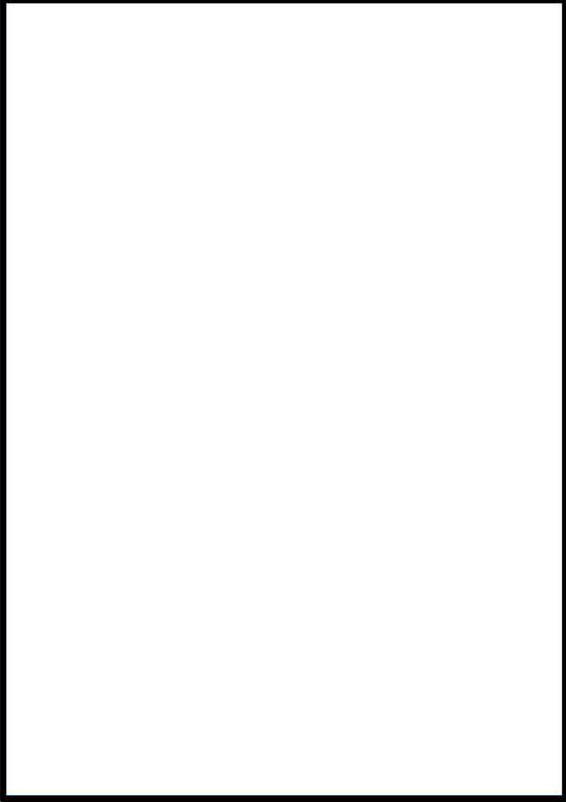
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(3) 主給水系統（主蒸気・補助給水・SGBD系統も含む）</p> 	<p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大阪と同様)</p> <p>【大阪】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			







赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

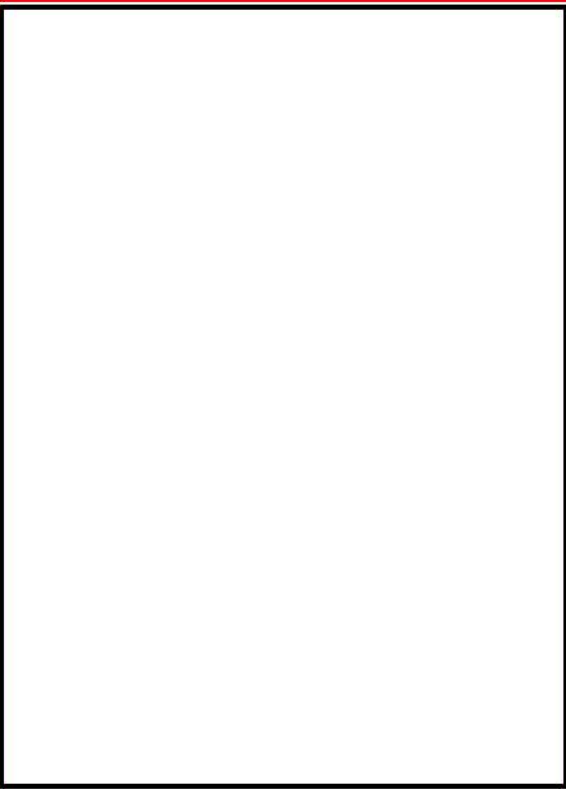
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>← 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>← 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

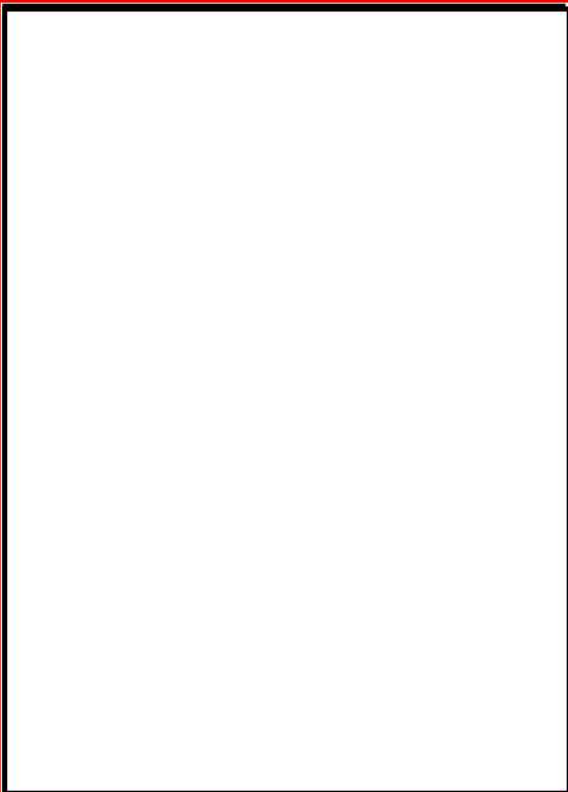
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>■ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※中                      枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

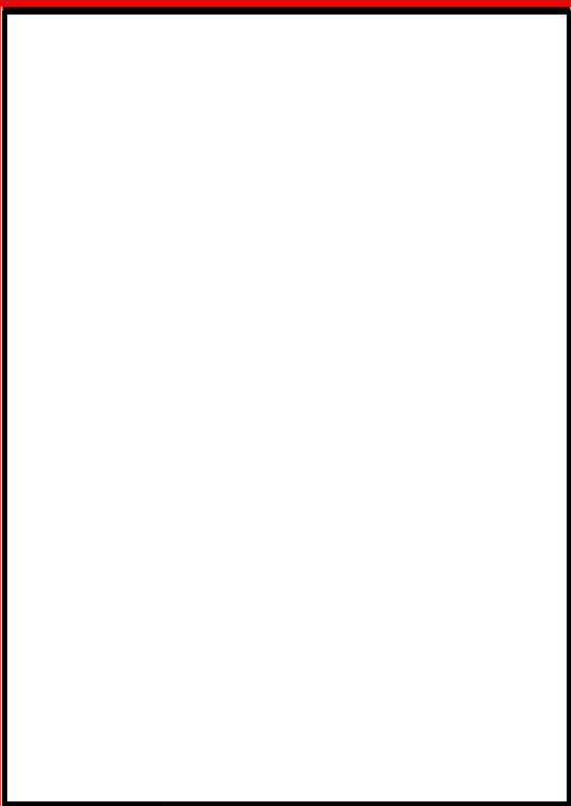
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 212 680 1018" style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 250px;"></div> <div data-bbox="114 1023 680 1043" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     1-5-4 控風機の範囲は機器に係る事項であり、20開することはありません。                 </div>			<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>



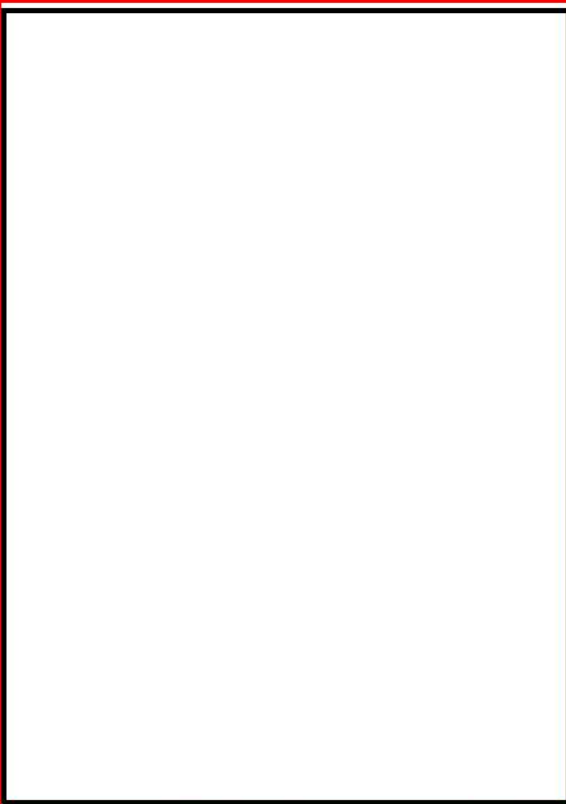
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>図10-51 炉心及び炉内は機器に依る事項であり、25冊によることとは異なる。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>中 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>			<p>【大阪】                      設計方針の相違                      プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大阪3/4号炉】                      まとめ資料p.2-9-別1-60より抜粋                      2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定                      (3) 溢水伝播                      上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p>【女川2号炉】                      まとめ資料p.9条-別添1-4-3より抜粋                      4. 3 溢水経路の設定                      (3) 溢水伝播                      上層階の溢水は階段あるいは開口部を経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p style="text-align: right;">別紙1</p> <p>機器ハッチから溢水が流下しない場合の影響について</p> <p>1. はじめに                      機器ハッチが床面にある区画の没水影響評価では、機器ハッチからの流下に期待せず、溢水全量が区画に貯留される条件で溢水水位を算出している。また、機器ハッチの下層階にある区画の没水影響評価では、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が下層階へ流入するものとしている。                      ここでは、定期事業者検査作業に伴う機器ハッチの状態変更等により、一時的に上層階から下層階へ溢水が伝播しない機器ハッチが生じた場合を想定しても、溢水防護対象設備が必要な安全機能を損なわないことを確認する。</p> <p>2. 確認結果                      下層階への伝播経路には、機器ハッチの他、階段室やエレベータもあり、定期事業者検査作業等で機器ハッチから溢水が流下しない状況になった場合でも、上層階からの溢水が流下する区画への流下経路が複数存在しているケースでは、没水影響評価で想定する溢水伝播経路は変わらない。                      また、上層階からの溢水流下経路が機器ハッチ1箇所の区画については、流下経路が閉塞した場合に下層階へ溢水伝播しないため、下層階の没水影響評価で考慮すべき溢水量が無くなる、若しくは下層階の溢水源から生じる溢水量のみに減少することにより、溢水水位は下層階への伝播を想定した場合よりも低くなるため、溢水防護対象設備が没水により必要な安全機能を損なうことはない。</p> <div style="text-align: center;"> <p>図1. 流下経路の例</p> </div>	<p>【女川・大阪】                      記載方針の相違</p> <p>・女川と大阪も、上層階からの溢水伝播において、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとしている点は泊と同じである。                      ・泊では、伝播経路として特定した溢水の流下経路のうち、機器ハッチが定期事業者検査作業等によって溢水が伝播しない状況になった場合の影響を確認している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

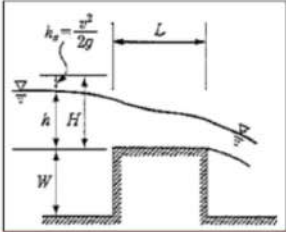
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																													
	<p style="text-align: right;">添付資料 12</p> <p>開口部等からの流出流量の評価</p> <p>1. はじめに                      没水高さが高くなるようなエリアについて、<b>扉開運用</b>などにより流下開口を設置し、ある没水高さ以上とならないよう対策を実施している。ここでは、流下開口を設置しているエリアについて、流下開口からの流出流量が想定破損による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>2. 流下開口設置エリア                      流下開口が設置してある区画を、表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="696 995 1272 1493"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区画番号</th> <th>流下開口</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">原子炉建屋原子炉棟</td><td>R-1F-5</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-B1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-E2F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-3F-1</td><td>ハッチ（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>ハッチ（大物搬入口）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-E2F-2</td><td>ハッチ（グレーチング）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-E2F-3</td><td>ハッチ（グレーチング）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-6</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M1F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M1F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M1F-3</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M1F-4</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-E2F-7</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋原子炉棟	R-1F-5	扉（開運用）	2	R-B1F-1	扉（開運用）	2	R-E2F-1	扉（開運用）	2	R-3F-1	ハッチ（開運用）	1	R-2F-3	ハッチ（大物搬入口）	1	R-E2F-2	ハッチ（グレーチング）	1	R-E2F-3	ハッチ（グレーチング）	1	R-M2F-1	吹抜	1	R-M2F-2	吹抜	1	R-M2F-3	吹抜	1	R-M2F-5	吹抜	1	R-M2F-6	吹抜	1	R-1F-8	吹抜	1	R-1F-9	吹抜	1	R-M1F-1	吹抜	1	R-M1F-2	吹抜	1	R-M1F-3	吹抜	1	R-M1F-4	吹抜	1	R-E2F-7	吹抜	1	<p style="text-align: right;">添付資料 11</p> <p>開口部等からの流出流量の評価</p> <p>1. はじめに                      没水高さが高くなるようなエリアについて、<b>床開口部</b>により流下開口を設置し、ある没水高さ以上としないよう対策を実施している。ここでは、流下開口を設置しているエリアについて、流下開口からの流出流量が想定破損による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>2. 流下開口設置エリア                      流下開口が設置してある区画を、表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画</p> <table border="1" data-bbox="1285 1007 1854 1107"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区画番号</th> <th>流下開口</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉建屋</td><td>3RB-D-N51</td><td>グレーチング</td><td>2</td></tr> <tr><td rowspan="2">原子炉補助建屋</td><td>3AB-H-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋	3RB-D-N51	グレーチング	2	原子炉補助建屋	3AB-H-2	吹抜	1	3AB-H-9	吹抜	1	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>                      泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a>                      ・建屋名称、区画番号の相違。                      ・泊は開運用の扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																													
原子炉建屋原子炉棟	R-1F-5	扉（開運用）	2																																																																													
	R-B1F-1	扉（開運用）	2																																																																													
	R-E2F-1	扉（開運用）	2																																																																													
	R-3F-1	ハッチ（開運用）	1																																																																													
	R-2F-3	ハッチ（大物搬入口）	1																																																																													
	R-E2F-2	ハッチ（グレーチング）	1																																																																													
	R-E2F-3	ハッチ（グレーチング）	1																																																																													
	R-M2F-1	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-2	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-3	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-5	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-6	吹抜	1																																																																													
	R-1F-8	吹抜	1																																																																													
	R-1F-9	吹抜	1																																																																													
	R-M1F-1	吹抜	1																																																																													
	R-M1F-2	吹抜	1																																																																													
	R-M1F-3	吹抜	1																																																																													
	R-M1F-4	吹抜	1																																																																													
	R-E2F-7	吹抜	1																																																																													
	建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																												
原子炉建屋	3RB-D-N51	グレーチング	2																																																																													
原子炉補助建屋	3AB-H-2	吹抜	1																																																																													
	3AB-H-9	吹抜	1																																																																													



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
	<p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画(2/2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">建屋</th> <th style="width: 20%;">区画番号</th> <th style="width: 40%;">流下開口</th> <th style="width: 20%;">数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="14">原子炉建屋付属棟</td><td>R-2F-5</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-7</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-8</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-14</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B1F-8</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B1F-12</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B2F-10</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="6">制御建屋</td><td>C-3F-3</td><td>床開口</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-3F-4</td><td>床開口</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="2">C-2F-3</td><td>床開口</td><td>3</td></tr> <tr><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-1F-4</td><td>床開口</td><td>3</td></tr> <tr><td>C-M31F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-M32F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="2">タービン建屋</td><td>T-1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>T-B1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋付属棟	R-2F-5	扉（開運用）	1	R-2F-7	扉（開運用）	1	R-2F-8	扉（開運用）	1	R-1F-14	扉（開運用）	1	R-B1F-8	扉（開運用）	1	R-B1F-12	扉（開運用）	1	R-B2F-10	扉（開運用）	1	R-3F-2	吹抜	1	R-3F-4	吹抜	1	R-3F-5	吹抜	1	R-M3F-3-1	吹抜	1	R-2F-6-2	吹抜	1	R-2F-7-1	吹抜	1	R-2F-8-2	吹抜	1	R-M2F-9	吹抜	1	制御建屋	C-3F-3	床開口	1	C-3F-4	床開口	1	C-2F-3	床開口	3	吹抜	1	C-1F-4	床開口	3	C-M31F-1	吹抜	1	C-M32F-1	吹抜	1	タービン建屋	T-1F-1	扉（開運用）	2	T-B1F-1	扉（開運用）	2		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建屋名称、区画番号の相違。</li> <li>・泊は開運用の扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</li> </ul>
建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																														
原子炉建屋付属棟	R-2F-5	扉（開運用）	1																																																																														
	R-2F-7	扉（開運用）	1																																																																														
	R-2F-8	扉（開運用）	1																																																																														
	R-1F-14	扉（開運用）	1																																																																														
	R-B1F-8	扉（開運用）	1																																																																														
	R-B1F-12	扉（開運用）	1																																																																														
	R-B2F-10	扉（開運用）	1																																																																														
	R-3F-2	吹抜	1																																																																														
	R-3F-4	吹抜	1																																																																														
	R-3F-5	吹抜	1																																																																														
	R-M3F-3-1	吹抜	1																																																																														
	R-2F-6-2	吹抜	1																																																																														
	R-2F-7-1	吹抜	1																																																																														
	R-2F-8-2	吹抜	1																																																																														
R-M2F-9	吹抜	1																																																																															
制御建屋	C-3F-3	床開口	1																																																																														
	C-3F-4	床開口	1																																																																														
	C-2F-3	床開口	3																																																																														
		吹抜	1																																																																														
	C-1F-4	床開口	3																																																																														
	C-M31F-1	吹抜	1																																																																														
C-M32F-1	吹抜	1																																																																															
タービン建屋	T-1F-1	扉（開運用）	2																																																																														
	T-B1F-1	扉（開運用）	2																																																																														
	<p>3. 流下開口（扉）からの流出量</p> <p>(1) 扉からの流出量</p> <p>常時開の扉開口を想定し、カーブを乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「第四版土木工学ハンドブック1、土木学会編、技報堂出版」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p>		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>																																																																														

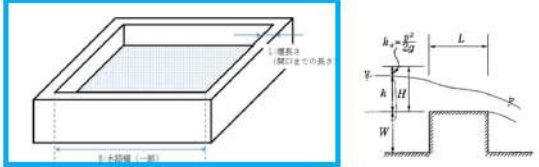
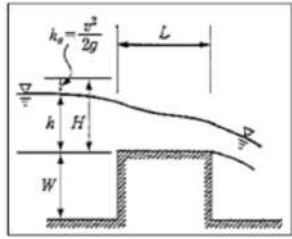
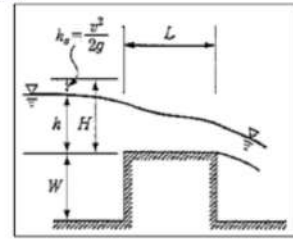
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<div data-bbox="712 181 1256 715" style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p><math>Q=C \times B \times h^{\frac{3}{2}}</math> …… ①式</p> <p>ここで、<math>0.4 \leq h/L \leq (1.5 \sim 1.9)</math> ; <math>C=1.444+0.352(\frac{h}{L})</math></p> <p>Q：越流量(m<sup>3</sup>/s)                      B：堰の幅(m)                      h：越流水深(m)                      C：流量係数(m<sup>3/2</sup>/s)                      L：堰長さ(m)                      W：堰高さ(m)</p>  </div> <p style="text-align: center;">図1 長方堰の越流量</p> <p>(2) 算出結果</p> <p>前述の式から越流量を算出した結果を表2に示す。没水高さ0.3mの場合、扉（1箇所）での越流水深は0.17mとなり、越流量は331m<sup>3</sup>/hとなる。原子炉建屋について、扉からの排出を期待する系統のうち、原子炉建屋原子炉棟における最大漏えい流量は263m<sup>3</sup>/h（高圧炉心スプレイ系）、原子炉建屋付属棟における最大漏えい流量は201m<sup>3</sup>/h（原子炉補機冷却水系）であり、扉からの流出量が上回っているため、没水高さ0.3m以上に達することはない。</p> <p style="text-align: center;">表2 扉の諸元と越流量算出結果（没水高さ0.3mの場合）</p> <table border="1" data-bbox="698 1141 1265 1279" style="border: 2px solid red; width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>記号</th> <th>値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堰高さ【カーブ高さ】(m)</td> <td>W</td> <td>0.13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰長さ【カーブ奥行き】(m)</td> <td>L</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>越流水深(m)</td> <td>h</td> <td>0.17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰の幅【開口幅】(m)</td> <td>B</td> <td>0.8</td> <td>躯体開口は1m</td> </tr> <tr> <td>越流量(m<sup>3</sup>/h)</td> <td>Q</td> <td>331</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	値	備考	堰高さ【カーブ高さ】(m)	W	0.13		堰長さ【カーブ奥行き】(m)	L	0.3		越流水深(m)	h	0.17		堰の幅【開口幅】(m)	B	0.8	躯体開口は1m	越流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	331			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
項目	記号	値	備考																								
堰高さ【カーブ高さ】(m)	W	0.13																									
堰長さ【カーブ奥行き】(m)	L	0.3																									
越流水深(m)	h	0.17																									
堰の幅【開口幅】(m)	B	0.8	躯体開口は1m																								
越流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	331																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
	<p>4. 流下開口（床開口）からの流出量</p> <p>建屋内の床面に開口を設置する対策について、開口部からの流出流量が想定破損時による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>(1) 評価条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>床開口は満水流れとして評価を実施する。</li> <li>下記に示す評価式のとおり、流量は落差が大きいくほど大きくなるため、スラブ上の滞留深さは考慮せず、落差としてはスラブ厚さを考慮する。</li> <li>床開口は円形とし、φ100mmと設定する。</li> </ul> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <math display="block">Q = A \sqrt{\frac{2gH}{\lambda \frac{L}{d} + \xi + 1}} \dots\dots \text{②式}</math> <p>Q：流量(m<sup>3</sup>/s)                      A：断面積(m<sup>2</sup>)                      H：落差(m)                      d：内径(m)                      L：直管長(m)                      ξ：損失係数                      λ：摩擦係数                      g：重力加速度(m/s<sup>2</sup>)</p> </div> <p>(2) 算出結果</p> <p>表3の結果より、床開口1箇所あたりの流出流量は52.8m<sup>3</sup>/hとなった。この条件をもとに、想定破損時の系統流量が排出可能な必要開口数を表4に示す。必要開口数を設置することにより、床面からの開口から系統流量が排出可能であることを確認した。</p> <p style="text-align: center;">表3 床開口1箇所あたりの流出流量算出結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>記号</th> <th>値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内径(m)</td> <td>d</td> <td>0.10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>摩擦係数</td> <td>λ</td> <td>0.06</td> <td>最も粗度の高いコンクリート管(管壁の粗度0.03)を想定</td> </tr> <tr> <td>直管長(m)</td> <td>L</td> <td>0.3</td> <td>スラブ厚さ</td> </tr> <tr> <td>損失係数</td> <td>ξ</td> <td>0.5</td> <td>管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定</td> </tr> <tr> <td>重力加速度(m/s<sup>2</sup>)</td> <td>g</td> <td>9.80665</td> <td></td> </tr> <tr> <td>落差(m)</td> <td>H</td> <td>0.3</td> <td>スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮</td> </tr> <tr> <td>流量(m<sup>3</sup>/h)</td> <td>Q</td> <td>52.8</td> <td>開口部1箇所からの流出流量</td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	値	備考	内径(m)	d	0.10		摩擦係数	λ	0.06	最も粗度の高いコンクリート管(管壁の粗度0.03)を想定	直管長(m)	L	0.3	スラブ厚さ	損失係数	ξ	0.5	管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定	重力加速度(m/s <sup>2</sup> )	g	9.80665		落差(m)	H	0.3	スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮	流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	52.8	開口部1箇所からの流出流量		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は円形の床開口から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。(先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。)</p>
項目	記号	値	備考																																
内径(m)	d	0.10																																	
摩擦係数	λ	0.06	最も粗度の高いコンクリート管(管壁の粗度0.03)を想定																																
直管長(m)	L	0.3	スラブ厚さ																																
損失係数	ξ	0.5	管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定																																
重力加速度(m/s <sup>2</sup> )	g	9.80665																																	
落差(m)	H	0.3	スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮																																
流量(m <sup>3</sup> /h)	Q	52.8	開口部1箇所からの流出流量																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																	
<p>大阪発電所3/4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>表4 想定破損時の系統流量が排出可能な必要開口数</p> <table border="1" data-bbox="698 215 1270 367"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>区画内系統漏えい流量(m³/h)*</th> <th>床開口数</th> <th>床開口からの流出流量(m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-3F-3</td> <td>20.1(消火系)</td> <td>1</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>C-3F-4</td> <td>9.1(所内用水)</td> <td>1</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>C-2F-3</td> <td rowspan="2">155 (B/C)</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">158.4</td> </tr> <tr> <td>C-1F-4</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 区画内系統漏えい流量(m³/h)の値は、保守的に当該区画内を通過する配管口径ではなく、当該系統における最大口径を用いて評価した値</p>	区画番号	区画内系統漏えい流量(m³/h)*	床開口数	床開口からの流出流量(m³/h)	C-3F-3	20.1(消火系)	1	52.8	C-3F-4	9.1(所内用水)	1	52.8	C-2F-3	155 (B/C)	3	158.4	C-1F-4	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      泊は円形の床開口から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。(先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。)</p>
区画番号	区画内系統漏えい流量(m³/h)*	床開口数	床開口からの流出流量(m³/h)																	
C-3F-3	20.1(消火系)	1	52.8																	
C-3F-4	9.1(所内用水)	1	52.8																	
C-2F-3	155 (B/C)	3	158.4																	
C-1F-4																				
<p>【島根2】                      まとめ資料p.9条-別添1-補足4-1より抜粋                      1. 機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量                      1.1 機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量                      一般的な機器搬入ハッチの形状を想定し、以下の式を利用して機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量を算出する。開口部概略図を図1-1に示す。(参考文献「土木学会 水理公式集 平成11年度版」)</p> $Q_{out} = C_{out} \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots (1)$ $C_{out} = 1.642 \times \left(\frac{h}{L}\right)^{0.022} \dots\dots\dots (2)$ <p> <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">Q<sub>out</sub> : 排出流量 [m³/s]</span>  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">B : 開口の幅 [m]</span>  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">C<sub>out</sub> : 排出係数 [m<sup>1/2</sup>/s]</span>  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">h : 溢水水位 [m]</span>  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">L : 開口までの長さ [m]</span>                      W : 堰高さ [m]                 </p>  <p>図1-1 開口部概略図</p>	<p>5. 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量</p> <p>「3. 流下開口（扉）からの流出量」より再掲</p> <p>3. 流下開口（扉）からの流出量</p> <p>(1) 扉からの流出量                      常時開の扉開口を想定し、カーブを乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「第四版土木工学ハンドブックⅠ，土木学会編，技報堂出版」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p> $Q = C \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots \textcircled{1}式$ <p>ここで、<math>0.4 \leq h/L \leq (1.5 \sim 1.9)</math> ; <math>C = 1.444 + 0.352 \left(\frac{h}{L}\right)</math></p> <p>                     Q : 越流量 [m³/s]  <span style="border: 1px solid green; padding: 2px;">B : 堰の幅 (m)</span>                      h : 越流水深 (m)                      C : 流量係数 [m<sup>1/2</sup>/s]                      L : 堰長さ (m)                      W : 堰高さ (m)                 </p>  <p>図1 長方堰の越流量</p>	<p>3. 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量</p> <p>(1) グレーチング、吹抜からの流出量                      グレーチング、吹抜の開口を想定し、堰を乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「土木学会 水理公式集（平成11年版）」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p> $Q = C \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots \textcircled{1}式$ <p>ここで、<math>0 &lt; h/L \leq 0.1</math> ; <math>C = 1.642 \left(\frac{h}{L}\right)^{0.022}</math></p> <p>                     Q : 越流量 [m³/s]                      B : 開口の幅 [m]                      h : 越流水深 [m]                      C : 流量係数 [m<sup>1/2</sup>/s]                      L : 堰長さ [m]                      W : 堰高さ [m]                 </p>  <p>図1 長方堰の越流量</p>	<p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>  <u>記載方針の相違</u>                      ・泊は扉開口からの流出に期待しないため、本項において記載した。                      ・女川は「3. 流下開口（扉）からの流出量」で左記の評価式を記載しており、ハッチ、吹抜からの流出流量についても左記の評価式を利用することを後述している。                      また、女川でもハッチ、吹抜について、堰を考慮して評価を実施しているため、女川の「3. 流下開口（扉）からの流出量」の記載をグレーチング、ハッチに置き換えて記載する。                      ・文献は異なるが利用している式に相違はない。(泊は島根と同様の文献を参照している。)</p> <p><u>設計方針の相違</u>                      堰長さの保守性により、島根と同様の流出係数算出式に限定される。(島根と同様)</p> <p>【島根】  <u>記載方針の相違</u>                      流出量の算出における、構文については、女川を参照し記載する。  <u>記載表現の相違</u></p>																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料 p.9 条-別添1-補足4-2 より抜粋                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>(1) 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量評価の前提条件                      ハッチ、吹抜からの流出量について、①式を使用して算出する。                      一部、開口周囲にカーブがない箇所もあるが、ここでは保守的にカーブ高さ、カーブ幅を仮定した場合の流出量を算出する。                      また、ハッチについては、開口4辺のうち、2辺から流出していくこととして算出する。                      表5にハッチ、吹抜の開口条件を示す。</p>	<p>(2) 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量評価の前提条件                      グレーチング、吹抜からの流出量について、①式を使用して算出する。                      一部、開口周囲に堰がない箇所もあるが、ここでは保守的に堰高さ、堰長さを仮定した場合の流出量を算出する。                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。                      表2にグレーチング、吹抜の開口条件を示す。</p>	<p>【女川】                      記載表現の相違                      【女川】                      設計方針の相違                      開口の位置が部屋の端にあることや開口の幅が1辺のみであることを踏まえ、「開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。」（島根記載）を参考にし、泊も同様に、開口の幅については、流出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																					
<p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料p.9条-別添2-補足4-2より抜粋</p> <p>表1-1 開口部の各パラメータ値及び排出流量算出結果</p> <table border="1" data-bbox="136 320 654 453"> <tr><td>B: 開口の幅 [m]</td><td>12.5</td></tr> <tr><td>h: 溢水水位 [m]</td><td>0.32</td></tr> <tr><td>L: 開口までの長さ [m]</td><td>50</td></tr> <tr><td>h/L</td><td>0.0064</td></tr> <tr><td>C<sub>m</sub>: 排出係数 [m<sup>2</sup>/s]</td><td>1.47</td></tr> <tr><td>Q<sub>m</sub>: 排出流量 [m<sup>3</sup>/h]</td><td>11,988</td></tr> </table> <p>まとめ資料p.9条-別添1-補足4-1より抜粋</p> <p>なお、開口までの長さLを長くするほどに排出流量が少なくなることから、保守的に原子炉建物の二次格納施設の1辺に相当する50mとし、床面を長頂堰とみなして算出する。</p>	B: 開口の幅 [m]	12.5	h: 溢水水位 [m]	0.32	L: 開口までの長さ [m]	50	h/L	0.0064	C <sub>m</sub> : 排出係数 [m <sup>2</sup> /s]	1.47	Q <sub>m</sub> : 排出流量 [m <sup>3</sup> /h]	11,988	<p>表5 ハッチ、吹抜の開口条件(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="696 209 1272 635"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口幅 (m)</th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>カーブ幅 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-1</td><td>1</td><td>6.5×5.5</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>1</td><td>6.5×5.5</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-2</td><td>1</td><td>3.0×3.0</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-3</td><td>1</td><td>3.1×3.1</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>1</td><td>11.1×2.2×2.2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-M2F-2</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>1</td><td>3.3×1.05×3.3</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>1</td><td>3.9</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-M2F-6</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>1</td><td>6.5以上</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>1</td><td>2.7</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-M3F-1</td><td>1</td><td>3.1 (4.4) ※2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-M3F-2</td><td>1</td><td>9.1以上</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-M3F-3</td><td>1</td><td>2.5 (4.4) ※2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-M3F-4</td><td>1</td><td>5.6</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-7</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 床なし区画                  ※2 開口が2辺のため、小さいほうの値で評価</p>	区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)	R-3F-1	1	6.5×5.5	0.13	0.25	R-2F-3	1	6.5×5.5	0.13	0.25	R-4F-2	1	3.0×3.0	0.13	0.25	R-4F-3	1	3.1×3.1	0.13	0.25	R-M2F-1	1	11.1×2.2×2.2	0.13	0.2	R-M2F-2	1	—※1	—※1	—※1	R-M2F-3	1	3.3×1.05×3.3	0.13	0.25	R-M2F-5	1	3.9	0.13	0.2	R-M2F-6	1	—※1	—※1	—※1	R-1F-8	1	6.5以上	0.13	0.25	R-1F-9	1	2.7	0.13	0.25	R-M3F-1	1	3.1 (4.4) ※2	0.13	0.2	R-M3F-2	1	9.1以上	0.13	0.2	R-M3F-3	1	2.5 (4.4) ※2	0.13	0.2	R-M3F-4	1	5.6	0.13	0.2	R-3F-7	1	—※1	—※1	—※1	<p>表2 グレーチング、吹抜の開口条件</p> <table border="1" data-bbox="1279 252 1861 391"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口の幅 (m)</th> <th>堰高さ (m)</th> <th>堰長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3RB-D-N51</td><td>2※1</td><td>2.075</td><td>0.1</td><td>76.6※2</td></tr> <tr><td>3AB-H-2</td><td>1</td><td>1.35</td><td>0.1</td><td>56.2※2</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>1</td><td>1.35</td><td>0.1</td><td>56.2※2</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性を考慮して、評価上は開口部1箇所を想定                  ※2 開口までの長さLを長くするほどに感流量が少なくなることから、保守的に建屋の長辺に相当する値とし、床面を長頂堰とみなして算出</p>	区画番号	開口数	開口の幅 (m)	堰高さ (m)	堰長さ (m)	3RB-D-N51	2※1	2.075	0.1	76.6※2	3AB-H-2	1	1.35	0.1	56.2※2	3AB-H-9	1	1.35	0.1	56.2※2	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区画番号の相違。開口数、開口の幅、堰高さ、堰長さについては評価条件の相違。</li> <li>・泊の※1について、開口部は2箇所あるが、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性を考慮して、保守的に開口部1箇所を想定して評価を実施している。</li> <li>・泊の※2について、島根の記載を参考にし、開口までの長さを長くするほどに排出流量が少なくなることから、保守的に建屋の長辺を堰長さとして設定している。</li> <li>・女川の※1の床なし区画は、泊の開口条件にはない。</li> <li>・女川の※2の保守性については、泊では「排出を期待できる開口の幅の50%」としている。（島根と同様）</li> </ul> <p>【島根】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堰長さの保守性の設定について、島根では原子炉建物の二次格納施設の1辺に相当する50mを用いている。一方で、泊では原子炉建屋、原子炉補助建屋それぞれの長辺として設定しており、プラント設計違いによる評価条件の相違であり、考え方は同様である。</li> </ul>
B: 開口の幅 [m]	12.5																																																																																																																							
h: 溢水水位 [m]	0.32																																																																																																																							
L: 開口までの長さ [m]	50																																																																																																																							
h/L	0.0064																																																																																																																							
C <sub>m</sub> : 排出係数 [m <sup>2</sup> /s]	1.47																																																																																																																							
Q <sub>m</sub> : 排出流量 [m <sup>3</sup> /h]	11,988																																																																																																																							
区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)																																																																																																																				
R-3F-1	1	6.5×5.5	0.13	0.25																																																																																																																				
R-2F-3	1	6.5×5.5	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-2	1	3.0×3.0	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-3	1	3.1×3.1	0.13	0.25																																																																																																																				
R-M2F-1	1	11.1×2.2×2.2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-M2F-2	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
R-M2F-3	1	3.3×1.05×3.3	0.13	0.25																																																																																																																				
R-M2F-5	1	3.9	0.13	0.2																																																																																																																				
R-M2F-6	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
R-1F-8	1	6.5以上	0.13	0.25																																																																																																																				
R-1F-9	1	2.7	0.13	0.25																																																																																																																				
R-M3F-1	1	3.1 (4.4) ※2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-M3F-2	1	9.1以上	0.13	0.2																																																																																																																				
R-M3F-3	1	2.5 (4.4) ※2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-M3F-4	1	5.6	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-7	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
区画番号	開口数	開口の幅 (m)	堰高さ (m)	堰長さ (m)																																																																																																																				
3RB-D-N51	2※1	2.075	0.1	76.6※2																																																																																																																				
3AB-H-2	1	1.35	0.1	56.2※2																																																																																																																				
3AB-H-9	1	1.35	0.1	56.2※2																																																																																																																				
	<p>表5 ハッチ、吹抜の開口条件(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="696 799 1272 1114"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口幅 (m)</th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>カーブ幅 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-2</td><td>1</td><td>2.7 (5.1) ※1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>1</td><td>2.7 (3.0) ※1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>1</td><td>6.1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>1</td><td>3.85</td><td>0.13※2</td><td>0.30※2</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>1</td><td>4.1×1.6×4.1</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>1</td><td>4.7×1.5</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>1</td><td>4.1×1.6×4.1</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>1</td><td>4.0以上</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>1</td><td>3.9</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-M3F-1</td><td>1</td><td>4.4×1.2</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-M2F-1</td><td>1</td><td>6.5以上</td><td>0.13※2</td><td>0.30※2</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口が2辺のため、小さいほうの値で評価                  ※2 保守的に設定</p>	区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)	R-3F-2	1	2.7 (5.1) ※1	0.13	0.2	R-3F-4	1	2.7 (3.0) ※1	0.13	0.2	R-3F-5	1	6.1	0.13	0.2	R-M3F-3-1	1	3.85	0.13※2	0.30※2	R-2F-6-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15	R-2F-7-1	1	4.7×1.5	0.13	0.15	R-2F-8-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15	R-M2F-9	1	4.0以上	0.13	0.25	C-2F-3	1	3.9	0.13	0.25	C-M3F-1	1	4.4×1.2	0.13	0.25	C-M2F-1	1	6.5以上	0.13※2	0.30※2																																																											
区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)																																																																																																																				
R-3F-2	1	2.7 (5.1) ※1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-4	1	2.7 (3.0) ※1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-5	1	6.1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-M3F-3-1	1	3.85	0.13※2	0.30※2																																																																																																																				
R-2F-6-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15																																																																																																																				
R-2F-7-1	1	4.7×1.5	0.13	0.15																																																																																																																				
R-2F-8-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15																																																																																																																				
R-M2F-9	1	4.0以上	0.13	0.25																																																																																																																				
C-2F-3	1	3.9	0.13	0.25																																																																																																																				
C-M3F-1	1	4.4×1.2	0.13	0.25																																																																																																																				
C-M2F-1	1	6.5以上	0.13※2	0.30※2																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料p.9条-別添1-補足4-2より抜粋                      結果としては、溢水水位が0.32m（この区画の最も低い浸水防護設備の高さ）にて排出流量は11,900m<sup>3</sup>/h程度となり、これは系統からの流出に対し、機器搬入ハッチ等の開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量337m<sup>3</sup>/h（原子炉補機冷却系）よりも上回っているため、没水高さがこの区画の最も低い浸水防護設備の高さ以上となることはない。</p>	<p>（2）算出結果                      流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量に関して、越流水深を0.17mと仮定（没水高さ0.3m）した場合の算出結果を表6に示す。                      越流量は十分に大きく、没水高さは0.3mを超えないことを確認した。</p>	<p>（3）算出結果                      流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量の算出結果を表3に示す。                      結果としては、3RB-D-N51では溢水水位が0.5m（この区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ）にて越流量は2,764m<sup>3</sup>/hとなり、これは系統からの流出に対し、当該開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量2,091m<sup>3</sup>/h（主給水系）よりも上回っている。                      また、3AB-H-2及び3AB-H-9では溢水水位が0.8m（この区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ）にて越流量4,243m<sup>3</sup>/hとなり、これは系統からの流出に対し、当該開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量120m<sup>3</sup>/h（化学体積制御系（充てん配管））よりも上回っている。                      以上より、没水高さがこれらの区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ以上となることはない。</p>	<p>【女川】                      記載表現の相違                      記載方針の相違                      泊では、島根の構文を参考にし、結果を文章で示した後に表を掲載する。</p> <p>【島根】                      設計方針の相違                      ・溢水水位、最大流量、系統、越流量は評価条件の相違。                      ・島根では浸水防護設備の高さに対して越流量を算出しているのに対して、泊では溢水防護対象設備の機能喪失高さに対して越流量を算出している。                      記載方針の相違                      ・2つの評価結果を示すため、区画を個別に記載する。                      ・島根の1つの評価結果の構文を2つの評価結果を示すために、2回用いることによる構文の相違。                      記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料p.9条-別添1-補足4-2より抜粋                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>表6 ハッチ、吹抜からの越流量算出結果(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="707 210 1263 587"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-1</td><td>ハッチ</td><td>4672<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>ハッチ</td><td>4672<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-B2F-2</td><td>ハッチ</td><td>2548<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-B2F-3</td><td>ハッチ</td><td>2633<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>吹抜</td><td>4882</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>吹抜</td><td>1401</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>吹抜</td><td>1715</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>吹抜</td><td>2761</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>吹抜</td><td>1146</td></tr> <tr><td>R-MB1F-1</td><td>吹抜</td><td>1363</td></tr> <tr><td>R-MB1F-2</td><td>吹抜</td><td>4002</td></tr> <tr><td>R-MB1F-3</td><td>吹抜</td><td>1099</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定</p>	区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)	R-3F-1	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>	R-2F-3	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>	R-B2F-2	ハッチ	2548 <sup>※1</sup>	R-B2F-3	ハッチ	2633 <sup>※1</sup>	R-M2F-1	吹抜	4882	R-M2F-3	吹抜	1401	R-M2F-5	吹抜	1715	R-1F-8	吹抜	2761	R-1F-9	吹抜	1146	R-MB1F-1	吹抜	1363	R-MB1F-2	吹抜	4002	R-MB1F-3	吹抜	1099	<p>表3 グレーチング、吹抜からの越流量算出結果</p> <table border="1" data-bbox="1290 210 1845 357"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3RB-D-N51</td><td>グレーチング</td><td>2,764</td></tr> <tr><td>3AB-H-2</td><td>吹抜</td><td>4,243</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>吹抜</td><td>4,243</td></tr> </tbody> </table>	区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)	3RB-D-N51	グレーチング	2,764	3AB-H-2	吹抜	4,243	3AB-H-9	吹抜	4,243	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・区画番号、種別、越流量の数値については、評価条件の相違。                      ・女川は「開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定」として                      いるところに対して、泊は、開口の幅については、流出を期待できる開口の幅の50%として設定する。                      （島根と同様）</p>
区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)																																																				
R-3F-1	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>																																																				
R-2F-3	ハッチ	4672 <sup>※1</sup>																																																				
R-B2F-2	ハッチ	2548 <sup>※1</sup>																																																				
R-B2F-3	ハッチ	2633 <sup>※1</sup>																																																				
R-M2F-1	吹抜	4882																																																				
R-M2F-3	吹抜	1401																																																				
R-M2F-5	吹抜	1715																																																				
R-1F-8	吹抜	2761																																																				
R-1F-9	吹抜	1146																																																				
R-MB1F-1	吹抜	1363																																																				
R-MB1F-2	吹抜	4002																																																				
R-MB1F-3	吹抜	1099																																																				
区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)																																																				
3RB-D-N51	グレーチング	2,764																																																				
3AB-H-2	吹抜	4,243																																																				
3AB-H-9	吹抜	4,243																																																				
<p>【島根2号炉】                      まとめ資料p.9条-別添1-補足4-2より抜粋                      なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>表6 ハッチ、吹抜からの越流量算出結果(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="707 686 1263 1062"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-MB1F-4</td><td>吹抜</td><td>2463</td></tr> <tr><td>R-3F-2</td><td>吹抜</td><td>1187</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>吹抜</td><td>1187</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>吹抜</td><td>2683</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>吹抜</td><td>1596</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>吹抜</td><td>1906</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>吹抜</td><td>1395<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>吹抜</td><td>1906</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>吹抜</td><td>1699</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>吹抜</td><td>1656</td></tr> <tr><td>C-MB1F-1</td><td>吹抜</td><td>1019<sup>※1</sup></td></tr> <tr><td>C-MB2F-1</td><td>吹抜</td><td>2695</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定</p>	区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)	R-MB1F-4	吹抜	2463	R-3F-2	吹抜	1187	R-3F-4	吹抜	1187	R-3F-5	吹抜	2683	R-M3F-3-1	吹抜	1596	R-2F-6-2	吹抜	1906	R-2F-7-1	吹抜	1395 <sup>※1</sup>	R-2F-8-2	吹抜	1906	R-M2F-9	吹抜	1699	C-2F-3	吹抜	1656	C-MB1F-1	吹抜	1019 <sup>※1</sup>	C-MB2F-1	吹抜	2695														
区画番号	種別	越流量 (m <sup>3</sup> /h)																																																				
R-MB1F-4	吹抜	2463																																																				
R-3F-2	吹抜	1187																																																				
R-3F-4	吹抜	1187																																																				
R-3F-5	吹抜	2683																																																				
R-M3F-3-1	吹抜	1596																																																				
R-2F-6-2	吹抜	1906																																																				
R-2F-7-1	吹抜	1395 <sup>※1</sup>																																																				
R-2F-8-2	吹抜	1906																																																				
R-M2F-9	吹抜	1699																																																				
C-2F-3	吹抜	1656																																																				
C-MB1F-1	吹抜	1019 <sup>※1</sup>																																																				
C-MB2F-1	吹抜	2695																																																				



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大阪3/4号炉】                      まとめ資料p.2-9-14より抜粋                      ・具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、床面開口部及び床貫通部、壁貫通部、扉から他区画への流出は想定しない条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p>	<p>6. 床ドレンからの排水について                      女川2号炉内部溢水影響評価において、床ドレンからの流出を考慮する場合については以下のとおりとする。                      (1) 評価条件                      ・同一区画に目皿が複数ある場合は、床ドレン一箇所の閉塞を考慮した上で、他の床ドレン配管からの単位時間あたりの流出を考慮する。                      ・床ドレンからの流出流量は、開口の有効面積と当該区画の水位を用いて以下の式より算出する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p><math>Q = AC\sqrt{2gH}</math> …… ③式</p> <p>Q：流量(m<sup>3</sup>/s)                      A：開口の有効面積(m<sup>2</sup>)                      H：当該区画の水位(m)                      C：流出流量損失係数 (=0.82)                      g：重力加速度 (m/s<sup>2</sup>)</p> </div> <p>7. 今後の運用管理について                      女川原子力発電所原子炉施設保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領書（仮称）」に、以下の内容を明記することとする。                      なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p> <p>(1) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部は、それがわかるように現場に表示を行うこと。</p> <p>(2) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部へ落下防止対策（ネットの設置、フェンスの設置等）を実施する場合は、カーブからの越流に影響を及ぼさないように配慮すること。</p>	<p>4. 今後の運用管理について                      泊発電所原子炉施設保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領（仮称）」に、以下の内容を明記することとする。                      なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p> <p>(1) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部は、それがわかるように現場に表示を行うこと。</p> <p>(2) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部へ落下防止対策（ネットの設置、フェンスの設置等）を実施する場合は、堰からの越流に影響を及ぼさないように配慮すること。</p>	<p>【女川】                      設計方針の相違                      泊は床ドレンからの排水に期待せずに溢水水位を算出し、没水影響評価を実施している。（大阪と同様）</p> <p>【女川】                      記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 3-2</p> <p>溢水ガイド付録Aにしたがい、高エネルギー配管及び低エネルギー配管を以下のフローによって分類した。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 13</p> <p>溢水源となる対象系統について</p> <p>1. 溢水源となる対象系統の抽出及び分類</p> <p>溢水ガイドの定義に基づき、破損を想定する系統について、図1のフローに従い分類した。分類の結果について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p> <p><small>中1 防護対象設備が設置されている建屋と接続している建屋内の水系配管（油系配管含む）については、防護対象設備が設置されている建屋への溢水伝播の有無を確認するための対象とする。</small></p>	<p style="text-align: right;">添付資料 12</p> <p>溢水源となる対象系統について</p> <p>1. 溢水源となる対象系統の抽出及び分類</p> <p>溢水ガイドの定義に基づき、破損を想定する系統について、図1のフローに従い分類した。分類の結果について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p> <p><small>※1 防護対象設備が設置されている建屋と接続している建屋内の水系配管（油系配管含む）については、防護対象設備が設置されている建屋への溢水伝播の有無を確認するための対象とする。</small></p>	<p>【女川・大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記載の表現に相違があるものの、溢水ガイドに基づきフローを作成しているという点において、相違はない。</li> <li>・大阪の表現は異なるものの、対象としている配管は泊、女川と同様である。</li> </ul>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大阪発電所3/4号炉

表2 配管破損を想定する低エネルギー配管の抽出結果

系統名
原子炉補機冷却系
格納容器スプレイ系
化学体積制御系
冷水系
1次系洗浄水系
1次系放射性ドレン系(機器ドレン)
1次系放射性ドレン系(床ドレン)
消火水系
1次系補給水系
余熱除去系
燃料取替用水系
燃料ピット冷却浄化系
安全注入系
液体廃棄物処理系
固体廃棄物処理系
補助給水系(低温配管該当部分)

女川原子力発電所2号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア  
(2/6)

系統	設計条件 運転圧力 (MPa)	設計条件 運転温度 (℃)	分類		設置エリア	
			低エネ	高エネ	原子炉建屋	
					原子炉種別	原子炉種別
床ドレン・化学廃棄系	0.85	66	○**	○	○	○
ストームドレン系	0.34	146	○	○	○	○
廃スラッジ系	1.37	66	○	○	○	○
濃縮廃液系	1.37	66	○	○	○	○
酸化系	1.37	96	○	○	○	○
排水系	0.35	66	○	○	○	○
給水系	1.94	66	○	○	○	○
給水加熱器ドレン系	0.69	66	○	○	○	○
給水加熱器ドレン系	15.49	180	○	○	○	○
排水加熱器ドレン系	0.62	302	○	○	○	○
排水加熱器	1.94	66	○	○	○	○
排水加熱器	0.69	66	○	○	○	○
排水加熱器	1.94	66	○	○	○	○
排水加熱器	0.69	66	○	○	○	○

※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する  
 ※2 廃棄物処理エリアのみ  
 ※3 排水補給水系の排水量で考慮する  
 ※4 休止設備であり無有なし

泊発電所3号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア  
(2/3)

系統	設計条件 運転圧力 (MPa)	設計条件 運転温度 (℃)	分類		設置エリア			
			低エネ	高エネ	原子炉建屋		タービン	
					管理	非管理	管理	非管理
液体廃棄物処理系	1.01	80	○	○	○	○	○	○
固体廃棄物処理系	1.01	40	○	○	○	○	○	○
飲料採取系	0.7	46.1	○	○	○	○	○	○
蒸気発生器ブローダウン系	5.6	274	○	○	○	○	○	○
燃料取替用水系	0.87	40	○	○	○	○	○	○
原子炉補給水系(脱塩水)	1.05	40	○	○	○	○	○	○
原子炉補給水系(純水)	1.01	40	○	○	○	○	○	○
補助蒸気系	0.7	170	○	○	○	○	○	○
水消火系	0.1	40	○	○	○	○	○	○
地下水排水系	1.8	49	○	○	○	○	○	○
飲料水系	0.47	40	○	○	○	○	○	○
海水電解装置海水供給・注入系	0.51	40	○	○	○	○	○	○
空調用給水系	0.61	26	○	○	○	○	○	○
空調用給水系	1.0	10	○	○	○	○	○	○

※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する

相違理由

【女川】  
 記載表現の相違  
 設計方針の相違  
 ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大阪、高浜、美浜と同様)  
 ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。

【大阪】  
 記載方針の相違  
 女川審査実績を反映し、表の構成を変更し、高エネルギー配管と低エネルギー配管を建屋ごとに星取表の形で抽出した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (3/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 247 1205 1150"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="6">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">最高使用圧力(MPa)</th> <th rowspan="2">最高使用温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋付属棟(附属施設設置エリア)</th> <th rowspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">タービン建屋付属棟</th> <th rowspan="2">補助ボイラー建屋</th> <th rowspan="2">機水ポンプ室</th> <th rowspan="2">LOTエリア 505</th> <th rowspan="2">LOTエリア 506</th> </tr> <tr> <th>原子炉建屋</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>固定子冷却給加水系</td> <td>0.88</td> <td>74</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>0.45</td> <td>41</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水補給水系</td> <td>1.18</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水補給水系</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ろ過水系</td> <td>1.18</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給水系</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>消火用水系</td> <td>1.07</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>熱気空調機</td> <td>1.27</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>空用冷却水系</td> <td>0.88</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>熱気空調機冷却水系</td> <td>1.18</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水系</td> <td>0.96</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン補給冷却水系</td> <td>0.78</td> <td>50</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水系</td> <td>0.69</td> <td>41</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>1.18</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>1.18</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>1.18</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する          ※2 廃棄物処理エリアのみ          ※3 機水補給水系の流量で考慮する          ※4 休止状態であり保有水なし</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア						最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋付属棟(附属施設設置エリア)		タービン建屋	タービン建屋付属棟	補助ボイラー建屋	機水ポンプ室	LOTエリア 505	LOTエリア 506	原子炉建屋	付属棟	付属棟	付属棟	固定子冷却給加水系	0.88	74	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	機水系	0.45	41	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	機水補給水系	1.18	66	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	機水補給水系	1.37	66	-	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	ろ過水系	1.18	66	-	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	燃料プール補給水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	消火用水系	1.07	40	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	熱気空調機	1.27	66	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	空用冷却水系	0.88	66	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	熱気空調機冷却水系	1.18	85	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	原子炉補給冷却水系	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	タービン補給冷却水系	0.78	50	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	原子炉補給冷却水系	0.69	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	機水系	1.18	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	1.18	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	1.18	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (3/3)</p> <table border="1" data-bbox="1285 247 1839 1150"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="6">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">運転圧力(MPa)</th> <th rowspan="2">運転温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋付属棟</th> <th rowspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">タービン建屋付属棟</th> <th rowspan="2">出入室建屋</th> <th rowspan="2">機水ポンプ室</th> </tr> <tr> <th>原子炉建屋</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機水系</td> <td>5.25</td> <td>208</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>1.2</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>0.69</td> <td>25</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>0.65</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>2.0</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>0.1</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>5.8</td> <td>220</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>0.3</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>0.7</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>1.68</td> <td>20</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>0.91</td> <td>29</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>0.11</td> <td>65</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>2.46</td> <td>223</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>1.2</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>5.48</td> <td>271</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>0.65</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水系</td> <td>0.65</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア						運転圧力(MPa)	運転温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋付属棟		タービン建屋	タービン建屋付属棟	出入室建屋	機水ポンプ室	原子炉建屋	付属棟	付属棟	付属棟	機水系	5.25	208	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	0.69	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	0.65	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	2.0	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	0.1	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	5.8	220	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	0.3	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	0.7	26	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	1.68	20	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	0.91	29	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	0.11	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	2.46	223	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	5.48	271	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水系	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>  <u>設計方針の相違</u>          ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)          ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	最高使用圧力(MPa)		最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋付属棟(附属施設設置エリア)		タービン建屋	タービン建屋付属棟	補助ボイラー建屋	機水ポンプ室	LOTエリア 505	LOTエリア 506																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		原子炉建屋				付属棟	付属棟	付属棟																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
固定子冷却給加水系	0.88	74	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
機水系	0.45	41	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
機水補給水系	1.18	66	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
機水補給水系	1.37	66	-	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
ろ過水系	1.18	66	-	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
燃料プール補給水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
消火用水系	1.07	40	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
熱気空調機	1.27	66	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
空用冷却水系	0.88	66	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
熱気空調機冷却水系	1.18	85	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
原子炉補給冷却水系	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
タービン補給冷却水系	0.78	50	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
原子炉補給冷却水系	0.69	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
機水系	1.18	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
機水系	1.18	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
機水系	1.18	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	運転圧力(MPa)	運転温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋付属棟		タービン建屋	タービン建屋付属棟	出入室建屋	機水ポンプ室																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
					原子炉建屋	付属棟	付属棟	付属棟																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
機水系	5.25	208	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	0.69	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	0.65	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	2.0	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	0.1	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	5.8	220	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	0.3	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	0.7	26	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	1.68	20	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	0.91	29	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	0.11	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	2.46	223	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	5.48	271	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機水系	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																				
	表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (4/6)		【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。（大阪、高浜、美浜と同様） ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。																																																																																																																																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="4">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="10">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">静圧 (MPa)</th> <th rowspan="3">最高使用 温度(℃)</th> <th rowspan="3">高エネ</th> <th rowspan="3">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉棟</th> <th colspan="2">タービン 棟</th> <th rowspan="3">補助 ボイラ ー</th> <th rowspan="3">機水 ポン プ室</th> <th rowspan="3">CSエ リア 055</th> <th rowspan="3">LOTエ リア 056</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">付属棟</th> <th rowspan="2">付属棟</th> <th rowspan="2">付属棟</th> <th rowspan="2">付属棟</th> <th rowspan="2">管理</th> <th rowspan="2">管理</th> </tr> <tr> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> </tr> <tr> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水配管系統</td> <td>0.75</td> <td>50</td> <td>-</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水配管系統</td> <td>2.55</td> <td>291</td> <td>○</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水配管系統</td> <td>3.43</td> <td>300</td> <td>○</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水配管系統</td> <td>0.96</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水配管系統</td> <td>1.57</td> <td>294</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水配管系統</td> <td>1.18</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水配管系統</td> <td>0.64</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水配管系統</td> <td>0.64</td> <td>95 (通常運転 温度は89~ 95℃)</td> <td>-</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>新庄原子力発電所 機水配管系統</td> <td>0.96</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が長いため、低エネルギー配管に分類する          ※2 原燃料処理エリアのみ          ※3 機水機室配管系統の注水量で考慮する          ※4 休止設備であり注水量なし</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア										静圧 (MPa)	最高使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉棟		タービン 棟		補助 ボイラ ー	機水 ポン プ室	CSエ リア 055	LOTエ リア 056	付属棟	付属棟	付属棟	付属棟	管理	管理	付属棟	付属棟	付属棟	付属棟	付属棟	付属棟	付属棟	付属棟	付属棟	付属棟	新庄原子力発電所 機水配管系統	0.75	50	-	○											新庄原子力発電所 機水配管系統	2.55	291	○	-											新庄原子力発電所 機水配管系統	3.43	300	○	-											新庄原子力発電所 機水配管系統	0.96	66	-	○											新庄原子力発電所 機水配管系統	1.57	294	○	○											新庄原子力発電所 機水配管系統	1.18	85	-	○											新庄原子力発電所 機水配管系統	0.64	85	-	○											新庄原子力発電所 機水配管系統	0.64	95 (通常運転 温度は89~ 95℃)	-	○											新庄原子力発電所 機水配管系統	0.96	85	-	○												
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																		
	静圧 (MPa)		最高使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉棟		タービン 棟		補助 ボイラ ー	機水 ポン プ室	CSエ リア 055	LOTエ リア 056																																																																																																																																																																								
						付属棟	付属棟	付属棟	付属棟	管理	管理																																																																																																																																																																												
		付属棟														付属棟	付属棟	付属棟																																																																																																																																																																					
付属棟	付属棟	付属棟	付属棟	付属棟	付属棟																																																																																																																																																																																		
新庄原子力発電所 機水配管系統	0.75	50	-	○																																																																																																																																																																																			
新庄原子力発電所 機水配管系統	2.55	291	○	-																																																																																																																																																																																			
新庄原子力発電所 機水配管系統	3.43	300	○	-																																																																																																																																																																																			
新庄原子力発電所 機水配管系統	0.96	66	-	○																																																																																																																																																																																			
新庄原子力発電所 機水配管系統	1.57	294	○	○																																																																																																																																																																																			
新庄原子力発電所 機水配管系統	1.18	85	-	○																																																																																																																																																																																			
新庄原子力発電所 機水配管系統	0.64	85	-	○																																																																																																																																																																																			
新庄原子力発電所 機水配管系統	0.64	95 (通常運転 温度は89~ 95℃)	-	○																																																																																																																																																																																			
新庄原子力発電所 機水配管系統	0.96	85	-	○																																																																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																		
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (5/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="3">補助 ボイラー 設備</th> <th rowspan="3">機本 ポンプ 室</th> <th rowspan="3">機本 エリア 05</th> <th rowspan="3">LOT エ リア 06</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機本使用 圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">機本使用 温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">タービン 建屋</th> </tr> <tr> <th>原子炉種</th> <th>付属種</th> <th>付属種 (専断防犯 管理エリア)</th> <th>設備 種</th> <th>管理 種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧炉心スプレイス ディーゼル発電設備 機本給水</td> <td>0.98</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼルス 発電機燃料給水</td> <td>0.59</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス ディーゼル発電設備 燃料給水</td> <td>0.59</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼルス 発電機燃料給水</td> <td>0.95</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイス ディーゼル発電設備 燃料給水</td> <td>0.98</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">タービン機本給水</td> <td>2.16</td> <td>79</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>0.38</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>0.62</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>0.50</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高圧機本給水</td> <td>0.45</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>13.80</td> <td>70</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>高圧機本給水</td> <td>0.34</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する          ※2 原燃物処理エリアのみ          ※3 機本給水ポンプの排水量で考慮する          ※4 休止設備であり常時水なし</p> <p>※5 CSTエリア、機本貯蔵タンクエリア          ※6 LOTエリア、船舶タンクエリア</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア				補助 ボイラー 設備	機本 ポンプ 室	機本 エリア 05	LOT エ リア 06	機本使用 圧力 (MPa)	機本使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		タービン 建屋		原子炉種	付属種	付属種 (専断防犯 管理エリア)	設備 種	管理 種	高圧炉心スプレイス ディーゼル発電設備 機本給水	0.98	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	非常用ディーゼルス 発電機燃料給水	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	高圧炉心スプレイス ディーゼル発電設備 燃料給水	0.59	45	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	非常用ディーゼルス 発電機燃料給水	0.95	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	高圧炉心スプレイス ディーゼル発電設備 燃料給水	0.98	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	タービン機本給水	2.16	79	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.38	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	0.62	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	0.50	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	高圧機本給水	0.45	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	13.80	70	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	高圧機本給水	0.34	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                  設計方針の相違</p> <p>・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大阪、高浜、美浜と同様)</p> <p>・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア				補助 ボイラー 設備	機本 ポンプ 室									機本 エリア 05	LOT エ リア 06																																																																																																																																																																	
	機本使用 圧力 (MPa)		機本使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		タービン 建屋																																																																																																																																																																													
		原子炉種				付属種	付属種 (専断防犯 管理エリア)	設備 種			管理 種																																																																																																																																																																										
高圧炉心スプレイス ディーゼル発電設備 機本給水	0.98	85	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼルス 発電機燃料給水	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																									
高圧炉心スプレイス ディーゼル発電設備 燃料給水	0.59	45	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																									
非常用ディーゼルス 発電機燃料給水	0.95	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																									
高圧炉心スプレイス ディーゼル発電設備 燃料給水	0.98	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○																																																																																																																																																																									
タービン機本給水	2.16	79	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																									
	0.38	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																									
	0.62	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																									
	0.50	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																									
高圧機本給水	0.45	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																									
	13.80	70	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																									
高圧機本給水	0.34	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																											
<p>補足資料3-2</p> <p>図1のフローによって低エネルギー配管を抽出した結果を表1に示す。また、通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統について、高エネルギー状態にある運転時間割合を評価した結果を表1に示す。</p>	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (6/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 252 857 1145"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="4">設置エリア</th> </tr> <tr> <th>最高使用圧力(MPa)</th> <th>最高使用温度(℃)</th> <th>高エネ</th> <th>低エネ</th> <th colspan="2">原子炉種別</th> <th colspan="2">タービン種別</th> </tr> <tr> <th>0.98</th> <th>66</th> <th>○</th> <th>○</th> <th>原子炉種別</th> <th>付属種別</th> <th>タービン種別</th> <th>付属種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉冷却水循環系</td> <td>0.98</td> <td>66</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>原子炉種別</td> <td>付属種別</td> <td>タービン種別</td> <td>付属種別</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>0.29</td> <td>70</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>原子炉種別</td> <td>付属種別</td> <td>タービン種別</td> <td>付属種別</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する                  ※2 廃棄物処理エリアのみ                  ※3 潤水側給水系の給水量で考慮する                  ※4 休止設備であり保有水なし</p> <p>※5 CSTエリア：直水貯蔵タンクエリア                  ※6 LOTエリア：軽油タンクエリア</p> <p>2. 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について                  ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても高エネルギー状態にある運転期間が短時間（プラントの通常運転時の1%より小さい）である場合には、低エネルギー配管とすることができるものと定められている。</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア				最高使用圧力(MPa)	最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉種別		タービン種別		0.98	66	○	○	原子炉種別	付属種別	タービン種別	付属種別	原子炉冷却水循環系	0.98	66	○	○	原子炉種別	付属種別	タービン種別	付属種別	炉内用水系	0.29	70	○	○	原子炉種別	付属種別	タービン種別	付属種別	<p>2. 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について                  ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても高エネルギー状態にある運転期間が短時間（プラントの通常運転時の1%より小さい）である場合には、低エネルギー配管とすることができるものと定められている。</p>	<p>【女川】                  記載表現の相違                  設計方針の相違                  ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。（大阪、高浜、美浜と同様）                  ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p> <p>【大阪】                  記載方針の相違                  女川審査実績を反映し、記載内容を変更した。大阪も高エネルギー配管を低エネルギー配管とすることを確認しており、実施内容について相違はない。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																									
	最高使用圧力(MPa)		最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉種別		タービン種別																																						
	0.98	66	○	○	原子炉種別	付属種別	タービン種別	付属種別																																						
原子炉冷却水循環系	0.98	66	○	○	原子炉種別	付属種別	タービン種別	付属種別																																						
炉内用水系	0.29	70	○	○	原子炉種別	付属種別	タービン種別	付属種別																																						



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																													
<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした6系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーベランス及び定期検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、残留熱除去系については、定期検査中の停止時冷却モード運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした4系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーベランス及び定期事業者検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、余熱除去系については、定期事業者検査中の冷却運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした4系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本系統については、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーベランス及び定期事業者検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、余熱除去系については、定期事業者検査中の冷却運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計による相違                  記載表現の相違                  BWRは残留熱除去系の運転モードの1つとして原子炉停止後の崩壊熱を除去する「停止時冷却モード」がある。PWRではそのような運転モード名称はないため、定期事業者検査中の「冷却」とする。</p>																																																																																													
<p>表1 低エネルギー配管を有する系統の抽出結果</p>	<p>表2 高エネルギー状態の運転期間割合算出結果</p>	<p>表2 高エネルギー状態の運転期間割合算出結果</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違</p>																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>対象範囲における使用条件</th> <th>運転時間割合※1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ系※1</td> <td>運転圧力：約 2.9MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（機器ドレン）</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（床ドレン）</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消火水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系※1</td> <td>運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料ピット冷却浄化系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安全注入系※1</td> <td>運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>海水系</td> <td>運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補助給水系※1</td> <td>運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> </tbody> </table>	系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合※1	原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—	格納容器スプレイ系※1	運転圧力：約 2.9MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—	冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—	1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—	余熱除去系※1	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下	<1%	燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	安全注入系※1	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—	液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—	固体廃棄物処理系	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	補助給水系※1	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>運転時間割合</th> <th>計算式 (X<sup>※1</sup>/Y<sup>※2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>(A):0.05% (B):0.05%</td> <td>(A):(63 h)/(133921 h)=0.05% &lt; 1% (B):(63 h)/(133921 h)=0.05% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系</td> <td>(A):0.03% (B):0.02% (C):0.02%</td> <td>(A):(28 h)/(133921 h)=0.03% &lt; 1% (B):(23 h)/(133921 h)=0.02% &lt; 1% (C):(14 h)/(133921 h)=0.02% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> <td>0.10%</td> <td>(133 h)/(133921 h)=0.10% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td>0.15%</td> <td>(189 h)/(133921 h)=0.15% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>0.08%</td> <td>(99 h)/(133921 h)=0.08% &lt; 1%</td> </tr> <tr> <td>加熱蒸気及び復水戻り系(原子炉隔離時冷却系タービンテストライン)</td> <td>0.01%</td> <td>(3 h)/(133921 h)=0.01% &lt; 1%</td> </tr> </tbody> </table>	系統	運転時間割合	計算式 (X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> )	ほう酸水注入系	(A):0.05% (B):0.05%	(A):(63 h)/(133921 h)=0.05% < 1% (B):(63 h)/(133921 h)=0.05% < 1%	残留熱除去系	(A):0.03% (B):0.02% (C):0.02%	(A):(28 h)/(133921 h)=0.03% < 1% (B):(23 h)/(133921 h)=0.02% < 1% (C):(14 h)/(133921 h)=0.02% < 1%	低圧炉心スプレイ系	0.10%	(133 h)/(133921 h)=0.10% < 1%	高圧炉心スプレイ系	0.15%	(189 h)/(133921 h)=0.15% < 1%	原子炉隔離時冷却系	0.08%	(99 h)/(133921 h)=0.08% < 1%	加熱蒸気及び復水戻り系(原子炉隔離時冷却系タービンテストライン)	0.01%	(3 h)/(133921 h)=0.01% < 1%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>運転時間割合</th> <th>計算式 (X<sup>※1</sup>/Y<sup>※2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>(A):0.85% (B):0.85%</td> <td>(A):(176h)/(20,760h)=0.85%&lt;1% (B):(176h)/(20,760h)=0.85%&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ系</td> <td>(A):0.03% (B):0.03%</td> <td>(A):(4.2h)/(20,760h)=0.03%&lt;1% (B):(4.2h)/(20,760h)=0.03%&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>補助給水系 (電動補助給水ポンプ)</td> <td>(A):0.11% (B):0.03%</td> <td>(A):(22.5h)/(20,760h)=0.11%&lt;1% (B):(4.5h)/(20,760h)=0.03%&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>補助給水系 (タービン動補助給水ポンプ)</td> <td>0.05%</td> <td>(9h)/(20,760h)=0.05%&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>安全注入系</td> <td>(A):0.03% (B):0.03%</td> <td>(A):(4.3h)/(20,760h)=0.03%&lt;1% (B):(4.3h)/(20,760h)=0.03%&lt;1%</td> </tr> </tbody> </table>	系統	運転時間割合	計算式 (X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> )	余熱除去系	(A):0.85% (B):0.85%	(A):(176h)/(20,760h)=0.85%<1% (B):(176h)/(20,760h)=0.85%<1%	原子炉格納容器スプレイ系	(A):0.03% (B):0.03%	(A):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1%	補助給水系 (電動補助給水ポンプ)	(A):0.11% (B):0.03%	(A):(22.5h)/(20,760h)=0.11%<1% (B):(4.5h)/(20,760h)=0.03%<1%	補助給水系 (タービン動補助給水ポンプ)	0.05%	(9h)/(20,760h)=0.05%<1%	安全注入系	(A):0.03% (B):0.03%	(A):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1%	<p>【女川】                  設計方針の相違                  ・プラント設計による系統の相違                  ・運転期間が異なることによる評価条件の相違</p>
系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合※1																																																																																														
原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—																																																																																														
格納容器スプレイ系※1	運転圧力：約 2.9MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																														
化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—																																																																																														
冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—																																																																																														
1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
余熱除去系※1	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下	<1%																																																																																														
燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																														
燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																														
安全注入系※1	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																														
海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—																																																																																														
液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—																																																																																														
固体廃棄物処理系	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
補助給水系※1	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%																																																																																														
系統	運転時間割合	計算式 (X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> )																																																																																														
ほう酸水注入系	(A):0.05% (B):0.05%	(A):(63 h)/(133921 h)=0.05% < 1% (B):(63 h)/(133921 h)=0.05% < 1%																																																																																														
残留熱除去系	(A):0.03% (B):0.02% (C):0.02%	(A):(28 h)/(133921 h)=0.03% < 1% (B):(23 h)/(133921 h)=0.02% < 1% (C):(14 h)/(133921 h)=0.02% < 1%																																																																																														
低圧炉心スプレイ系	0.10%	(133 h)/(133921 h)=0.10% < 1%																																																																																														
高圧炉心スプレイ系	0.15%	(189 h)/(133921 h)=0.15% < 1%																																																																																														
原子炉隔離時冷却系	0.08%	(99 h)/(133921 h)=0.08% < 1%																																																																																														
加熱蒸気及び復水戻り系(原子炉隔離時冷却系タービンテストライン)	0.01%	(3 h)/(133921 h)=0.01% < 1%																																																																																														
系統	運転時間割合	計算式 (X <sup>※1</sup> /Y <sup>※2</sup> )																																																																																														
余熱除去系	(A):0.85% (B):0.85%	(A):(176h)/(20,760h)=0.85%<1% (B):(176h)/(20,760h)=0.85%<1%																																																																																														
原子炉格納容器スプレイ系	(A):0.03% (B):0.03%	(A):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1%																																																																																														
補助給水系 (電動補助給水ポンプ)	(A):0.11% (B):0.03%	(A):(22.5h)/(20,760h)=0.11%<1% (B):(4.5h)/(20,760h)=0.03%<1%																																																																																														
補助給水系 (タービン動補助給水ポンプ)	0.05%	(9h)/(20,760h)=0.05%<1%																																																																																														
安全注入系	(A):0.03% (B):0.03%	(A):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1%																																																																																														
<p>※1 通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統</p> <p>※2 運転時間割合のうち、通常運転時の運転時間については、毎月のサーベランスの運転時間実績で評価した。格納容器スプレイ系、安全注入系及び補助給水系は事故時に動作する系統であり、定検時の調整運転等を考慮しても通常運転時に比べ十分短く、また、余熱除去ポンプの定検期間の運転時間も十分短いため、サーベランスで代表しても評価に影響しない。</p>	<p>※1 高エネルギー状態にある運転期間（時間）</p> <p>※2 プラント運転開始（平成7年7月）～第11回定検終了（平成22年11月）</p>	<p>※1 高エネルギー状態にある運転期間（時間）</p> <p>※2 プラント運転開始（平成21年12月）～第2回定検終了（平成24年5月）</p>	<p>【大阪】                  記載方針の相違                  女川審査実績を反映した表の記載とし、高エネルギー状態の計算に用いる時間を記載した。</p>																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 3-3（別紙1）</p> <p>高エネルギー配管（補助蒸気供給配管）の破損形状の設定</p> <p>1. 概要</p> <p>高エネルギー配管のうち補助蒸気供給配管について溢水ガイド附属書Aの高エネルギー配管の評価対象（25A以上）に対し、ターミナルエンドは完全全周破断、ターミナルエンド以外（一般部）は、許容応力の0.8倍又は0.4倍に応じた破損形状とする旨の記載にしたがって評価している。本資料は補助蒸気供給配管の応力評価の手法、結果についてとりまとめたものである。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 14</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 13</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外又は貫通クラックの適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p> <p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>女川の審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を記載する方針とする。</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
<p>補足資料3-3</p> <p>表1 想定破損の応力評価に基づく破損形状の結果（一般部）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>応力評価</th> <th>破損形状</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td rowspan="5">実施なし</td> <td rowspan="5">完全全周破断</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>主蒸気系</td> </tr> <tr> <td>主給水系</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン系</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>実施あり</td> <td>貫通クラック*</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 応力評価を実施し、評価結果は許容応力(0.8Sn)以下であった</p>	系統名	応力評価	破損形状	備考	化学体積制御系	実施なし	完全全周破断		主蒸気系	主給水系	蒸気発生器ブローダウン系	補助給水系	補助蒸気系	実施あり	貫通クラック*		<p>表1 高エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置エリア</th> <th rowspan="2">溢水防護区画番号</th> <th rowspan="2">対象系統</th> <th colspan="2">対象配管</th> </tr> <tr> <th>ライン番号</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="2">R-1F-5</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>200A-IS-100-1</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>50A-IS-4</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-1F-12</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>50A-IS-4</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B1F-1</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-152-2</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="10">R-B2F-1</td> <td rowspan="10">H S C R</td> <td>25A-HSCR-220</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-152-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-153</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100A-HSCR-152-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>30A-HSCR-452-1</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td>40A-HSCR-208</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>25A-HSCR-159</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25A-HSCR-206</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20A-HSCR-466-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R-B2F-5</td> <td>H S</td> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-2</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>20A-IS-562-1</td> <td>STS42</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td rowspan="2">C-1F-1</td> <td rowspan="2">H S</td> <td>250A-IS-3</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>C-1F-3</td> <td>H S</td> <td>250A-IS-3</td> <td>STPT38</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	溢水防護区画番号	対象系統	対象配管		ライン番号	材質	原子炉建屋 原子炉棟	R-1F-5	H S	200A-IS-100-1	STPT38	50A-IS-4	STPT38	R-1F-12	H S	50A-IS-4	STPT38	100A-IS-109	STPT38	R-B1F-1	H S	40A-IS-110	STPT38	200A-HSCR-152-2	STPA23	原子炉建屋 原子炉棟	R-B2F-1	H S C R	25A-HSCR-220	STPT38	100A-IS-109	STPT38	40A-IS-110	STPT38	200A-HSCR-152-2		200A-HSCR-153		100A-HSCR-152-3		30A-HSCR-452-1	STPA23	40A-HSCR-208	STPT38	25A-HSCR-159		25A-HSCR-206		20A-HSCR-466-1		R-B2F-5	H S	40A-IS-110	STPT38	R-B3F-2	H S	100A-IS-109	STPT38	20A-IS-562-1	STS42	制御建屋	C-1F-1	H S	250A-IS-3	STPT38	C-1F-3	H S	250A-IS-3	STPT38	<p>表1 高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックを適用する対象配管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>対象配管</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td rowspan="2">補助蒸気系配管*</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td>STPT370</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td rowspan="2">蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*</td> <td>STPT370</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td>主蒸気系(主蒸気管室外)配管*</td> <td>STPT370</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 蒸気影響範囲のみ応力評価を実施。</p>	設置エリア	対象配管	材質	原子炉建屋	補助蒸気系配管*	STPG370	原子炉補助建屋	STPT370	原子炉建屋	蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*	STPT370	原子炉補助建屋	主蒸気系(主蒸気管室外)配管*	STPT370	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。(大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様)</li> <li>・建屋名称、対象系統、材質の相違。</li> <li>・女川では、想定破損除外のために3次元はりモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</li> <li>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。(大飯と同様)</li> <li>・泊では、高エネルギー配管の蒸気影響範囲のみに絞って応力評価を実施している。</li> </ul> <p>【大飯】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>大飯では想定破損除外を適用している高エネルギー配管はない。</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川の審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を抽出する記載方針とする。</p>
系統名	応力評価	破損形状	備考																																																																																																				
化学体積制御系	実施なし	完全全周破断																																																																																																					
主蒸気系																																																																																																							
主給水系																																																																																																							
蒸気発生器ブローダウン系																																																																																																							
補助給水系																																																																																																							
補助蒸気系	実施あり	貫通クラック*																																																																																																					
設置エリア	溢水防護区画番号	対象系統	対象配管																																																																																																				
			ライン番号	材質																																																																																																			
原子炉建屋 原子炉棟	R-1F-5	H S	200A-IS-100-1	STPT38																																																																																																			
			50A-IS-4	STPT38																																																																																																			
	R-1F-12	H S	50A-IS-4	STPT38																																																																																																			
			100A-IS-109	STPT38																																																																																																			
	R-B1F-1	H S	40A-IS-110	STPT38																																																																																																			
			200A-HSCR-152-2	STPA23																																																																																																			
	原子炉建屋 原子炉棟	R-B2F-1	H S C R	25A-HSCR-220	STPT38																																																																																																		
				100A-IS-109	STPT38																																																																																																		
				40A-IS-110	STPT38																																																																																																		
				200A-HSCR-152-2																																																																																																			
				200A-HSCR-153																																																																																																			
				100A-HSCR-152-3																																																																																																			
				30A-HSCR-452-1	STPA23																																																																																																		
				40A-HSCR-208	STPT38																																																																																																		
				25A-HSCR-159																																																																																																			
				25A-HSCR-206																																																																																																			
	20A-HSCR-466-1																																																																																																						
	R-B2F-5	H S	40A-IS-110	STPT38																																																																																																			
	R-B3F-2	H S	100A-IS-109	STPT38																																																																																																			
			20A-IS-562-1	STS42																																																																																																			
制御建屋	C-1F-1	H S	250A-IS-3	STPT38																																																																																																			
			C-1F-3	H S	250A-IS-3	STPT38																																																																																																	
設置エリア	対象配管	材質																																																																																																					
原子炉建屋	補助蒸気系配管*	STPG370																																																																																																					
原子炉補助建屋		STPT370																																																																																																					
原子炉建屋	蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*	STPT370																																																																																																					
原子炉補助建屋		主蒸気系(主蒸気管室外)配管*	STPT370																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>3.1. 評価方法</p> <p>溢水ガイド附属書Aにしたがい、供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により <math>S_n</math>（一次応力+二次応力）を算出し、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた <math>S_a</math>（許容応力）との比較により破損形状を設定する。一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙3 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いる。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>加熱蒸気及び復水戻り系は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3) Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>が、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> の0.4倍以下であることを確認する。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系（主蒸気管室外）及び主蒸気系（主蒸気管室外）は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3) Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>と、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> との比較により破断形状を設定する。一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いる。</p>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a>  <a href="#">プラント設計による系統の相違</a></p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川は<math>S_n</math>（一次応力+二次応力）が許容応力<math>S_a</math>の0.4倍以下であれば想定破損除外を適用し、それ以外は完全全周破断を想定することになっているが、泊はそれに加えて、許容応力<math>S_a</math>の0.4倍を超え0.8倍以下である場合は貫通クラックを適用することになっている。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</li> <li>・泊では、大阪と同様に原則標準支持間隔法における応力評価を実施しており、二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いている。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</li> </ul> <p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>  <a href="#">女川審査実績の反映</a>  <a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>b. <math>S_n = \frac{P_m D_o}{4t} + \frac{0.75h_1(M_s + M_b) + h_2 M_c}{Z}</math></p> <p><math>S_n</math> : 一次応力と二次応力を加えて求めた応力 (MPa)  <math>h_1, h_2</math> : 応力係数  <math>M_c</math> : 管の熱による支持点の変位及び熱膨張により生ずるモーメント (N・mm)  <math>P_m</math> : 内面に受ける最高の圧力 (MPa)  <math>M_b</math> : 管の機械的荷重 (逃し弁又は安全弁の吹出し反力その他の短期的荷重に限る) により生ずるモーメント (N・mm)  <math>D_o</math> : 管の外径 (mm)  <math>t</math> : 管の厚さ (mm)  <math>M_a</math> : 管の機械的荷重 (自重その他の長期荷重に限る) により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p>d. <math>S_a = 1.25S_c + (1.2 + 0.25f)S_c</math></p> <p><math>S_a</math> : 許容応力 (MPa)  <math>f</math> : 許容応力低減係数</p> <p><math>S_c</math> : 室温における材料の許容引張応力 (MPa)  <math>S_h</math> : 使用温度における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p style="text-align: center;">設計・建設規格 PPC-3530(1) 抜粋</p>	<p>(1) <math>S_a</math> の算出                  設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。  <math>S_a = 1.25fS_c + (1.2 + 0.25f) Sh \cdots \text{①式}</math>  <math>S_a</math> : 許容応力  <math>F</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>加熱蒸気及び復水戻り系配管は、通年（運転時、定検時）において、圧力は一定に保つように設定されているため、有意な温度変化は受けず、また、補機の発停回数も有意な回数がないことから、表2より、応力低減係数を1.0に設定した。</p> <p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="779 1129 1189 1289"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000 未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000 以上 14,000 未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000 以上 22,000 未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000 以上 45,000 未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000 以上 100,000 未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000 以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table>	温度変化サイクル数	fの値	7,000 未満	1.0	7,000 以上 14,000 未満	0.9	14,000 以上 22,000 未満	0.8	22,000 以上 45,000 未満	0.7	45,000 以上 100,000 未満	0.6	100,000 以上	0.5	<p>(1) <math>S_a</math> の算出                  設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。  <math>S_a = 1.25fS_c + (1.2 + 0.25f) Sh \cdots \text{①式}</math>  <math>S_a</math> : 許容応力  <math>F</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系（主蒸気管室外）及び主蒸気系（主蒸気管室外）配管は、通年（運転時、定期事業者検査時）において、圧力は一定に保つように設定されているため、有意な温度変化は受けず、また、補機の発停回数も有意な回数がないことから、表2より、応力低減係数を1.0に設定した。</p> <p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="1384 1129 1756 1289"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000 未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000 以上 14,000 未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000 以上 22,000 未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000 以上 45,000 未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000 以上 100,000 未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000 以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table>	温度変化サイクル数	fの値	7,000 未満	1.0	7,000 以上 14,000 未満	0.9	14,000 以上 22,000 未満	0.8	22,000 以上 45,000 未満	0.7	45,000 以上 100,000 未満	0.6	100,000 以上	0.5	<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                  ・女川審査実績を反映し、<math>S_n</math>の算出については記載しない、<math>S_n</math>を算出しているという点において、泊、女川と相違はない。                  ・女川審査実績を反映し、<math>S_c</math>と<math>S_h</math>についての説明は後述する。  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>                  プラント設計による系統の相違  <a href="#">記載表現の相違</a></p>
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000 未満	1.0																														
7,000 以上 14,000 未満	0.9																														
14,000 以上 22,000 未満	0.8																														
22,000 以上 45,000 未満	0.7																														
45,000 以上 100,000 未満	0.6																														
100,000 以上	0.5																														
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000 未満	1.0																														
7,000 以上 14,000 未満	0.9																														
14,000 以上 22,000 未満	0.8																														
22,000 以上 45,000 未満	0.7																														
45,000 以上 100,000 未満	0.6																														
100,000 以上	0.5																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPT38=93MPa, STPA23=103MPa, STS42=103MPa）</p> <p>Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPT38=93MPa, STPA23=103MPa, STS42=103MPa）</p> <p>①式に上記の値を代入（STPT38の場合）し、Saを算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93</math>  <math>= 251.1 \rightarrow 251</math>（小数点以下を切り捨て）</p> <p>したがって、<math>0.4Sa = 0.4 \times 251 = 100.4 \rightarrow 100</math>（MPa）（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	<p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG370=79MPa, STPT370=93MPa）</p> <p>Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG370=79MPa, STPT370=93MPa）</p> <p>①式に上記の値を代入（STPT370の場合）し、Saを算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93</math>  <math>= 116.25 + 134.85</math>  <math>= 116 + 134</math>（小数点以下を切り捨て）<math>= 250</math></p> <p>したがって、<math>0.8Sa = 0.8 \times 250 = 200</math>（MPa）、<math>0.4Sa = 0.4 \times 250 = 100</math>（MPa）となる。</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計による材質の相違。</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・泊では、各項の計算結果に対して小数点以下の切り捨てを実施している。各項において切り捨てを実施するほうが、許容応力が小さくなるため保守的である。（大飯と同様）                      ・Saが許容応力Saの0.4倍を超え0.8倍以下である場合は貫通クラックを適用することとしているため、0.8Saの算出について記載している。  <u>記載方針の相違</u>                      ・0.8Sa及び0.4Saの算出における小数点以下の切り捨て処理は、STPT370の計算においては発生しないため、記載しない。                      ・泊でも小数点以下の数字がある場合は、切り捨てを実施している。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す高エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について3次元梁モデルを構築し、解析により発生応力を算出する。以下に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>200A-HS-100-1, 200A-HSCR-152-2, 200A-HSCR-153 100A-HSCR-152-3, 25A-HSCR-220, 20A-HSCR-452-1 40A-HSCR-208, 25A-HSCR-159, 25A-HSCR-206, 25A-HSCR-466-1 100A-RCIC-6-2（原子炉隔離時冷却水系としては最高使用温度302℃, 8.62MPa）最高使用温度：188℃ 最高使用圧力：0.96MPa</li> <li>20A-HS-562-1, 40A-HS-110, 50A-HS-4, 100A-HS-109, 250A-HS-3, 最高使用温度：204℃ 最高使用圧力：1.57MPa</li> </ul>	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックを適用する溢水防護区画内の配管系について、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析により発生応力を算出する。以下に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>補助蒸気系 最高使用温度：185℃ 最高使用圧力：0.93MPa</li> <li>蒸気発生器ブローダウン系 最高使用温度：291℃ 最高使用圧力：7.48MPa</li> <li>主蒸気系 最高使用温度：291℃ 最高使用圧力：7.48MPa</li> </ul>	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</li> <li>泊では標準支持間隔法により発生応力が最も高くなるものを代表ブロックとして抽出し、3次元はりモデル解析を実施している。また、代表ブロック以外の系統については、標準支持間隔法による評価を実施し、許容応力を満足しない場合は、3次元はりモデル解析を実施している。（大阪、川内、玄海と同様）</li> </ul> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プラント設計による系統の相違。</li> <li>女川では、想定破損除外のために3次元はりモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</li> <li>泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はないが、3次元はりモデル解析を実施する一部の配管については解析モデル図で対象配管を明確にしている。（後段の9-別添1-添13-8の大阪の図1を参照。）</li> <li>系統の相違による最高使用温度、最高使用圧力の相違。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p>補足資料3-3（別紙1）</p> <p>6. 標準支持間隔法に用いる SPAN コード</p> <table border="1" data-bbox="120 391 678 531"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table> <p>【美浜3号炉】                      まとめ資料 p. 1-9-補-157 より抜粋</p> <table border="1" data-bbox="120 659 678 815"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0 5.0 6.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	<p>(2) 地震条件                      弾性設計用地震動 Sd の 1/3 を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p> <p>(3) 解析コード                       SOLVER Rev.02.05</p> <p>(4) その他                      100A-RCIC-6-2 については、運転期間が短期間（プラントの通常運転時の1%より小さい）であることから、低エネルギー配管に分類した上で、評価を実施する。</p>	<p>(2) 地震条件                      弾性設計用地震動 Sd の 1/3 を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p> <p>(3) 解析コード                      ・標準支持間隔法                      SPAN2000 Ver. 4.0 Ver. 5.0 Ver. 6.0                      ・3次元はりモデル解析                      MSAP PCL0 版</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・泊では、原則標準支持間隔法による解析を実施しており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施している。                      ・SPANコードについては、大阪も同様にSPAN2000を用いており、美浜においては、泊と同様のVerを用いている。                      ・泊でも女川と同様に3次元はりモデル解析を実施しており、「MSAP PCL0 版」を用いている。本解析コードについては、先行PWRの資料には記載がなかったものの、メーカー確認の結果、先行PWRでは泊と同様のコードを使用していることを確認している。</p> <p>【大阪】  <u>記載表現の相違</u>  <u>記載方針の相違</u>                      女川審査実績の反映</p> <p>【女川】  <u>記載内容の相違</u>                      女川は区画内のHS系について抽出した上で、HS系に含まれているRCIC配管の運転時間が短期間で低エネルギー配管であることを記載している。泊では、その他として記載する内容は無い。</p>
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 破損形状の設定フロー</p>		<p>(4) 破損形状の評価フロー</p> <p>高エネルギー配管の破損形状の評価フローを図1に示す。</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  泊は原則標準支持間隔法を用いており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施しているため、評価フローを記載した。(評価フローについては、大阪と同様)</p> <p>【大阪】                  記載表現の相違                  大阪の図の名称が評価フロー、タイトルが設定フローとなっているため、泊ではタイトルと図の名称の統一を図り、評価フローとして記載する。</p>
<p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>		<p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.3. 破損形状の決定</p> <p>すべての建屋、階高で配管に発生する最大応力は0.8Saを下回っていることを確認した。したがって、高エネルギー配管に想定する破損形状は貫通クラックとした。</p>	<p>4. 高エネルギー配管（加熱蒸気系）の想定破損除外の評価結果</p> <p>評価の結果、加熱蒸気系及び復水戻り系配管の応力は、サポート追設の対応を実施することにより、<math>S_n \leq 0.4S_a</math> となり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p> <p>なお、評価対象となる区画内には、ターミナルエンドが設置されていないことを確認している。</p>	<p>4. 高エネルギー配管（補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系、主蒸気系）の応力評価結果</p> <p>評価の結果、補助蒸気系配管の応力は <math>0.4S_a &lt; S_n \leq 0.8S_a</math> となり、貫通クラックを適用できることを確認した。また、蒸気発生器ブローダウン系及び主蒸気系配管の応力は、サポート追設の対応を実施することにより、<math>S_n \leq 0.4S_a</math> となり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p> <p>なお、評価対象となる区画内には、ターミナルエンドが設置されていないことを確認している。</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・プラント設計による系統の相違                      ・泊は想定破損除外の適用に加えて貫通クラックを適用している配管もあるため、応力評価結果としている。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p> <p>【大阪】  <u>記載方針の相違</u>                      ・女川審査実績を反映し、評価結果について、一次応力+二次応力 <math>S_n</math> の数値を記載した上で許容応力を満足することを記載する。</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・プラント設計による系統の相違。                      ・泊は想定破損除外の適用に加えて貫通クラックを適用している配管がある。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p>
<p>【島根2号炉】添付資料7「耐震B,Cクラス機器・配管系の評価について」より抜粋 p9条-別添1-添付7-10</p> <p>3. 耐震B,Cクラス配管及び配管支持構造物の耐震評価結果について</p> <p>耐震B,Cクラス配管及び配管支持構造物の基準地震動 <math>S_s</math> に対する耐震性評価結果について表3-1に示す。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p>	<p>対象とした加熱蒸気系配管のモデル図を図1~3に、最大応力発生箇所における応力評価結果を表3に示す。</p>	<p>対象とした補助蒸気系配管、蒸気発生器ブローダウン系配管及び主蒸気系配管のモデル図を図2,3に、最大応力発生箇所における応力評価結果を表3,4に示す。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p>	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計による系統の相違  <u>記載表現の相違</u>  <u>記載方針の相違</u>                      応力評価結果は基本設計段階における評価結果であり、正式な評価結果は詳細設計段階で示すことを記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																					
<p>【玄海3/4号炉】                      まとめ資料 p.9条-別添1-補3-1-16より抜粋                      表-1 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）</p> <table border="1" data-bbox="147 333 663 413"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>EL. (m)</th> <th>配管仕様</th> <th>配管名</th> <th>一次+二次応力 (MPa)</th> <th>許容値※ 0.8Sa (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B</td> <td>~19.25</td> <td>1-1/2B-sch40</td> <td>補助蒸気系統配管</td> <td>101</td> <td>170</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値※ 0.8Sa (MPa)	A/B	~19.25	1-1/2B-sch40	補助蒸気系統配管	101	170	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(1/3)</p> <table border="1" data-bbox="703 217 1256 991"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧応力</th> <th>自重応力</th> <th>地震応力</th> <th>二次応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-1F-5</td> <td>HS-002 (200A-HS-100-1)</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>48</td> <td>66<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001 (50A-HS-4)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>27</td> <td>49<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R-1F-12</td> <td>HS-001 (50A-HS-4)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>79</td> <td>92<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R-B1F-1</td> <td>HS-001-1 (100A-HS-121)</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>70</td> <td>85<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HS-110)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>23</td> <td>63</td> <td>93<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>14</td> <td>77</td> <td>100<sup>青</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (25A-HSCR-220)</td> <td colspan="5">評価除外 (25A以下)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">R-B2F-1</td> <td>HS-001-1 (100A-HS-121)</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>68</td> <td>91<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001-1 (100A-HS-123)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>18</td> <td>64</td> <td>88<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001-1 (100A-HS-127)</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>59</td> <td>84<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HS-110)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>14</td> <td>72</td> <td>93<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>78</td> <td>105<sup>青</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-153)</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>45<sup>青</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HSCR-208)</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>30</td> <td>52</td> <td>95<sup>青</sup></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後（対策後）の評価値であり、設計選捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計	R-1F-5	HS-002 (200A-HS-100-1)	7	1	10	48	66 <sup>青</sup>	100	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	16	27	49 <sup>青</sup>	100	R-1F-12	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	7	79	92 <sup>青</sup>	100	R-B1F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	4	6	70	85 <sup>青</sup>	100	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	23	63	93 <sup>青</sup>	100	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	2	14	77	100 <sup>青</sup>	111	HSCR-003 (25A-HSCR-220)	評価除外 (25A以下)							R-B2F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	3	15	68	91 <sup>青</sup>	100	HS-001-1 (100A-HS-123)	5	1	18	64	88 <sup>青</sup>	100	HS-001-1 (100A-HS-127)	5	11	9	59	84 <sup>青</sup>	100	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	14	72	93 <sup>青</sup>	100	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	1	19	78	105 <sup>青</sup>	111	HSCR-003 (200A-HSCR-153)	7	4	17	17	45 <sup>青</sup>	111	HS-004 (40A-HSCR-208)	2	11	30	52	95 <sup>青</sup>	100	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果（貫通クラック）</p> <table border="1" data-bbox="1285 209 1854 333"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.8Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧応力</th> <th>自重応力</th> <th>地震応力</th> <th>二次応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助蒸気系配管</td> <td>4</td> <td>4.5</td> <td>22.1</td> <td>32.3</td> <td>100</td> <td>159</td> <td>169</td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.8Sa (MPa)	内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計	補助蒸気系配管	4	4.5	22.1	32.3	100	159	169	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      ・泊は想定破損除外を適用する他に、貫通クラックを適用するパターンがあり、想定破損除外と貫通クラックで許容値が異なるため、表3（貫通クラック）と表4（想定破損除外）に分けて記載している。                      ・女川は、溢水防護区画内の応力評価が必要な配管ラインを特定した上で、3次元はりモデル解析を実施している。一方、泊でも3次元はりモデル解析を実施しているが、対象ライン名称及び区画の特定を実施していないことから、記載しない。（玄海と同様）                      ・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違。</p> <p>【玄海】                      表の体裁は女川を参照し記載するが、参考として補助蒸気配管に対して貫通クラックを想定する評価結果を示す。</p>
建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値※ 0.8Sa (MPa)																																																																																																																																																			
A/B	~19.25	1-1/2B-sch40	補助蒸気系統配管	101	170																																																																																																																																																			
区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																																	
		内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計																																																																																																																																																		
R-1F-5	HS-002 (200A-HS-100-1)	7	1	10	48	66 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	16	27	49 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
R-1F-12	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	7	79	92 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
R-B1F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	4	6	70	85 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	23	63	93 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	2	14	77	100 <sup>青</sup>	111																																																																																																																																																	
	HSCR-003 (25A-HSCR-220)	評価除外 (25A以下)																																																																																																																																																						
R-B2F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	3	15	68	91 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HS-001-1 (100A-HS-123)	5	1	18	64	88 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HS-001-1 (100A-HS-127)	5	11	9	59	84 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	14	72	93 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	1	19	78	105 <sup>青</sup>	111																																																																																																																																																	
	HSCR-003 (200A-HSCR-153)	7	4	17	17	45 <sup>青</sup>	111																																																																																																																																																	
	HS-004 (40A-HSCR-208)	2	11	30	52	95 <sup>青</sup>	100																																																																																																																																																	
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.8Sa (MPa)																																																																																																																																																	
		内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計																																																																																																																																																		
補助蒸気系配管	4	4.5	22.1	32.3	100	159	169																																																																																																																																																	

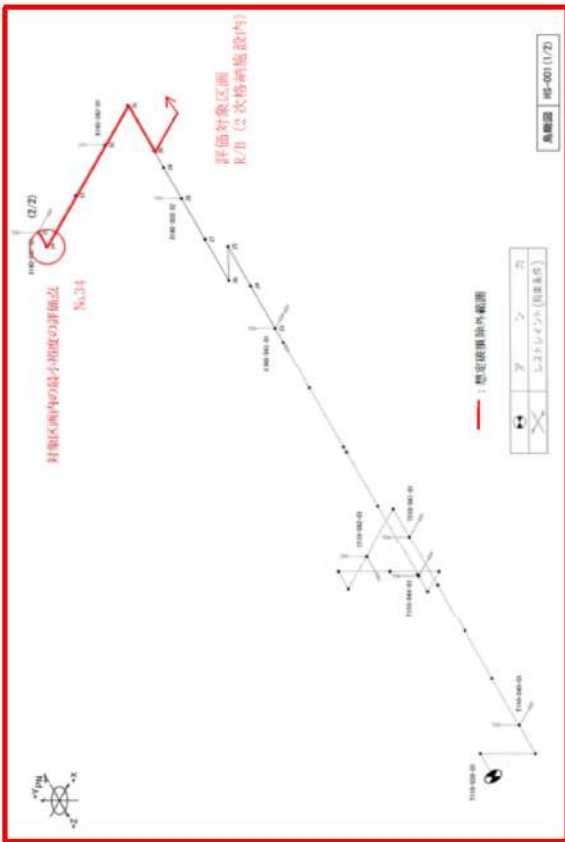
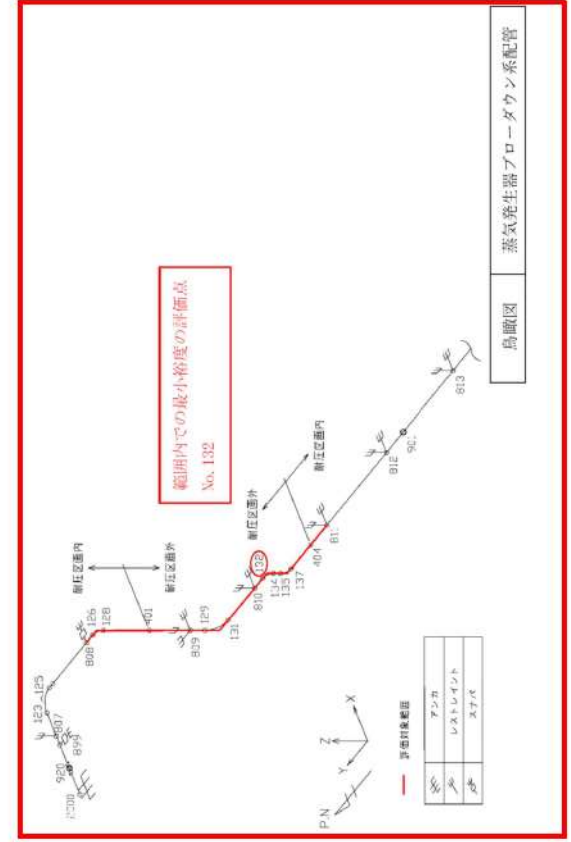
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																					
	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-B2F-1</td> <td>HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)</td> <td colspan="5" rowspan="2">評価除外 (25A 以下)</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)</td> </tr> <tr> <td>R-B2F-5</td> <td>HS-004 (40A-HSCR-208)</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>85</td> <td>95<sup>※1</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">R-B3F-2</td> <td>HS-130 (20A-HS-129)</td> <td colspan="5" rowspan="5">評価除外 (25A 以下)</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>HS-104 (20A-HS-733)</td> </tr> <tr> <td>HS-105 (20A-HS-734)</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C-1F-1</td> <td>HS-003 (250A-HS-3)</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>77</td> <td>95<sup>※1</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001 (80A-HSCR-85)</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>87</td> <td>97<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C-1F-3</td> <td>HS-003 (250A-HS-3)</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>68</td> <td>88<sup>※1</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001 (80A-HSCR-85)</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>22</td> <td>47<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後(対新機)の評価値であり、設計進捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	R-B2F-1	HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)	評価除外 (25A 以下)						HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)	R-B2F-5	HS-004 (40A-HSCR-208)	3	1	6	85	95 <sup>※1</sup>	100	R-B3F-2	HS-130 (20A-HS-129)	評価除外 (25A 以下)						HS-104 (20A-HS-733)	HS-105 (20A-HS-734)	HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)		C-1F-1	HS-003 (250A-HS-3)	13	2	3	77	95 <sup>※1</sup>	100	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	2	3	87	97 <sup>※1</sup>	111	C-1F-3	HS-003 (250A-HS-3)	13	1	6	68	88 <sup>※1</sup>	100	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	13	7	22	47 <sup>※1</sup>	111	<p>表4 最大応力発生箇所における応力評価結果(想定破損除外)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気発生器ブロー ダウン系配管</td> <td>3</td> <td>33.3</td> <td>0.6</td> <td>32.9</td> <td>13.3</td> <td>81</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>主蒸気系配管</td> <td>3</td> <td>32.9</td> <td>0.4</td> <td>57.7</td> <td>1.5</td> <td>93</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	蒸気発生器ブロー ダウン系配管	3	33.3	0.6	32.9	13.3	81	100	主蒸気系配管	3	32.9	0.4	57.7	1.5	93	100	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                  設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違、許容値は材質が異なることによる相違</li> <li>泊でも3次元はりモデル解析を実施しているが、対象ライン名称及び区画の特定を実施していないことから、記載していない。(玄海と同様)</li> </ul>
区画	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)						許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																														
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																		
R-B2F-1	HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)	評価除外 (25A 以下)																																																																																																						
	HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)																																																																																																							
R-B2F-5	HS-004 (40A-HSCR-208)	3	1	6	85	95 <sup>※1</sup>	100																																																																																																	
R-B3F-2	HS-130 (20A-HS-129)	評価除外 (25A 以下)																																																																																																						
	HS-104 (20A-HS-733)																																																																																																							
	HS-105 (20A-HS-734)																																																																																																							
	HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)																																																																																																							
C-1F-1	HS-003 (250A-HS-3)	13	2	3	77	95 <sup>※1</sup>	100																																																																																																	
	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	2	3	87	97 <sup>※1</sup>	111																																																																																																	
C-1F-3	HS-003 (250A-HS-3)	13	1	6	68	88 <sup>※1</sup>	100																																																																																																	
	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	13	7	22	47 <sup>※1</sup>	111																																																																																																	
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																	
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																		
蒸気発生器ブロー ダウン系配管	3	33.3	0.6	32.9	13.3	81	100																																																																																																	
主蒸気系配管	3	32.9	0.4	57.7	1.5	93	100																																																																																																	

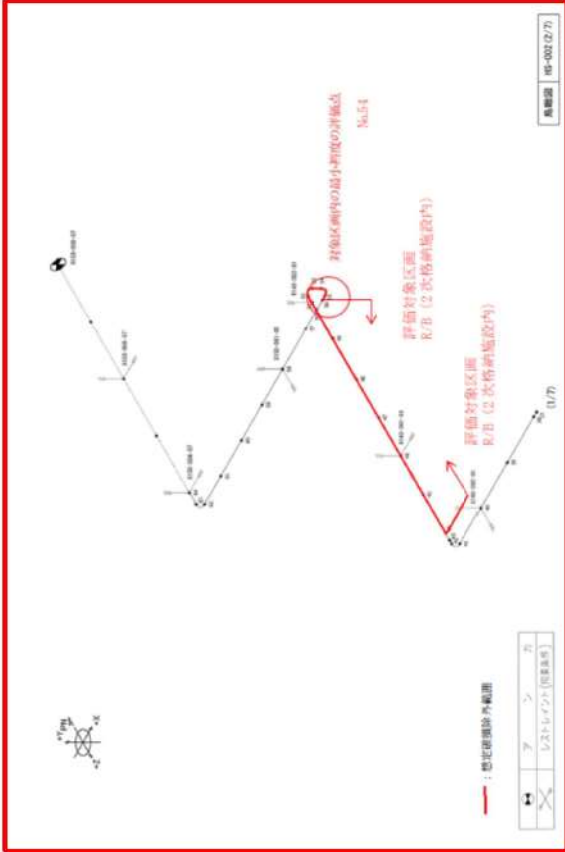
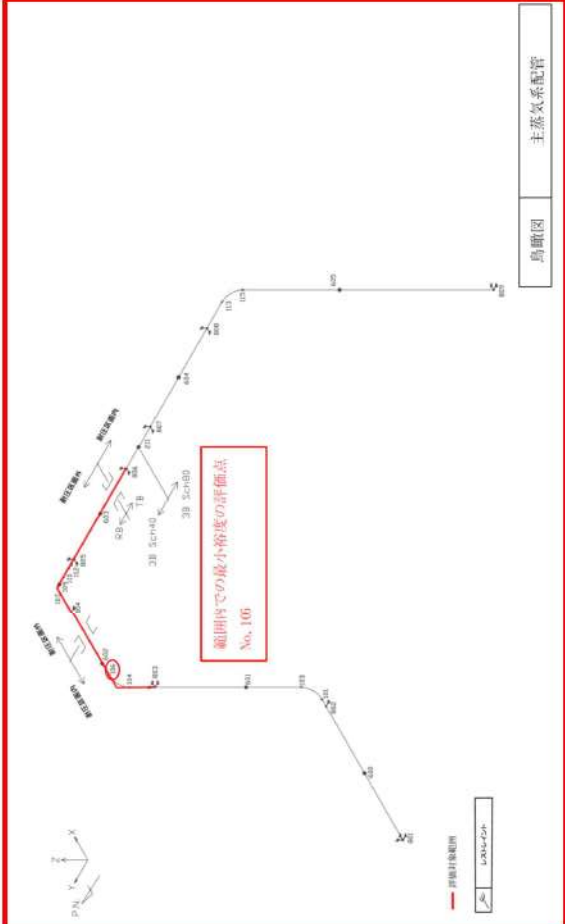
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																			
	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(3/3)</p> <table border="1" data-bbox="698 213 1270 453"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4S<sub>s</sub> (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">非管理 区域 (T/D)</td> <td>HSCR-003 (150A-HSCR-79)</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>40</td> <td>60<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>32</td> <td>47</td> <td>102<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (50A-HSCR-75)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>85</td> <td>110<sup>※1</sup></td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後(対策後)の評価値であり、設計進捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4S <sub>s</sub> (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	非管理 区域 (T/D)	HSCR-003 (150A-HSCR-79)	5	4	11	40	60 <sup>※1</sup>	111	HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)	5	18	32	47	102 <sup>※1</sup>	111	HSCR-003 (50A-HSCR-75)	3	4	18	85	110 <sup>※1</sup>	111		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                      設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違</li> <li>泊でも3次元はりモデル解析を実施しているが、対象ライン名称及び区画の特定を実施していないことから、記載していない。(玄海と同様)</li> </ul>
区画	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)						許容値 0.4S <sub>s</sub> (MPa)																												
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																
非管理 区域 (T/D)	HSCR-003 (150A-HSCR-79)	5	4	11	40	60 <sup>※1</sup>	111																															
	HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)	5	18	32	47	102 <sup>※1</sup>	111																															
	HSCR-003 (50A-HSCR-75)	3	4	18	85	110 <sup>※1</sup>	111																															

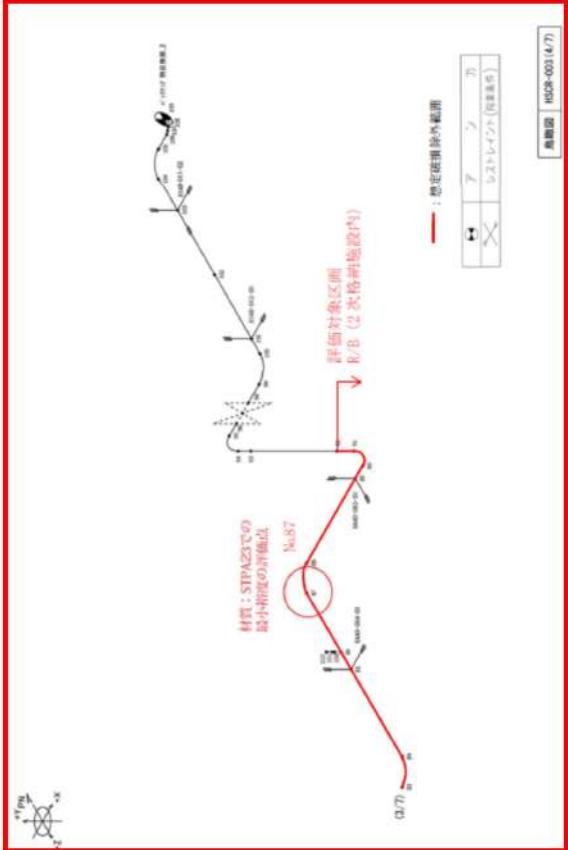
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1062 1178 1086">図1 HS-001 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	 <p data-bbox="1285 1062 1861 1118">図2 蒸気発生器ブロードダウン系配管 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	<p data-bbox="1868 177 2136 268">【女川】                  設計方針の相違                  応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1868 1062 2136 1118">【女川】                  記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

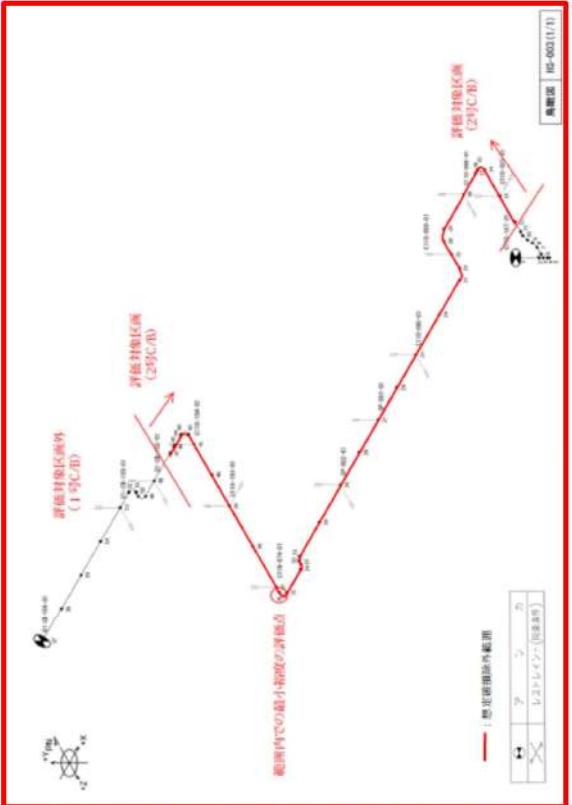
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1129 1182 1157">図2 HS-002 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	 <p data-bbox="1339 1129 1803 1157">図3 主蒸気系配管 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	<p data-bbox="1877 181 1937 204">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 2123 268">設計方針の相違                      応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1877 1104 1937 1126">【女川】</p> <p data-bbox="1877 1139 1998 1161">記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

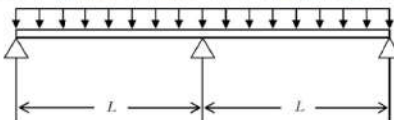
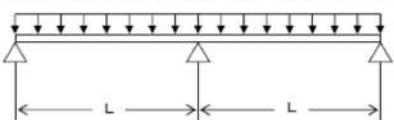
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="705 1125 1270 1157">図3 HSCR-003 解析モデル図 (STPA23 最小裕度の範囲) (1/2)</p>		<p data-bbox="1874 183 2136 271">【女川】                  設計方針の相違                  応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1874 1029 2136 1093">【女川】                  記載表現の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="712 995 1249 1023">図3 HS-003 解析モデル図 (STPT38 最小裕度の範囲) (2/2)</p>		<p data-bbox="1874 177 2136 268">【女川】                  設計方針の相違                  応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1874 963 2136 1023">【女川】                  記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">別紙3</p> <p style="text-align: center;">標準支持間隔法による一次応力評価</p> <p>1. 基本方針</p> <p>本件の想定破損の配管強度評価は、高エネルギー配管のうち補助蒸気供給配管と低エネルギー配管の一次応力に対して標準支持間隔法を用いている。標準支持間隔法では、標準支持間隔以下で配管を敷設することで、発生応力が標準支持間隔で算出した一次応力以下となる。</p> <p>標準支持間隔の算出は以下の基準及び規格に基づき実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1987）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針重要度分類・許容応力編」（JEAG4601・補-1984）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1991 追補版）</li> <li>・日本機械学会「発電用原子力設備規格設計・建設規格」（JSME S NC1-2005/2007）</li> </ul> <p>評価に用いる弾性設計用地震動 <math>S_d</math> に基づく床応答曲線は、耐震設計で用いるものと同じである。</p> <p>また、標準支持間隔の計算に用いる配管系の設計用減衰については、5. 参考文献に示す既往研究等において試験等により妥当性が確認されている値を使用する。（参考文献参照）</p> <p>2. 支持間隔算出の方法</p> <p>2.1. 概要</p> <p>標準支持間隔は、配管系の内圧、自重及び地震力に基づき、一次応力の評価基準値内になるように階高に応じて算出する。</p> <p>なお、地震応力の算出にあたっては、耐震設計で用いる各弾性設計用地震動 <math>S_d</math> による床応答曲線と同じものを用いる。</p> <p>2.2. 直管部の支持間隔</p> <p>2.2.1. 解析モデル</p> <p>各種配管を図5のように支持間隔 <math>L</math> で3点支持した等分布質量の連続梁にモデル化する。この場合、支持点の拘束方向は軸直角方向のみとし、軸方向及び回転に対しては自由とする。</p>  <p style="text-align: center;">図5 標準支持間隔法の解析モデル</p>		<p style="text-align: right;">別紙</p> <p style="text-align: center;">標準支持間隔法による一次応力評価</p> <p>1. 基本方針</p> <p>想定破損の配管強度評価は、高エネルギー配管のうち補助蒸気系統配管及び低エネルギー配管の一次応力に対して標準支持間隔法を用いている。標準支持間隔法では、標準支持間隔以下で配管を敷設することで、発生応力が標準支持間隔で算出した一次応力以下となる。</p> <p>標準支持間隔の算出は以下の基準及び規格に基づき実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1987）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針重要度分類・許容応力編」（JEAG4601・補-1984）</li> <li>・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1991 追補版）</li> <li>・日本機械学会「発電用原子力設備規格設計・建設規格」（JSME S NC1-2005/2007）</li> </ul> <p>評価に用いる弾性設計用地震動に基づく床応答曲線は、耐震設計で用いるものと同じである。</p> <p>また、標準支持間隔の計算に用いる配管系の設計用減衰については、5. 参考文献に示す既往研究等において試験等により妥当性が確認されている値を使用する。（参考文献参照）</p> <p>2. 支持間隔算出の方法</p> <p>2.1 概要</p> <p>標準支持間隔は、配管系の内圧、自重及び地震力に基づき、一次応力の評価基準値内になるように階高に応じて算出する。</p> <p>なお、地震応力の算出に当たっては、耐震設計で用いる各弾性設計用地震動による床応答曲線と同じものを用いる。</p> <p>2.2 支持間隔</p> <p>2.2.1 解析モデル</p> <p>各種配管を図1のように支持間隔 <math>L</math> で3点支持した等分布質量の連続梁にモデル化する。この場合、支持点の拘束方向は軸直角方向のみとし、軸方向及び回転に対しては自由とする。</p>  <p style="text-align: center;">図1 標準支持間隔法の解析モデル</p>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では、想定破損における一次応力を算出するために標準支持間隔法を用いている。一方、女川では溢水影響評価に必要な配管について、3次元はりモデル解析を実施しているため、別紙の内容については、大阪の資料との比較を実施する。</p> <p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
<p>2.2.2. 解析条件及び解析方法</p> <p>①各種配管について、内圧及び自重の影響と地震力（(1/3) Sd）による応力を算出して最大支持間隔を求める。</p> <p>②配管の自重は、配管自体の重量と内部流体の重量とを合計した値とする。さらに、保温材ありの配管についてはその重量を考慮する。また、高エネルギー配管は別途二次応力として熱応力（100MPa）を考慮する。</p> <p>3. 地震力</p> <p>解析に使用する地震力（(1/3) Sd）は表2のとおりである。なお、減衰の設定において、保温材の効果は考慮している。</p> <p style="text-align: center;">表2 地震力の種類例</p> <table border="1" data-bbox="118 560 678 715"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>床応答曲線高さ E.L. +(m)</th> <th>減衰 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉</td> <td>低:17.1、26.0、33.6、47.3</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>周辺建屋</td> <td>高:33.6~17.1、33.6</td> <td>0.5、1.5、3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td>低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:33.6~15.8、33.6</td> <td>0.5、1.5、3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>低:低エネルギー配管、高:高エネルギー（補助蒸気）配管</p>	建屋	床応答曲線高さ E.L. +(m)	減衰 (%)	原子炉	低:17.1、26.0、33.6、47.3	0.5、2.0	周辺建屋	高:33.6~17.1、33.6	0.5、1.5、3.0	制御建屋	低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6	0.5、2.0	高:33.6~15.8、33.6	0.5、1.5、3.0		<p>2. 2. 2 解析条件及び解析方法</p> <p>①各種配管について、内圧及び自重の影響と地震力（(1/3) Sd）による応力を算出して最大支持間隔を求める。</p> <p>②配管の自重は、配管自体の重量と内部流体の重量とを合計した値とする。さらに、保温材ありの配管についてはその重量を考慮する。また、高エネルギー配管は別途二次応力として熱応力（100MPa）を考慮する。</p> <p>3. 地震力</p> <p>解析に使用する地震力（(1/3) Sd）は表1のとおりである。なお、減衰の設定において、保温材の効果は考慮している。</p> <p style="text-align: center;">表1 地震力の種類例</p> <table border="1" data-bbox="1290 560 1850 858"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>床応答曲線高さ T.P. (m)</th> <th>減衰 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">周辺補機棟 (RE/B)</td> <td>低:17.8、24.8、33.1</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:17.8、24.8、33.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱棟 (PI/B)</td> <td>低:41.0、47.6、55.0</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉補助建屋 (A/B)</td> <td>低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:10.3、17.8、24.8、33.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋 (DG/B)</td> <td>低:10.3、18.8</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ建屋 (CWF/B)</td> <td>低:10.05</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>低:低エネルギー配管、高:高エネルギー（補助蒸気）配管</p>	建屋	床応答曲線高さ T.P. (m)	減衰 (%)	周辺補機棟 (RE/B)	低:17.8、24.8、33.1	0.5、2.0	高:17.8、24.8、33.1	1.5	燃料取扱棟 (PI/B)	低:41.0、47.6、55.0	0.5、2.0	原子炉補助建屋 (A/B)	低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6	0.5、2.0	高:10.3、17.8、24.8、33.1	1.5	ディーゼル発電機建屋 (DG/B)	低:10.3、18.8	0.5、2.0	循環水ポンプ建屋 (CWF/B)	低:10.05	0.5、2.0	<p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 プラント設計による建屋名称、床応答曲線高さ、減衰の相違。</p>
建屋	床応答曲線高さ E.L. +(m)	減衰 (%)																																					
原子炉	低:17.1、26.0、33.6、47.3	0.5、2.0																																					
周辺建屋	高:33.6~17.1、33.6	0.5、1.5、3.0																																					
制御建屋	低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6	0.5、2.0																																					
	高:33.6~15.8、33.6	0.5、1.5、3.0																																					
建屋	床応答曲線高さ T.P. (m)	減衰 (%)																																					
周辺補機棟 (RE/B)	低:17.8、24.8、33.1	0.5、2.0																																					
	高:17.8、24.8、33.1	1.5																																					
燃料取扱棟 (PI/B)	低:41.0、47.6、55.0	0.5、2.0																																					
原子炉補助建屋 (A/B)	低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6	0.5、2.0																																					
	高:10.3、17.8、24.8、33.1	1.5																																					
ディーゼル発電機建屋 (DG/B)	低:10.3、18.8	0.5、2.0																																					
循環水ポンプ建屋 (CWF/B)	低:10.05	0.5、2.0																																					
<p>4. 評価手順</p> <p>一次応力のうち標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順を以下の図6に示す。</p>		<p>4. 評価手順</p> <p>一次応力のうち標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順を以下の図2に示す。</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違</p>																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料13）

大阪発電所3/4号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(1/3)Sd <sup>0</sup>
減衰	IEAG等の値
床応答曲線階高	耐震設計と同じ
床応答曲線存続	有
床応答曲線ピーク保持	有
NS・IP包絡	有

※スペクトル波と断層波を包絡

配管諸元

- 管径
- 管の厚さ
- 材質
- 単位長さ当たり重量(保温有無考慮)
- 最高使用圧力

INPUT

標準支持間隔算出プログラム  
解析コード「SPAN」

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa  
(溢水ガイド 附属書A)

OUTPUT

新標準支持間隔表  
標準支持間隔表  
減衰係数、減衰率

階高	EL. Cm			
	EL. Cm	EL. Cm	EL. Cm	EL. Cm
仕様	○B Sch○	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)
...				

施工図

比較

図6 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献  
 原子力規制委員会ホームページ「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版 資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について」  
<http://www.nsr.go.jp/archive/nisa/shingikai/800/6/002/4.pdf>

女川原子力発電所2号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(L/3) Sd
減衰	IEAG等の値
床応答曲線階高	耐震設計と同じ
床応答曲線存続	有
床応答曲線ピーク保持	有
NS・IP包絡	有

※スペクトル波と断層波を包絡

配管諸元

- 管径
- 管の厚さ
- 材質
- 単位長さ当たり重量(保温材無考慮)
- 最高使用圧力

INPUT

標準支持間隔算出プログラム  
解析コード「SPAN」

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa  
(溢水ガイド 附属書A)

OUTPUT

標準支持間隔表

階高	T.P. Cm		T.P. Cm		T.P. Cm	
	T.P. Cm	T.P. Cm	T.P. Cm	T.P. Cm	T.P. Cm	T.P. Cm
仕様	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)
...						

施工図

比較

図2 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献  
 「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について（改2）」

泊発電所3号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(L/3) Sd
減衰	IEAG等の値
床応答曲線階高	耐震設計と同じ
床応答曲線存続	有
床応答曲線ピーク保持	有
NS・IP包絡	有

※スペクトル波と断層波を包絡

配管諸元

- 管径
- 管の厚さ
- 材質
- 単位長さ当たり重量(保温材無考慮)
- 最高使用圧力

INPUT

標準支持間隔算出プログラム  
解析コード「SPAN」

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa  
(溢水ガイド 附属書A)

OUTPUT

標準支持間隔表

階高	T.P. Cm		T.P. Cm		T.P. Cm	
	T.P. Cm	T.P. Cm	T.P. Cm	T.P. Cm	T.P. Cm	T.P. Cm
仕様	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)	○, Cm (CMPa)
...						

施工図

比較

図2 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献  
 「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について（改2）」

相違理由

【大阪】  
 記載表現の相違

【大阪】  
 記載方針の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 3-3（別紙2）</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の設定</p> <p>1. 概要</p> <p>配管破損を想定する系統の低エネルギー配管について、溢水ガイド附属書Aの低エネルギー配管の評価対象（25A以上）に対し、許容応力の0.4倍を超える場合は貫通クラックを想定する旨の記載にしたがって評価している。</p> <p>本資料は低エネルギー配管の応力評価とその結果についてとりまとめたものである。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 15</p> <p>低エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 14</p> <p>低エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p>【女川・大飯】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>【大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を記載する方針とする。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料14）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																						
<p>補足資料3-2</p> <p>表1 低エネルギー配管を有する系統の抽出結果</p>	<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管</p>	<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管 (1/2)</p>	<p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p>																																																																																																																																																																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>対象範囲における使用条件</th> <th>運転時間割合<sup>※2</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（機器ドレン）</td> <td>運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（床ドレン）</td> <td>運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消火水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料ピット冷却浄化系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安全注入系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> <tr> <td>海水系</td> <td>運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補助給水系<sup>※1</sup></td> <td>運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃</td> <td>&lt;1%</td> </tr> </tbody> </table>	系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合 <sup>※2</sup>	原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—	格納容器スプレイ系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—	冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—	1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—	消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—	余熱除去系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下	<1%	燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	安全注入系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—	液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—	固体廃棄物処理系	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—	補助給水系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置エリア</th> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">対象系統</th> <th colspan="2">対象配管</th> <th rowspan="2">材質</th> </tr> <tr> <th>ライン番号</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>R-2F-1-1</td> <td>HNCW</td> <td>50A-HNCW-41</td> <td></td> <td>STPG38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-3</td> <td rowspan="2">RHR (A)</td> <td>350A-RHR-2-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-24-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-3</td> <td rowspan="2">RHR (A)</td> <td>100A-RHR-33</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>350A-RHR-4-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-6</td> <td rowspan="2">RHR (B)</td> <td>100A-RHR-25-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-41</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-7</td> <td rowspan="2">RHR (C)</td> <td>350A-RHR-6-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>300A-RHR-6-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-7</td> <td rowspan="2">RHR (C)</td> <td>100A-RHR-26-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-52</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-4</td> <td rowspan="2">LPCS</td> <td>300A-LPCS-2-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>50A-LPCS-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-5</td> <td rowspan="2">HPCS</td> <td>300A-HPCS-2-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-HPCS-6-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-2</td> <td rowspan="2">RCIC</td> <td>100A-RCIC-3-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>50A-RCIC-5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	区画番号	対象系統	対象配管		材質	ライン番号		原子炉建屋 原子炉棟	R-2F-1-1	HNCW	50A-HNCW-41		STPG38	R-B3F-3	RHR (A)	350A-RHR-2-1		STS42	100A-RHR-24-1		R-B3F-3	RHR (A)	100A-RHR-33		STS42	350A-RHR-4-1		R-B3F-6	RHR (B)	100A-RHR-25-1		STS42	100A-RHR-41		R-B3F-7	RHR (C)	350A-RHR-6-1		STS42	300A-RHR-6-2		R-B3F-7	RHR (C)	100A-RHR-26-1		STS42	100A-RHR-52		R-B3F-4	LPCS	300A-LPCS-2-1		STS42	50A-LPCS-7		R-B3F-5	HPCS	300A-HPCS-2-1		STS42	100A-HPCS-6-1		R-B3F-2	RCIC	100A-RCIC-3-1		STS42	50A-RCIC-5		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象配管</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="2">材質</th> </tr> <tr> <th>原子炉建屋</th> <th>原子炉補助建屋</th> <th>循環水ポンプ建屋</th> <th>ディーゼル発電機建屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却系配管</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系（充てん）配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系（抽出）配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系（その他）配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>安全注入系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370 SM400A STPT370</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水浄化冷却系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>STPG370 STPY400 SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS316TB SUS316TP SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系配管</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>試料採取系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316TB</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系配管</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系配管（脱塩水）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316TB</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系配管（海水）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> </tbody> </table>	対象配管	設置エリア				材質	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋	1次冷却系配管	○	—	—	—	SUS304TP	化学体積制御系（充てん）配管	○	○	—	—	SUS304TP	化学体積制御系（抽出）配管	○	○	—	—	SUS304TP	化学体積制御系（その他）配管	○	○	—	—	SUS304TP	安全注入系配管	○	○	—	—	SUS304TP	余熱除去系配管	○	○	—	—	SUS304TP	原子炉格納容器スプレイ系配管	○	○	—	—	SUS316TP	原子炉補機冷却水系配管	○	○	—	—	STPG370 SM400A STPT370	使用済燃料ピット水浄化冷却系配管	○	○	—	—	SUS304TP	原子炉補機冷却海水系配管	○	○	○	○	STPG370 STPY400 SUS304TP	液体廃棄物処理系配管	○	○	—	—	SUS316TB SUS316TP SUS316TP	固体廃棄物処理系配管	—	○	—	—	SUS304TP	試料採取系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TB	燃料取替用水系配管	○	—	—	—	SUS304TP	原子炉補給水系配管（脱塩水）	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TB	原子炉補給水系配管（海水）	○	○	—	—	SUS304TP	<p>・女川では、想定破損除外のために3次元ではモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</p> <p>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。（大阪と同様）</p> <p>・設置エリア名称、材質については、プラント設計による相違。</p> <p>・泊では低エネルギー配管に対しては、大阪と同様に原則として標準支持間隔法を用いて建屋内の対象系統が想定破損除外できることを確認しており、対象系統によっては、複数の建屋に配管が設置されているため、系統と建屋を星取表の形で記載する。</p> <p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>女川の審査実績を反映し、想定破損除外を適用する系統、設置エリア、材質を表で読み取れるように記載する。</p>
系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合 <sup>※2</sup>																																																																																																																																																																																																																																							
原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—																																																																																																																																																																																																																																							
格納容器スプレイ系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																																							
化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—																																																																																																																																																																																																																																							
冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—																																																																																																																																																																																																																																							
1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																																							
1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																																							
1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																																							
消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																																							
1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																																							
余熱除去系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下	<1%																																																																																																																																																																																																																																							
燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																																																																																																																																																																							
燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																																																																																																																																																																							
安全注入系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																																							
海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—																																																																																																																																																																																																																																							
液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—																																																																																																																																																																																																																																							
固体廃棄物処理系	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																																							
補助給水系 <sup>※1</sup>	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																																							
設置エリア	区画番号	対象系統	対象配管		材質																																																																																																																																																																																																																																				
			ライン番号																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉建屋 原子炉棟	R-2F-1-1	HNCW	50A-HNCW-41		STPG38																																																																																																																																																																																																																																				
	R-B3F-3	RHR (A)	350A-RHR-2-1		STS42																																																																																																																																																																																																																																				
			100A-RHR-24-1																																																																																																																																																																																																																																						
	R-B3F-3	RHR (A)	100A-RHR-33		STS42																																																																																																																																																																																																																																				
			350A-RHR-4-1																																																																																																																																																																																																																																						
	R-B3F-6	RHR (B)	100A-RHR-25-1		STS42																																																																																																																																																																																																																																				
			100A-RHR-41																																																																																																																																																																																																																																						
	R-B3F-7	RHR (C)	350A-RHR-6-1		STS42																																																																																																																																																																																																																																				
			300A-RHR-6-2																																																																																																																																																																																																																																						
	R-B3F-7	RHR (C)	100A-RHR-26-1		STS42																																																																																																																																																																																																																																				
100A-RHR-52																																																																																																																																																																																																																																									
R-B3F-4	LPCS	300A-LPCS-2-1		STS42																																																																																																																																																																																																																																					
		50A-LPCS-7																																																																																																																																																																																																																																							
R-B3F-5	HPCS	300A-HPCS-2-1		STS42																																																																																																																																																																																																																																					
		100A-HPCS-6-1																																																																																																																																																																																																																																							
R-B3F-2	RCIC	100A-RCIC-3-1		STS42																																																																																																																																																																																																																																					
		50A-RCIC-5																																																																																																																																																																																																																																							
対象配管	設置エリア				材質																																																																																																																																																																																																																																				
	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋																																																																																																																																																																																																																																					
1次冷却系配管	○	—	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																																				
化学体積制御系（充てん）配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																																				
化学体積制御系（抽出）配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																																				
化学体積制御系（その他）配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																																				
安全注入系配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																																				
余熱除去系配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉格納容器スプレイ系配管	○	○	—	—	SUS316TP																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却水系配管	○	○	—	—	STPG370 SM400A STPT370																																																																																																																																																																																																																																				
使用済燃料ピット水浄化冷却系配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却海水系配管	○	○	○	○	STPG370 STPY400 SUS304TP																																																																																																																																																																																																																																				
液体廃棄物処理系配管	○	○	—	—	SUS316TB SUS316TP SUS316TP																																																																																																																																																																																																																																				
固体廃棄物処理系配管	—	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																																				
試料採取系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TB																																																																																																																																																																																																																																				
燃料取替用水系配管	○	—	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉補給水系配管（脱塩水）	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TB																																																																																																																																																																																																																																				
原子炉補給水系配管（海水）	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																																				
<p>※1 通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統</p> <p>※2 運転時間割合のうち、通常運転時の運転時間については、毎月のサーベイランスの運転時間実績で評価した。格納容器スプレイ系、安全注入系及び補助給水系は事故時に動作する系統であり、定検時の調整運転等を考慮しても通常運転時に比べ十分短く、また、余熱除去ポンプの定検期間の運転時間も十分短いため、サーベイランスで代表しても評価に影響しない。</p>																																																																																																																																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
		<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管 (2/2)</p> <table border="1" data-bbox="1285 252 1868 635"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象配管</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="2">材質</th> </tr> <tr> <th>原子炉建屋</th> <th>原子炉補助建屋</th> <th>循環水ポンプ建屋</th> <th>ディーゼル発電機建屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助蒸気系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>水消火系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>地下水排水系配管</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>飲料水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>補助給水系配管</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>所内用水系配管</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>海水電解装置海水供給・注入系配管</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>海水ストレーナ排水系配管</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>海水淡水化設備配管</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>SGP</td> </tr> </tbody> </table>	対象配管	設置エリア				材質	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋	補助蒸気系配管	○	○	—	—	STPG370	水消火系配管	○	○	—	○	STPG370	地下水排水系配管	—	○	—	—	STPG370	飲料水系配管	○	○	—	—	STPG370	空調用冷水系配管	○	○	—	—	STPG370	補助給水系配管	○	—	—	—	SUS304TP	所内用水系配管	—	—	○	—	SUS304TP	海水電解装置海水供給・注入系配管	—	—	○	—	SUS304TP	海水ストレーナ排水系配管	—	—	○	—	STPG370	海水淡水化設備配管	—	—	○	—	SGP	<p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>  <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川では、想定破損除外のために3次元はモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。</li> <li>・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。（大阪と同様）</li> <li>・設置エリア名称、材質については、プラント設計による相違。</li> <li>・泊では低エネルギー配管に対しては、大阪と同様に原則として標準支持間隔法を用いて建屋内の対象系統が想定破損除外できることを確認しており、対象系統によっては、複数の建屋に配管が設置されているため、系統と建屋を星取表の形で記載する。</li> </ul>
対象配管	設置エリア				材質																																																																				
	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋																																																																					
補助蒸気系配管	○	○	—	—	STPG370																																																																				
水消火系配管	○	○	—	○	STPG370																																																																				
地下水排水系配管	—	○	—	—	STPG370																																																																				
飲料水系配管	○	○	—	—	STPG370																																																																				
空調用冷水系配管	○	○	—	—	STPG370																																																																				
補助給水系配管	○	—	—	—	SUS304TP																																																																				
所内用水系配管	—	—	○	—	SUS304TP																																																																				
海水電解装置海水供給・注入系配管	—	—	○	—	SUS304TP																																																																				
海水ストレーナ排水系配管	—	—	○	—	STPG370																																																																				
海水淡水化設備配管	—	—	○	—	SGP																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.1. 評価方法</p> <p>溢水ガイド附属書Aにしたがい、供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により <math>S_n</math>（一次応力+二次応力）を算出し、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた <math>S_a</math>（許容応力）との比較により破損形状を設定する。</p> <p>支持間隔に対する一次応力の算出、一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙3 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>b. <math>S_n = \frac{P_o D_o}{4t} + \frac{0.75A_1(M_x + M_y) + I_1 M_z}{Z}</math></p> <p><math>S_n</math> : 一次応力と二次応力を加えて求めた応力 (MPa)</p> <p><math>I_1, I_2</math> : 応力係数</p> <p><math>M_c</math> : 管の熱による支持点の変位及び熱膨張により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p><math>P_m</math> : 内面に受ける最高の圧力 (MPa)</p> <p><math>M_b</math> : 管の機械的荷重(逃し弁又は安全弁の吹出し反力その他の短期的荷重に限る)により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p><math>D_o</math> : 管の外径 (mm)</p> <p><math>t</math> : 管の厚さ (mm)</p> <p><math>M_a</math> : 管の機械的荷重(自重その他の長期荷重に限る)により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p>d. <math>S_a = 1.25f_s + (1.2 + 0.25f)S_c</math></p> <p><math>S_a</math> : 許容応力 (MPa)</p> <p><math>f</math> : 許容応力低減係数</p> <p><math>S_c</math> : 室温における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p><math>S_h</math> : 使用温度における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p style="text-align: right;">設計・建設規格 PPC-3530(1) 抜粋</p> </div>	<p>2. 評価方法</p> <p>表1に記載している配管はクラス2又は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>が、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> の0.4倍以下であることを確認する。</p> <p>(1) <math>S_a</math> の算出</p> <p>設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。</p> <p><math>S_a = 1.25f_s c + (1.2 + 0.25f) S_h \dots</math> ①式</p> <p><math>S_a</math> : 許容応力</p> <p><math>f</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>(設計・建設規格 2005 解説より)</p> <p>7000回は約20年間毎日温度変化サイクルがあることを意味しており、通常の系では7000回以下と考えられる。</p> <p>本系統においては毎日において有意な温度変化は受けないため、表2より、応力低減係数を1.0とした。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>表1に記載している配管はクラス2、3又は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）<math>S_n</math>が、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 <math>S_a</math> の0.4倍以下であることを確認する。</p> <p>支持間隔に対する一次応力の算出、一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「添付資料13 高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて」の「別紙 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。</p> <p>(1) <math>S_a</math> の算出</p> <p>設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。</p> <p><math>S_a = 1.25f_s c + (1.2 + 0.25f) S_h \dots</math> ①式</p> <p><math>S_a</math> : 許容応力</p> <p><math>f</math> : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>(設計・建設規格 2005 解説より)</p> <p>7,000回は約20年間毎日温度変化サイクルがあることを意味しており、通常の系では7,000回以下と考えられる。</p> <p>本系統においては毎日において有意な温度変化は受けないため、表2より、応力低減係数を1.0とした。</p>	<p>【大阪】  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊は想定破損除外の対象となる低エネルギー配管にクラス3配管が含まれていることによる相違。          (大阪と同様)</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では、大阪と同様に原則標準支持間隔法を用いて応力評価を実施している。</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a></p> <p>・女川審査実績を反映し、<math>S_n</math>の算出については記載しない。<math>S_n</math>を算出しているという点において、泊、女川と相違はない。</p> <p>・女川審査実績を反映し、<math>S_c</math>と<math>S_h</math>についての説明は後述する。</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a></p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="779 209 1189 368"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000以上14,000未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000以上22,000未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000以上45,000未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000以上100,000未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG38=93MPa, STS42=103MPa）                      Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG38=93MPa, STS42=103MPa）</p> <p>①式に上記の値（STPG38 の場合）を代入し、Sa を算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93</math>  <math>= 251.1 \rightarrow 251</math>（小数点以下を切り捨て）</p> <p>したがって、<math>0.4Sa = 0.4 \times 251 = 100.4 \rightarrow 100</math> (MPa)（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	温度変化サイクル数	fの値	7,000未満	1.0	7,000以上14,000未満	0.9	14,000以上22,000未満	0.8	22,000以上45,000未満	0.7	45,000以上100,000未満	0.6	100,000以上	0.5	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="1391 209 1756 368"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000以上14,000未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000以上22,000未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000以上45,000未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000以上100,000未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG370=79MPa, SUS304TP=103MPa）                      Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG370=79MPa, SUS304TP=97MPa）</p> <p>①式に上記の値（STPG370 の場合）を代入し、Sa を算出すると、  <math>Sa = 1.25 \times 1.0 \times 79 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 79</math>  <math>= 98.75 + 114.55</math>  <math>= 98 + 114</math>（小数点以下を切り捨て）= 212</p> <p>したがって、<math>0.4Sa = 0.4 \times 212 = 84.8 \rightarrow 84</math> (MPa)（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	温度変化サイクル数	fの値	7,000未満	1.0	7,000以上14,000未満	0.9	14,000以上22,000未満	0.8	22,000以上45,000未満	0.7	45,000以上100,000未満	0.6	100,000以上	0.5	<p>【女川】                      設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント設計による材質の相違。</li> <li>・泊では、各項の計算結果に対して小数点以下の切り捨てを実施している。各項において切り捨てを実施するほうが、許容応力が小さくなるため保守的である。（大阪と同様）</li> </ul>
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000未満	1.0																														
7,000以上14,000未満	0.9																														
14,000以上22,000未満	0.8																														
22,000以上45,000未満	0.7																														
45,000以上100,000未満	0.6																														
100,000以上	0.5																														
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000未満	1.0																														
7,000以上14,000未満	0.9																														
14,000以上22,000未満	0.8																														
22,000以上45,000未満	0.7																														
45,000以上100,000未満	0.6																														
100,000以上	0.5																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す低エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について3次元梁モデルを構築し、解析により発生応力を算出する。</p> <p>表3に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <p style="text-align: center;">表3 解析条件</p> <table border="1" data-bbox="703 699 1265 855"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HNCW</td> <td>66</td> <td>1.28</td> </tr> <tr> <td>RHR</td> <td>186<sup>※1</sup></td> <td>3.73</td> </tr> <tr> <td>LPCS</td> <td>100</td> <td>4.42</td> </tr> <tr> <td>HPCS</td> <td>100</td> <td>10.79</td> </tr> <tr> <td>RCIC</td> <td>66</td> <td>11.78</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 RHR(A),(B)系については、S/C吸込弁が「閉」となっている運転モードを除いた場合のRHR(A),(B)系の最高使用温度となる100°Cで評価を実施した。</p> <p>(2) 地震条件</p> <p>弾性設計用地震動Sdの1/3を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p>	対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)	HNCW	66	1.28	RHR	186 <sup>※1</sup>	3.73	LPCS	100	4.42	HPCS	100	10.79	RCIC	66	11.78	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す低エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析により発生応力を算出する。</p> <p>表3に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <p style="text-align: center;">表3 解析条件</p> <table border="1" data-bbox="1285 743 1848 842"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低エネルギー配管 全系統</td> <td>95<sup>※1</sup></td> <td>1.9<sup>※1</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 低エネルギー配管の上限値</p> <p>(2) 地震条件</p> <p>弾性設計用地震動Sdの1/3を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p>	対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)	低エネルギー配管 全系統	95 <sup>※1</sup>	1.9 <sup>※1</sup>	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では標準支持間隔法により発生応力が最も高くなるものを代表ブロックとして抽出し、代表ブロックに対して、3次元はりモデル解析による確認を実施している。また、代表ブロック以外の系統については、標準支持間隔法により評価を実施し、許容応力を満足しない場合は、3次元はりモデル解析による確認を実施する評価フローとなっている。(大飯と同様)</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では、全ての低エネルギー配管に対して、低エネルギー配管の上限値である温度及び圧力を設定して解析を行っている。(大飯と同様)</p>
対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)																									
HNCW	66	1.28																									
RHR	186 <sup>※1</sup>	3.73																									
LPCS	100	4.42																									
HPCS	100	10.79																									
RCIC	66	11.78																									
対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)																									
低エネルギー配管 全系統	95 <sup>※1</sup>	1.9 <sup>※1</sup>																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>6. 標準支持間隔法に用いる SPAN コード</p> <table border="1" data-bbox="123 252 678 395"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table> <p>【美浜3号炉】                      まとめ資料p.1-9-補-157より抜粋</p> <table border="1" data-bbox="138 523 663 683"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0 5.0 6.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	<p>(3) 解析コード</p> <p>SOLVER Rev.02.05                      ISAP-III</p>	<p>(3) 解析コード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準支持間隔法 SPAN2000 Ver. 4.0 Ver. 5.0 Ver. 6.0</li> <li>・3次元はりモデル解析 MSAP PC1.0版</li> </ul>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊では、原則標準支持間隔法による解析を実施しており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施している。(大阪と同様)</li> <li>・SPANコードについては、大阪も同様にSPAN2000を用いており、美浜においては、泊と同様のVerを用いている。</li> <li>・泊でも女川と同様に3次元はりモデル解析を実施しており、「MSAP PC1.0版」を用いている。本解析コードについては、先行の資料には記載がなかったものの、メーカー確認の結果、先行PWRでは泊と同様のコードを使用していることを確認している。</li> </ul> <p>【大阪】</p> <p><u>記載表現の相違</u>  <u>記載方針の相違</u>                      女川審査実績の反映</p>
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 破損形状の設定フロー</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の評価フローは、別紙1図1「高エネルギー配管の破損形状の評価フロー」と同じである。</p> <p>【大阪3号炉】                  まとめ資料 p.2-9-別1補-174より抜粋</p> <p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>(4) 破損形状の評価フロー</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の評価フローを図1に示す。</p> <p>図1 低エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	<p>【女川】                  設計方針の相違                  泊は原則標準支持間隔法を用いており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施しているため、評価フローを記載した。(大阪と同様)</p> <p>【大阪】                  記載表現の相違                  記載方針の相違                  大阪では、低エネルギー配管の破損形状の評価フローについて、高エネルギー配管と同様としているが、実際には低エネルギー配管においては、許容応力0.4Saを満足することを確認しているため、記載を適正化している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.3. 破損形状の決定</p> <p>すべての建屋、階高で配管に発生する最大応力は0.4Saを下回っていることを確認した。したがって低エネルギー配管に破損を想定する必要はないことを確認した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【島根2号炉】添付資料7「耐震B,Cクラス機器・配管系の評価について」より抜粋 p9条-別添1-添付7-10</p> <p>3. 耐震 B,C クラス配管及び配管支持構造物の耐震評価結果について</p> <p>耐震 B,C クラス配管及び配管支持構造物の基準地震動 <math>S_s</math> に対する耐震性評価結果について表3-1に示す。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p> </div>	<p>4. 低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果</p> <p>対象とした配管のモデル図を図1~12に、区画内における最小裕度となる箇所における応力評価結果を表4に示す。</p> <p>評価の結果、配管の応力は、<math>S_n \leq 0.4S_a</math>であり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p>	<p>4. 低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果</p> <p>対象とした配管のモデル図を図2に、区画内における最小裕度となる箇所における応力評価結果を表4に、<b>低エネルギー配管を有する系統の応力評価結果</b>を表5に示す。</p> <p>評価の結果、配管の応力は、<math>S_n \leq 0.4S_a</math>であり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p>	<p>【大阪】  <u>記載方針の相違</u>                  女川審査実績を反映し、評価結果について、一次応力+二次応力<math>S_n</math>の数値を記載した上で許容応力を満足することを記載する。</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                  代表配管ブロックについて評価を実施した上で、それ以外の評価対象配管については、標準支持間隔法により評価を満足することを確認している。その旨を説明するために表5を作成している。</p> <p>【女川】  <u>記載方針の相違</u>                  応力評価結果は基本設計段階における評価結果であり、正式な評価結果は詳細設計段階で示すことを記載している。</p>

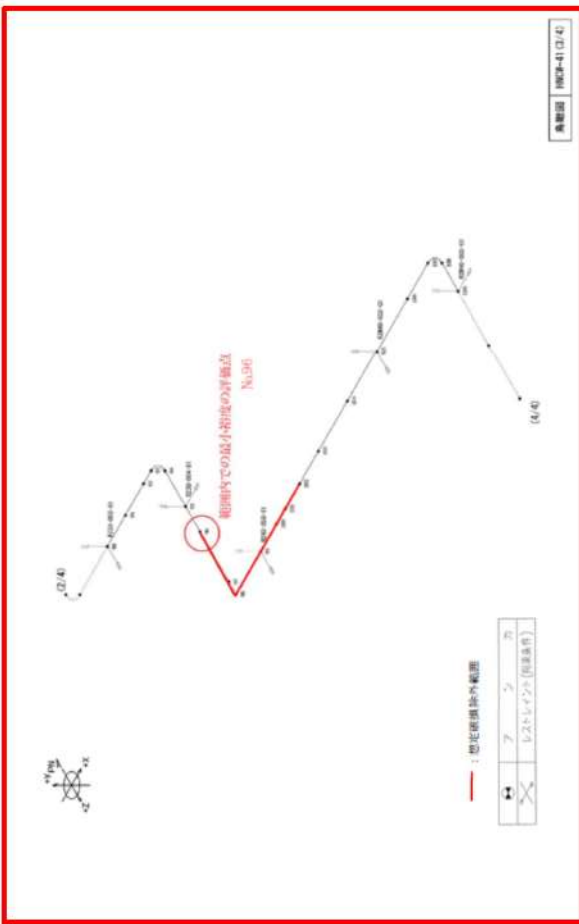
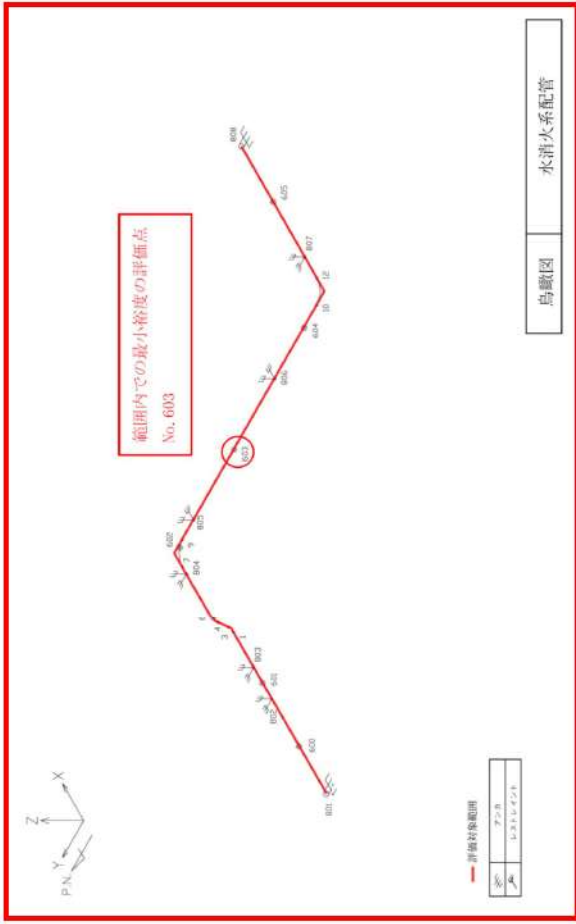
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																							
<p>【玄海3/4号炉】                      まとめ資料p.9条-別添1-補3-1-18より抜粋                      表-3 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）</p> <table border="1" data-bbox="152 327 667 391"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>EL. (m)</th> <th>配管仕様</th> <th>配管名</th> <th>一次+二次応力 (MPa)</th> <th>許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B</td> <td>~19.25</td> <td>2B-sch40</td> <td>水消火系統配管</td> <td>80</td> <td>85</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)	A/B	~19.25	2B-sch40	水消火系統配管	80	85	<p>表4 最小裕度となる箇所における応力評価結果(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="698 247 1272 938"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧応力</th> <th>自重応力</th> <th>地震応力</th> <th>二次応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-2F-1-1</td> <td>HNCW-41 (50A-HNCW-41)</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>74</td> <td>1</td> <td>80</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-3</td> <td>KRR-007 (350A-KRR-2-1) (100A-KRR-24-1) (100A-KRR-33)</td> <td>30</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>28</td> <td>81</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRR-116 (100A-KRR-24-1)</td> <td>18</td> <td>4</td> <td>19</td> <td>32</td> <td>73</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-6</td> <td>KRR-012 (350A-KRR-4-1) (100A-KRR-25-1) (100A-KRR-41)</td> <td>30</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>27</td> <td>77</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRR-146<sup>※1</sup> (100A-KRR-25-1)</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>27</td> <td>38</td> <td>85</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-7</td> <td>KRR-017 (350A-KRR-6-1) (300A-KRR-6-2) (100A-KRR-52) (100A-KRR-26-1)</td> <td>30</td> <td>11</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>54</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRR-146<sup>※1</sup> (100A-KRR-26-1)</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>27</td> <td>38</td> <td>85</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-4</td> <td>LPSCS-003 (300A-LPCS-2-1) (50A-LPCS-7) (100A-LPCS-4-1)</td> <td>21</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>51</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KLPCS-117 (100A-LPCS-4-1)</td> <td>15</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>39</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table>	区画番号	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計	R-2F-1-1	HNCW-41 (50A-HNCW-41)	4	1	74	1	80	100	R-B3F-3	KRR-007 (350A-KRR-2-1) (100A-KRR-24-1) (100A-KRR-33)	30	12	11	28	81	102	KRR-116 (100A-KRR-24-1)	18	4	19	32	73	102	R-B3F-6	KRR-012 (350A-KRR-4-1) (100A-KRR-25-1) (100A-KRR-41)	30	11	9	27	77	102	KRR-146 <sup>※1</sup> (100A-KRR-25-1)	18	2	27	38	85	102	R-B3F-7	KRR-017 (350A-KRR-6-1) (300A-KRR-6-2) (100A-KRR-52) (100A-KRR-26-1)	30	11	6	7	54	102	KRR-146 <sup>※1</sup> (100A-KRR-26-1)	18	2	27	38	85	102	R-B3F-4	LPSCS-003 (300A-LPCS-2-1) (50A-LPCS-7) (100A-LPCS-4-1)	21	10	9	11	51	102	KLPCS-117 (100A-LPCS-4-1)	15	1	16	7	39	102	<p>表4 最小裕度となる箇所における応力評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1281 247 1854 367"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧応力</th> <th>自重応力</th> <th>地震応力</th> <th>二次応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系統配管</td> <td>4</td> <td>8.6</td> <td>7.9</td> <td>5.9</td> <td>0.0</td> <td>23</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table> <p>表5 低エネルギー配管を有する系統の応力評価結果</p> <table border="1" data-bbox="1281 486 1854 646"> <thead> <tr> <th>配管名</th> <th>評価方法</th> <th>建屋</th> <th>T.P. (m)</th> <th>配管仕様</th> <th>一次応力+二次応力 (MPa)</th> <th>許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代表配管 (水消火系)</td> <td>3次元はりモデル解析</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>40.3</td> <td>4B Sch40</td> <td>23</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>全評価対象配管</td> <td>標準支持間隔法</td> <td colspan="5">建設時の標準支持間隔若しくは実施工支持間隔が0.4Saを制限とし算出した支持間隔以下であることを確認。</td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計	水消火系統配管	4	8.6	7.9	5.9	0.0	23	84	配管名	評価方法	建屋	T.P. (m)	配管仕様	一次応力+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)	代表配管 (水消火系)	3次元はりモデル解析	原子炉補助建屋	40.3	4B Sch40	23	84	全評価対象配管	標準支持間隔法	建設時の標準支持間隔若しくは実施工支持間隔が0.4Saを制限とし算出した支持間隔以下であることを確認。					<p>【女川】  <u>記載表現の相違</u>  <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川は、溢水防護区画内の想定破損除外の適用が必要な配管ラインを特定した上で、3次元はりモデル解析を実施している。</li> <li>・泊では、低エネルギー配管については、建設時と同様に、室温との温度差が有意でないとし、熱応力を考慮していない。（大阪と同様）</li> <li>・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違。</li> <li>・代表配管ブロックについて評価を実施した上で、それ以外の評価対象管については、標準支持間隔法により評価を満足することを確認している。その旨を説明するために表5を作成している。</li> </ul> <p>【玄海】                      表の体裁は女川を参照し記載するが、参考として水消火系統配管に対して貫通クラックを想定する評価結果を示す。玄海では、代表配管ブロックのみについて、評価を示している。</p>
建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																					
A/B	~19.25	2B-sch40	水消火系統配管	80	85																																																																																																																																					
区画番号	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																			
		内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計																																																																																																																																				
R-2F-1-1	HNCW-41 (50A-HNCW-41)	4	1	74	1	80	100																																																																																																																																			
R-B3F-3	KRR-007 (350A-KRR-2-1) (100A-KRR-24-1) (100A-KRR-33)	30	12	11	28	81	102																																																																																																																																			
	KRR-116 (100A-KRR-24-1)	18	4	19	32	73	102																																																																																																																																			
R-B3F-6	KRR-012 (350A-KRR-4-1) (100A-KRR-25-1) (100A-KRR-41)	30	11	9	27	77	102																																																																																																																																			
	KRR-146 <sup>※1</sup> (100A-KRR-25-1)	18	2	27	38	85	102																																																																																																																																			
R-B3F-7	KRR-017 (350A-KRR-6-1) (300A-KRR-6-2) (100A-KRR-52) (100A-KRR-26-1)	30	11	6	7	54	102																																																																																																																																			
	KRR-146 <sup>※1</sup> (100A-KRR-26-1)	18	2	27	38	85	102																																																																																																																																			
R-B3F-4	LPSCS-003 (300A-LPCS-2-1) (50A-LPCS-7) (100A-LPCS-4-1)	21	10	9	11	51	102																																																																																																																																			
	KLPCS-117 (100A-LPCS-4-1)	15	1	16	7	39	102																																																																																																																																			
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																			
		内圧応力	自重応力	地震応力	二次応力	合計																																																																																																																																				
水消火系統配管	4	8.6	7.9	5.9	0.0	23	84																																																																																																																																			
配管名	評価方法	建屋	T.P. (m)	配管仕様	一次応力+二次応力 (MPa)	許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																				
代表配管 (水消火系)	3次元はりモデル解析	原子炉補助建屋	40.3	4B Sch40	23	84																																																																																																																																				
全評価対象配管	標準支持間隔法	建設時の標準支持間隔若しくは実施工支持間隔が0.4Saを制限とし算出した支持間隔以下であることを確認。																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

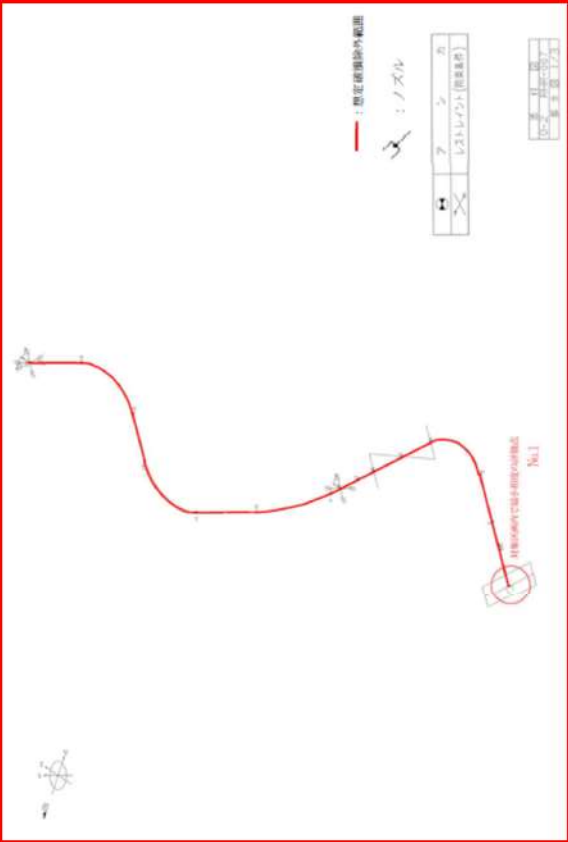
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																									
	<p>表4 最小裕度となる箇所における応力評価結果(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="696 204 1265 539"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="4">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-5</td> <td>HPCS-003 (300A-HPCS-2-1) (100A-HPCS-6-1)</td> <td>34</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>53</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KHPCS-001 (100A-HPCS-6-1)</td> <td>28</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>3</td> <td>48</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-2</td> <td>RCIC-002 (100A-RCIC-2-1) (100A-RCIC-3-1) (50A-RCIC-5)</td> <td>25</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>3</td> <td>70</td> <td>102</td> </tr> <tr> <td>KRCIC-121 (50A-RCIC-5)</td> <td>15</td> <td>47</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>90</td> <td>102</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 KRCIC-146については、R-B3F-6及びR-B3F-7の両区画内で最小裕度となる箇所の評価結果を記載する。</p>	区画番号	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)				許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	R-B3F-5	HPCS-003 (300A-HPCS-2-1) (100A-HPCS-6-1)	34	5	4	10	53	102	KHPCS-001 (100A-HPCS-6-1)	28	1	16	3	48	102	R-B3F-2	RCIC-002 (100A-RCIC-2-1) (100A-RCIC-3-1) (50A-RCIC-5)	25	21	21	3	70	102	KRCIC-121 (50A-RCIC-5)	15	47	16	12	90	102		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女川は、溢水防護区画内の想定破損除外の適用が必要な配管ラインを特定した上で、3次元はりモデル解析を実施している。</li> <li>・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違。</li> </ul>
区画番号	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																			
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力																																							
R-B3F-5	HPCS-003 (300A-HPCS-2-1) (100A-HPCS-6-1)	34	5	4	10	53	102																																					
	KHPCS-001 (100A-HPCS-6-1)	28	1	16	3	48	102																																					
R-B3F-2	RCIC-002 (100A-RCIC-2-1) (100A-RCIC-3-1) (50A-RCIC-5)	25	21	21	3	70	102																																					
	KRCIC-121 (50A-RCIC-5)	15	47	16	12	90	102																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

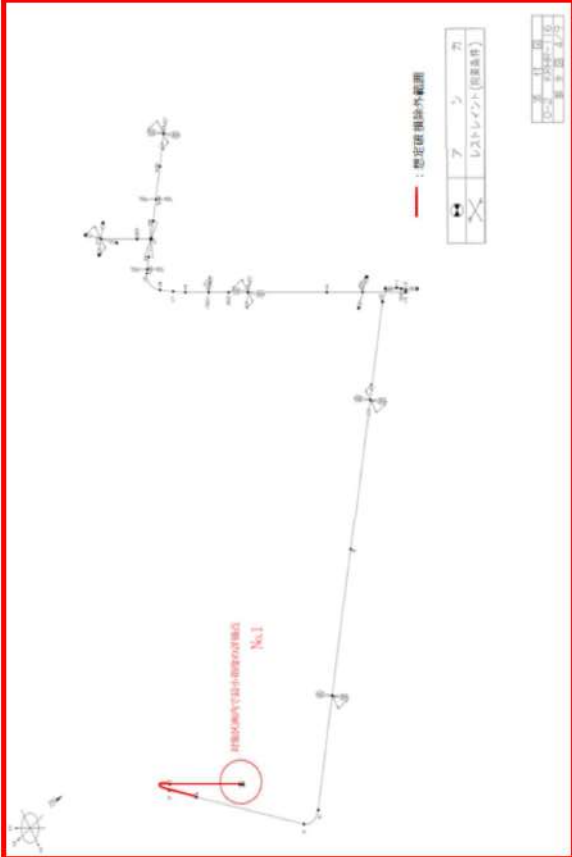
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="772 1129 1187 1157">図1 HNCW-41 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	 <p data-bbox="1339 1129 1798 1157">図2 水消火系配管 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>	<p data-bbox="1872 177 2130 268">【女川】 設計方針の相違 応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1872 858 1995 917">【女川】 記載表現の相違</p>



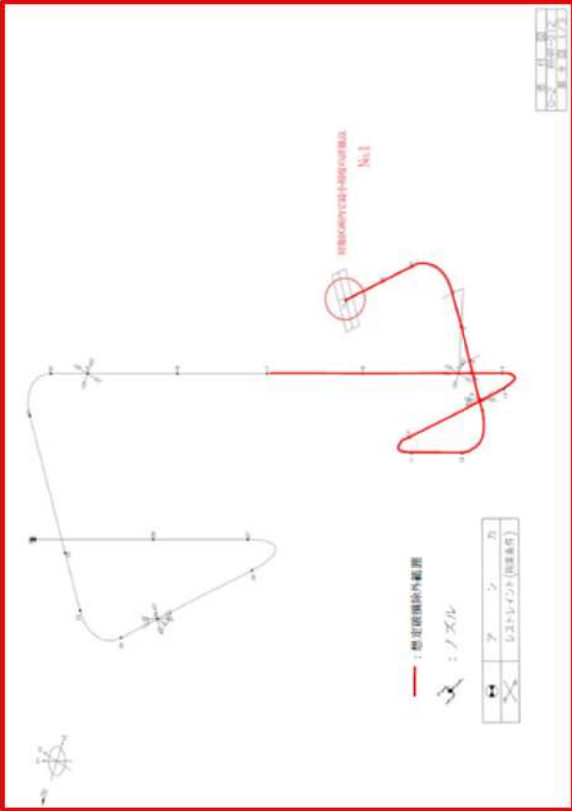
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1066 1191 1088">図2 RHR-007 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 181 1930 204">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1998 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 248 2130 271">応力評価の対象とした系統の相違</p>

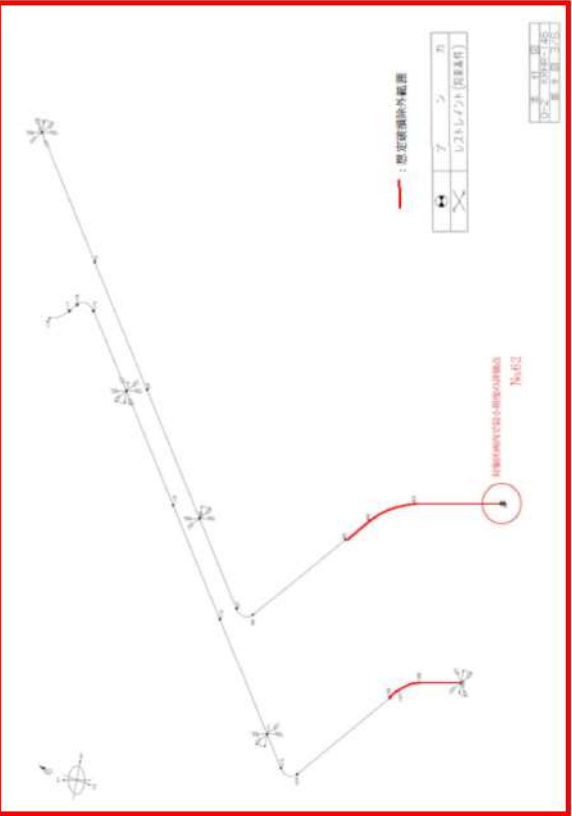
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="770 1066 1189 1086">図3 KRHR-116 解析モデル図 (最小裕度の範囲)</p>		<p data-bbox="1877 180 1933 201">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1995 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 248 2130 269">応力評価の対象とした系統の相違</p>

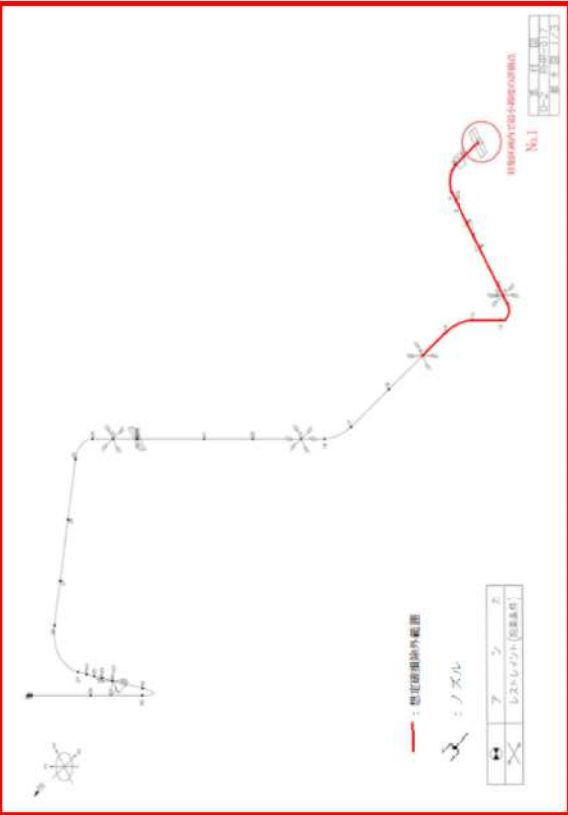
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="772 1029 1187 1053">図4 RHR-012 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1874 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1874 215 2004 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2136 268">応力評価の対象とした系統の相違</p>

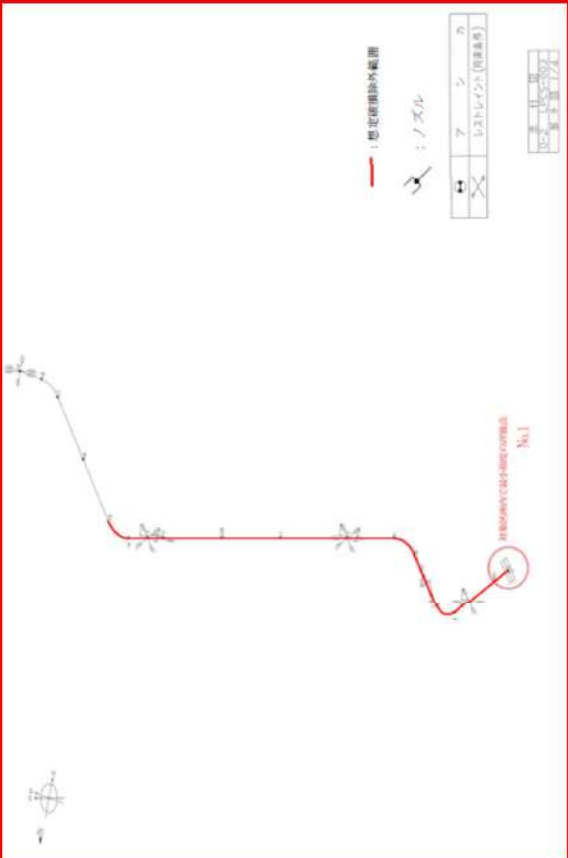
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="770 1029 1189 1053">図5 KRHR-146 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1874 180 1933 201">【女川】</p> <p data-bbox="1874 217 1995 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 248 2136 269">応力評価の対象とした系統の相違</p>

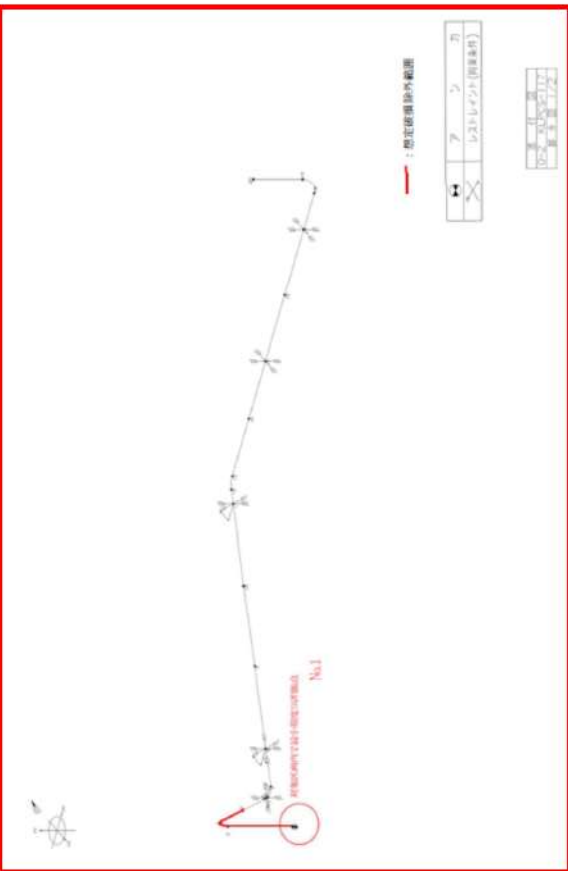
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="779 1031 1191 1053">図6 RHR-017 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 181 1930 204">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1998 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 252 2130 274">応力評価の対象とした系統の相違</p>

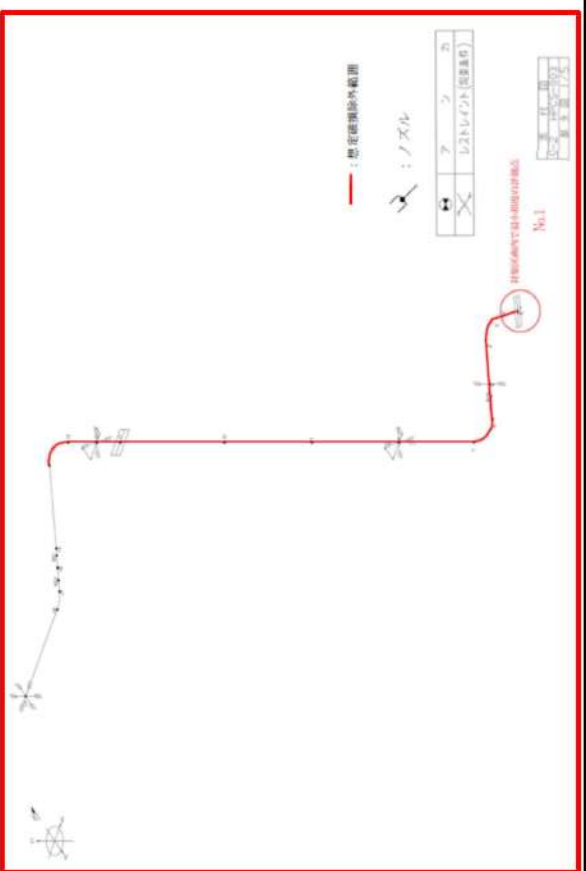
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="770 1066 1191 1088">図7 LPCS-003 解析モデル図 (最小裕度の範囲)</p>		<p data-bbox="1877 181 1930 204">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1998 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 252 2130 274">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

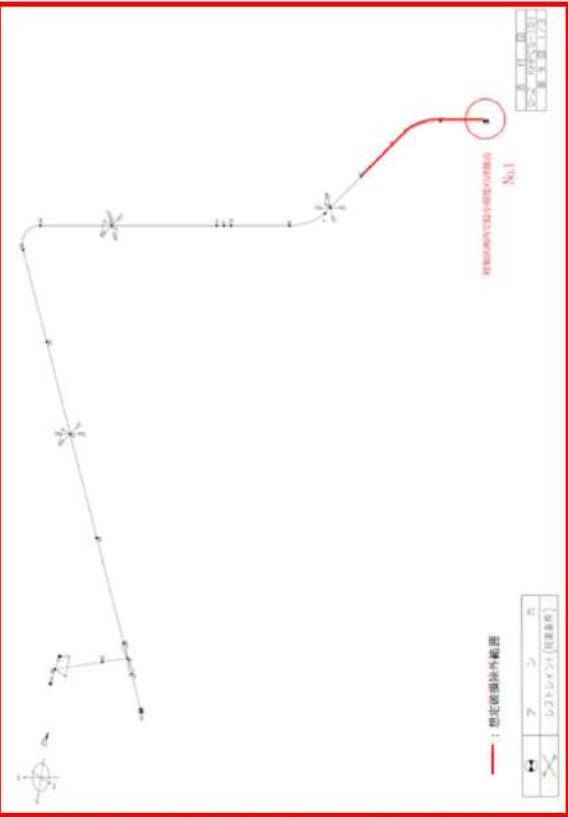
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="763 1066 1196 1088">図8 KLPCS-117 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 181 1928 204">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1995 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 252 2130 274">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

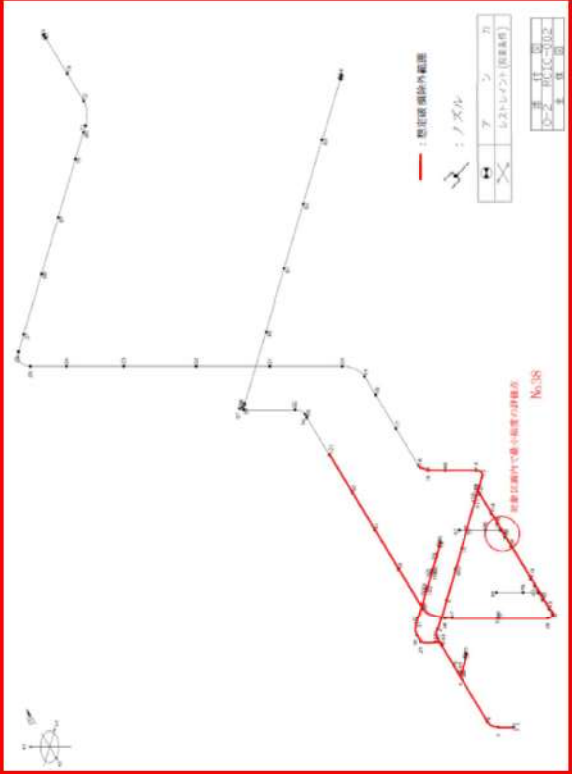
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="772 1061 1198 1093">図9 HPCS-003 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1870 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1870 215 2004 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2128 268">応力評価の対象とした系統の相違</p>



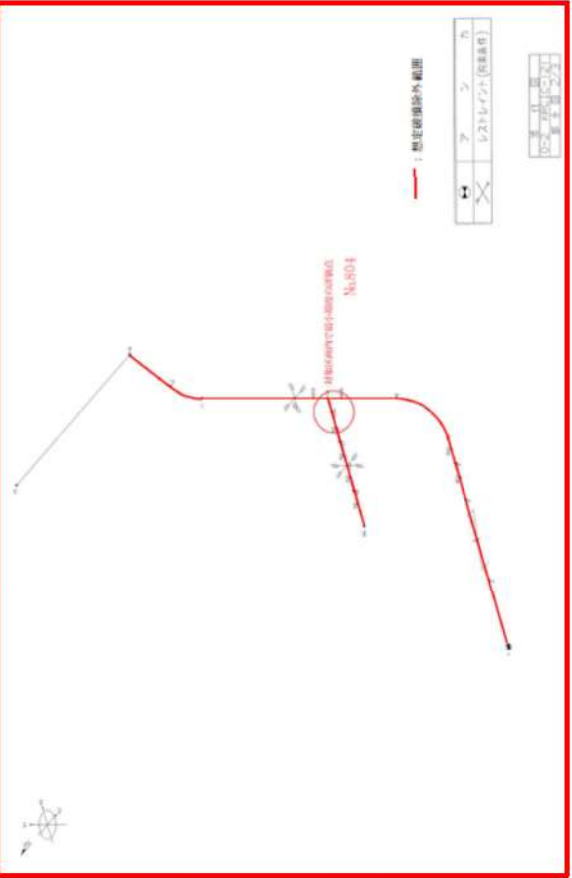
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="757 1034 1205 1056">図10 KHPCS-001 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1877 178 1930 201">【女川】</p> <p data-bbox="1877 213 1998 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 248 2130 271">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="763 962 1196 986">図11 RCIC-002 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1874 180 1933 201">【女川】</p> <p data-bbox="1874 217 1995 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 248 2130 269">応力評価の対象とした系統の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="757 1098 1205 1125">図 12 KRCIC-121 解析モデル図（最小裕度の範囲）</p>		<p data-bbox="1874 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1874 215 2004 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2136 268">応力評価の対象とした系統の相違</p>

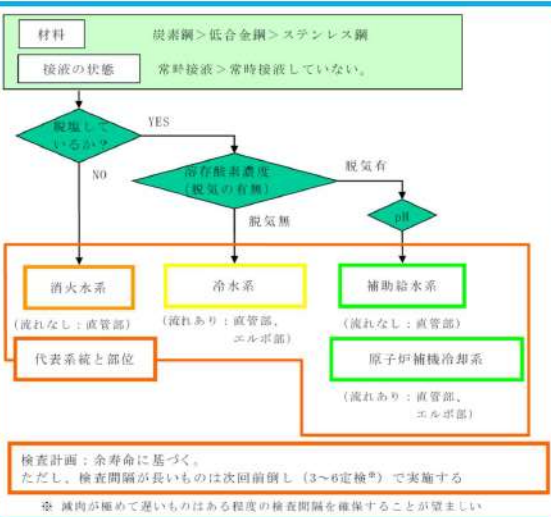
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 10</p> <p>1. 減肉管理の概要</p> <p>「原子力発電所の内部溢水影響評価ガイド」では、「2.2 減肉等による破損」の想定にあたっては、「注2）設計や管理と破損の想定について」のただし書きとして、「減肉対策として当該部分の肉厚の測定を非破壊検査によって定期的に実施している等、当該部位の材料のき裂状況及び減肉状況を定期的に直接把握している場合は、破損による漏えいを確実に防止できることから、破損を想定しなくてもよい。」とあり、既に減肉状況を定期的に把握している系統配管については、減肉等による破損の想定にはあたらない。</p> <p>一方、減肉等による破損の想定を除外した系統配管については、これまでも減肉知見の拡充の観点より定期的な肉厚検査、配管の対策材への取替等を行ってきており、破損による漏えいを確実に防止できるものと判断しているが、今後も、現状検査範囲の継続的な監視を行うとともに、さらなる検査範囲の拡充を行っている。</p> <p>2. 検査範囲の拡充に伴うデータの扱い</p> <p>減肉は一定の期間内に進行した板厚の減少であるが、以下の理由から減肉かどうかの判断が容易でない場合が含まれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造時の板厚は公称値で調達されており、公差が含まれている。</li> </ul> <p>そのため、最初の計測等では板厚減少の原因が加工時の公差によるもの（進行性はない）か、減肉によるものか判断できないものも含まれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そこで、現状の減肉管理では加工時の公差による板厚減少も減肉と一旦仮定し、複数回の測定を行っている。加工による板厚減少であれば評価上の減肉速度は測定により低下、余寿命はのびるため、減肉を判断することができる。</li> </ul> <p>次頁以降に減肉等による破損の想定を除外した系統配管の保全状況の確認結果を示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 16</p> <p>減肉等による破損評価について</p> <p>添付資料 14、15 の評価結果により想定破損除外を行う場合は、減肉、腐食、疲労による破損を別途想定し、非破壊検査、疲労評価等を定期的 to 実施し、定期的な管理を実施することにより、減肉による破損の想定を除外する。</p> <p>1. 配管の想定破損評価時の配管減肉の管理方針について</p> <p>女川2号炉において減肉の可能性のある配管について、当社は「発電用原子力設備規格 沸騰水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006年版）（JSME S NH1-2006）」（以下「JSME規格」という。）に基づいて管理している。</p> <p>ここで、内部溢水影響評価において想定破損を除外する配管については、必ずしも上記の測定対象とならないことから、減肉の有無を確認し、今後の運用において減肉等による破損がないこととする。</p> <p>また、当該の配管については、内部溢水ガイド附属書Aの「2.1 運転中に発生する応力に基づく評価法」の要求を満足させることとする。</p> <p>なお、本事項は、後段規制での対応が必要となる事項である。（別添2 参照）</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 15</p> <p>減肉等による破損評価について</p> <p>添付資料 13、14 の評価結果により想定破損除外又は高エネルギー配管の貫通クラックを適用する場合は、減肉、腐食、疲労による破損を別途想定し、非破壊検査、疲労評価等を定期的 to 実施し、定期的な管理を実施することにより、減肉による破損の想定を除外又は高エネルギー配管において貫通クラックを適用する。</p> <p>1. 配管の想定破損評価時の配管減肉の管理方針について</p> <p>泊発電所3号炉において減肉の可能性のある配管について、当社は「発電用原子力設備規格 加圧水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006年版）（JSME S NG1-2006）」（以下「JSME規格」という。）に基づいて管理している。</p> <p>ここで、内部溢水影響評価において想定破損を除外する配管及び高エネルギー配管の貫通クラックを適用する配管については、必ずしも上記の測定対象とならないことから、減肉の有無を確認し、今後の運用において減肉等による破損がないこととする。</p> <p>また、当該の配管については、内部溢水ガイド附属書Aの「2.1 運転中に発生する応力に基づく評価法」の要求を満足させることとする。</p> <p>なお、本事項は、後段規制での対応が必要となる事項である。（別添2 参照）</p>	<p>【大阪】</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>          女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a>  <a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では、高エネルギー配管について、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪と同様）</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>          高エネルギー配管の貫通クラックを記載したことによる記載の相違。先行プラントにおいて同様の記載がないことから、左記のとおり記載した。</p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a>          炉型の違いによる規格の相違。</p> <p>【女川】</p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>泊では、高エネルギー配管について、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪と同様）</p> <p><a href="#">記載方針の相違</a>          高エネルギー配管の貫通クラックを記載したことによる記載の相違。先行プラントにおいて同様の記載がないことから、左記のとおり記載した。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>4. 代表部位の選定と検査計画</p> <p>(1) 考え方</p> <p>代表系統及び部位の選定は JSME の減肉管理の考え方を踏まえて決定している。考え方を図1に示す。</p> <div data-bbox="112 327 683 981" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>代表系統及び部位の選定</p> <p>JSME S NG1-2006:                      発電用設備規格 加圧水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格</p> <p>注目するパラメータ：流体条件×偏流発生部位×材質</p> <p>↓</p> <p>管理対象外（減肉のリスク低）</p> <p>さらに</p> <p>↓</p> <p>想定破損：軽微な減肉量を計測できるよう考慮</p> <p>↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>流体条件</p> <p>高温配管：想定破損の対象は補助蒸気配管のみ</p> <p>低温配管：脱塩、溶存酸素、pHを考慮してそれぞれから選定</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>偏流発生部位など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 流れがない系統及び流れのある系統に共通</li> <li>減肉量が小さいため形状変化の影響を受けにくい直管部を対象</li> <li>• 流れがある系統</li> <li>偏流発生部位のエルボ部も対象</li> </ul> </div> </div> </div> <p>図1 代表系統及び部位の考え方</p> <p>(2) 高エネルギー配管</p> <p>減肉管理対象の考え方に沿って、具体的に以下の代表系統と部位を選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 系統 補助蒸気配管</li> <li>・ 部位 流れあり：直管部、エルボ部</li> </ul> <p>(3) 低エネルギー配管</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流れのある腐食：直管部、エルボ部</li> <li>・ 流れのない腐食：直管部</li> </ul>	<p>2. 検討対象系統の抽出及び腐食モード等の検討</p> <p>(1) 対象系統</p> <p>想定破損を除外する系統のうち、定期事業者検査において非破壊検査による配管肉厚測定を実施している HS 及び HSCR は除外とし、これ以外の減肉量を直接かつ定期的に管理していない系統を対象とする。</p>	<p>2. 検討対象系統の抽出及び腐食モード等の検討</p> <p>(1) 対象系統</p> <p>想定破損を除外する系統及び高エネルギー配管において貫通クラックを適用する系統のうち、定期事業者検査において非破壊検査による配管肉厚測定を実施している補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系（主蒸気管室外）、主蒸気系（主蒸気管室外）、補助給水系、空調用冷水系及び原子炉補機冷却水系は除外とし、これ以外の減肉量を直接かつ定期的に管理していない系統を対象とする。</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊では、高エネルギー配管について、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪と同様）</li> <li>・ プラント設計による系統の相違</li> </ul> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>高エネルギー配管の貫通クラックを記載したことによる記載の相違。先行プラントにおいて同様の記載がないことから、左記のとおり記載した。</p> <p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川審査実績を反映し、女川と同様の内容にて検討対象系統を抽出する。</p>

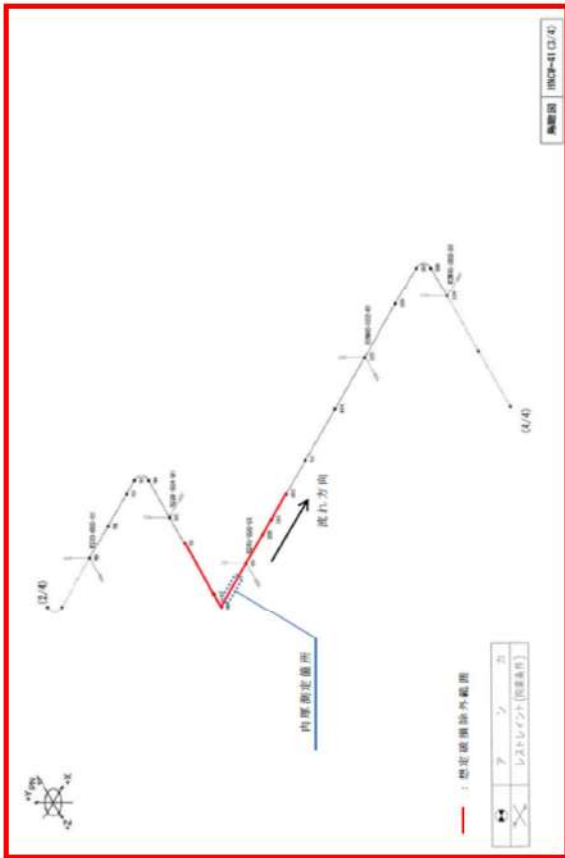
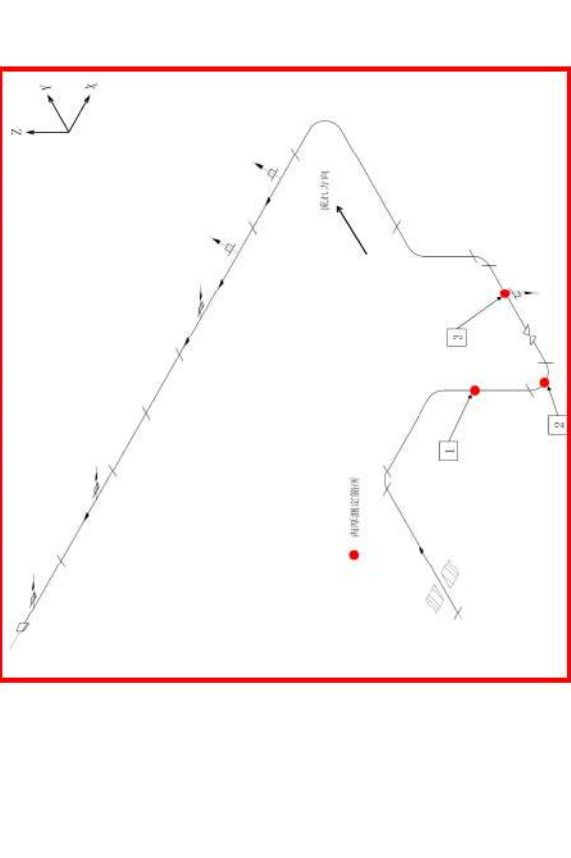
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
 <p>図2 代表系統及び部位の選定</p>	<p>(2) 材料</p> <p>女川2号炉の内部溢水影響評価において想定破損を除外する配管は、すべて炭素鋼配管である。</p> <p>【柏崎刈羽6, 7号炉】</p> <p>まとめ資料9条-別添1-補足19-12より抜粋</p> <p>(2)対象材料</p> <p>柏崎刈羽原子力発電所6号炉, 7号炉の低エネルギー配管材料としては、ステンレス鋼および炭素鋼が使用されているが、配管の主要な減肉事象を補足第19.2.2-1表のとおり整理し、相対的に耐食性の低い炭素鋼配管を代表として抽出する。補足第19.2.2-1表に主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由を示す。なお、炭素鋼配管であっても、海水系統のような内面ライニング配管については、対象外とする。</p> <table border="1" data-bbox="705 726 1254 981"> <caption>補足第19.2.2-1表 主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</caption> <thead> <tr> <th>減肉事象</th> <th>炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全面腐食</td> <td>ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。</td> </tr> <tr> <td>流れ加速型腐食 (FAC)</td> <td>FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。</td> </tr> <tr> <td>液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)</td> <td>液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。</td> </tr> <tr> <td>キャビテーション・エロージョン</td> <td>設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。</td> </tr> <tr> <td>固体粒子エロージョン</td> <td>BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。</td> </tr> </tbody> </table>	減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由	全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。	流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。	液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。	キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。	固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。	<p>(2) 対象材料</p> <p>泊発電所3号炉の高エネルギー配管材料及び低エネルギー配管材料としては、ステンレス鋼及び炭素鋼が使用されているが、配管の主要な減肉事象を表1のとおり整理し、相対的に耐食性の低い炭素鋼配管を代表として抽出する。表1に主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由を示す。なお、炭素鋼配管であっても、海水系統のような内面ライニング配管のうち損傷状態を非破壊検査によって定期的に確認している部位については、対象外とする。</p> <p>表1 主要な減肉事象と炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</p> <table border="1" data-bbox="1288 790 1848 1045"> <thead> <tr> <th>減肉事象</th> <th>炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全面腐食</td> <td>ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。</td> </tr> <tr> <td>流れ加速型腐食 (FAC)</td> <td>FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。</td> </tr> <tr> <td>液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)</td> <td>液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。</td> </tr> <tr> <td>キャビテーション・エロージョン</td> <td>設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。</td> </tr> <tr> <td>固体粒子エロージョン</td> <td>BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。</td> </tr> </tbody> </table>	減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由	全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。	流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。	液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。	キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。	固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違                  記載方針の相違                  柏崎審査実績を反映。</p> <p>【柏崎】</p> <p>設備名称の相違                  設計方針の相違                  泊については高エネルギー配管も応力評価の対象としているため、その旨を反映している。(高エネルギー配管に応力評価を実施しているという観点で、大阪、女川と同様)</p> <p>記載方針の相違                  内面ライニング配管については、「損傷状態を非破壊検査によって定期的に確認している部位については、破損の想定を除外することができる」と溢水ガイドで定められているため、その旨を記載している。</p>
減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由																										
全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。																										
流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。																										
液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。																										
キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。																										
固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。																										
減肉事象	炭素鋼配管を代表として減肉測定を実施する理由																										
全面腐食	ステンレス鋼はCr含有量が多く、表面に形成される不動態化被膜により炭素鋼に比べ耐食性が優れている。																										
流れ加速型腐食 (FAC)	FACによる減肉速度は配管材料のCr含有量が多いほど低下することが知られており、ステンレス鋼は炭素鋼に比べ、FACが抑制される。																										
液滴衝撃エロージョン (フラッシング・エロージョン含む)	液滴衝撃エロージョンは負圧機器に接続され連続的に高速二相流が流れる系統で発生する可能性があるが、対象となる低エネルギー配管で該当する系統はない。																										
キャビテーション・エロージョン	設計段階においてキャビテーション発生防止のための評価・確認を実施し、運転条件を適切に維持していることから、問題ない。																										
固体粒子エロージョン	BWRプラントにおいて通常起こりえない事象である。																										
	<p>(3) 腐食モード</p> <p>配管強度に影響をおよぼす腐食モードとしては、流れ加速型腐食 (FAC)、全面腐食が考えられるが、低温配管については、FACの感受性が低いことから、主に全面腐食を検討する。</p>	<p>(3) 腐食モード</p> <p>配管強度に影響をおよぼす腐食モードとしては、流れ加速型腐食 (FAC)、全面腐食が考えられるが、低温配管については、FACの感受性が低いことから、主に全面腐食を検討する。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違                  柏崎審査実績を反映し、女川と同様に材料、腐食モード及び水質の観点から検討対象系統を抽出する。</p>																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

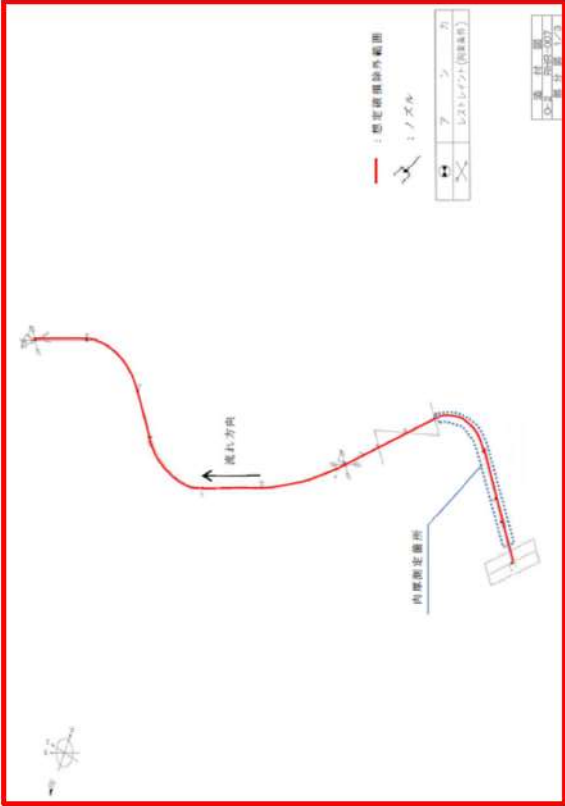
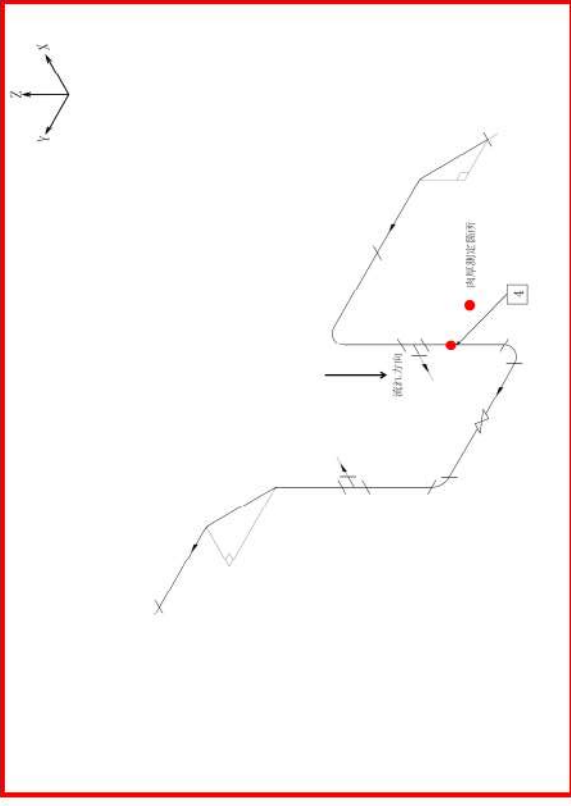
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
	<p>(4) 水質</p> <p>炭素鋼の全面腐食の加速因子として支配的なものは、溶存酸素、pH、塩分濃度、水質条件である。想定破損を除外する系統の水質は、<b>純水タンク、復水貯蔵タンク、サブプレッションプール</b>である。</p> <p>以上の検討結果より肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方を表1に示し、また肉厚測定箇所を図1～図6に示す。</p> <p>表1 肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方</p> <table border="1" data-bbox="696 555 1272 740"> <thead> <tr> <th>肉厚測定対象系統</th> <th>系統概要</th> <th>肉厚測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HNCW</td> <td>内包本は純水であり、防食剤を含む定常的な流れのある系統</td> <td rowspan="5">想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を選定</td> </tr> <tr> <td>BHR</td> <td></td> </tr> <tr> <td>LPSC</td> <td>内包本は復水であり、防食剤を含まず、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）。</td> </tr> <tr> <td>HPCS</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RCIC</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所	HNCW	内包本は純水であり、防食剤を含む定常的な流れのある系統	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を選定	BHR		LPSC	内包本は復水であり、防食剤を含まず、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）。	HPCS		RCIC		<p>(4) 水質</p> <p>炭素鋼の全面腐食の加速因子として支配的なものは、溶存酸素、pH、塩分濃度、水質条件である。想定破損を除外する系統の水質は、<b>補助給水ビット、原子炉補機冷却水サージタンク、ろ過水タンク、空調用冷水膨張タンク</b>である。</p> <p>以上の検討結果より肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方を表2に示し、また肉厚測定箇所を図1に示す。</p> <p>表2 肉厚測定対象系統及び肉厚測定箇所の考え方</p> <table border="1" data-bbox="1279 555 1861 671"> <thead> <tr> <th>肉厚測定対象系統</th> <th>系統概要</th> <th>肉厚測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系</td> <td>内包本はろ過水であり、溶存酸素濃度が高く、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）</td> <td>想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を想定</td> </tr> </tbody> </table>	肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所	水消火系	内包本はろ過水であり、溶存酸素濃度が高く、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を想定	<p>【女川】</p> <p><a href="#">記載表現の相違</a></p> <p><a href="#">設計方針の相違</a></p> <p>プラント設計による系統の相違</p>
肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所																					
HNCW	内包本は純水であり、防食剤を含む定常的な流れのある系統	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を選定																					
BHR																							
LPSC	内包本は復水であり、防食剤を含まず、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）。																						
HPCS																							
RCIC																							
肉厚測定対象系統	系統概要	肉厚測定箇所																					
水消火系	内包本はろ過水であり、溶存酸素濃度が高く、定常的な流れがない系統（系統試験時は流れあり）	想定破損を除外する範囲において、減肉が想定される箇所（配管エルボ部、ポンプ吐出など）を想定																					

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)  
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

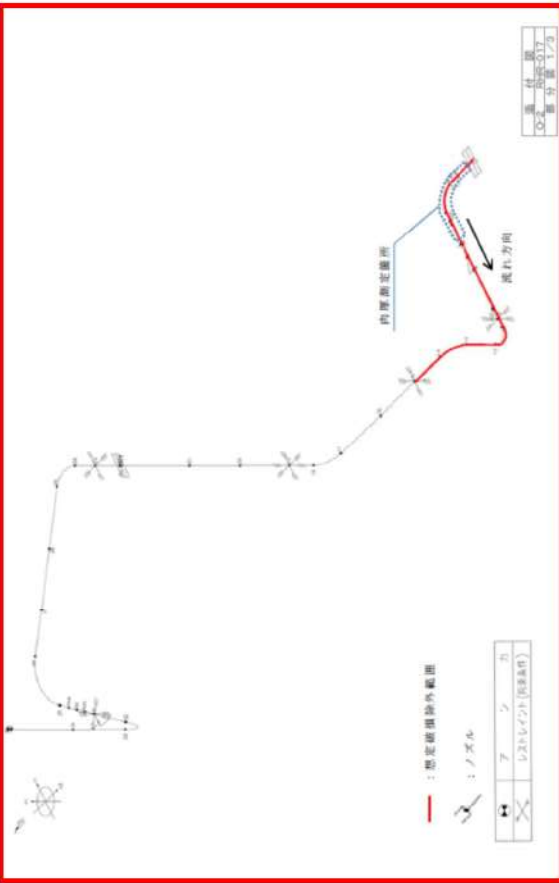
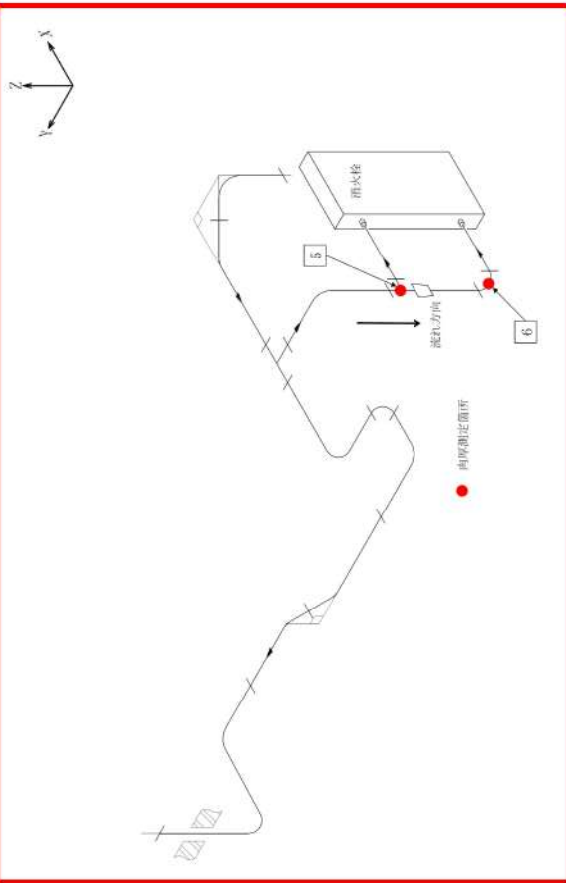
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="862 1061 1097 1093">図1 肉厚測定箇所 (HNCW)</p>	 <p data-bbox="1400 1061 1736 1093">図1 肉厚測定箇所 (水消火系) (1/5)</p>	<p data-bbox="1877 183 1937 207">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 2004 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 303">プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1877 1029 1937 1053">【女川】</p> <p data-bbox="1877 1061 2004 1085">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1877 1093 2128 1228">女川では別々の系統を載せているので図 1~6 までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)~(5/5)とした。</p>



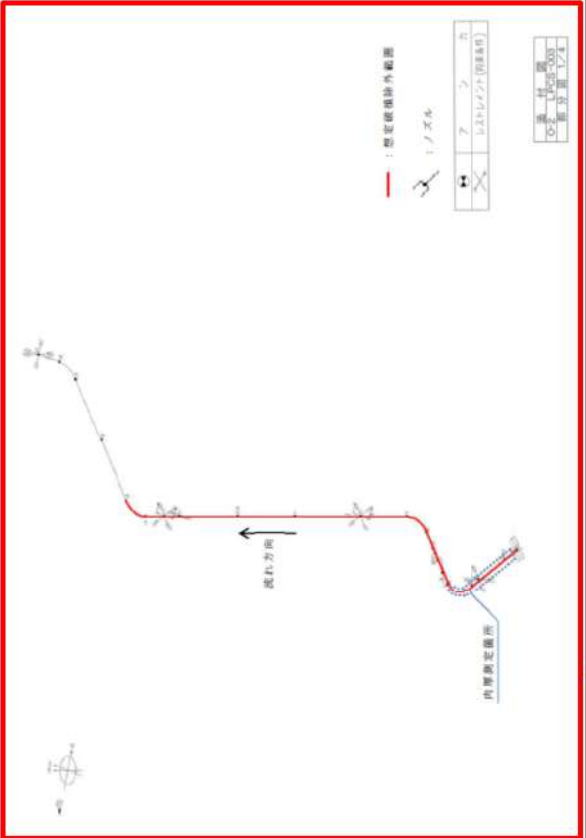
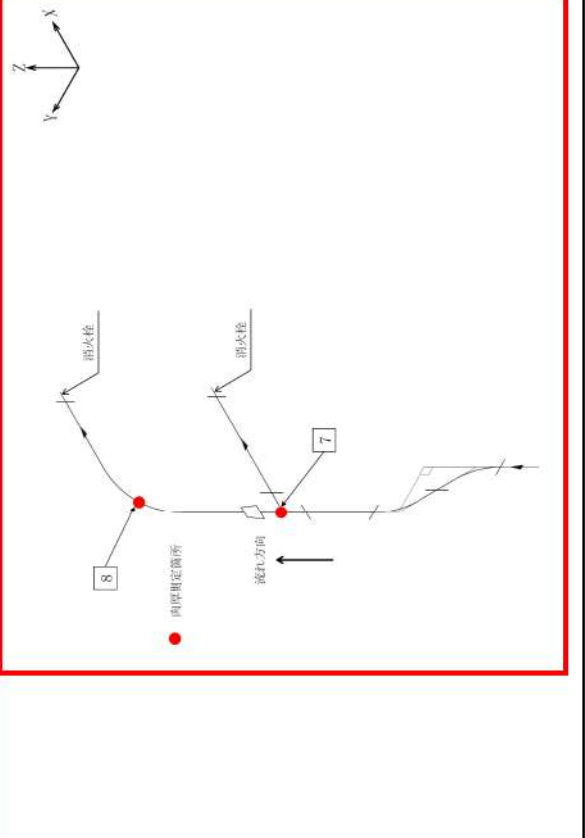
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="824 1029 1131 1061">図2 肉厚測定箇所 (RHR(A), (B))</p>	 <p data-bbox="1400 1029 1736 1061">図1 肉厚測定箇所 (水消火系) (2/5)</p>	<p data-bbox="1877 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 2004 236">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 303">プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1877 1034 1937 1054">【女川】</p> <p data-bbox="1877 1070 2004 1091">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1877 1102 2128 1225">女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

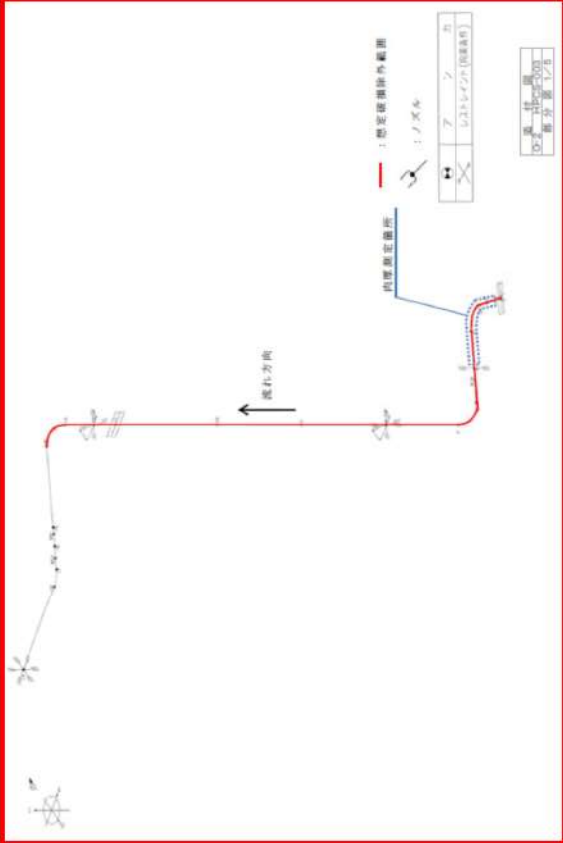
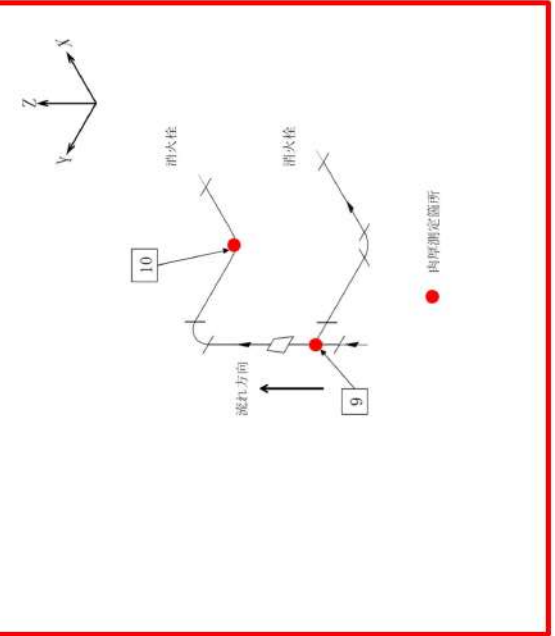
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="855 1200 1106 1225">図3 肉厚測定箇所 (RHR(C))</p>	 <p data-bbox="1402 1200 1733 1225">図1 肉厚測定箇所 (水消火系) (3/5)</p>	<p data-bbox="1872 178 2134 306">【女川】 設計方針の相違 プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1872 1200 2134 1391">【女川】 記載表現の相違 女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

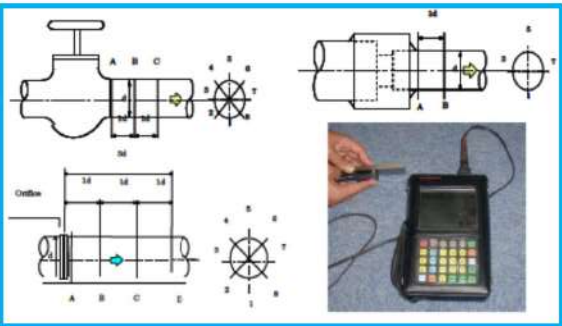
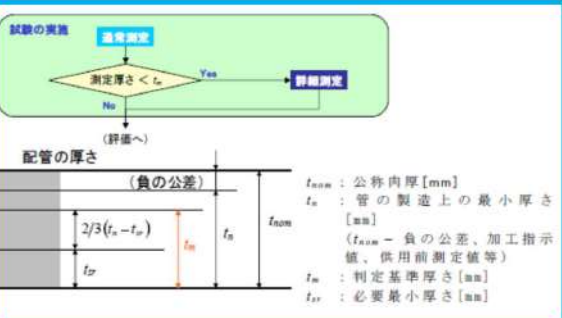
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="862 1061 1097 1093">図4 肉厚測定箇所 (LPCS)</p>	 <p data-bbox="1400 1061 1736 1093">図1 肉厚測定箇所 (水消火系) (4/5)</p>	<p data-bbox="1874 183 1937 207">【女川】</p> <p data-bbox="1874 215 2136 311">設計方針の相違 プラント設計による対象システムの相違</p> <p data-bbox="1874 1061 1937 1085">【女川】</p> <p data-bbox="1874 1093 2136 1268">記載表現の相違 女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

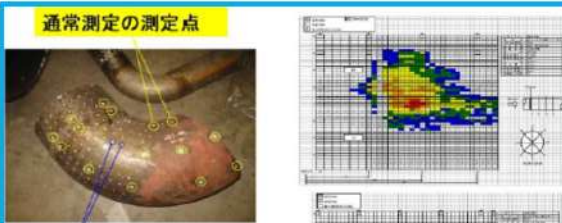

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="862 1061 1097 1085">図5 肉厚測定箇所 (HPCS)</p>	 <p data-bbox="1400 1061 1736 1085">図1 肉厚測定箇所 (水消火系) (5/5)</p>	<p data-bbox="1874 183 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1874 215 1993 231">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2110 295">プラント設計による対象系統の相違</p> <p data-bbox="1874 1061 1937 1077">【女川】</p> <p data-bbox="1874 1093 1993 1109">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1874 1125 2110 1252">女川では別々の系統を載せているので図1～6までの図番を記載しているが、泊では同じ系統を載せているので(1/5)～(5/5)とした。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 肉厚測定</p> <p>(1) 通常測定</p> <p>図6に示すように、定点における肉厚を、UT測定器を用いて、有資格者が測定を実施している。</p>  <p>図6 通常測定の測定部位の例と測定器</p> <p>(2) 詳細測定</p> <p>図7に示すように測定厚さが <math>t_m</math> より小さい場合は、詳細測定（図8）を実施する。</p>  <p>図7 肉厚測定フロー</p>			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p><b>通常測定の測定点</b></p>  <p><b>詳細測定の測定点 (約20mmピッチ)</b></p> 			<p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      女川審査実績の反映</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>図8 詳細測定の方法</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>3. 肉厚測定検査の確認結果</p> <p>(1)高エネルギー配管</p> <p>高エネルギー配管のうち、応力評価を行い破損形状が貫通クラックとしている補助蒸気配管（許容応力は0.8Sa）については、JSME規格の対象外であるが、過去より配管の対策材への取替や、未対策材化部位の定期事業者検査における非破壊検査（肉厚測定）を実施し、減肉量を直接的かつ定期的に把握している。結果を表1に示すとおり、次回点検までの時間は十分ある。</p>	<p>3. 評価結果</p> <p>想定破損除外する箇所の肉厚測定結果を表2に示す。</p>	<p>3. 評価結果</p> <p>想定破損除外する箇所の肉厚測定結果を表3に示す。なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p>	<p>【女川】  <a href="#">記載表現の相違</a></p> <p>【女川・大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      配管の余寿命評価に必要な対象系統の応力評価結果は詳細設計段階で正式な評価結果を示す方針としているため、肉厚測定結果についても詳細設計段階で提示することを記載している。  <a href="#">記載表現の相違</a></p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
<p>表1 補助蒸気配管の定期事業者検査（非破壊検査）実績(例)</p>	<p>表2 肉厚測定結果</p>	<p>表3 肉厚測定結果（水消火系）</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>プラント</th> <th>名称</th> <th>測定箇所</th> <th>口径</th> <th>公称肉厚<sup>※1</sup></th> <th>次回点検までの期間</th> <th>定検回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大阪3号炉</td><td>格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管</td><td>直管</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>34.1年</td><td>#11,12,14</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>33.1年</td><td>#11,12,14</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>35.7年</td><td>#11,13,14</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>26.7年</td><td>#11,13,14</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管</td><td>直管</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>37.4年</td><td>#11,13,14</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>25.9年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>20.9年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>24.2年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>22.4年</td><td>#11,14</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管</td><td>エルボ</td><td>38</td><td>5.5mm</td><td>21.8年</td><td>#11,14</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 測定結果は5.0～5.9mm                  ※2 発生応力が0.8Saを上回る最小厚さに至るまでの期間またはJSME S NG1-2006の必要最小厚さtarを下回るまでの期間のいずれか短い期間</p>	プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回点検までの期間	定検回数	大阪3号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	34.1年	#11,12,14	大阪3号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	33.1年	#11,12,14	大阪3号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	35.7年	#11,13,14	大阪3号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	26.7年	#11,13,14	大阪3号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	37.4年	#11,13,14	大阪4号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	25.9年	#11,14	大阪4号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	20.9年	#11,14	大阪4号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	24.2年	#11,14	大阪4号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	22.4年	#11,14	大阪4号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	21.8年	#11,14	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">管理番号 (7/7番号)</th> <th rowspan="2">公称肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">製造上の最小肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">必要最低肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">測定最小肉厚 (mm)</th> <th colspan="2">減肉率</th> <th rowspan="2">余寿命 (年)</th> <th rowspan="2">結果 ※3</th> </tr> <tr> <th>減肉率 (mm/h)</th> <th>算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>HNCW-P41-1</td><td>5.5</td><td>4.81</td><td>2.4</td><td>5.2</td><td>1.77×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>※2</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-2-1</td><td>11.1</td><td>9.71</td><td>6.34</td><td>11.0</td><td>5.90×10<sup>-7</sup></td><td>※1</td><td>※2</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-6-1</td><td>11.1</td><td>9.71</td><td>6.34</td><td>10.9</td><td>1.18×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>※2</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-6-2</td><td>10.3</td><td>9.01</td><td>5.68</td><td>11.3</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>良</td></tr> <tr><td>RHR-6-2</td><td>10.3</td><td>9.01</td><td>5.68</td><td>9.9</td><td>2.36×10<sup>-5</sup></td><td>※1</td><td>※2</td><td>良</td></tr> <tr><td>LPCS-2-1</td><td>17.4</td><td>15.22</td><td>6.71</td><td>15.5</td><td>1.12×10<sup>-3</sup></td><td>※1</td><td>89.5</td><td>良</td></tr> <tr><td>HPCS-2-1</td><td>25.4</td><td>22.22</td><td>16.01</td><td>22.2</td><td>1.89×10<sup>-3</sup></td><td>※1</td><td>37.4</td><td>良</td></tr> <tr><td>RCIC-2-1</td><td>13.5</td><td>11.81</td><td>6.25</td><td>12.2</td><td>7.67×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>88.6</td><td>良</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 公称肉厚データと今回測定データにより算出する方法。                  ※2 残時間100万時間以上                  ※3 判定基準：配管の測定最小肉厚が必要以上確保されていること及び余寿命が1サイクル（1.2年）以上であること。（出典：「発電用原子力設備規格沸騰水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006年版）JSME S NH1-2006（以下JSME規格）」の「CA-5000評価」による）</p>	管理番号 (7/7番号)	公称肉厚 (mm)	製造上の最小肉厚 (mm)	必要最低肉厚 (mm)	測定最小肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果 ※3	減肉率 (mm/h)	算出方法	HNCW-P41-1	5.5	4.81	2.4	5.2	1.77×10 <sup>-4</sup>	※1	※2	良	RHR-2-1	11.1	9.71	6.34	11.0	5.90×10 <sup>-7</sup>	※1	※2	良	RHR-6-1	11.1	9.71	6.34	10.9	1.18×10 <sup>-4</sup>	※1	※2	良	RHR-6-2	10.3	9.01	5.68	11.3	-	-	-	良	RHR-6-2	10.3	9.01	5.68	9.9	2.36×10 <sup>-5</sup>	※1	※2	良	LPCS-2-1	17.4	15.22	6.71	15.5	1.12×10 <sup>-3</sup>	※1	89.5	良	HPCS-2-1	25.4	22.22	16.01	22.2	1.89×10 <sup>-3</sup>	※1	37.4	良	RCIC-2-1	13.5	11.81	6.25	12.2	7.67×10 <sup>-4</sup>	※1	88.6	良	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">管理番号</th> <th rowspan="2">公称肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">製造上の最小肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">必要最低肉厚 (mm)</th> <th rowspan="2">測定最小肉厚 (mm)</th> <th colspan="2">減肉率</th> <th rowspan="2">余寿命 (年)</th> <th rowspan="2">結果 ※3</th> </tr> <tr> <th>減肉率 (mm/h)</th> <th>算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>7.0</td><td>6.3</td><td>4.0</td><td>6.5</td><td>0.26×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>11.0</td><td>良</td></tr> <tr><td>2</td><td>7.0</td><td>6.3</td><td>4.0</td><td>6.5</td><td>0.26×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>11.0</td><td>良</td></tr> <tr><td rowspan="2">3</td><td>7.0</td><td>6.3</td><td>4.0</td><td>6.5</td><td>0.26×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>11.0</td><td>良</td></tr> <tr><td>5.2</td><td>5.0</td><td>2.2</td><td>5.1</td><td>0.05×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>63.8</td><td>良</td></tr> <tr><td rowspan="2">4</td><td>3.7</td><td>3.3</td><td>2.2</td><td>3.6</td><td>0.05×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>30.8</td><td>良</td></tr> <tr><td>6.0</td><td>5.4</td><td>3.6</td><td>5.9</td><td>0.05×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>50.6</td><td>良</td></tr> <tr><td rowspan="2">5</td><td>6.0</td><td>5.2</td><td>3.4</td><td>5.7</td><td>0.16×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>16.8</td><td>良</td></tr> <tr><td>3.7</td><td>3.3</td><td>2.2</td><td>3.5</td><td>0.10×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>14.3</td><td>良</td></tr> <tr><td rowspan="2">6</td><td>5.2</td><td>4.6</td><td>2.7</td><td>5.2</td><td>0</td><td>※1</td><td>999.9</td><td>良</td></tr> <tr><td>5.2</td><td>4.6</td><td>2.7</td><td>5.2</td><td>0</td><td>※1</td><td>999.9</td><td>良</td></tr> <tr><td rowspan="2">7</td><td>6.0</td><td>5.2</td><td>3.4</td><td>6.7</td><td>0</td><td>※1</td><td>999.9</td><td>良</td></tr> <tr><td>5.2</td><td>4.6</td><td>2.7</td><td>5.2</td><td>0</td><td>※1</td><td>999.9</td><td>良</td></tr> <tr><td rowspan="2">8</td><td>3.7</td><td>3.3</td><td>2.2</td><td>3.7</td><td>0</td><td>※1</td><td>999.9</td><td>良</td></tr> <tr><td>3.7</td><td>2.9</td><td>2.2</td><td>3.4</td><td>0.16×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>8.8</td><td>良</td></tr> <tr><td rowspan="2">9</td><td>6.0</td><td>5.2</td><td>3.4</td><td>6.7</td><td>0</td><td>※1</td><td>999.9</td><td>良</td></tr> <tr><td>5.2</td><td>4.6</td><td>2.7</td><td>5.0</td><td>0.10×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>23.3</td><td>良</td></tr> <tr><td rowspan="2">10</td><td>3.7</td><td>3.3</td><td>2.2</td><td>3.7</td><td>0</td><td>※1</td><td>999.9</td><td>良</td></tr> <tr><td>3.7</td><td>2.9</td><td>2.2</td><td>3.5</td><td>0.10×10<sup>-4</sup></td><td>※1</td><td>14.3</td><td>良</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 公称肉厚データと今回測定データにより算出する方法                  ※2 余寿命が1000年以上となる場合も余寿命999.9年と表示する                  ※3 判定基準：配管の測定最小肉厚が必要以上確保されていることおよび余寿命が1サイクル（1.2年）以上であること。（出典：「発電用原子力設備規格 加圧水型原子力発電所配管減肉管理に関する技術規格（2006年版）JSME S NG1-2006」の「CA-3300評価」による）</p>	管理番号	公称肉厚 (mm)	製造上の最小肉厚 (mm)	必要最低肉厚 (mm)	測定最小肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果 ※3	減肉率 (mm/h)	算出方法	1	7.0	6.3	4.0	6.5	0.26×10 <sup>-4</sup>	※1	11.0	良	2	7.0	6.3	4.0	6.5	0.26×10 <sup>-4</sup>	※1	11.0	良	3	7.0	6.3	4.0	6.5	0.26×10 <sup>-4</sup>	※1	11.0	良	5.2	5.0	2.2	5.1	0.05×10 <sup>-4</sup>	※1	63.8	良	4	3.7	3.3	2.2	3.6	0.05×10 <sup>-4</sup>	※1	30.8	良	6.0	5.4	3.6	5.9	0.05×10 <sup>-4</sup>	※1	50.6	良	5	6.0	5.2	3.4	5.7	0.16×10 <sup>-4</sup>	※1	16.8	良	3.7	3.3	2.2	3.5	0.10×10 <sup>-4</sup>	※1	14.3	良	6	5.2	4.6	2.7	5.2	0	※1	999.9	良	5.2	4.6	2.7	5.2	0	※1	999.9	良	7	6.0	5.2	3.4	6.7	0	※1	999.9	良	5.2	4.6	2.7	5.2	0	※1	999.9	良	8	3.7	3.3	2.2	3.7	0	※1	999.9	良	3.7	2.9	2.2	3.4	0.16×10 <sup>-4</sup>	※1	8.8	良	9	6.0	5.2	3.4	6.7	0	※1	999.9	良	5.2	4.6	2.7	5.0	0.10×10 <sup>-4</sup>	※1	23.3	良	10	3.7	3.3	2.2	3.7	0	※1	999.9	良	3.7	2.9	2.2	3.5	0.10×10 <sup>-4</sup>	※1	14.3	良	
プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回点検までの期間	定検回数																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
大阪3号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	34.1年	#11,12,14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
大阪3号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	33.1年	#11,12,14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
大阪3号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	35.7年	#11,13,14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
大阪3号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	26.7年	#11,13,14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
大阪3号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	直管	38	5.5mm	37.4年	#11,13,14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
大阪4号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	25.9年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
大阪4号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	20.9年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
大阪4号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	24.2年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
大阪4号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	22.4年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
大阪4号炉	格納容器給水ユニット再動コイル加熱蒸気管	エルボ	38	5.5mm	21.8年	#11,14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
管理番号 (7/7番号)	公称肉厚 (mm)	製造上の最小肉厚 (mm)	必要最低肉厚 (mm)	測定最小肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果 ※3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					減肉率 (mm/h)	算出方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
HNCW-P41-1	5.5	4.81	2.4	5.2	1.77×10 <sup>-4</sup>	※1	※2	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
RHR-2-1	11.1	9.71	6.34	11.0	5.90×10 <sup>-7</sup>	※1	※2	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
RHR-6-1	11.1	9.71	6.34	10.9	1.18×10 <sup>-4</sup>	※1	※2	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
RHR-6-2	10.3	9.01	5.68	11.3	-	-	-	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
RHR-6-2	10.3	9.01	5.68	9.9	2.36×10 <sup>-5</sup>	※1	※2	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
LPCS-2-1	17.4	15.22	6.71	15.5	1.12×10 <sup>-3</sup>	※1	89.5	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
HPCS-2-1	25.4	22.22	16.01	22.2	1.89×10 <sup>-3</sup>	※1	37.4	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
RCIC-2-1	13.5	11.81	6.25	12.2	7.67×10 <sup>-4</sup>	※1	88.6	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
管理番号	公称肉厚 (mm)	製造上の最小肉厚 (mm)	必要最低肉厚 (mm)	測定最小肉厚 (mm)	減肉率		余寿命 (年)	結果 ※3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					減肉率 (mm/h)	算出方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
1	7.0	6.3	4.0	6.5	0.26×10 <sup>-4</sup>	※1	11.0	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
2	7.0	6.3	4.0	6.5	0.26×10 <sup>-4</sup>	※1	11.0	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
3	7.0	6.3	4.0	6.5	0.26×10 <sup>-4</sup>	※1	11.0	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	5.2	5.0	2.2	5.1	0.05×10 <sup>-4</sup>	※1	63.8	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
4	3.7	3.3	2.2	3.6	0.05×10 <sup>-4</sup>	※1	30.8	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	6.0	5.4	3.6	5.9	0.05×10 <sup>-4</sup>	※1	50.6	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5	6.0	5.2	3.4	5.7	0.16×10 <sup>-4</sup>	※1	16.8	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	3.7	3.3	2.2	3.5	0.10×10 <sup>-4</sup>	※1	14.3	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
6	5.2	4.6	2.7	5.2	0	※1	999.9	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	5.2	4.6	2.7	5.2	0	※1	999.9	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
7	6.0	5.2	3.4	6.7	0	※1	999.9	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	5.2	4.6	2.7	5.2	0	※1	999.9	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
8	3.7	3.3	2.2	3.7	0	※1	999.9	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	3.7	2.9	2.2	3.4	0.16×10 <sup>-4</sup>	※1	8.8	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
9	6.0	5.2	3.4	6.7	0	※1	999.9	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	5.2	4.6	2.7	5.0	0.10×10 <sup>-4</sup>	※1	23.3	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
10	3.7	3.3	2.2	3.7	0	※1	999.9	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	3.7	2.9	2.2	3.5	0.10×10 <sup>-4</sup>	※1	14.3	良																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料15）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																														
<p>(2)低エネルギー配管</p> <p>低エネルギー配管（破損なし：応力の上限は0.4Sa）のうち、炭素鋼配管は内部流体による全面腐食の可能性が考えられるが、低温域においては、酸素飽和の条件においてもその腐食量は軽微である。また、補助給水系統他について非破壊検査による肉厚測定を実施しており、腐食量を直接的に把握している。結果を表2、3に示すとおり、次回点検までの時間は十分ある。</p> <p>表2 大阪3号炉 低エネルギー配管の非破壊検査実績（例）</p> <table border="1" data-bbox="109 491 687 670"> <thead> <tr> <th>プラント</th> <th>名称</th> <th>測定箇所</th> <th>口径</th> <th>公称肉厚<sup>※1</sup></th> <th>次回定検までの期間<sup>※2</sup></th> <th>定検回次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大阪3号炉</td><td>補助給水配管ポンプ出口配管</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.6mm</td><td>50.7年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>補助給水流量オリフィス下流配管</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.6mm</td><td>50.7年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.1mm</td><td>63.1年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>80.3年</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>冷水系</td><td>直管</td><td>6B</td><td>7.1mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>冷水系</td><td>エルボ</td><td>4B</td><td>6.0mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> <tr><td>大阪3号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>エルボ</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#16</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 測定結果は5.1～7.2mm                  ※2 発生応力が0.4Saを上回る最小厚さに至るまでの期間またはJSME S NG1-2006の必要最小厚さtarを下回るまでの期間のいずれか短い期間</p> <p>表3 大阪4号炉 低エネルギー配管の非破壊検査実績（例）</p> <table border="1" data-bbox="109 871 687 1050"> <thead> <tr> <th>プラント</th> <th>名称</th> <th>測定箇所</th> <th>口径</th> <th>公称肉厚<sup>※1</sup></th> <th>次回定検までの期間<sup>※2</sup></th> <th>定検回次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大阪4号炉</td><td>補助給水配管ポンプ出口配管</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.6mm</td><td>38.0年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>補助給水流量オリフィス下流配管</td><td>直管</td><td>3B</td><td>7.6mm</td><td>74.2年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>80.3年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>消火水系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>88.7年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>冷水系</td><td>直管</td><td>6B</td><td>7.1mm</td><td>77.0年</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>冷水系</td><td>エルボ</td><td>4B</td><td>7.1mm</td><td>100年以上</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>直管</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#15</td></tr> <tr><td>大阪4号炉</td><td>原子炉補機冷却系</td><td>エルボ</td><td>3B</td><td>5.5mm</td><td>100年以上</td><td>#15</td></tr> </tbody> </table> <p>※3 測定結果は5.1～7.3mm                  ※4 発生応力が0.4Saを上回る最小厚さに至るまでの期間またはJSME S NG1-2006の必要最小厚さtarを下回るまでの期間のいずれか短い期間</p>	プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次	大阪3号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	3B	7.6mm	50.7年	#16	大阪3号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	3B	7.6mm	50.7年	#16	大阪3号炉	消火水系	直管	3B	7.1mm	63.1年	#16	大阪3号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	80.3年	#16	大阪3号炉	冷水系	直管	6B	7.1mm	100年以上	#16	大阪3号炉	冷水系	エルボ	4B	6.0mm	100年以上	#16	大阪3号炉	原子炉補機冷却系	直管	3B	5.5mm	100年以上	#16	大阪3号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	3B	5.5mm	100年以上	#16	プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次	大阪4号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	3B	7.6mm	38.0年	#15	大阪4号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	3B	7.6mm	74.2年	#15	大阪4号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	80.3年	#15	大阪4号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	88.7年	#15	大阪4号炉	冷水系	直管	6B	7.1mm	77.0年	#15	大阪4号炉	冷水系	エルボ	4B	7.1mm	100年以上	#15	大阪4号炉	原子炉補機冷却系	直管	3B	5.5mm	100年以上	#15	大阪4号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	3B	5.5mm	100年以上	#15			<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>
プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次																																																																																																																											
大阪3号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	3B	7.6mm	50.7年	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	3B	7.6mm	50.7年	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	消火水系	直管	3B	7.1mm	63.1年	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	80.3年	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	冷水系	直管	6B	7.1mm	100年以上	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	冷水系	エルボ	4B	6.0mm	100年以上	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	原子炉補機冷却系	直管	3B	5.5mm	100年以上	#16																																																																																																																											
大阪3号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	3B	5.5mm	100年以上	#16																																																																																																																											
プラント	名称	測定箇所	口径	公称肉厚 <sup>※1</sup>	次回定検までの期間 <sup>※2</sup>	定検回次																																																																																																																											
大阪4号炉	補助給水配管ポンプ出口配管	直管	3B	7.6mm	38.0年	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	補助給水流量オリフィス下流配管	直管	3B	7.6mm	74.2年	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	80.3年	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	消火水系	直管	3B	5.5mm	88.7年	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	冷水系	直管	6B	7.1mm	77.0年	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	冷水系	エルボ	4B	7.1mm	100年以上	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	原子炉補機冷却系	直管	3B	5.5mm	100年以上	#15																																																																																																																											
大阪4号炉	原子炉補機冷却系	エルボ	3B	5.5mm	100年以上	#15																																																																																																																											



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料 17</p> <p>系統別溢水量算出結果</p> <p>各建屋・エリアの系統別溢水量算出結果を表1～9に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 16</p> <p>系統別溢水量算出結果</p> <p>各建屋の系統別溢水量算出結果を表1～11に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川は「海水ポンプ室及び復水貯蔵タンクエリア」、「軽油タンクエリア」があり、泊ではエリアとして記載している箇所はないため左記の記載とする。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
表2 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（化学体積制御系）その2		表2 制御建屋 系統別溢水量					表2 原子炉補助建屋 系統別溢水量					<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違。</p> <p>・女川では、「<u>手動隔離を期待</u>（他系統との接続補給ラインあり）」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくても、<u>手動隔離を期待</u>した隔離時間にて系統漏えい量を算出していることから、「<u>手動隔離を期待</u>」のみとした。</p> <p>・また、中央制御室での手動隔離に期待している系統について、「○（中央制御室内での手動隔離）」と記載した。</p> <p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>
<p>① 漏えい量</p> <p>漏えい量 31.5m<sup>3</sup></p> <p>充てんポンプのランナウト流量 56.8m<sup>3</sup>/h                  12分/60分×56.8m<sup>3</sup>/h = 11.4m<sup>3</sup>                  配管保有水量 20.4m<sup>3</sup>                  11.4m<sup>3</sup>+20.4m<sup>3</sup>=31.8m<sup>3</sup></p>	<p>② 合計時間 (①+②×③)</p> <p>13分</p>	<p>③ 漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</p> <p>中央制御室において、充てんポンプ流量制御弁を遠隔手動閉止1分                  又は、充てんポンプ1台を遠隔手動閉止2分                  （操作1分、停止1分、合わせて2分）</p>	<p>④ 事故の相違及び漏えい箇所の特定</p> <p>以下のパラメータから充てん配管からの漏えいと同時10分                  WLT 水位、充てん流量、原子炉周辺建屋サンプリング水位、RCS 測定値(0-21A)相当</p>	<p>⑤ 異常の検知</p> <p>&lt;システム検知&gt;                  配管破損により、充てん流量が上昇し、充てん流量高警報が発信0.5分                  (通常の充てん流量 25m<sup>3</sup>/h に対して高警報 28m<sup>3</sup>/h であるため、速やかに警報が発信する)                  &lt;システム検知&gt;                  配管破損により、充てん流量が低下し、充てん流量低警報が発信0.5分                  (通常の充てん流量 25m<sup>3</sup>/h に対して低警報 8m<sup>3</sup>/h であるため、速やかに警報が発信する)                  &lt;サンプリング検知&gt;                  配管破損により床下ドレン系を經由して原子炉周辺建屋サンプリング(10m<sup>3</sup>)に侵入                  サンプリング水位(20%±1.5%)からポンプ起動水位(90%±1.5%)まで水位が上昇し、その後ポンプによる排水を伴ってサンプリング水位高警報水位(95%±1.5%)まで水位が上昇し、サンプリング水位高警報が発信                  10m<sup>3</sup>×(91.5%-15.5%)/100%+13.6m<sup>3</sup>/h×60分/h+10m<sup>3</sup>×(96.5%-88.5%)/100%+(13.6m<sup>3</sup>/h-11.4m<sup>3</sup>/h)×60分/h=54.1=55分</p>	<p>⑥ 想定範囲</p> <p>充てん配管(真通部～流路計)</p> <p>充てん配管(流量計～充てんポンプ)</p> <p>充てん配管(ミニマムフローライン)</p>	<p>対象系統</p> <p>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</p> <p>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</p> <p>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W(W1+W2)</p> <p>手動隔離を期待(他系統との接続補給ラインあり)</p>	<p>P11 MWP 11 30 41 ○</p> <p>P24 HXCV 22 8 30 ○</p> <p>P25 HECW 33 8 41 ○</p> <p>P62 HS/HSCP 11 0 11 -</p> <p>P64 HWI 22 32 54 ○</p> <p>U43 FP 180 27 207 ○</p> <p>U63 MSC 22 0 22 -</p> <p>- 所内用水 55 13 68 ○</p>	<p>対象系統</p> <p>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</p> <p>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</p> <p>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W(W1+W2)</p> <p>手動隔離を期待</p>	<p>化学体積制御系(充てん配管)</p> <p>5.6 32 37.6 ○(中央制御室内での手動隔離)</p> <p>化学体積制御系(抽出配管)</p> <p>11.9 8.6 20.5 ○(中央制御室内での手動隔離)</p> <p>補助蒸気系</p> <p>1 2.7 3.7 - (自動隔離)</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																										
表3 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（化学体積制御系）その3		表3 海水ポンプ室及び復水貯蔵タンクエリア 系統別溢水量		表3 循環水ポンプ建屋 系統別溢水量		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違。</p> <p>・女川では、「<u>手動隔離を期待</u>（他系統との接続補給ラインあり）」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくとも、手動隔離に期待した隔離時間にて系統漏えい量を算出していることから、「<u>手動隔離を期待</u>」のみとした。</p>																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     抽配管/非再生冷却器入口                      (貫通部～非再生冷却器)                 </td> <td>                     &lt;システム検知&gt;                      配管破損によりVCT(11.3m)の保有水が減少しVCT水位が低下する。VCT水位高警報(56%±1.5%)から原子炉補給開始水位(24%±1.5%)まで水位が低下し原子炉補給水開始音が受信  <math>11.3\text{m} \times (56.5\% - 22.5\%) / 100\% \div 32.0\text{m}^3/\text{h} \times 60\text{分} = 7.2\text{分}</math> </td> <td>                     以下のパラメータからの漏えい判断                      温度センサー高警報、充てんポンプトリップ、加圧器水位、VCT水位、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS測定値(B-21A/B)、漏水注意等                 </td> <td>                     中央制御室において、抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁を遠隔手動閉止                      1分                 </td> <td>19分</td> <td>                     漏えい量21.0m<sup>3</sup>                      オリフィスによる制限流量32.0m<sup>3</sup>/h  <math>19\text{分} / 60\text{分} \times 32.0\text{m}^3/\text{h} = 10.2\text{m}^3</math>                      配管保有水量10.8m<sup>3</sup>  <math>10.2\text{m}^3 + 10.8\text{m}^3 = 21.0\text{m}^3</math> </td> </tr> </tbody> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)		漏えい量	抽配管/非再生冷却器入口 (貫通部～非再生冷却器)	<システム検知> 配管破損によりVCT(11.3m)の保有水が減少しVCT水位が低下する。VCT水位高警報(56%±1.5%)から原子炉補給開始水位(24%±1.5%)まで水位が低下し原子炉補給水開始音が受信 $11.3\text{m} \times (56.5\% - 22.5\%) / 100\% \div 32.0\text{m}^3/\text{h} \times 60\text{分} = 7.2\text{分}$	以下のパラメータからの漏えい判断 温度センサー高警報、充てんポンプトリップ、加圧器水位、VCT水位、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS測定値(B-21A/B)、漏水注意等	中央制御室において、抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁を遠隔手動閉止 1分	19分	漏えい量21.0m <sup>3</sup> オリフィスによる制限流量32.0m <sup>3</sup> /h $19\text{分} / 60\text{分} \times 32.0\text{m}^3/\text{h} = 10.2\text{m}^3$ 配管保有水量10.8m <sup>3</sup> $10.2\text{m}^3 + 10.8\text{m}^3 = 21.0\text{m}^3$	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>N71</td> <td>660</td> <td>1,394</td> <td>2,054</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P14</td> <td>11</td> <td>77</td> <td>88</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P43</td> <td>11</td> <td>19</td> <td>30</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P45</td> <td>55</td> <td>146</td> <td>201</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P46</td> <td>33</td> <td>222</td> <td>255</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P48</td> <td>11</td> <td>40</td> <td>51</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P13</td> <td>33</td> <td>120</td> <td>153</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)	N71	660	1,394	2,054	○	P14	11	77	88	○	P43	11	19	30	○	P45	55	146	201	○	P46	33	222	255	○	P48	11	40	51	○	P13	33	120	153	○	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>循環水系</td> <td>1420</td> <td>1600</td> <td>3020</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待	循環水系	1420	1600	3020
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量																																																											
抽配管/非再生冷却器入口 (貫通部～非再生冷却器)	<システム検知> 配管破損によりVCT(11.3m)の保有水が減少しVCT水位が低下する。VCT水位高警報(56%±1.5%)から原子炉補給開始水位(24%±1.5%)まで水位が低下し原子炉補給水開始音が受信 $11.3\text{m} \times (56.5\% - 22.5\%) / 100\% \div 32.0\text{m}^3/\text{h} \times 60\text{分} = 7.2\text{分}$	以下のパラメータからの漏えい判断 温度センサー高警報、充てんポンプトリップ、加圧器水位、VCT水位、原子炉周辺建屋サンプ水位、RMS測定値(B-21A/B)、漏水注意等	中央制御室において、抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁を遠隔手動閉止 1分	19分	漏えい量21.0m <sup>3</sup> オリフィスによる制限流量32.0m <sup>3</sup> /h $19\text{分} / 60\text{分} \times 32.0\text{m}^3/\text{h} = 10.2\text{m}^3$ 配管保有水量10.8m <sup>3</sup> $10.2\text{m}^3 + 10.8\text{m}^3 = 21.0\text{m}^3$																																																											
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)																																																												
N71	660	1,394	2,054	○																																																												
P14	11	77	88	○																																																												
P43	11	19	30	○																																																												
P45	55	146	201	○																																																												
P46	33	222	255	○																																																												
P48	11	40	51	○																																																												
P13	33	120	153	○																																																												
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待																																																												
循環水系	1420	1600	3020	○																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
表4 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（主蒸気系）				表4 タービン建屋 系統別溢水量		女川は補足説明資料11「タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について」にタービン建屋における想定破損の溢水量を掲載しているが、本資料においては記載がないため、比較対象なしとする。  <b>【大阪】</b> <a href="#">記載方針の相違</a> 大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出している。泊でも同様の算出を実施しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。
①漏えい箇所の漏れ等により漏えい停止 中央制御室において、電動補助給水ライン流調弁、タービン補助給水ライン流調弁を遠隔手動閉止する。 2分(1分/個)	②漏えい箇所の特定 以下のパラメータから漏れする蒸気発生器を特定 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力差、主蒸気・主給水配管差温度等	①異常の検知 <システム検知> 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報が発信 2秒 また、主蒸気ライン圧力低により、主給水閉弁が自動閉止 10秒	②事象の判別及び漏えい停止 中央制御室において、トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認。その後、電動補助給水ライン流調弁、タービン補助給水ライン流調弁を遠隔手動閉止する。 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップし、断器間+Tag低により主給水閉弁は自動閉止	対象系統 系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2 系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1 系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2) 手動隔離を期待	12分2秒 17分 17分	
主蒸気管 主蒸気速がし弁、主蒸気隔離弁、パイパス配管（主蒸気管分岐～隔離弁）、主蒸気ドレン配管（一般部）、タービン補助給水ポンプ駆動用蒸気配管（主蒸気管分岐～隔離弁～TE）	主蒸気速がし弁、主蒸気隔離弁、パイパス配管（主蒸気管分岐～隔離弁）、主蒸気ドレン配管（一般部）、タービン補助給水ポンプ駆動用蒸気配管（主蒸気管分岐～隔離弁～TE）	<システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	以下のパラメータから漏れする蒸気発生器を特定 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管差温度高警報等	126.98 0 126.98 5.71 0 6.71 10.436 0 10.436 3.65 0 0.65 2442.28 0 2442.28 77.434 1341.8 149.234 150.67 0 150.67 30.15 0 30.15 9.64 0 9.64 タービン主給水ポンプ油系 130.12 0 130.12 スチームコンバータ系 19.19 0 19.19 タービン グランド蒸気系 4 0 4 固定了冷却水供給装置 3.43 0 3.43 密封油処理装置 3.58 0 0.58 0	126.98 0 126.98 5.71 0 6.71 10.436 0 10.436 3.65 0 0.65 2442.28 0 2442.28 77.434 1341.8 149.234 150.67 0 150.67 30.15 0 30.15 9.64 0 9.64 タービン主給水ポンプ油系 130.12 0 130.12 スチームコンバータ系 19.19 0 19.19 タービン グランド蒸気系 4 0 4 固定了冷却水供給装置 3.43 0 3.43 密封油処理装置 3.58 0 0.58 0	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																		
表5 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（主給水系） (1/2)				表5 出入管理建屋 系統別溢水量		<p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主給水管 (貫通部～ 逆止弁)</td> <td>&lt;システム検知&gt; 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報発信 8秒 また、主蒸気ライン圧力低(S+RT)により主給水制御弁自動閉止 15秒</td> <td>以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力低、主蒸気・主給水配管室温度等</td> <td>中央制御室において、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 2分(1分/個)</td> <td>12分8秒</td> <td>漏えい量175.5m<sup>3</sup> 主給水流量 2030m<sup>3</sup>/h 補助給水流量 430m<sup>3</sup>/h 15秒/3600秒×2030m<sup>3</sup>/h + 12分/60分×430m<sup>3</sup>/h = 94.5m<sup>3</sup> 配管保有水量 15m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m<sup>3</sup> 94.5+15+66=175.5m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>主給水管 (逆止弁～上流)</td> <td>&lt;システム検知&gt; SG 水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tavg 低による主給水制御弁の自動閉止 110秒</td> <td>自動隔離のため判断時間なし 0分</td> <td>自動隔離のため操作時間なし 0分</td> <td>110秒</td> <td>漏えい量77.1m<sup>3</sup> 主給水流量 2030m<sup>3</sup>/h 110秒/3600秒×2030m<sup>3</sup>/h = 62.1m<sup>3</sup> 配管保有水 15m<sup>3</sup> 62.1+15=77.1m<sup>3</sup></td> </tr> </tbody> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)		漏えい量	主給水管 (貫通部～ 逆止弁)	<システム検知> 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報発信 8秒 また、主蒸気ライン圧力低(S+RT)により主給水制御弁自動閉止 15秒	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力低、主蒸気・主給水配管室温度等	中央制御室において、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 2分(1分/個)	12分8秒	漏えい量175.5m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 補助給水流量 430m <sup>3</sup> /h 15秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h + 12分/60分×430m <sup>3</sup> /h = 94.5m <sup>3</sup> 配管保有水量 15m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 94.5+15+66=175.5m <sup>3</sup>	主給水管 (逆止弁～上流)	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tavg 低による主給水制御弁の自動閉止 110秒	自動隔離のため判断時間なし 0分	自動隔離のため操作時間なし 0分	110秒	漏えい量77.1m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 110秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h = 62.1m <sup>3</sup> 配管保有水 15m <sup>3</sup> 62.1+15=77.1m <sup>3</sup>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系</td> <td>W2</td> <td>W1</td> <td>W (=W1+W2)</td> <td>□</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系 (脱塩水)</td> <td>5.0</td> <td>242.4</td> <td>247.2</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>飲料水系</td> <td>17.0</td> <td>235.2</td> <td>252.2</td> <td>□</td> </tr> </tbody> </table>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待	水消火系	W2	W1	W (=W1+W2)	□	原子炉補給水系 (脱塩水)	5.0	242.4	247.2	○	飲料水系	17.0	235.2	252.2
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量																																			
主給水管 (貫通部～ 逆止弁)	<システム検知> 主蒸気ライン圧力低により中央制御室に警報発信 8秒 また、主蒸気ライン圧力低(S+RT)により主給水制御弁自動閉止 15秒	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気ライン圧力低、主蒸気・主給水配管室温度等	中央制御室において、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 2分(1分/個)	12分8秒	漏えい量175.5m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 補助給水流量 430m <sup>3</sup> /h 15秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h + 12分/60分×430m <sup>3</sup> /h = 94.5m <sup>3</sup> 配管保有水量 15m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 94.5+15+66=175.5m <sup>3</sup>																																			
主給水管 (逆止弁～上流)	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tavg 低による主給水制御弁の自動閉止 110秒	自動隔離のため判断時間なし 0分	自動隔離のため操作時間なし 0分	110秒	漏えい量77.1m <sup>3</sup> 主給水流量 2030m <sup>3</sup> /h 110秒/3600秒×2030m <sup>3</sup> /h = 62.1m <sup>3</sup> 配管保有水 15m <sup>3</sup> 62.1+15=77.1m <sup>3</sup>																																			
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待																																				
水消火系	W2	W1	W (=W1+W2)	□																																				
原子炉補給水系 (脱塩水)	5.0	242.4	247.2	○																																				
飲料水系	17.0	235.2	252.2	□																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由										
表5 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（主給水系） (2/2)				表6 電気建屋 系統別溢水量												
想定範囲 主給水バイパス 配管 (下流分岐～ 制御弁)	①異常の検知 <システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致 警報が中央制御室に発信 0分	②事象の判断及び 漏えい箇所の特定 以下のパラメータから 隔離する蒸気発生器を 特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏 差、主蒸気・主給水配管 室温度等	③漏えい箇所の隔離等 により漏えい停止 中央制御室において、 原子炉トリップ操作を 行いトリップ後の状況 を確認 5分 また、原子炉手動トリ ップ操作後約60秒で原 子炉トリップし、断器 開+Tavg 低により主給 水制御弁は自動閉止 60秒	合計時間 (①)+(②)+(③)  11分	漏えい量  漏えい量387.2m <sup>3</sup> 主給水流量2030m <sup>3</sup> /h 11分/60分×2030m <sup>3</sup> /h =372.2m <sup>3</sup> 配管保有水15m <sup>3</sup> 372.2m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> =387.2m <sup>3</sup>											
主給水バイパス 配管 (制御弁～ 上流分岐)	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 50秒 また、Tavg 低による主給水制御弁 の自動閉止 110秒	以下のパラメータから 隔離する蒸気発生器を 特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏 差、SG 水位低による原子 炉トリップ、主蒸気・主 給水配管室温度等	中央制御室において、 主給水ポンプ2台を遠 隔手動停止 7分 (操作2分(1分/台)、 停止5分、合わせて7 分)	17分50秒	漏えい量618.4m <sup>3</sup> 主給水流量2030m <sup>3</sup> /h 1070秒/3600秒× 2030m <sup>3</sup> /h=603.4m <sup>3</sup> 配管保有水15m <sup>3</sup> 603.4m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> =618.4m <sup>3</sup>											
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水消火系</td> <td>25.0</td> <td>40.0</td> <td>65.0</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>		対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待	水消火系	25.0	40.0	65.0	○	<p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待												
水消火系	25.0	40.0	65.0	○												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																												
<p>表6 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（蒸気発生器ブローダウン系）</p> <table border="1"> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～隔離弁）</td> <td>&lt;システム検知&gt; 主給水流速と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分</td> <td>以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管塞風度等</td> <td>中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認し、その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン駆動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/組)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしゃ断器間+Tag低により主給水制御弁は自動閉止 60秒</td> <td>17分</td> <td>漏えい量 247.5m<sup>3</sup> 限界流量 707m<sup>3</sup>/h (口径3B、SG圧力61.5kg/cm<sup>2</sup>より) 補助給水流量 430m<sup>3</sup>/h 11分* (60分×707m<sup>3</sup>/h + 7分/60分×430m<sup>3</sup>/h =179.5m<sup>3</sup>) 配管保有水量 2.0m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m<sup>3</sup> 179.5m<sup>3</sup>+2.0m<sup>3</sup>+66m<sup>3</sup>=247.5m<sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒) 漏えい量 23.6m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器ブローダウン配管（隔離弁～アングル弁）</td> <td>&lt;システム検知&gt; SG 水位低による原子炉トリップ 100秒 また、SG 水位低によるブローダウンライン格納容器隔離弁自動閉止 107秒</td> <td>自動隔離のため判断時間なし 0分</td> <td>自動隔離のため操作時間なし 0分</td> <td>107秒</td> <td>漏えい量 23.6m<sup>3</sup> 限界流量 707m<sup>3</sup>/h (口径3B、SG圧力61.5kg/cm<sup>2</sup>より) 107秒/3600秒×707m<sup>3</sup>/h =21.1m<sup>3</sup> 配管保有水量 2.5m<sup>3</sup> 21.1m<sup>3</sup>+2.5m<sup>3</sup>=23.6m<sup>3</sup></td> </tr> </table>		想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量	蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～隔離弁）	<システム検知> 主給水流速と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管塞風度等	中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認し、その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン駆動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/組)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしゃ断器間+Tag低により主給水制御弁は自動閉止 60秒	17分	漏えい量 247.5m <sup>3</sup> 限界流量 707m <sup>3</sup> /h (口径3B、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 補助給水流量 430m <sup>3</sup> /h 11分* (60分×707m <sup>3</sup> /h + 7分/60分×430m <sup>3</sup> /h =179.5m <sup>3</sup> ) 配管保有水量 2.0m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 179.5m <sup>3</sup> +2.0m <sup>3</sup> +66m <sup>3</sup> =247.5m <sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒) 漏えい量 23.6m <sup>3</sup>	蒸気発生器ブローダウン配管（隔離弁～アングル弁）	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 100秒 また、SG 水位低によるブローダウンライン格納容器隔離弁自動閉止 107秒	自動隔離のため判断時間なし 0分	自動隔離のため操作時間なし 0分	107秒	漏えい量 23.6m <sup>3</sup> 限界流量 707m <sup>3</sup> /h (口径3B、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 107秒/3600秒×707m <sup>3</sup> /h =21.1m <sup>3</sup> 配管保有水量 2.5m <sup>3</sup> 21.1m <sup>3</sup> +2.5m <sup>3</sup> =23.6m <sup>3</sup>	<p>表4 軽油タンクエアリヤ 系統別溢水量</p> <table border="1"> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>)</th> <th>手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)</th> </tr> <tr> <td>R43, R44</td> <td>DGDO</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>23</td> <td>○</td> </tr> </table>		対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)	R43, R44	DGDO	11	12	23	○	<p>相違理由</p> <p>【女川】  <a href="#">設計方針の相違</a>                      炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大阪】  <a href="#">記載方針の相違</a>                      大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>	
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量																													
蒸気発生器ブローダウン配管（貫通部～隔離弁）	<システム検知> 主給水流速と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管塞風度等	中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認し、その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン駆動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/組)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしゃ断器間+Tag低により主給水制御弁は自動閉止 60秒	17分	漏えい量 247.5m <sup>3</sup> 限界流量 707m <sup>3</sup> /h (口径3B、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 補助給水流量 430m <sup>3</sup> /h 11分* (60分×707m <sup>3</sup> /h + 7分/60分×430m <sup>3</sup> /h =179.5m <sup>3</sup> ) 配管保有水量 2.0m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量 66m <sup>3</sup> 179.5m <sup>3</sup> +2.0m <sup>3</sup> +66m <sup>3</sup> =247.5m <sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒) 漏えい量 23.6m <sup>3</sup>																													
蒸気発生器ブローダウン配管（隔離弁～アングル弁）	<システム検知> SG 水位低による原子炉トリップ 100秒 また、SG 水位低によるブローダウンライン格納容器隔離弁自動閉止 107秒	自動隔離のため判断時間なし 0分	自動隔離のため操作時間なし 0分	107秒	漏えい量 23.6m <sup>3</sup> 限界流量 707m <sup>3</sup> /h (口径3B、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 107秒/3600秒×707m <sup>3</sup> /h =21.1m <sup>3</sup> 配管保有水量 2.5m <sup>3</sup> 21.1m <sup>3</sup> +2.5m <sup>3</sup> =23.6m <sup>3</sup>																													
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> )	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> )	系統溢水量 (m <sup>3</sup> )	手動隔離を期待 (他系統との接続補給ラインあり)																														
R43, R44	DGDO	11	12	23	○																													



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>表7 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（補助給水系）</p> <table border="1" data-bbox="168 215 622 1388"> <thead> <tr> <th>想定範囲</th> <th>①異常の検知</th> <th>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</th> <th>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</th> <th>合計時間 (①+②+③)</th> <th>漏えい量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助給水配管 (主給水管分岐 ～逆止弁)</td> <td>&lt;システム検知&gt; 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分</td> <td>以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管 室温度等</td> <td>中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認 その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしや断器開+Tag低により主給水制御弁は自動閉止 60秒</td> <td>17分</td> <td>漏えい量294.7m<sup>3</sup> 臨界流量892m<sup>3</sup>/h (口径38、SG圧力61.5kg/cm<sup>2</sup>より) 補助給水流量430m<sup>3</sup>/h 11分*60分×892m<sup>3</sup>/h+ 7分*60分×430m<sup>3</sup>/h =213.7m<sup>3</sup> 配管保有水量15.0m<sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m<sup>3</sup> 213.7m<sup>3</sup>+15m<sup>3</sup>+66m<sup>3</sup> =294.7m<sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒)</td> </tr> </tbody> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量	補助給水配管 (主給水管分岐 ～逆止弁)	<システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管 室温度等	中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認 その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしや断器開+Tag低により主給水制御弁は自動閉止 60秒	17分	漏えい量294.7m <sup>3</sup> 臨界流量892m <sup>3</sup> /h (口径38、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 補助給水流量430m <sup>3</sup> /h 11分*60分×892m <sup>3</sup> /h+ 7分*60分×430m <sup>3</sup> /h =213.7m <sup>3</sup> 配管保有水量15.0m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m <sup>3</sup> 213.7m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> +66m <sup>3</sup> =294.7m <sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒)	<p>表5 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（非管理区域））系統別溢水量</p> <table border="1" data-bbox="698 239 1270 363"> <thead> <tr> <th colspan="2">対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W=(W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待 (他系統との接続 補給ラインあり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>P24</td> <td>HNCW</td> <td>33</td> <td>8</td> <td>41</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>P64</td> <td>HPIH</td> <td>22</td> <td>32</td> <td>54</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	対象系統		系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W=(W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続 補給ラインあり)	P24	HNCW	33	8	41	○	P64	HPIH	22	32	54	○		<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                  炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大阪】  <u>記載方針の相違</u>                  大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①+②+③)	漏えい量																												
補助給水配管 (主給水管分岐 ～逆止弁)	<システム検知> 主給水流量と主蒸気流量の不一致警報が中央制御室に発信 0分	以下のパラメータから隔離する蒸気発生器を特定 10分 SG 水位偏差、SG 流量偏差、主蒸気・主給水配管 室温度等	中央制御室において原子炉トリップ操作を行い、トリップ後の状況を確認 その後、電動補助給水ライン流量調節弁、タービン動補助給水ライン流量調節弁を遠隔手動閉止 7分 (トリップ後の状況確認5分、操作2分(1分/個)合わせて7分) また、原子炉手動トリップ操作後約60秒で原子炉トリップしや断器開+Tag低により主給水制御弁は自動閉止 60秒	17分	漏えい量294.7m <sup>3</sup> 臨界流量892m <sup>3</sup> /h (口径38、SG圧力61.5kg/cm <sup>2</sup> より) 補助給水流量430m <sup>3</sup> /h 11分*60分×892m <sup>3</sup> /h+ 7分*60分×430m <sup>3</sup> /h =213.7m <sup>3</sup> 配管保有水量15.0m <sup>3</sup> 蒸気発生器保有水量66m <sup>3</sup> 213.7m <sup>3</sup> +15m <sup>3</sup> +66m <sup>3</sup> =294.7m <sup>3</sup> ※合計時間(10分+60秒)																												
対象系統		系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W=(W1+W2)	手動隔離を期待 (他系統との接続 補給ラインあり)																												
P24	HNCW	33	8	41	○																												
P64	HPIH	22	32	54	○																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料16）

大阪発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<p>表8 漏えい停止までの時間の設定及び漏えい量（補助蒸気系）</p> <table border="1" data-bbox="280 207 515 1388"> <tr> <td>想定範囲</td> <td>①異常の検知</td> <td>②事象の判断及び漏えい箇所の特定</td> <td>③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止</td> <td>合計時間 (①)+(②)+(③)</td> <td>漏えい量</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気供給配管</td> <td>&lt;温度検知&gt; 温度センサ(60℃)の検知により 補助蒸気遮断弁が自動閉止 5分</td> <td>自動隔離のため判断時間 なし 0分</td> <td>自動隔離のため判断時間 なし 0分</td> <td>5分</td> <td>漏えい量3.7m<sup>3</sup> スチームコンバータ容量 31.3m<sup>3</sup>/h(定格発生蒸気量 30t/hより)5分/60分× 31.3m<sup>3</sup>/h=2.7m<sup>3</sup> 配管保有水量1.0m<sup>3</sup> 2.7m<sup>3</sup>+1.0m<sup>3</sup>=3.7m<sup>3</sup></td> </tr> </table>	想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①)+(②)+(③)	漏えい量	補助蒸気供給配管	<温度検知> 温度センサ(60℃)の検知により 補助蒸気遮断弁が自動閉止 5分	自動隔離のため判断時間 なし 0分	自動隔離のため判断時間 なし 0分	5分	漏えい量3.7m <sup>3</sup> スチームコンバータ容量 31.3m <sup>3</sup> /h(定格発生蒸気量 30t/hより)5分/60分× 31.3m <sup>3</sup> /h=2.7m <sup>3</sup> 配管保有水量1.0m <sup>3</sup> 2.7m <sup>3</sup> +1.0m <sup>3</sup> =3.7m <sup>3</sup>		<p>表7 原子炉建屋系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1288 223 1848 367"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>気体廃棄物処理系</td> <td>0.5</td> <td>0</td> <td>0.5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>0.1</td> <td>0</td> <td>0.1</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量（Wの合計値）=0.6m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待	気体廃棄物処理系	0.5	0	0.5	—	空調用冷水系	0.1	0	0.1	—	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【大阪】  <u>記載方針の相違</u>                      大阪では系統の破断範囲ごとに隔離までの漏えい量を算出しているが、本資料内では、女川と同様の形でまとめる。別途、補足説明資料2「保有水量・系統別溢水量算出要領」にて、大阪と同様に算出した結果を記載する。</p>
想定範囲	①異常の検知	②事象の判断及び漏えい箇所の特定	③漏えい箇所の隔離等により漏えい停止	合計時間 (①)+(②)+(③)	漏えい量																									
補助蒸気供給配管	<温度検知> 温度センサ(60℃)の検知により 補助蒸気遮断弁が自動閉止 5分	自動隔離のため判断時間 なし 0分	自動隔離のため判断時間 なし 0分	5分	漏えい量3.7m <sup>3</sup> スチームコンバータ容量 31.3m <sup>3</sup> /h(定格発生蒸気量 30t/hより)5分/60分× 31.3m <sup>3</sup> /h=2.7m <sup>3</sup> 配管保有水量1.0m <sup>3</sup> 2.7m <sup>3</sup> +1.0m <sup>3</sup> =3.7m <sup>3</sup>																									
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待																										
気体廃棄物処理系	0.5	0	0.5	—																										
空調用冷水系	0.1	0	0.1	—																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																	
		<p>表8 原子炉補助建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1288 220 1856 435"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>0.3</td> <td>0</td> <td>0.3</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>2.5</td> <td>0</td> <td>2.5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃液蒸発装置 (洗浄排水装置含む)</td> <td>0.5</td> <td>0</td> <td>0.5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>セメント固化装置</td> <td>18.4</td> <td>0</td> <td>18.4</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(Wの合計値) = 21.7m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待	化学体積制御系	0.3	0	0.3	—	液体廃棄物処理系	2.5	0	2.5	—	廃液蒸発装置 (洗浄排水装置含む)	0.5	0	0.5	—	セメント固化装置	18.4	0	18.4	—	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の違いにより比較対象なし。</p>																																																																																								
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	手動隔離を期待																																																																																																																
化学体積制御系	0.3	0	0.3	—																																																																																																																
液体廃棄物処理系	2.5	0	2.5	—																																																																																																																
廃液蒸発装置 (洗浄排水装置含む)	0.5	0	0.5	—																																																																																																																
セメント固化装置	18.4	0	18.4	—																																																																																																																
	<p>表6 タービン建屋（管理区域） 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="698 523 1270 1185"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量(m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量(m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量(m<sup>3</sup>) W (=W1+W2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>K11</td><td>ED</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>K12</td><td>LCW</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>K13</td><td>HCW</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>K17</td><td>SD</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>K21</td><td>SS</td><td>55</td><td>0</td><td>55</td></tr> <tr><td>N21</td><td>C,FDW</td><td>649</td><td>496</td><td>1,145</td></tr> <tr><td>N22</td><td>HD</td><td>330</td><td>0</td><td>330</td></tr> <tr><td>N26</td><td>CF</td><td>132</td><td>0</td><td>132</td></tr> <tr><td>N27</td><td>CD</td><td>209</td><td>0</td><td>209</td></tr> <tr><td>N32</td><td>EBC</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>N34</td><td>LO</td><td>198</td><td>0</td><td>198</td></tr> <tr><td>N44</td><td>SWC</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>N71</td><td>CW</td><td>1,200</td><td>2,770</td><td>3,970</td></tr> <tr><td>P11</td><td>MUWP</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>P13</td><td>MUWC</td><td>33</td><td>0</td><td>33</td></tr> <tr><td>P14</td><td>FW</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>P24</td><td>HNCW</td><td>110</td><td>0</td><td>110</td></tr> <tr><td>P42</td><td>RCW</td><td>66</td><td>0</td><td>66</td></tr> <tr><td>P43</td><td>TCW</td><td>231</td><td>0</td><td>231</td></tr> <tr><td>P62</td><td>HS/HSCR</td><td>19</td><td>0</td><td>19</td></tr> <tr><td>P64</td><td>HWH</td><td>33</td><td>0</td><td>33</td></tr> <tr><td>U43</td><td>FP</td><td>180</td><td>0</td><td>180</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(Wの合計値) = 6,843m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)	K11	ED	11	0	11	K12	LCW	22	0	22	K13	HCW	22	0	22	K17	SD	22	0	22	K21	SS	55	0	55	N21	C,FDW	649	496	1,145	N22	HD	330	0	330	N26	CF	132	0	132	N27	CD	209	0	209	N32	EBC	11	0	11	N34	LO	198	0	198	N44	SWC	22	0	22	N71	CW	1,200	2,770	3,970	P11	MUWP	11	0	11	P13	MUWC	33	0	33	P14	FW	11	0	11	P24	HNCW	110	0	110	P42	RCW	66	0	66	P43	TCW	231	0	231	P62	HS/HSCR	19	0	19	P64	HWH	33	0	33	U43	FP	180	0	180	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      泊のタービン建屋には管理区域がないため、比較対象なしとし、女川のタービン建屋（非管理区域）と泊のタービン建屋を比較する。</p>
対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W (=W1+W2)																																																																																																																	
K11	ED	11	0	11																																																																																																																
K12	LCW	22	0	22																																																																																																																
K13	HCW	22	0	22																																																																																																																
K17	SD	22	0	22																																																																																																																
K21	SS	55	0	55																																																																																																																
N21	C,FDW	649	496	1,145																																																																																																																
N22	HD	330	0	330																																																																																																																
N26	CF	132	0	132																																																																																																																
N27	CD	209	0	209																																																																																																																
N32	EBC	11	0	11																																																																																																																
N34	LO	198	0	198																																																																																																																
N44	SWC	22	0	22																																																																																																																
N71	CW	1,200	2,770	3,970																																																																																																																
P11	MUWP	11	0	11																																																																																																																
P13	MUWC	33	0	33																																																																																																																
P14	FW	11	0	11																																																																																																																
P24	HNCW	110	0	110																																																																																																																
P42	RCW	66	0	66																																																																																																																
P43	TCW	231	0	231																																																																																																																
P62	HS/HSCR	19	0	19																																																																																																																
P64	HWH	33	0	33																																																																																																																
U43	FP	180	0	180																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																							
	<p>表7 タービン建屋（非管理区域）系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="701 217 1270 507"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量(m³) W2</th> <th>系統漏えい量(m³) W1</th> <th>系統溢水量(m³) W (=W1+W2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>F11</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>P14</td><td>11</td><td>0</td><td>11</td></tr> <tr><td>P24</td><td>110</td><td>0</td><td>110</td></tr> <tr><td>P42</td><td>66</td><td>0</td><td>66</td></tr> <tr><td>P43</td><td>231</td><td>0</td><td>231</td></tr> <tr><td>P46</td><td>99</td><td>75</td><td>174</td></tr> <tr><td>P62</td><td>19</td><td>0</td><td>19</td></tr> <tr><td>U43</td><td>180</td><td>0</td><td>180</td></tr> <tr><td>U63</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(W2の合計値) = 824m³</p>	対象系統	系統保有水量(m³) W2	系統漏えい量(m³) W1	系統溢水量(m³) W (=W1+W2)	F11	11	0	11	P14	11	0	11	P24	110	0	110	P42	66	0	66	P43	231	0	231	P46	99	75	174	P62	19	0	19	U43	180	0	180	U63	22	0	22	<p>表9 タービン建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1283 217 1852 724"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m³) W2</th> <th>系統漏えい量 (m³) W1</th> <th>系統溢水量 (m³) W (=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>主蒸気及び給水系</td><td>126.98</td><td>0</td><td>117.92</td><td>—</td></tr> <tr><td>蒸気発生器</td><td>6.71</td><td>0</td><td>6.71</td><td>—</td></tr> <tr><td>ブローダウン系</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>原子炉補給水系 (脱塩水)</td><td>10.436</td><td>0</td><td>10.436</td><td>—</td></tr> <tr><td>補助蒸気系</td><td>0.65</td><td>0</td><td>0.65</td><td>—</td></tr> <tr><td>復水系</td><td>2442.28</td><td>0</td><td>2421.17</td><td>—</td></tr> <tr><td>循環水系</td><td>77.434</td><td>28367</td><td>28444.43</td><td>○</td></tr> <tr><td>軸受冷却系</td><td>150.67</td><td>0</td><td>143.72</td><td>—</td></tr> <tr><td>薬液注入装置</td><td>30.15</td><td>0</td><td>30.15</td><td>—</td></tr> <tr><td>排水処理設備</td><td>9.64</td><td>0</td><td>9.64</td><td>—</td></tr> <tr><td>タービン動主給水</td><td>130.12</td><td>0</td><td>130.12</td><td>—</td></tr> <tr><td>ポンプ油系</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>スチーム</td><td>19.19</td><td>0</td><td>19.19</td><td>—</td></tr> <tr><td>コンバータ系</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>タービン</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td><td>—</td></tr> <tr><td>グラント蒸気系</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>固定子冷却水供給装置</td><td>3.43</td><td>0</td><td>3.43</td><td>—</td></tr> <tr><td>密封油処理装置</td><td>0.58</td><td>0</td><td>0.58</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量 (Wの合計値) = 40979.47m³          ※ タービン建屋周辺の屋外タンク保有水量 9600m³含む</p>	対象系統	系統保有水量 (m³) W2	系統漏えい量 (m³) W1	系統溢水量 (m³) W (=W1+W2)	手動隔離を期待	主蒸気及び給水系	126.98	0	117.92	—	蒸気発生器	6.71	0	6.71	—	ブローダウン系	—	—	—	—	原子炉補給水系 (脱塩水)	10.436	0	10.436	—	補助蒸気系	0.65	0	0.65	—	復水系	2442.28	0	2421.17	—	循環水系	77.434	28367	28444.43	○	軸受冷却系	150.67	0	143.72	—	薬液注入装置	30.15	0	30.15	—	排水処理設備	9.64	0	9.64	—	タービン動主給水	130.12	0	130.12	—	ポンプ油系	—	—	—	—	スチーム	19.19	0	19.19	—	コンバータ系	—	—	—	—	タービン	4	0	4	—	グラント蒸気系	—	—	—	—	固定子冷却水供給装置	3.43	0	3.43	—	密封油処理装置	0.58	0	0.58	—	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違          泊のタービン建屋には管理区域はないため、管理区域と非管理区域の識別はしない。</p> <p>設計方針の相違          ・プラント設計による建屋名称、対象系統、保有水量、漏えい量、溢水量、隔離手段の相違。女川では、地震の手動隔離に期待していない。</p> <p>・女川では、「手動隔離を期待（他系統との接続補給ラインあり）」としているが、泊では、他系統との接続補給ラインがなくても、手動隔離に期待した隔離時間にて系統漏えい量を算出していることから、「手動隔離を期待」のみとした。</p> <p>・また、中央制御室での手動隔離に期待している系統について、「○（中央制御室内での手動隔離）」と記載した。</p>
対象系統	系統保有水量(m³) W2	系統漏えい量(m³) W1	系統溢水量(m³) W (=W1+W2)																																																																																																																																							
F11	11	0	11																																																																																																																																							
P14	11	0	11																																																																																																																																							
P24	110	0	110																																																																																																																																							
P42	66	0	66																																																																																																																																							
P43	231	0	231																																																																																																																																							
P46	99	75	174																																																																																																																																							
P62	19	0	19																																																																																																																																							
U43	180	0	180																																																																																																																																							
U63	22	0	22																																																																																																																																							
対象系統	系統保有水量 (m³) W2	系統漏えい量 (m³) W1	系統溢水量 (m³) W (=W1+W2)	手動隔離を期待																																																																																																																																						
主蒸気及び給水系	126.98	0	117.92	—																																																																																																																																						
蒸気発生器	6.71	0	6.71	—																																																																																																																																						
ブローダウン系	—	—	—	—																																																																																																																																						
原子炉補給水系 (脱塩水)	10.436	0	10.436	—																																																																																																																																						
補助蒸気系	0.65	0	0.65	—																																																																																																																																						
復水系	2442.28	0	2421.17	—																																																																																																																																						
循環水系	77.434	28367	28444.43	○																																																																																																																																						
軸受冷却系	150.67	0	143.72	—																																																																																																																																						
薬液注入装置	30.15	0	30.15	—																																																																																																																																						
排水処理設備	9.64	0	9.64	—																																																																																																																																						
タービン動主給水	130.12	0	130.12	—																																																																																																																																						
ポンプ油系	—	—	—	—																																																																																																																																						
スチーム	19.19	0	19.19	—																																																																																																																																						
コンバータ系	—	—	—	—																																																																																																																																						
タービン	4	0	4	—																																																																																																																																						
グラント蒸気系	—	—	—	—																																																																																																																																						
固定子冷却水供給装置	3.43	0	3.43	—																																																																																																																																						
密封油処理装置	0.58	0	0.58	—																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																	
	<p>表8 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））系統別 溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="696 236 1267 727"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量(m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量(m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量(m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>K11</td><td>ED</td><td>33</td><td>0</td><td>33</td></tr> <tr><td>K12</td><td>LCW</td><td>1,232</td><td>0</td><td>1,232</td></tr> <tr><td>K13</td><td>HCW</td><td>616</td><td>0</td><td>616</td></tr> <tr><td>K17</td><td>SD</td><td>99</td><td>0</td><td>99</td></tr> <tr><td>K21</td><td>SS</td><td>979</td><td>0</td><td>979</td></tr> <tr><td>K22</td><td>CONW</td><td>88</td><td>23</td><td>111</td></tr> <tr><td>K23</td><td>SOL<sup>※1</sup></td><td>44</td><td>8</td><td>52</td></tr> <tr><td>P11</td><td>MUWP</td><td>11</td><td>60</td><td>71</td></tr> <tr><td>P13</td><td>MUWC</td><td>33</td><td>120</td><td>153</td></tr> <tr><td>P14</td><td>FW</td><td>11</td><td>54</td><td>65</td></tr> <tr><td>P24</td><td>HNCW</td><td>55</td><td>8</td><td>63</td></tr> <tr><td>P25</td><td>HECW</td><td>33(Sヲ含)</td><td>8</td><td>41</td></tr> <tr><td>P42</td><td>RCW</td><td>121<sup>※2</sup></td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr><td>P42</td><td>RCW</td><td>209(Sヲ含)<sup>※3</sup></td><td>32</td><td>241</td></tr> <tr><td>P62</td><td>HS/HSCR</td><td>22</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr><td>P64</td><td>HWH</td><td>33</td><td>32</td><td>65</td></tr> <tr><td>U43</td><td>FP</td><td>180</td><td>27</td><td>207</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 休止設備であり現在保有水はないが、保有水があるものとして評価する。                  ※2 RCW(A)及びRCW(B)の常用系保有水量の合計                  ※3 常用系と非常用系の保有水量合計(保有水量が多いRCW(A)で評価)                  地震起因による溢水量(W2の合計値(Sヲ除く))=3,557m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	K11	ED	33	0	33	K12	LCW	1,232	0	1,232	K13	HCW	616	0	616	K17	SD	99	0	99	K21	SS	979	0	979	K22	CONW	88	23	111	K23	SOL <sup>※1</sup>	44	8	52	P11	MUWP	11	60	71	P13	MUWC	33	120	153	P14	FW	11	54	65	P24	HNCW	55	8	63	P25	HECW	33(Sヲ含)	8	41	P42	RCW	121 <sup>※2</sup>	—	—	P42	RCW	209(Sヲ含) <sup>※3</sup>	32	241	P62	HS/HSCR	22	0	22	P64	HWH	33	32	65	U43	FP	180	27	207	<p>表10 出入管理建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1283 863 1854 1026"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補給水系 (脱塩水)</td> <td>5</td> <td>335.7</td> <td>340.7</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水消火系</td> <td>25</td> <td>656.5</td> <td>681.5</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>飲料水系</td> <td>17</td> <td>25.8</td> <td>42.8</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(Wの合計値) = 1065.0m<sup>3</sup></p> <p>表11 電気建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="1283 1102 1854 1265"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量 (m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量 (m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量 (m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> <th>手動隔離を期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補給水系 (脱塩水)</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水消火系</td> <td>25</td> <td>656.5</td> <td>681.5</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>飲料水系</td> <td>17</td> <td>25.8</td> <td>42.8</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(Wの合計値) = 729.3m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待	原子炉補給水系 (脱塩水)	5	335.7	340.7	○	水消火系	25	656.5	681.5	○	飲料水系	17	25.8	42.8	○	対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待	原子炉補給水系 (脱塩水)	5	0	5	—	水消火系	25	656.5	681.5	○	飲料水系	17	25.8	42.8	○	<p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 炉型の違いにより比較対象なし。</p>
対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)																																																																																																																																	
K11	ED	33	0	33																																																																																																																																
K12	LCW	1,232	0	1,232																																																																																																																																
K13	HCW	616	0	616																																																																																																																																
K17	SD	99	0	99																																																																																																																																
K21	SS	979	0	979																																																																																																																																
K22	CONW	88	23	111																																																																																																																																
K23	SOL <sup>※1</sup>	44	8	52																																																																																																																																
P11	MUWP	11	60	71																																																																																																																																
P13	MUWC	33	120	153																																																																																																																																
P14	FW	11	54	65																																																																																																																																
P24	HNCW	55	8	63																																																																																																																																
P25	HECW	33(Sヲ含)	8	41																																																																																																																																
P42	RCW	121 <sup>※2</sup>	—	—																																																																																																																																
P42	RCW	209(Sヲ含) <sup>※3</sup>	32	241																																																																																																																																
P62	HS/HSCR	22	0	22																																																																																																																																
P64	HWH	33	32	65																																																																																																																																
U43	FP	180	27	207																																																																																																																																
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待																																																																																																																																
原子炉補給水系 (脱塩水)	5	335.7	340.7	○																																																																																																																																
水消火系	25	656.5	681.5	○																																																																																																																																
飲料水系	17	25.8	42.8	○																																																																																																																																
対象系統	系統保有水量 (m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量 (m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量 (m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	手動隔離を期待																																																																																																																																
原子炉補給水系 (脱塩水)	5	0	5	—																																																																																																																																
水消火系	25	656.5	681.5	○																																																																																																																																
飲料水系	17	25.8	42.8	○																																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																	
	<p>表9 補助ボイラー建屋 系統別溢水量（地震起因）</p> <table border="1" data-bbox="703 220 1263 539"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>系統保有水量(m<sup>3</sup>) W2</th> <th>系統漏えい量(m<sup>3</sup>) W1</th> <th>系統溢水量(m<sup>3</sup>) W(=W1+W2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>P11</td><td>MUWP</td><td>11</td><td>13</td><td>24</td></tr> <tr><td>P43</td><td>TCW</td><td>22</td><td>47</td><td>69</td></tr> <tr><td>P61</td><td>HBMFW</td><td>33</td><td>44</td><td>77</td></tr> <tr><td>P61</td><td>HEBW</td><td>33</td><td>134</td><td>167</td></tr> <tr><td>P61</td><td>HBTCW</td><td>22</td><td>27</td><td>49</td></tr> <tr><td>P62</td><td>HSCR</td><td>11</td><td>24</td><td>35</td></tr> <tr><td>P64</td><td>HWH</td><td>22</td><td>21</td><td>43</td></tr> <tr><td>U43</td><td>FP</td><td>143</td><td>140</td><td>283</td></tr> <tr><td>U63</td><td>MSC</td><td>22</td><td>12</td><td>34</td></tr> </tbody> </table> <p>地震起因による溢水量(W2の合計値)= 319m<sup>3</sup></p>	対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)	P11	MUWP	11	13	24	P43	TCW	22	47	69	P61	HBMFW	33	44	77	P61	HEBW	33	134	167	P61	HBTCW	22	27	49	P62	HSCR	11	24	35	P64	HWH	22	21	43	U43	FP	143	140	283	U63	MSC	22	12	34		<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の違いにより比較対象なし。</p>
対象系統	系統保有水量(m <sup>3</sup> ) W2	系統漏えい量(m <sup>3</sup> ) W1	系統溢水量(m <sup>3</sup> ) W(=W1+W2)																																																	
P11	MUWP	11	13	24																																																
P43	TCW	22	47	69																																																
P61	HBMFW	33	44	77																																																
P61	HEBW	33	134	167																																																
P61	HBTCW	22	27	49																																																
P62	HSCR	11	24	35																																																
P64	HWH	22	21	43																																																
U43	FP	143	140	283																																																
U63	MSC	22	12	34																																																









赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">原子力発電所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">                 原子力発電所                  最高許容圧力                  (MPa)             </td> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> <td colspan="2">                 最高許容圧力                  (MPa)             </td> </tr> </table> </div>	原子力発電所 最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)			<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。</li> <li>泊では、充てんポンプが機能喪失するケースが存在するが、多重性を有しており、3台のうち2台が機能維持するため問題がないことを補足説明資料10「A, B, C充てんポンプの没水影響評価」にて説明している。(大飯、高浜、美浜、川内と同様の考え方)</li> <li>泊の想定破損による没水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。(大飯と同様)</li> </ul>
原子力発電所 最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)																													
最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)																													
最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)																													
最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)		最高許容圧力 (MPa)																													

















赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>評価項目 認定 相違</p> <p>認定項目 名称 内容</p> <p>設備名 PPG</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">認定項目</th> <th colspan="2">認定項目</th> <th colspan="2">認定項目</th> <th colspan="2">認定項目</th> <th colspan="2">認定項目</th> <th colspan="2">認定項目</th> <th colspan="2">認定項目</th> <th colspan="2">認定項目</th> <th colspan="2">認定項目</th> <th colspan="2">認定項目</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>...</td> <td>○</td> <td>...</td> <td>○</td> <td>...</td> <td>○</td> <td>...</td> <td>○</td> <td>...</td> <td>○</td> <td>...</td> <td>○</td> <td>...</td> <td>○</td> <td>...</td> <td>○</td> <td>...</td> <td>○</td> <td>...</td> <td>○</td> <td>...</td> </tr> </tbody> </table> </div>	認定項目		認定項目		認定項目		認定項目		認定項目		認定項目		認定項目		認定項目		認定項目		認定項目		項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女川では、同時に複数区分の安全機能が機能喪失する結果となる評価ケースがあり、判定表による評価を実施している。</li> <li>泊では、充てんポンプが機能喪失するケースが存在するが、多重性を有しており、3台のうち2台が機能維持するため問題がないことを補足説明資料10「A, B, C充てんポンプの没水影響評価」にて説明している。（大飯、高浜、美浜、川内と同様の考え方）</li> <li>泊の想定破損による没水影響評価では、すべての防護対象が多重性を維持する結果となるため、判定表による評価は必要ない。（大飯と同様）</li> </ul>
認定項目		認定項目		認定項目		認定項目		認定項目		認定項目		認定項目		認定項目		認定項目		認定項目																																															
項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容	項目	内容																																														
○	...	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...	○	...																																												









赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉										女川原子力発電所2号炉										泊発電所3号炉										相違理由								
大阪4号炉 想定破損による溢水影響評価結果(3/6)																																						
地区区分	建屋番号	設備名	① 高さ(床面)	② 高さ(基礎)	③ 高さ(基礎)	④ 高さ(基礎)	⑤ 高さ(基礎)	⑥ 高さ(基礎)	⑦ 高さ(基礎)	備考1	備考2	地区区分	建屋番号	設備名	① 高さ(床面)	② 高さ(基礎)	③ 高さ(基礎)	④ 高さ(基礎)	⑤ 高さ(基礎)	⑥ 高さ(基礎)	⑦ 高さ(基礎)	備考1	備考2	地区区分	建屋番号	設備名	① 高さ(床面)	② 高さ(基礎)	③ 高さ(基礎)	④ 高さ(基礎)	⑤ 高さ(基礎)	⑥ 高さ(基礎)	⑦ 高さ(基礎)	備考1	備考2	相違理由		
4号炉 原子炉 冷却設備	E.L. +1[m]	E.L. +1[m]	60P-3	44.7	29.3	0.00	0.161	-	-	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	-	総用冷却材ポンプ の冷却設備	60P-3	44.7	29.3	0.00	0.161	-	-	-	-	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	-	総用冷却材ポンプ の冷却設備	60P-3	44.7	29.3	0.00	0.161	-	-	-	-	-	設計方針の相違 大飯はツインプラント。			
			60P-3	44.7	94.4	0.00	0.040	0.47	②<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	②<①	0	60P-3 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-3	44.7	94.4	0.00	0.040	0.52	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-3 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-3	44.7	94.4	0.00	0.040	0.52	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-3 冷却材ポンプ の冷却設備
			60P-3,4	44.7	101.4	0.00	0.045	0.86	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-3,4 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-3,4	44.7	101.4	0.00	0.045	0.82	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-3,4 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-3,4	44.7	101.4	0.00	0.045	0.82	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-3,4 冷却材ポンプ の冷却設備
			60P-3,16	44.7	109.5	0.00	0.065	0.78	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-3,16 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-3,16	44.7	109.5	0.00	0.065	0.78	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-3,16 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-3,16	44.7	109.5	0.00	0.065	0.78	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-3,16 冷却材ポンプ の冷却設備
			60P-5	44.7	37.6	0.00	0.511	0.264	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-5 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-5	44.7	37.6	0.00	0.511	0.264	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-5 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-5	44.7	37.6	0.00	0.511	0.264	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-5 冷却材ポンプ の冷却設備
			60P-7	44.7	26.4	0.05	1.744	0.65	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-7 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-7	44.7	26.4	0.05	1.744	0.65	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-7 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-7	44.7	26.4	0.05	1.744	0.65	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-7 冷却材ポンプ の冷却設備
			60P-8	44.7	26.5	0.05	1.737	0.65	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-8 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-8	44.7	26.5	0.05	1.737	0.65	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-8 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-8	44.7	26.5	0.05	1.737	0.65	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-8 冷却材ポンプ の冷却設備
			60P-9	44.7	23.0	0.05	1.647	0.29	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-9 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-9	44.7	23.0	0.05	1.647	0.29	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-9 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-9	44.7	23.0	0.05	1.647	0.29	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-9 冷却材ポンプ の冷却設備
			60P-10	44.7	50.6	0.05	0.190*	1.03	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-10 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-10	44.7	50.6	0.05	0.190*	1.03	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-10 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-10	44.7	50.6	0.05	0.190*	1.03	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-10 冷却材ポンプ の冷却設備
			60P-11	44.7	32.7	0.00	0.085	0.29	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-11 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-11	44.7	32.7	0.00	0.085	0.29	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-11 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-11	44.7	32.7	0.00	0.085	0.29	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-11 冷却材ポンプ の冷却設備
			60P-11	44.7	32.7	0.00	0.085	0.72	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-11 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-11	44.7	32.7	0.00	0.085	0.72	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-11 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-11	44.7	32.7	0.00	0.085	0.72	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-11 冷却材ポンプ の冷却設備
			60P-11,12	44.7	54.1	0.00	0.081	0.29	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-11,12 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-11,12	44.7	54.1	0.00	0.081	0.29	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-11,12 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-11,12	44.7	54.1	0.00	0.081	0.29	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-11,12 冷却材ポンプ の冷却設備
			60P-11,12,13	44.7	69.0	0.00	0.067	1.08	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-11,12,13 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-11,12,13	44.7	69.0	0.00	0.067	1.08	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-11,12,13 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-11,12,13	44.7	69.0	0.00	0.067	1.08	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-11,12,13 冷却材ポンプ の冷却設備
			60P-14	44.7	82.1	0.00	0.096	1.11	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-14 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-14	44.7	82.1	0.00	0.096	1.11	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-14 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-14	44.7	82.1	0.00	0.096	1.11	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-14 冷却材ポンプ の冷却設備
			60P-14	44.7	167.2	0.00	0.268	0.50	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-14 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-14	44.7	167.2	0.00	0.268	0.50	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-14 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-14	44.7	167.2	0.00	0.268	0.50	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-14 冷却材ポンプ の冷却設備
60P-15	44.7	165.9	0.00	0.241	0.50	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-15 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-15	44.7	165.9	0.00	0.241	0.50	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-15 冷却材ポンプ の冷却設備	60P-15	44.7	165.9	0.00	0.241	0.50	③<①	①	④ 溢水 高さ(基礎) (床面上部)	③<①	0	60P-15 冷却材ポンプ の冷却設備			









赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
<p>大飯4号炉 想定破損による溢水影響評価結果(5/6)</p> <p>①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪-⑫-⑬-⑭-⑮-⑯-⑰-⑱-⑲-⑳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>区画</th> <th>種別</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> <th>⑥</th> <th>⑦</th> <th>⑧</th> <th>⑨</th> <th>⑩</th> <th>⑪</th> <th>⑫</th> <th>⑬</th> <th>⑭</th> <th>⑮</th> <th>⑯</th> <th>⑰</th> <th>⑱</th> <th>⑲</th> <th>⑳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>175.5</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.106</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>77.1</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>0.606</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>307.2</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.709</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>938.4</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>2.527</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>207.8</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.004</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> </tbody> </table> <p>①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪-⑫-⑬-⑭-⑮-⑯-⑰-⑱-⑲-⑳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>区画</th> <th>種別</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> <th>⑥</th> <th>⑦</th> <th>⑧</th> <th>⑨</th> <th>⑩</th> <th>⑪</th> <th>⑫</th> <th>⑬</th> <th>⑭</th> <th>⑮</th> <th>⑯</th> <th>⑰</th> <th>⑱</th> <th>⑲</th> <th>⑳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>175.5</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.106</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>77.1</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>0.606</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>307.2</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.709</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>938.4</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>2.527</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>207.8</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.004</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> </tbody> </table> <p>①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪-⑫-⑬-⑭-⑮-⑯-⑰-⑱-⑲-⑳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>区画</th> <th>種別</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> <th>⑥</th> <th>⑦</th> <th>⑧</th> <th>⑨</th> <th>⑩</th> <th>⑪</th> <th>⑫</th> <th>⑬</th> <th>⑭</th> <th>⑮</th> <th>⑯</th> <th>⑰</th> <th>⑱</th> <th>⑲</th> <th>⑳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>175.5</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.106</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>77.1</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>0.606</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>307.2</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.709</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>938.4</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>2.527</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>207.8</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.004</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> </tbody> </table>	機器	区画	種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	175.5	0	0.00	1.106	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	77.1	0	0.00	0.606	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	307.2	0	0.00	1.709	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	938.4	0	0.00	2.527	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	207.8	0	0.00	1.004	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	機器	区画	種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	175.5	0	0.00	1.106	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	77.1	0	0.00	0.606	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	307.2	0	0.00	1.709	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	938.4	0	0.00	2.527	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	207.8	0	0.00	1.004	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	機器	区画	種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	175.5	0	0.00	1.106	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	77.1	0	0.00	0.606	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	307.2	0	0.00	1.709	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	938.4	0	0.00	2.527	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	207.8	0	0.00	1.004	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪-⑫-⑬-⑭-⑮-⑯-⑰-⑱-⑲-⑳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>区画</th> <th>種別</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> <th>⑥</th> <th>⑦</th> <th>⑧</th> <th>⑨</th> <th>⑩</th> <th>⑪</th> <th>⑫</th> <th>⑬</th> <th>⑭</th> <th>⑮</th> <th>⑯</th> <th>⑰</th> <th>⑱</th> <th>⑲</th> <th>⑳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>175.5</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.106</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>77.1</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>0.606</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>307.2</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.709</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>938.4</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>2.527</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>207.8</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.004</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> </tbody> </table> <p>①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪-⑫-⑬-⑭-⑮-⑯-⑰-⑱-⑲-⑳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>区画</th> <th>種別</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> <th>⑥</th> <th>⑦</th> <th>⑧</th> <th>⑨</th> <th>⑩</th> <th>⑪</th> <th>⑫</th> <th>⑬</th> <th>⑭</th> <th>⑮</th> <th>⑯</th> <th>⑰</th> <th>⑱</th> <th>⑲</th> <th>⑳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>175.5</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.106</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>77.1</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>0.606</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>307.2</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.709</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>938.4</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>2.527</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>207.8</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.004</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> </tbody> </table>	機器	区画	種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	175.5	0	0.00	1.106	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	77.1	0	0.00	0.606	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	307.2	0	0.00	1.709	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	938.4	0	0.00	2.527	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	207.8	0	0.00	1.004	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	機器	区画	種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	175.5	0	0.00	1.106	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	77.1	0	0.00	0.606	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	307.2	0	0.00	1.709	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	938.4	0	0.00	2.527	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	207.8	0	0.00	1.004	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	<p>泊発電所3号炉</p> <p>①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨-⑩-⑪-⑫-⑬-⑭-⑮-⑯-⑰-⑱-⑲-⑳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>区画</th> <th>種別</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>⑤</th> <th>⑥</th> <th>⑦</th> <th>⑧</th> <th>⑨</th> <th>⑩</th> <th>⑪</th> <th>⑫</th> <th>⑬</th> <th>⑭</th> <th>⑮</th> <th>⑯</th> <th>⑰</th> <th>⑱</th> <th>⑲</th> <th>⑳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>175.5</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.106</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>77.1</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>0.606</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>307.2</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.709</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>938.4</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>2.527</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> <tr> <td>4号炉 炉内 炉内</td> <td>33.5 25.0</td> <td>炉内 炉内</td> <td>207.8</td> <td>0</td> <td>0.00</td> <td>1.004</td> <td>4.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> <td>④-⑤</td> <td>○</td> <td>8.75</td> </tr> </tbody> </table>	機器	区画	種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	175.5	0	0.00	1.106	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	77.1	0	0.00	0.606	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	307.2	0	0.00	1.709	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	938.4	0	0.00	2.527	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	207.8	0	0.00	1.004	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	<p>相違理由</p> <p>【大飯】  <u>設計方針の相違</u>          大飯はツインプラント。</p> <p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>          プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
機器	区画	種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	175.5	0	0.00	1.106	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	77.1	0	0.00	0.606	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	307.2	0	0.00	1.709	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	938.4	0	0.00	2.527	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	207.8	0	0.00	1.004	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
機器	区画	種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	175.5	0	0.00	1.106	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	77.1	0	0.00	0.606	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	307.2	0	0.00	1.709	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	938.4	0	0.00	2.527	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	207.8	0	0.00	1.004	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
機器	区画	種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	175.5	0	0.00	1.106	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	77.1	0	0.00	0.606	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	307.2	0	0.00	1.709	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	938.4	0	0.00	2.527	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	207.8	0	0.00	1.004	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
機器	区画	種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	175.5	0	0.00	1.106	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	77.1	0	0.00	0.606	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	307.2	0	0.00	1.709	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	938.4	0	0.00	2.527	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	207.8	0	0.00	1.004	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
機器	区画	種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	175.5	0	0.00	1.106	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	77.1	0	0.00	0.606	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	307.2	0	0.00	1.709	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	938.4	0	0.00	2.527	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	207.8	0	0.00	1.004	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
機器	区画	種別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	175.5	0	0.00	1.106	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	77.1	0	0.00	0.606	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	307.2	0	0.00	1.709	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	938.4	0	0.00	2.527	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4号炉 炉内 炉内	33.5 25.0	炉内 炉内	207.8	0	0.00	1.004	4.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75	④-⑤	○	8.75																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">                     許容範囲                      臨水発生位置：付・付外                      臨水発生：付内                 </td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">原子力発電所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (1) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (2) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (3) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (4) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (5) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (6) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (7) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (8) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (9) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (10) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (11) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (12) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (13) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (14) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (15) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (16) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (17) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (18) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (19) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (20) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (21) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (22) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (23) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (24) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (25) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (26) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (27) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (28) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (29) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (30) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (31) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (32) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (33) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (34) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (35) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (36) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (37) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (38) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (39) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (40) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (41) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (42) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (43) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (44) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (45) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (46) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (47) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (48) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (49) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (50) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (51) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (52) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (53) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (54) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (55) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (56) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (57) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (58) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (59) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (60) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (61) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (62) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (63) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (64) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (65) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (66) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (67) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (68) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (69) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (70) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (71) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (72) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (73) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (74) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (75) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (76) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (77) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (78) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (79) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (80) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (81) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (82) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (83) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (84) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (85) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (86) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (87) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (88) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (89) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (90) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (91) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (92) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (93) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (94) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (95) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (96) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (97) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (98) 原子力発電所                 </td> </tr> <tr> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (99) 原子力発電所                 </td> <td colspan="2">                     原子力発電所                      (100) 原子力発電所                 </td> </tr> </table>	許容範囲 臨水発生位置：付・付外 臨水発生：付内				原子力発電所				原子力発電所 (1) 原子力発電所		原子力発電所 (2) 原子力発電所		原子力発電所 (3) 原子力発電所		原子力発電所 (4) 原子力発電所		原子力発電所 (5) 原子力発電所		原子力発電所 (6) 原子力発電所		原子力発電所 (7) 原子力発電所		原子力発電所 (8) 原子力発電所		原子力発電所 (9) 原子力発電所		原子力発電所 (10) 原子力発電所		原子力発電所 (11) 原子力発電所		原子力発電所 (12) 原子力発電所		原子力発電所 (13) 原子力発電所		原子力発電所 (14) 原子力発電所		原子力発電所 (15) 原子力発電所		原子力発電所 (16) 原子力発電所		原子力発電所 (17) 原子力発電所		原子力発電所 (18) 原子力発電所		原子力発電所 (19) 原子力発電所		原子力発電所 (20) 原子力発電所		原子力発電所 (21) 原子力発電所		原子力発電所 (22) 原子力発電所		原子力発電所 (23) 原子力発電所		原子力発電所 (24) 原子力発電所		原子力発電所 (25) 原子力発電所		原子力発電所 (26) 原子力発電所		原子力発電所 (27) 原子力発電所		原子力発電所 (28) 原子力発電所		原子力発電所 (29) 原子力発電所		原子力発電所 (30) 原子力発電所		原子力発電所 (31) 原子力発電所		原子力発電所 (32) 原子力発電所		原子力発電所 (33) 原子力発電所		原子力発電所 (34) 原子力発電所		原子力発電所 (35) 原子力発電所		原子力発電所 (36) 原子力発電所		原子力発電所 (37) 原子力発電所		原子力発電所 (38) 原子力発電所		原子力発電所 (39) 原子力発電所		原子力発電所 (40) 原子力発電所		原子力発電所 (41) 原子力発電所		原子力発電所 (42) 原子力発電所		原子力発電所 (43) 原子力発電所		原子力発電所 (44) 原子力発電所		原子力発電所 (45) 原子力発電所		原子力発電所 (46) 原子力発電所		原子力発電所 (47) 原子力発電所		原子力発電所 (48) 原子力発電所		原子力発電所 (49) 原子力発電所		原子力発電所 (50) 原子力発電所		原子力発電所 (51) 原子力発電所		原子力発電所 (52) 原子力発電所		原子力発電所 (53) 原子力発電所		原子力発電所 (54) 原子力発電所		原子力発電所 (55) 原子力発電所		原子力発電所 (56) 原子力発電所		原子力発電所 (57) 原子力発電所		原子力発電所 (58) 原子力発電所		原子力発電所 (59) 原子力発電所		原子力発電所 (60) 原子力発電所		原子力発電所 (61) 原子力発電所		原子力発電所 (62) 原子力発電所		原子力発電所 (63) 原子力発電所		原子力発電所 (64) 原子力発電所		原子力発電所 (65) 原子力発電所		原子力発電所 (66) 原子力発電所		原子力発電所 (67) 原子力発電所		原子力発電所 (68) 原子力発電所		原子力発電所 (69) 原子力発電所		原子力発電所 (70) 原子力発電所		原子力発電所 (71) 原子力発電所		原子力発電所 (72) 原子力発電所		原子力発電所 (73) 原子力発電所		原子力発電所 (74) 原子力発電所		原子力発電所 (75) 原子力発電所		原子力発電所 (76) 原子力発電所		原子力発電所 (77) 原子力発電所		原子力発電所 (78) 原子力発電所		原子力発電所 (79) 原子力発電所		原子力発電所 (80) 原子力発電所		原子力発電所 (81) 原子力発電所		原子力発電所 (82) 原子力発電所		原子力発電所 (83) 原子力発電所		原子力発電所 (84) 原子力発電所		原子力発電所 (85) 原子力発電所		原子力発電所 (86) 原子力発電所		原子力発電所 (87) 原子力発電所		原子力発電所 (88) 原子力発電所		原子力発電所 (89) 原子力発電所		原子力発電所 (90) 原子力発電所		原子力発電所 (91) 原子力発電所		原子力発電所 (92) 原子力発電所		原子力発電所 (93) 原子力発電所		原子力発電所 (94) 原子力発電所		原子力発電所 (95) 原子力発電所		原子力発電所 (96) 原子力発電所		原子力発電所 (97) 原子力発電所		原子力発電所 (98) 原子力発電所		原子力発電所 (99) 原子力発電所		原子力発電所 (100) 原子力発電所			<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
許容範囲 臨水発生位置：付・付外 臨水発生：付内																																																																																																																																																																																																																			
原子力発電所																																																																																																																																																																																																																			
原子力発電所 (1) 原子力発電所		原子力発電所 (2) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (3) 原子力発電所		原子力発電所 (4) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (5) 原子力発電所		原子力発電所 (6) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (7) 原子力発電所		原子力発電所 (8) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (9) 原子力発電所		原子力発電所 (10) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (11) 原子力発電所		原子力発電所 (12) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (13) 原子力発電所		原子力発電所 (14) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (15) 原子力発電所		原子力発電所 (16) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (17) 原子力発電所		原子力発電所 (18) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (19) 原子力発電所		原子力発電所 (20) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (21) 原子力発電所		原子力発電所 (22) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (23) 原子力発電所		原子力発電所 (24) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (25) 原子力発電所		原子力発電所 (26) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (27) 原子力発電所		原子力発電所 (28) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (29) 原子力発電所		原子力発電所 (30) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (31) 原子力発電所		原子力発電所 (32) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (33) 原子力発電所		原子力発電所 (34) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (35) 原子力発電所		原子力発電所 (36) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (37) 原子力発電所		原子力発電所 (38) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (39) 原子力発電所		原子力発電所 (40) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (41) 原子力発電所		原子力発電所 (42) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (43) 原子力発電所		原子力発電所 (44) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (45) 原子力発電所		原子力発電所 (46) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (47) 原子力発電所		原子力発電所 (48) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (49) 原子力発電所		原子力発電所 (50) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (51) 原子力発電所		原子力発電所 (52) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (53) 原子力発電所		原子力発電所 (54) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (55) 原子力発電所		原子力発電所 (56) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (57) 原子力発電所		原子力発電所 (58) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (59) 原子力発電所		原子力発電所 (60) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (61) 原子力発電所		原子力発電所 (62) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (63) 原子力発電所		原子力発電所 (64) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (65) 原子力発電所		原子力発電所 (66) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (67) 原子力発電所		原子力発電所 (68) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (69) 原子力発電所		原子力発電所 (70) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (71) 原子力発電所		原子力発電所 (72) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (73) 原子力発電所		原子力発電所 (74) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (75) 原子力発電所		原子力発電所 (76) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (77) 原子力発電所		原子力発電所 (78) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (79) 原子力発電所		原子力発電所 (80) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (81) 原子力発電所		原子力発電所 (82) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (83) 原子力発電所		原子力発電所 (84) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (85) 原子力発電所		原子力発電所 (86) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (87) 原子力発電所		原子力発電所 (88) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (89) 原子力発電所		原子力発電所 (90) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (91) 原子力発電所		原子力発電所 (92) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (93) 原子力発電所		原子力発電所 (94) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (95) 原子力発電所		原子力発電所 (96) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (97) 原子力発電所		原子力発電所 (98) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	
原子力発電所 (99) 原子力発電所		原子力発電所 (100) 原子力発電所																																																																																																																																																																																																																	



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">設計種別</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">設計仕様</td> </tr> <tr> <td>設計種別</td> <td>設計仕様</td> <td>設計種別</td> <td>設計仕様</td> </tr> <tr> <td>設計種別</td> <td>設計仕様</td> <td>設計種別</td> <td>設計仕様</td> </tr> <tr> <td>設計種別</td> <td>設計仕様</td> <td>設計種別</td> <td>設計仕様</td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">設計種別</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">設計仕様</td> </tr> <tr> <td>設計種別</td> <td>設計仕様</td> <td>設計種別</td> <td>設計仕様</td> </tr> <tr> <td>設計種別</td> <td>設計仕様</td> <td>設計種別</td> <td>設計仕様</td> </tr> <tr> <td>設計種別</td> <td>設計仕様</td> <td>設計種別</td> <td>設計仕様</td> </tr> </table> </div>	設計種別		設計仕様		設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様	設計種別		設計仕様		設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計種別		設計仕様																																	
設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様																																
設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様																																
設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様																																
設計種別		設計仕様																																	
設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様																																
設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様																																
設計種別	設計仕様	設計種別	設計仕様																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

【参考】  
伊方発電所3号炉

添付資料 15

項目	大飯発電所3号炉	伊方発電所3号炉
1.1	...	...
1.2	...	...
1.3	...	...
1.4	...	...
1.5	...	...
1.6	...	...
1.7	...	...
1.8	...	...
1.9	...	...
1.10	...	...
1.11	...	...
1.12	...	...
1.13	...	...
1.14	...	...
1.15	...	...
1.16	...	...
1.17	...	...
1.18	...	...
1.19	...	...
1.20	...	...
1.21	...	...
1.22	...	...
1.23	...	...
1.24	...	...
1.25	...	...
1.26	...	...
1.27	...	...
1.28	...	...
1.29	...	...
1.30	...	...
1.31	...	...
1.32	...	...
1.33	...	...
1.34	...	...
1.35	...	...
1.36	...	...
1.37	...	...
1.38	...	...
1.39	...	...
1.40	...	...
1.41	...	...
1.42	...	...
1.43	...	...
1.44	...	...
1.45	...	...
1.46	...	...
1.47	...	...
1.48	...	...
1.49	...	...
1.50	...	...
1.51	...	...
1.52	...	...
1.53	...	...
1.54	...	...
1.55	...	...
1.56	...	...
1.57	...	...
1.58	...	...
1.59	...	...
1.60	...	...
1.61	...	...
1.62	...	...
1.63	...	...
1.64	...	...
1.65	...	...
1.66	...	...
1.67	...	...
1.68	...	...
1.69	...	...
1.70	...	...
1.71	...	...
1.72	...	...
1.73	...	...
1.74	...	...
1.75	...	...
1.76	...	...
1.77	...	...
1.78	...	...
1.79	...	...
1.80	...	...
1.81	...	...
1.82	...	...
1.83	...	...
1.84	...	...
1.85	...	...
1.86	...	...
1.87	...	...
1.88	...	...
1.89	...	...
1.90	...	...
1.91	...	...
1.92	...	...
1.93	...	...
1.94	...	...
1.95	...	...
1.96	...	...
1.97	...	...
1.98	...	...
1.99	...	...
1.100	...	...

女川原子力発電所2号炉

添付資料 16

項目	女川原子力発電所2号炉	伊方発電所3号炉
1.1	...	...
1.2	...	...
1.3	...	...
1.4	...	...
1.5	...	...
1.6	...	...
1.7	...	...
1.8	...	...
1.9	...	...
1.10	...	...
1.11	...	...
1.12	...	...
1.13	...	...
1.14	...	...
1.15	...	...
1.16	...	...
1.17	...	...
1.18	...	...
1.19	...	...
1.20	...	...
1.21	...	...
1.22	...	...
1.23	...	...
1.24	...	...
1.25	...	...
1.26	...	...
1.27	...	...
1.28	...	...
1.29	...	...
1.30	...	...
1.31	...	...
1.32	...	...
1.33	...	...
1.34	...	...
1.35	...	...
1.36	...	...
1.37	...	...
1.38	...	...
1.39	...	...
1.40	...	...
1.41	...	...
1.42	...	...
1.43	...	...
1.44	...	...
1.45	...	...
1.46	...	...
1.47	...	...
1.48	...	...
1.49	...	...
1.50	...	...
1.51	...	...
1.52	...	...
1.53	...	...
1.54	...	...
1.55	...	...
1.56	...	...
1.57	...	...
1.58	...	...
1.59	...	...
1.60	...	...
1.61	...	...
1.62	...	...
1.63	...	...
1.64	...	...
1.65	...	...
1.66	...	...
1.67	...	...
1.68	...	...
1.69	...	...
1.70	...	...
1.71	...	...
1.72	...	...
1.73	...	...
1.74	...	...
1.75	...	...
1.76	...	...
1.77	...	...
1.78	...	...
1.79	...	...
1.80	...	...
1.81	...	...
1.82	...	...
1.83	...	...
1.84	...	...
1.85	...	...
1.86	...	...
1.87	...	...
1.88	...	...
1.89	...	...
1.90	...	...
1.91	...	...
1.92	...	...
1.93	...	...
1.94	...	...
1.95	...	...
1.96	...	...
1.97	...	...
1.98	...	...
1.99	...	...
1.100	...	...

泊発電所3号炉

添付資料 17

想定破損による没水影響評価結果

表1 没水影響評価結果整理表（想定破損）(1/7)

項目	想定破損	影響評価	評価結果			備考
			A	B	C	
1.1	...	...	○	○	○	...
1.2	...	...	○	○	○	...
1.3	...	...	○	○	○	...
1.4	...	...	○	○	○	...
1.5	...	...	○	○	○	...
1.6	...	...	○	○	○	...
1.7	...	...	○	○	○	...
1.8	...	...	○	○	○	...
1.9	...	...	○	○	○	...
1.10	...	...	○	○	○	...
1.11	...	...	○	○	○	...
1.12	...	...	○	○	○	...
1.13	...	...	○	○	○	...
1.14	...	...	○	○	○	...
1.15	...	...	○	○	○	...
1.16	...	...	○	○	○	...
1.17	...	...	○	○	○	...
1.18	...	...	○	○	○	...
1.19	...	...	○	○	○	...
1.20	...	...	○	○	○	...
1.21	...	...	○	○	○	...
1.22	...	...	○	○	○	...
1.23	...	...	○	○	○	...
1.24	...	...	○	○	○	...
1.25	...	...	○	○	○	...
1.26	...	...	○	○	○	...
1.27	...	...	○	○	○	...
1.28	...	...	○	○	○	...
1.29	...	...	○	○	○	...
1.30	...	...	○	○	○	...
1.31	...	...	○	○	○	...
1.32	...	...	○	○	○	...
1.33	...	...	○	○	○	...
1.34	...	...	○	○	○	...
1.35	...	...	○	○	○	...
1.36	...	...	○	○	○	...
1.37	...	...	○	○	○	...
1.38	...	...	○	○	○	...
1.39	...	...	○	○	○	...
1.40	...	...	○	○	○	...
1.41	...	...	○	○	○	...
1.42	...	...	○	○	○	...
1.43	...	...	○	○	○	...
1.44	...	...	○	○	○	...
1.45	...	...	○	○	○	...
1.46	...	...	○	○	○	...
1.47	...	...	○	○	○	...
1.48	...	...	○	○	○	...
1.49	...	...	○	○	○	...
1.50	...	...	○	○	○	...
1.51	...	...	○	○	○	...
1.52	...	...	○	○	○	...
1.53	...	...	○	○	○	...
1.54	...	...	○	○	○	...
1.55	...	...	○	○	○	...
1.56	...	...	○	○	○	...
1.57	...	...	○	○	○	...
1.58	...	...	○	○	○	...
1.59	...	...	○	○	○	...
1.60	...	...	○	○	○	...
1.61	...	...	○	○	○	...
1.62	...	...	○	○	○	...
1.63	...	...	○	○	○	...
1.64	...	...	○	○	○	...
1.65	...	...	○	○	○	...
1.66	...	...	○	○	○	...
1.67	...	...	○	○	○	...
1.68	...	...	○	○	○	...
1.69	...	...	○	○	○	...
1.70	...	...	○	○	○	...
1.71	...	...	○	○	○	...
1.72	...	...	○	○	○	...
1.73	...	...	○	○	○	...
1.74	...	...	○	○	○	...
1.75	...	...	○	○	○	...
1.76	...	...	○	○	○	...
1.77	...	...	○	○	○	...
1.78	...	...	○	○	○	...
1.79	...	...	○	○	○	...
1.80	...	...	○	○	○	...
1.81	...	...	○	○	○	...
1.82	...	...	○	○	○	...
1.83	...	...	○	○	○	...
1.84	...	...	○	○	○	...
1.85	...	...	○	○	○	...
1.86	...	...	○	○	○	...
1.87	...	...	○	○	○	...
1.88	...	...	○	○	○	...
1.89	...	...	○	○	○	...
1.90	...	...	○	○	○	...
1.91	...	...	○	○	○	...
1.92	...	...	○	○	○	...
1.93	...	...	○	○	○	...
1.94	...	...	○	○	○	...
1.95	...	...	○	○	○	...
1.96	...	...	○	○	○	...
1.97	...	...	○	○	○	...
1.98	...	...	○	○	○	...
1.99	...	...	○	○	○	...
1.100	...	...	○	○	○	...

相違理由

【女川】  
設計方針の相違  
プラント設計の違いによる評価結果の相違

【参考】【伊方】  
記載方針の相違  
泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。













赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>表1 浸水影響評価結果整理表 (想定破損) (4/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>設備位置</th> <th>設備種別</th> <th>設備容量</th> <th>設備寸法</th> <th>設備重量</th> <th>設備材料</th> <th>設備状態</th> <th>設備評価</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>凝縮機</td> <td>2号炉内</td> <td>回転機</td> <td>10000kW</td> <td>φ10000×10000</td> <td>100000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>1000kW</td> <td>φ1000×1000</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>1000kW</td> <td>φ1000×1000</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>1000kW</td> <td>φ1000×1000</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表1 浸水影響評価結果整理表 (想定破損) (4/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>設備位置</th> <th>設備種別</th> <th>設備容量</th> <th>設備寸法</th> <th>設備重量</th> <th>設備材料</th> <th>設備状態</th> <th>設備評価</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>凝縮機</td> <td>2号炉内</td> <td>回転機</td> <td>10000kW</td> <td>φ10000×10000</td> <td>100000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>1000kW</td> <td>φ1000×1000</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>1000kW</td> <td>φ1000×1000</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>1000kW</td> <td>φ1000×1000</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>表1 浸水影響評価結果整理表 (想定破損) (4/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>設備位置</th> <th>設備種別</th> <th>設備容量</th> <th>設備寸法</th> <th>設備重量</th> <th>設備材料</th> <th>設備状態</th> <th>設備評価</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>凝縮機</td> <td>2号炉内</td> <td>回転機</td> <td>10000kW</td> <td>φ10000×10000</td> <td>100000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>1000kW</td> <td>φ1000×1000</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>1000kW</td> <td>φ1000×1000</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>1000kW</td> <td>φ1000×1000</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備名	設備位置	設備種別	設備容量	設備寸法	設備重量	設備材料	設備状態	設備評価	備考	凝縮機	2号炉内	回転機	10000kW	φ10000×10000	100000kg	鋼製	正常	A		送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A		ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A		ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A		ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		設備名	設備位置	設備種別	設備容量	設備寸法	設備重量	設備材料	設備状態	設備評価	備考	凝縮機	2号炉内	回転機	10000kW	φ10000×10000	100000kg	鋼製	正常	A		送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A		ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A		ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A		ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		設備名	設備位置	設備種別	設備容量	設備寸法	設備重量	設備材料	設備状態	設備評価	備考	凝縮機	2号炉内	回転機	10000kW	φ10000×10000	100000kg	鋼製	正常	A		送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A		ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A		ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A		ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		<p>表1 浸水影響評価結果整理表 (想定破損) (4/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備名</th> <th>設備位置</th> <th>設備種別</th> <th>設備容量</th> <th>設備寸法</th> <th>設備重量</th> <th>設備材料</th> <th>設備状態</th> <th>設備評価</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>凝縮機</td> <td>2号炉内</td> <td>回転機</td> <td>10000kW</td> <td>φ10000×10000</td> <td>100000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>1000kW</td> <td>φ1000×1000</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>1000kW</td> <td>φ1000×1000</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>1000kW</td> <td>φ1000×1000</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> <tr> <td>冷却水ポンプ</td> <td>2号炉内</td> <td>電動機</td> <td>100kW</td> <td>φ500×500</td> <td>10000kg</td> <td>鋼製</td> <td>正常</td> <td>A</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備名	設備位置	設備種別	設備容量	設備寸法	設備重量	設備材料	設備状態	設備評価	備考	凝縮機	2号炉内	回転機	10000kW	φ10000×10000	100000kg	鋼製	正常	A		送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A		ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A		ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A		ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A		<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p> <p>【参考】【伊方】  <u>記載方針の相違</u>                      泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。</p>
設備名	設備位置	設備種別	設備容量	設備寸法	設備重量	設備材料	設備状態	設備評価	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
凝縮機	2号炉内	回転機	10000kW	φ10000×10000	100000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設備名	設備位置	設備種別	設備容量	設備寸法	設備重量	設備材料	設備状態	設備評価	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
凝縮機	2号炉内	回転機	10000kW	φ10000×10000	100000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設備名	設備位置	設備種別	設備容量	設備寸法	設備重量	設備材料	設備状態	設備評価	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
凝縮機	2号炉内	回転機	10000kW	φ10000×10000	100000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設備名	設備位置	設備種別	設備容量	設備寸法	設備重量	設備材料	設備状態	設備評価	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
凝縮機	2号炉内	回転機	10000kW	φ10000×10000	100000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
送風機	2号炉内	電動機	1000kW	φ1000×1000	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
冷却水ポンプ	2号炉内	電動機	100kW	φ500×500	10000kg	鋼製	正常	A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>資料種別 英文原簿</p> <p>資料作成年度 平成27年4月11日現在 適用法令等 法第14条</p> <p>資料名称 FCV(FCV)</p> <hr/> <p style="text-align: center;">資料内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> </tr> <tr> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> <td>水圧制御システム</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">資料内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th colspan="2">緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> </tr> <tr> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> <th>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</td> <td>緊急停止機能 (ECCS/ECS)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> <td>ASD(1系)   評価(注釈)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)																																																																																																																																							
緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)																																																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム	水圧制御システム																																																																																																																																						
○	×	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)																																																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)		緊急停止機能 (ECCS/ECS)																																																																																																																																							
緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)																																																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)	緊急停止機能 (ECCS/ECS)																																																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						
ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)	ASD(1系)   評価(注釈)																																																																																																																																						
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																						



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>表1 浸水影響評価結果整理表 (想定破損) (6/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>評価内容</th> <th>評価結果</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 設備の破損</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>破損</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は破損する。</td> </tr> <tr> <td>② 設備の停止</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>停止</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は停止する。</td> </tr> <tr> <td>③ 設備の修理</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>修理</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は修理される。</td> </tr> <tr> <td>④ 設備の交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。</td> </tr> <tr> <td>⑤ 設備の撤去</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>撤去</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は撤去される。</td> </tr> <tr> <td>⑥ 設備の設置</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>設置</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は設置される。</td> </tr> <tr> <td>⑦ 設備の点検</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>点検</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は点検される。</td> </tr> <tr> <td>⑧ 設備の清掃</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>清掃</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は清掃される。</td> </tr> <tr> <td>⑨ 設備の塗装</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>塗装</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は塗装される。</td> </tr> <tr> <td>⑩ 設備の補修</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>補修</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は補修される。</td> </tr> <tr> <td>⑪ 設備の更新</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>更新</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は更新される。</td> </tr> <tr> <td>⑫ 設備の廃棄</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>廃棄</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は廃棄される。</td> </tr> <tr> <td>⑬ 設備の再利用</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>再利用</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は再利用される。</td> </tr> <tr> <td>⑭ 設備の売却</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>売却</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は売却される。</td> </tr> <tr> <td>⑮ 設備の賃貸</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>賃貸</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は賃貸される。</td> </tr> <tr> <td>⑯ 設備のリース</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>リース</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備はリースされる。</td> </tr> <tr> <td>⑰ 設備の借用</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>借用</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は借用される。</td> </tr> <tr> <td>⑱ 設備の寄贈</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>寄贈</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は寄贈される。</td> </tr> <tr> <td>⑲ 設備の譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。</td> </tr> <tr> <td>⑳ 設備の承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。</td> </tr> <tr> <td>㉑ 設備の相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。</td> </tr> <tr> <td>㉒ 設備の贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。</td> </tr> <tr> <td>㉓ 設備の売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。</td> </tr> <tr> <td>㉔ 設備の交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。</td> </tr> <tr> <td>㉕ 設備の譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。</td> </tr> <tr> <td>㉖ 設備の承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。</td> </tr> <tr> <td>㉗ 設備の相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。</td> </tr> <tr> <td>㉘ 設備の贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。</td> </tr> <tr> <td>㉙ 設備の売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。</td> </tr> <tr> <td>㉚ 設備の交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。</td> </tr> <tr> <td>㉛ 設備の譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。</td> </tr> <tr> <td>㉜ 設備の承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。</td> </tr> <tr> <td>㉝ 設備の相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。</td> </tr> <tr> <td>㉞ 設備の贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。</td> </tr> <tr> <td>㉟ 設備の売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。</td> </tr> <tr> <td>㊱ 設備の交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。</td> </tr> <tr> <td>㊲ 設備の譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。</td> </tr> <tr> <td>㊳ 設備の承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。</td> </tr> <tr> <td>㊴ 設備の相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。</td> </tr> <tr> <td>㊵ 設備の贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。</td> </tr> <tr> <td>㊶ 設備の売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。</td> </tr> <tr> <td>㊷ 設備の交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。</td> </tr> <tr> <td>㊸ 設備の譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。</td> </tr> <tr> <td>㊹ 設備の承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。</td> </tr> <tr> <td>㊺ 設備の相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。</td> </tr> <tr> <td>㊻ 設備の贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。</td> </tr> <tr> <td>㊼ 設備の売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。</td> </tr> <tr> <td>㊽ 設備の交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。</td> </tr> <tr> <td>㊾ 設備の譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。</td> </tr> <tr> <td>㊿ 設備の承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価内容	評価結果	備考	① 設備の破損	3-A, 3-B, 3-C	破損	3-A, 3-B, 3-Cの設備は破損する。	② 設備の停止	3-A, 3-B, 3-C	停止	3-A, 3-B, 3-Cの設備は停止する。	③ 設備の修理	3-A, 3-B, 3-C	修理	3-A, 3-B, 3-Cの設備は修理される。	④ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。	⑤ 設備の撤去	3-A, 3-B, 3-C	撤去	3-A, 3-B, 3-Cの設備は撤去される。	⑥ 設備の設置	3-A, 3-B, 3-C	設置	3-A, 3-B, 3-Cの設備は設置される。	⑦ 設備の点検	3-A, 3-B, 3-C	点検	3-A, 3-B, 3-Cの設備は点検される。	⑧ 設備の清掃	3-A, 3-B, 3-C	清掃	3-A, 3-B, 3-Cの設備は清掃される。	⑨ 設備の塗装	3-A, 3-B, 3-C	塗装	3-A, 3-B, 3-Cの設備は塗装される。	⑩ 設備の補修	3-A, 3-B, 3-C	補修	3-A, 3-B, 3-Cの設備は補修される。	⑪ 設備の更新	3-A, 3-B, 3-C	更新	3-A, 3-B, 3-Cの設備は更新される。	⑫ 設備の廃棄	3-A, 3-B, 3-C	廃棄	3-A, 3-B, 3-Cの設備は廃棄される。	⑬ 設備の再利用	3-A, 3-B, 3-C	再利用	3-A, 3-B, 3-Cの設備は再利用される。	⑭ 設備の売却	3-A, 3-B, 3-C	売却	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売却される。	⑮ 設備の賃貸	3-A, 3-B, 3-C	賃貸	3-A, 3-B, 3-Cの設備は賃貸される。	⑯ 設備のリース	3-A, 3-B, 3-C	リース	3-A, 3-B, 3-Cの設備はリースされる。	⑰ 設備の借用	3-A, 3-B, 3-C	借用	3-A, 3-B, 3-Cの設備は借用される。	⑱ 設備の寄贈	3-A, 3-B, 3-C	寄贈	3-A, 3-B, 3-Cの設備は寄贈される。	⑲ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。	⑳ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。	㉑ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。	㉒ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。	㉓ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。	㉔ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。	㉕ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。	㉖ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。	㉗ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。	㉘ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。	㉙ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。	㉚ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。	㉛ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。	㉜ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。	㉝ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。	㉞ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。	㉟ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。	㊱ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。	㊲ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。	㊳ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。	㊴ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。	㊵ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。	㊶ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。	㊷ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。	㊸ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。	㊹ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。	㊺ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。	㊻ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。	㊼ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。	㊽ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。	㊾ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。	㊿ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。	<p>表1 浸水影響評価結果整理表 (想定破損) (6/7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>評価内容</th> <th>評価結果</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 設備の破損</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>破損</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は破損する。</td> </tr> <tr> <td>② 設備の停止</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>停止</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は停止する。</td> </tr> <tr> <td>③ 設備の修理</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>修理</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は修理される。</td> </tr> <tr> <td>④ 設備の交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。</td> </tr> <tr> <td>⑤ 設備の撤去</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>撤去</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は撤去される。</td> </tr> <tr> <td>⑥ 設備の設置</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>設置</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は設置される。</td> </tr> <tr> <td>⑦ 設備の点検</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>点検</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は点検される。</td> </tr> <tr> <td>⑧ 設備の清掃</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>清掃</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は清掃される。</td> </tr> <tr> <td>⑨ 設備の塗装</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>塗装</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は塗装される。</td> </tr> <tr> <td>⑩ 設備の補修</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>補修</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は補修される。</td> </tr> <tr> <td>⑪ 設備の更新</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>更新</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は更新される。</td> </tr> <tr> <td>⑫ 設備の廃棄</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>廃棄</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は廃棄される。</td> </tr> <tr> <td>⑬ 設備の再利用</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>再利用</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は再利用される。</td> </tr> <tr> <td>⑭ 設備の売却</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>売却</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は売却される。</td> </tr> <tr> <td>⑮ 設備の賃貸</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>賃貸</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は賃貸される。</td> </tr> <tr> <td>⑯ 設備のリース</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>リース</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備はリースされる。</td> </tr> <tr> <td>⑰ 設備の借用</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>借用</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は借用される。</td> </tr> <tr> <td>⑱ 設備の寄贈</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>寄贈</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は寄贈される。</td> </tr> <tr> <td>⑲ 設備の譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。</td> </tr> <tr> <td>⑳ 設備の承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。</td> </tr> <tr> <td>㉑ 設備の相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。</td> </tr> <tr> <td>㉒ 設備の贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。</td> </tr> <tr> <td>㉓ 設備の売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。</td> </tr> <tr> <td>㉔ 設備の交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。</td> </tr> <tr> <td>㉕ 設備の譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。</td> </tr> <tr> <td>㉖ 設備の承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。</td> </tr> <tr> <td>㉗ 設備の相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。</td> </tr> <tr> <td>㉘ 設備の贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。</td> </tr> <tr> <td>㉙ 設備の売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。</td> </tr> <tr> <td>㉚ 設備の交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。</td> </tr> <tr> <td>㉛ 設備の譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。</td> </tr> <tr> <td>㉜ 設備の承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。</td> </tr> <tr> <td>㉝ 設備の相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。</td> </tr> <tr> <td>㉞ 設備の贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。</td> </tr> <tr> <td>㉟ 設備の売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。</td> </tr> <tr> <td>㊱ 設備の交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。</td> </tr> <tr> <td>㊲ 設備の譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。</td> </tr> <tr> <td>㊳ 設備の承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。</td> </tr> <tr> <td>㊴ 設備の相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。</td> </tr> <tr> <td>㊵ 設備の贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。</td> </tr> <tr> <td>㊶ 設備の売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。</td> </tr> <tr> <td>㊷ 設備の交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。</td> </tr> <tr> <td>㊸ 設備の譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。</td> </tr> <tr> <td>㊹ 設備の承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。</td> </tr> <tr> <td>㊺ 設備の相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>相続</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。</td> </tr> <tr> <td>㊻ 設備の贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>贈与</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。</td> </tr> <tr> <td>㊼ 設備の売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>売買</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。</td> </tr> <tr> <td>㊽ 設備の交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>交換</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。</td> </tr> <tr> <td>㊾ 設備の譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>譲渡</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。</td> </tr> <tr> <td>㊿ 設備の承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-C</td> <td>承継</td> <td>3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価内容	評価結果	備考	① 設備の破損	3-A, 3-B, 3-C	破損	3-A, 3-B, 3-Cの設備は破損する。	② 設備の停止	3-A, 3-B, 3-C	停止	3-A, 3-B, 3-Cの設備は停止する。	③ 設備の修理	3-A, 3-B, 3-C	修理	3-A, 3-B, 3-Cの設備は修理される。	④ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。	⑤ 設備の撤去	3-A, 3-B, 3-C	撤去	3-A, 3-B, 3-Cの設備は撤去される。	⑥ 設備の設置	3-A, 3-B, 3-C	設置	3-A, 3-B, 3-Cの設備は設置される。	⑦ 設備の点検	3-A, 3-B, 3-C	点検	3-A, 3-B, 3-Cの設備は点検される。	⑧ 設備の清掃	3-A, 3-B, 3-C	清掃	3-A, 3-B, 3-Cの設備は清掃される。	⑨ 設備の塗装	3-A, 3-B, 3-C	塗装	3-A, 3-B, 3-Cの設備は塗装される。	⑩ 設備の補修	3-A, 3-B, 3-C	補修	3-A, 3-B, 3-Cの設備は補修される。	⑪ 設備の更新	3-A, 3-B, 3-C	更新	3-A, 3-B, 3-Cの設備は更新される。	⑫ 設備の廃棄	3-A, 3-B, 3-C	廃棄	3-A, 3-B, 3-Cの設備は廃棄される。	⑬ 設備の再利用	3-A, 3-B, 3-C	再利用	3-A, 3-B, 3-Cの設備は再利用される。	⑭ 設備の売却	3-A, 3-B, 3-C	売却	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売却される。	⑮ 設備の賃貸	3-A, 3-B, 3-C	賃貸	3-A, 3-B, 3-Cの設備は賃貸される。	⑯ 設備のリース	3-A, 3-B, 3-C	リース	3-A, 3-B, 3-Cの設備はリースされる。	⑰ 設備の借用	3-A, 3-B, 3-C	借用	3-A, 3-B, 3-Cの設備は借用される。	⑱ 設備の寄贈	3-A, 3-B, 3-C	寄贈	3-A, 3-B, 3-Cの設備は寄贈される。	⑲ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。	⑳ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。	㉑ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。	㉒ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。	㉓ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。	㉔ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。	㉕ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。	㉖ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。	㉗ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。	㉘ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。	㉙ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。	㉚ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。	㉛ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。	㉜ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。	㉝ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。	㉞ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。	㉟ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。	㊱ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。	㊲ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。	㊳ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。	㊴ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。	㊵ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。	㊶ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。	㊷ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。	㊸ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。	㊹ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。	㊺ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。	㊻ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。	㊼ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。	㊽ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。	㊾ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。	㊿ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。	<p>【女川】  <u>設計方針の相違</u>                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p> <p>【参考】【伊方】  <u>記載方針の相違</u>                  泊と同様のまとめ方をしている先行PWRとしては、伊方、川内、玄海があり、大飯の評価結果の後(9-別添1-添17-25)に伊方の評価結果を掲載する。</p>
評価項目	評価内容	評価結果	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
① 設備の破損	3-A, 3-B, 3-C	破損	3-A, 3-B, 3-Cの設備は破損する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
② 設備の停止	3-A, 3-B, 3-C	停止	3-A, 3-B, 3-Cの設備は停止する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
③ 設備の修理	3-A, 3-B, 3-C	修理	3-A, 3-B, 3-Cの設備は修理される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
④ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑤ 設備の撤去	3-A, 3-B, 3-C	撤去	3-A, 3-B, 3-Cの設備は撤去される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑥ 設備の設置	3-A, 3-B, 3-C	設置	3-A, 3-B, 3-Cの設備は設置される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑦ 設備の点検	3-A, 3-B, 3-C	点検	3-A, 3-B, 3-Cの設備は点検される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑧ 設備の清掃	3-A, 3-B, 3-C	清掃	3-A, 3-B, 3-Cの設備は清掃される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑨ 設備の塗装	3-A, 3-B, 3-C	塗装	3-A, 3-B, 3-Cの設備は塗装される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑩ 設備の補修	3-A, 3-B, 3-C	補修	3-A, 3-B, 3-Cの設備は補修される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑪ 設備の更新	3-A, 3-B, 3-C	更新	3-A, 3-B, 3-Cの設備は更新される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑫ 設備の廃棄	3-A, 3-B, 3-C	廃棄	3-A, 3-B, 3-Cの設備は廃棄される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑬ 設備の再利用	3-A, 3-B, 3-C	再利用	3-A, 3-B, 3-Cの設備は再利用される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑭ 設備の売却	3-A, 3-B, 3-C	売却	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売却される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑮ 設備の賃貸	3-A, 3-B, 3-C	賃貸	3-A, 3-B, 3-Cの設備は賃貸される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑯ 設備のリース	3-A, 3-B, 3-C	リース	3-A, 3-B, 3-Cの設備はリースされる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑰ 設備の借用	3-A, 3-B, 3-C	借用	3-A, 3-B, 3-Cの設備は借用される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑱ 設備の寄贈	3-A, 3-B, 3-C	寄贈	3-A, 3-B, 3-Cの設備は寄贈される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑲ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑳ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉑ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉒ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉓ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉔ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉕ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉖ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉗ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉘ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉙ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉚ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉛ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉜ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉝ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉞ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉟ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊱ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊲ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊳ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊴ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊵ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊶ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊷ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊸ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊹ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊺ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊻ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊼ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊽ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊾ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊿ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
評価項目	評価内容	評価結果	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
① 設備の破損	3-A, 3-B, 3-C	破損	3-A, 3-B, 3-Cの設備は破損する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
② 設備の停止	3-A, 3-B, 3-C	停止	3-A, 3-B, 3-Cの設備は停止する。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
③ 設備の修理	3-A, 3-B, 3-C	修理	3-A, 3-B, 3-Cの設備は修理される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
④ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑤ 設備の撤去	3-A, 3-B, 3-C	撤去	3-A, 3-B, 3-Cの設備は撤去される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑥ 設備の設置	3-A, 3-B, 3-C	設置	3-A, 3-B, 3-Cの設備は設置される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑦ 設備の点検	3-A, 3-B, 3-C	点検	3-A, 3-B, 3-Cの設備は点検される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑧ 設備の清掃	3-A, 3-B, 3-C	清掃	3-A, 3-B, 3-Cの設備は清掃される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑨ 設備の塗装	3-A, 3-B, 3-C	塗装	3-A, 3-B, 3-Cの設備は塗装される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑩ 設備の補修	3-A, 3-B, 3-C	補修	3-A, 3-B, 3-Cの設備は補修される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑪ 設備の更新	3-A, 3-B, 3-C	更新	3-A, 3-B, 3-Cの設備は更新される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑫ 設備の廃棄	3-A, 3-B, 3-C	廃棄	3-A, 3-B, 3-Cの設備は廃棄される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑬ 設備の再利用	3-A, 3-B, 3-C	再利用	3-A, 3-B, 3-Cの設備は再利用される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑭ 設備の売却	3-A, 3-B, 3-C	売却	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売却される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑮ 設備の賃貸	3-A, 3-B, 3-C	賃貸	3-A, 3-B, 3-Cの設備は賃貸される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑯ 設備のリース	3-A, 3-B, 3-C	リース	3-A, 3-B, 3-Cの設備はリースされる。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑰ 設備の借用	3-A, 3-B, 3-C	借用	3-A, 3-B, 3-Cの設備は借用される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑱ 設備の寄贈	3-A, 3-B, 3-C	寄贈	3-A, 3-B, 3-Cの設備は寄贈される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑲ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑳ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉑ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉒ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉓ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉔ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉕ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉖ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉗ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉘ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉙ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉚ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉛ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉜ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉝ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉞ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉟ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊱ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊲ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊳ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊴ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊵ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊶ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊷ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊸ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊹ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊺ 設備の相続	3-A, 3-B, 3-C	相続	3-A, 3-B, 3-Cの設備は相続される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊻ 設備の贈与	3-A, 3-B, 3-C	贈与	3-A, 3-B, 3-Cの設備は贈与される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊼ 設備の売買	3-A, 3-B, 3-C	売買	3-A, 3-B, 3-Cの設備は売買される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊽ 設備の交換	3-A, 3-B, 3-C	交換	3-A, 3-B, 3-Cの設備は交換される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊾ 設備の譲渡	3-A, 3-B, 3-C	譲渡	3-A, 3-B, 3-Cの設備は譲渡される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㊿ 設備の承継	3-A, 3-B, 3-C	承継	3-A, 3-B, 3-Cの設備は承継される。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">新設設備</td> <td colspan="2">認定設備</td> <td colspan="2">既設設備</td> <td colspan="2">廃止設備</td> <td colspan="2">未記載設備</td> <td colspan="2">不明</td> <td colspan="2">その他</td> </tr> <tr> <td>新設設備</td> <td>認定設備</td> <td>新設設備</td> <td>認定設備</td> <td>新設設備</td> <td>認定設備</td> <td>新設設備</td> <td>認定設備</td> <td>新設設備</td> <td>認定設備</td> <td>新設設備</td> <td>認定設備</td> <td>新設設備</td> <td>認定設備</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>	新設設備		認定設備		既設設備		廃止設備		未記載設備		不明		その他		新設設備	認定設備	新設設備	認定設備	新設設備	認定設備	新設設備	認定設備	新設設備	認定設備	新設設備	認定設備	新設設備	認定設備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
新設設備		認定設備		既設設備		廃止設備		未記載設備		不明		その他																																																													
新設設備	認定設備	新設設備	認定設備	新設設備	認定設備	新設設備	認定設備	新設設備	認定設備	新設設備	認定設備	新設設備	認定設備																																																												
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																												
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△																																																												
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×																																																												











赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>資料概要 型式 型番</p> <p>資料発生装置 女川原子力発電所2号炉</p> <p>資料番号 512</p> <hr/> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">電源設備</th> <th colspan="2">電源設備</th> <th colspan="2">電源設備</th> <th colspan="2">電源設備</th> <th colspan="2">電源設備</th> <th colspan="2">電源設備</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>大飯</th> <th>項目</th> <th>女川</th> <th>項目</th> <th>女川</th> <th>項目</th> <th>女川</th> <th>項目</th> <th>女川</th> <th>項目</th> <th>女川</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電源設備の種類</td> <td>〇</td> <td>電源設備の種類</td> <td>〇</td> <td>電源設備の種類</td> <td>〇</td> <td>電源設備の種類</td> <td>〇</td> <td>電源設備の種類</td> <td>〇</td> <td>電源設備の種類</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備のメーカー</td> <td>〇</td> <td>電源設備のメーカー</td> <td>〇</td> <td>電源設備のメーカー</td> <td>〇</td> <td>電源設備のメーカー</td> <td>〇</td> <td>電源設備のメーカー</td> <td>〇</td> <td>電源設備のメーカー</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の型式</td> <td>〇</td> <td>電源設備の型式</td> <td>〇</td> <td>電源設備の型式</td> <td>〇</td> <td>電源設備の型式</td> <td>〇</td> <td>電源設備の型式</td> <td>〇</td> <td>電源設備の型式</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の型番</td> <td>〇</td> <td>電源設備の型番</td> <td>〇</td> <td>電源設備の型番</td> <td>〇</td> <td>電源設備の型番</td> <td>〇</td> <td>電源設備の型番</td> <td>〇</td> <td>電源設備の型番</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の出力</td> <td>〇</td> <td>電源設備の出力</td> <td>〇</td> <td>電源設備の出力</td> <td>〇</td> <td>電源設備の出力</td> <td>〇</td> <td>電源設備の出力</td> <td>〇</td> <td>電源設備の出力</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の電圧</td> <td>〇</td> <td>電源設備の電圧</td> <td>〇</td> <td>電源設備の電圧</td> <td>〇</td> <td>電源設備の電圧</td> <td>〇</td> <td>電源設備の電圧</td> <td>〇</td> <td>電源設備の電圧</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の電流</td> <td>〇</td> <td>電源設備の電流</td> <td>〇</td> <td>電源設備の電流</td> <td>〇</td> <td>電源設備の電流</td> <td>〇</td> <td>電源設備の電流</td> <td>〇</td> <td>電源設備の電流</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の効率</td> <td>〇</td> <td>電源設備の効率</td> <td>〇</td> <td>電源設備の効率</td> <td>〇</td> <td>電源設備の効率</td> <td>〇</td> <td>電源設備の効率</td> <td>〇</td> <td>電源設備の効率</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の寿命</td> <td>〇</td> <td>電源設備の寿命</td> <td>〇</td> <td>電源設備の寿命</td> <td>〇</td> <td>電源設備の寿命</td> <td>〇</td> <td>電源設備の寿命</td> <td>〇</td> <td>電源設備の寿命</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備のメンテナンス</td> <td>〇</td> <td>電源設備のメンテナンス</td> <td>〇</td> <td>電源設備のメンテナンス</td> <td>〇</td> <td>電源設備のメンテナンス</td> <td>〇</td> <td>電源設備のメンテナンス</td> <td>〇</td> <td>電源設備のメンテナンス</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の故障率</td> <td>〇</td> <td>電源設備の故障率</td> <td>〇</td> <td>電源設備の故障率</td> <td>〇</td> <td>電源設備の故障率</td> <td>〇</td> <td>電源設備の故障率</td> <td>〇</td> <td>電源設備の故障率</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の信頼性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の信頼性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の信頼性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の信頼性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の信頼性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の信頼性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の安全性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の安全性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の安全性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の安全性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の安全性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の安全性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の環境適合性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の環境適合性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の環境適合性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の環境適合性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の環境適合性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の環境適合性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の経済性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の経済性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の経済性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の経済性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の経済性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の経済性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の操作性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の操作性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の操作性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の操作性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の操作性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の操作性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の保守性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の保守性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の保守性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の保守性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の保守性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の保守性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の拡張性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の拡張性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の拡張性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の拡張性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の拡張性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の拡張性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の柔軟性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の柔軟性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の柔軟性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の柔軟性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の柔軟性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の柔軟性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の信頼性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の信頼性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の信頼性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の信頼性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の信頼性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の信頼性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の安全性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の安全性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の安全性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の安全性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の安全性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の安全性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の環境適合性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の環境適合性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の環境適合性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の環境適合性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の環境適合性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の環境適合性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の経済性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の経済性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の経済性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の経済性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の経済性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の経済性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の操作性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の操作性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の操作性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の操作性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の操作性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の操作性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の保守性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の保守性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の保守性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の保守性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の保守性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の保守性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の拡張性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の拡張性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の拡張性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の拡張性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の拡張性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の拡張性</td> <td>〇</td> </tr> <tr> <td>電源設備の柔軟性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の柔軟性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の柔軟性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の柔軟性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の柔軟性</td> <td>〇</td> <td>電源設備の柔軟性</td> <td>〇</td> </tr> </tbody> </table> </div>	電源設備		電源設備		電源設備		電源設備		電源設備		電源設備		項目	大飯	項目	女川	項目	女川	項目	女川	項目	女川	項目	女川	電源設備の種類	〇	電源設備の種類	〇	電源設備の種類	〇	電源設備の種類	〇	電源設備の種類	〇	電源設備の種類	〇	電源設備のメーカー	〇	電源設備のメーカー	〇	電源設備のメーカー	〇	電源設備のメーカー	〇	電源設備のメーカー	〇	電源設備のメーカー	〇	電源設備の型式	〇	電源設備の型式	〇	電源設備の型式	〇	電源設備の型式	〇	電源設備の型式	〇	電源設備の型式	〇	電源設備の型番	〇	電源設備の型番	〇	電源設備の型番	〇	電源設備の型番	〇	電源設備の型番	〇	電源設備の型番	〇	電源設備の出力	〇	電源設備の出力	〇	電源設備の出力	〇	電源設備の出力	〇	電源設備の出力	〇	電源設備の出力	〇	電源設備の電圧	〇	電源設備の電圧	〇	電源設備の電圧	〇	電源設備の電圧	〇	電源設備の電圧	〇	電源設備の電圧	〇	電源設備の電流	〇	電源設備の電流	〇	電源設備の電流	〇	電源設備の電流	〇	電源設備の電流	〇	電源設備の電流	〇	電源設備の効率	〇	電源設備の効率	〇	電源設備の効率	〇	電源設備の効率	〇	電源設備の効率	〇	電源設備の効率	〇	電源設備の寿命	〇	電源設備の寿命	〇	電源設備の寿命	〇	電源設備の寿命	〇	電源設備の寿命	〇	電源設備の寿命	〇	電源設備のメンテナンス	〇	電源設備のメンテナンス	〇	電源設備のメンテナンス	〇	電源設備のメンテナンス	〇	電源設備のメンテナンス	〇	電源設備のメンテナンス	〇	電源設備の故障率	〇	電源設備の故障率	〇	電源設備の故障率	〇	電源設備の故障率	〇	電源設備の故障率	〇	電源設備の故障率	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
電源設備		電源設備		電源設備		電源設備		電源設備		電源設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
項目	大飯	項目	女川	項目	女川	項目	女川	項目	女川	項目	女川																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の種類	〇	電源設備の種類	〇	電源設備の種類	〇	電源設備の種類	〇	電源設備の種類	〇	電源設備の種類	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備のメーカー	〇	電源設備のメーカー	〇	電源設備のメーカー	〇	電源設備のメーカー	〇	電源設備のメーカー	〇	電源設備のメーカー	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の型式	〇	電源設備の型式	〇	電源設備の型式	〇	電源設備の型式	〇	電源設備の型式	〇	電源設備の型式	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の型番	〇	電源設備の型番	〇	電源設備の型番	〇	電源設備の型番	〇	電源設備の型番	〇	電源設備の型番	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の出力	〇	電源設備の出力	〇	電源設備の出力	〇	電源設備の出力	〇	電源設備の出力	〇	電源設備の出力	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の電圧	〇	電源設備の電圧	〇	電源設備の電圧	〇	電源設備の電圧	〇	電源設備の電圧	〇	電源設備の電圧	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の電流	〇	電源設備の電流	〇	電源設備の電流	〇	電源設備の電流	〇	電源設備の電流	〇	電源設備の電流	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の効率	〇	電源設備の効率	〇	電源設備の効率	〇	電源設備の効率	〇	電源設備の効率	〇	電源設備の効率	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の寿命	〇	電源設備の寿命	〇	電源設備の寿命	〇	電源設備の寿命	〇	電源設備の寿命	〇	電源設備の寿命	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備のメンテナンス	〇	電源設備のメンテナンス	〇	電源設備のメンテナンス	〇	電源設備のメンテナンス	〇	電源設備のメンテナンス	〇	電源設備のメンテナンス	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の故障率	〇	電源設備の故障率	〇	電源設備の故障率	〇	電源設備の故障率	〇	電源設備の故障率	〇	電源設備の故障率	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇	電源設備の信頼性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇	電源設備の安全性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇	電源設備の環境適合性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇	電源設備の経済性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇	電源設備の操作性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇	電源設備の保守性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇	電源設備の拡張性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇	電源設備の柔軟性	〇																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				































赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>資料種別： 設計図書                      基本設計書名： 設計図-3-2                      章名： FDR</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> </tr> <tr> <th colspan="2">原子炉本体</th> <th colspan="2">原子炉本体</th> <th colspan="2">原子炉本体</th> <th colspan="2">原子炉本体</th> <th colspan="2">原子炉本体</th> <th colspan="2">原子炉本体</th> <th colspan="2">原子炉本体</th> <th colspan="2">原子炉本体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉本体		原子炉本体		原子炉本体		原子炉本体		原子炉本体		原子炉本体		原子炉本体		原子炉本体		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備																																																																																					
原子炉本体		原子炉本体		原子炉本体		原子炉本体		原子炉本体		原子炉本体		原子炉本体		原子炉本体																																																																																					
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																				

















赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">原子力発電所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設計者</td> <td colspan="2">東京電力</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設計者(代表)</td> <td colspan="2">井川正幸</td> </tr> <tr> <td colspan="2">製作所</td> <td colspan="2">COP</td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="12">原子力発電所</th> </tr> <tr> <th colspan="3">原子力発電所</th> <th colspan="3">原子力発電所</th> <th colspan="3">原子力発電所</th> <th colspan="3">原子力発電所</th> </tr> <tr> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="12">原子力発電所</th> </tr> <tr> <th colspan="3">原子力発電所</th> <th colspan="3">原子力発電所</th> <th colspan="3">原子力発電所</th> <th colspan="3">原子力発電所</th> </tr> <tr> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> <td>原子力発電所</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> </div>	設計者		東京電力		設計者(代表)		井川正幸		製作所		COP		原子力発電所												原子力発電所			原子力発電所			原子力発電所			原子力発電所			原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原子力発電所												原子力発電所			原子力発電所			原子力発電所			原子力発電所			原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】          設計方針の相違          プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設計者		東京電力																																																																																																													
設計者(代表)		井川正幸																																																																																																													
製作所		COP																																																																																																													
原子力発電所																																																																																																															
原子力発電所			原子力発電所			原子力発電所			原子力発電所																																																																																																						
原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所																																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																				
原子力発電所																																																																																																															
原子力発電所			原子力発電所			原子力発電所			原子力発電所																																																																																																						
原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所	原子力発電所																																																																																																				
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																				













赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																				
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">評価種別： 健全確保</td> <td colspan="2">健全確保</td> </tr> <tr> <td colspan="2">健全確保区分： 中・高圧系</td> <td colspan="2">健全確保</td> </tr> <tr> <td colspan="2">健全確保： 設備名</td> <td colspan="2">設備名</td> </tr> </table>   <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">機器名</th> <th colspan="2">機器仕様</th> <th colspan="2">機器位置</th> <th colspan="2">機器状態</th> <th colspan="2">機器動作</th> <th colspan="2">機器点検</th> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> </div>	評価種別： 健全確保		健全確保		健全確保区分： 中・高圧系		健全確保		健全確保： 設備名		設備名		機器種別		機器名		機器仕様		機器位置		機器状態		機器動作		機器点検		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
評価種別： 健全確保		健全確保																																																																					
健全確保区分： 中・高圧系		健全確保																																																																					
健全確保： 設備名		設備名																																																																					
機器種別		機器名		機器仕様		機器位置		機器状態		機器動作		機器点検																																																											
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																										
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																										
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																										







赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>新設機組： 緊急停機</p> <p>緊急停止装置： 注水停止</p> <p>緊急停止装置： LPS</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急停止装置</th> <th colspan="2">緊急停止装置</th> <th colspan="2">緊急停止装置</th> <th colspan="2">緊急停止装置</th> <th colspan="2">緊急停止装置</th> </tr> <tr> <th>緊急停止装置</th> <th>緊急停止装置</th> <th>緊急停止装置</th> <th>緊急停止装置</th> <th>緊急停止装置</th> <th>緊急停止装置</th> <th>緊急停止装置</th> <th>緊急停止装置</th> <th>緊急停止装置</th> <th>緊急停止装置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> </tr> <tr> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> <td>緊急停止装置</td> </tr> </tbody> </table> </div>	緊急停止装置		緊急停止装置		緊急停止装置		緊急停止装置		緊急停止装置		緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
緊急停止装置		緊急停止装置		緊急停止装置		緊急停止装置		緊急停止装置																																			
緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																		
緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																		
緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置	緊急停止装置																																		





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>評価種別： 緊急準備                      緊急停止設備： 炉心炉心3                      緊急停止： HPCS</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> <th colspan="2">緊急停止設備</th> </tr> <tr> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> <th>緊急停止設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> <td>緊急停止設備</td> </tr> </tbody> </table> </div>	緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備		<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備		緊急停止設備																																					
緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備																																				
緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備	緊急停止設備																																				

















赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>評価項目： 保安設備                  保安設備仕様： 中圧ボイラ                  保安設備： BCKW3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">保安設備仕様</th> <th colspan="2">保安設備仕様</th> <th colspan="2">保安設備仕様</th> <th colspan="2">保安設備仕様</th> <th colspan="2">保安設備仕様</th> <th colspan="2">保安設備仕様</th> </tr> <tr> <th>保安設備仕様</th> <th>保安設備仕様</th> <th>保安設備仕様</th> <th>保安設備仕様</th> <th>保安設備仕様</th> <th>保安設備仕様</th> <th>保安設備仕様</th> <th>保安設備仕様</th> <th>保安設備仕様</th> <th>保安設備仕様</th> <th>保安設備仕様</th> <th>保安設備仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> </tr> <tr> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> <td>保安設備仕様</td> </tr> </tbody> </table> </div>	保安設備仕様		保安設備仕様		保安設備仕様		保安設備仕様		保安設備仕様		保安設備仕様		保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
保安設備仕様		保安設備仕様		保安設備仕様		保安設備仕様		保安設備仕様		保安設備仕様																																									
保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様																																								
保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様																																								
保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様	保安設備仕様																																								





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																				
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> <td colspan="2">防振壁</td> </tr> <tr> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> </tr> <tr> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> <td>防振壁</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">防振区画への排水流入無し</p> </div>	防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁		防振壁																													
防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁																												
防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁	防振壁																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>評価項目： 保安設備                  保安設備設置： 炉心炉心1                  保安室： HGW保安室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">保安設備</th> <th colspan="2">保安設備</th> <th colspan="2">保安設備</th> <th colspan="2">保安設備</th> <th colspan="2">保安設備</th> <th colspan="2">保安設備</th> <th colspan="2">保安設備</th> <th colspan="2">保安設備</th> </tr> <tr> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> <th>保安設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> <td>保安設備</td> </tr> </tbody> </table> </div>	保安設備		保安設備		保安設備		保安設備		保安設備		保安設備		保安設備		保安設備		保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
保安設備		保安設備		保安設備		保安設備		保安設備		保安設備		保安設備		保安設備																																					
保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備																																				
保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備	保安設備																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">                     炉内設備                      炉内設備名：H-1133P-08                      炉内設備種別：H1P1C-S                 </td> <td colspan="2">                     型式：○、設置年度：●、設置等                 </td> </tr> <tr> <td>                     炉内設備                      炉内設備名：H-1133P-08                      炉内設備種別：H1P1C-S                 </td> <td>                     型式：○、設置年度：●、設置等                 </td> <td>                     型式：○、設置年度：●、設置等                 </td> <td>                     型式：○、設置年度：●、設置等                 </td> </tr> <tr> <td>                     炉内設備                      炉内設備名：H-1133P-08                      炉内設備種別：H1P1C-S                 </td> <td>                     型式：○、設置年度：●、設置等                 </td> <td>                     型式：○、設置年度：●、設置等                 </td> <td>                     型式：○、設置年度：●、設置等                 </td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">                     備考：炉内設備名は、炉内設備の型式・設置年度・設置場所を基に、炉内設備の名称を決定する。                      ○：炉内設備の型式・設置年度・設置場所が不明な場合は、炉内設備の名称を決定しない。                      ●：炉内設備の型式・設置年度・設置場所が不明な場合は、炉内設備の名称を決定しない。                      ○：炉内設備の型式・設置年度・設置場所が不明な場合は、炉内設備の名称を決定しない。                      ●：炉内設備の型式・設置年度・設置場所が不明な場合は、炉内設備の名称を決定しない。                 </p> </div>	炉内設備 炉内設備名：H-1133P-08 炉内設備種別：H1P1C-S		型式：○、設置年度：●、設置等		炉内設備 炉内設備名：H-1133P-08 炉内設備種別：H1P1C-S	型式：○、設置年度：●、設置等	型式：○、設置年度：●、設置等	型式：○、設置年度：●、設置等	炉内設備 炉内設備名：H-1133P-08 炉内設備種別：H1P1C-S	型式：○、設置年度：●、設置等	型式：○、設置年度：●、設置等	型式：○、設置年度：●、設置等		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内設備 炉内設備名：H-1133P-08 炉内設備種別：H1P1C-S		型式：○、設置年度：●、設置等													
炉内設備 炉内設備名：H-1133P-08 炉内設備種別：H1P1C-S	型式：○、設置年度：●、設置等	型式：○、設置年度：●、設置等	型式：○、設置年度：●、設置等												
炉内設備 炉内設備名：H-1133P-08 炉内設備種別：H1P1C-S	型式：○、設置年度：●、設置等	型式：○、設置年度：●、設置等	型式：○、設置年度：●、設置等												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>評価項目：想定設備                      基本設計書：R-4号炉-8                      基本書：HPCS</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉設備</th> </tr> <tr> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>設備名</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> <td>緊急停止機能</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>水位制御システム</td> <td>○</td> <td>水位制御システム</td> <td>○</td> <td>水位制御システム</td> <td>○</td> <td>水位制御システム</td> <td>○</td> <td>水位制御システム</td> <td>○</td> <td>水位制御システム</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> <td>A系(1系)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>B系(2系)</td> <td>○</td> <td>B系(2系)</td> <td>○</td> <td>B系(2系)</td> <td>○</td> <td>B系(2系)</td> <td>○</td> <td>B系(2系)</td> <td>○</td> <td>B系(2系)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>C系(3系)</td> <td>○</td> <td>C系(3系)</td> <td>○</td> <td>C系(3系)</td> <td>○</td> <td>C系(3系)</td> <td>○</td> <td>C系(3系)</td> <td>○</td> <td>C系(3系)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>D系(4系)</td> <td>○</td> <td>D系(4系)</td> <td>○</td> <td>D系(4系)</td> <td>○</td> <td>D系(4系)</td> <td>○</td> <td>D系(4系)</td> <td>○</td> <td>D系(4系)</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		設備名	仕様	設備名	仕様	設備名	仕様	設備名	仕様	設備名	仕様	設備名	仕様	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	水位制御システム	○	水位制御システム	○	水位制御システム	○	水位制御システム	○	水位制御システム	○	水位制御システム	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	B系(2系)	○	B系(2系)	○	B系(2系)	○	B系(2系)	○	B系(2系)	○	B系(2系)	○	C系(3系)	○	C系(3系)	○	C系(3系)	○	C系(3系)	○	C系(3系)	○	C系(3系)	○	D系(4系)	○	D系(4系)	○	D系(4系)	○	D系(4系)	○	D系(4系)	○	D系(4系)	○		<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備																																																																																									
設備名	仕様	設備名	仕様	設備名	仕様	設備名	仕様	設備名	仕様	設備名	仕様																																																																																								
緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○	緊急停止機能	○																																																																																								
水位制御システム	○	水位制御システム	○	水位制御システム	○	水位制御システム	○	水位制御システム	○	水位制御システム	○																																																																																								
A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○	A系(1系)	○																																																																																								
B系(2系)	○	B系(2系)	○	B系(2系)	○	B系(2系)	○	B系(2系)	○	B系(2系)	○																																																																																								
C系(3系)	○	C系(3系)	○	C系(3系)	○	C系(3系)	○	C系(3系)	○	C系(3系)	○																																																																																								
D系(4系)	○	D系(4系)	○	D系(4系)	○	D系(4系)	○	D系(4系)	○	D系(4系)	○																																																																																								











赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設備仕様</td> <td colspan="2">機器仕様</td> </tr> <tr> <td>設備名称</td> <td>型式</td> <td>機器名称</td> <td>型式</td> </tr> <tr> <td>設備区分</td> <td>設備位置</td> <td>機器区分</td> <td>機器位置</td> </tr> <tr> <td>設備容量</td> <td>設備重量</td> <td>機器容量</td> <td>機器重量</td> </tr> <tr> <td>設備材質</td> <td>設備色</td> <td>機器材質</td> <td>機器色</td> </tr> <tr> <td>設備メーカー</td> <td>設備製造年</td> <td>機器メーカー</td> <td>機器製造年</td> </tr> <tr> <td>設備状態</td> <td>設備点検履歴</td> <td>機器状態</td> <td>機器点検履歴</td> </tr> <tr> <td>設備保守</td> <td>設備修理履歴</td> <td>機器保守</td> <td>機器修理履歴</td> </tr> <tr> <td>設備故障</td> <td>設備事故履歴</td> <td>機器故障</td> <td>機器事故履歴</td> </tr> <tr> <td>設備廃止</td> <td>設備引当履歴</td> <td>機器廃止</td> <td>機器引当履歴</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">「汚濁区画」への汚水流入無し</p> <p style="font-size: small; margin-top: 20px;">                 備考：設備仕様表及び機器仕様表は、同一の設備名称、型式、容量、重量、材質、色、メーカー、製造年、状態、保守、修理履歴、故障履歴、事故履歴、引当履歴を比較する。                  ① 設備名称、型式、容量、重量、材質、色、メーカー、製造年、状態、保守、修理履歴、故障履歴、事故履歴、引当履歴が異なる場合は、赤字で表示する。                  ② 設備名称、型式、容量、重量、材質、色、メーカー、製造年、状態、保守、修理履歴、故障履歴、事故履歴、引当履歴が同一の場合は、青字で表示する。                  ③ 設備名称、型式、容量、重量、材質、色、メーカー、製造年、状態、保守、修理履歴、故障履歴、事故履歴、引当履歴が同一の場合は、緑字で表示する。             </p> </div>	設備仕様		機器仕様		設備名称	型式	機器名称	型式	設備区分	設備位置	機器区分	機器位置	設備容量	設備重量	機器容量	機器重量	設備材質	設備色	機器材質	機器色	設備メーカー	設備製造年	機器メーカー	機器製造年	設備状態	設備点検履歴	機器状態	機器点検履歴	設備保守	設備修理履歴	機器保守	機器修理履歴	設備故障	設備事故履歴	機器故障	機器事故履歴	設備廃止	設備引当履歴	機器廃止	機器引当履歴		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備仕様		機器仕様																																									
設備名称	型式	機器名称	型式																																								
設備区分	設備位置	機器区分	機器位置																																								
設備容量	設備重量	機器容量	機器重量																																								
設備材質	設備色	機器材質	機器色																																								
設備メーカー	設備製造年	機器メーカー	機器製造年																																								
設備状態	設備点検履歴	機器状態	機器点検履歴																																								
設備保守	設備修理履歴	機器保守	機器修理履歴																																								
設備故障	設備事故履歴	機器故障	機器事故履歴																																								
設備廃止	設備引当履歴	機器廃止	機器引当履歴																																								



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設備名称</td> <td colspan="2">機器目録</td> <td colspan="2">凡例 ○：訂正箇所 ●：訂正箇所</td> </tr> <tr> <td>設備区分</td> <td>設備名称</td> <td>設備区分</td> <td>設備名称</td> <td>設備区分</td> <td>設備名称</td> </tr> <tr> <td>設備区分</td> <td>設備名称</td> <td>設備区分</td> <td>設備名称</td> <td>設備区分</td> <td>設備名称</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">「防護区画への溢水流入無し」</p> <p style="font-size: small; margin-top: 20px;">備考：防護区画内に設置された機器の構造が、本表の記載と異なる場合は、本表の記載と異なるものを記載する。                  ①：本表に記載されていない機器の構造が、本表の記載と異なる場合は、本表の記載と異なるものを記載する。                  A：本表に記載されていない機器の構造が、本表の記載と異なる場合は、本表の記載と異なるものを記載する。                  B：本表に記載されていない機器の構造が、本表の記載と異なる場合は、本表の記載と異なるものを記載する。                  C：本表に記載されていない機器の構造が、本表の記載と異なる場合は、本表の記載と異なるものを記載する。</p> </div>	設備名称		機器目録		凡例 ○：訂正箇所 ●：訂正箇所		設備区分	設備名称	設備区分	設備名称	設備区分	設備名称	設備区分	設備名称	設備区分	設備名称	設備区分	設備名称		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備名称		機器目録		凡例 ○：訂正箇所 ●：訂正箇所																	
設備区分	設備名称	設備区分	設備名称	設備区分	設備名称																
設備区分	設備名称	設備区分	設備名称	設備区分	設備名称																

























赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">DB仕様</th> <th colspan="2">DB適合性</th> <th colspan="2">相違</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設備名</td> <td>炉内圧力調整装置</td> <td>設備名</td> <td>炉内圧力調整装置</td> <td>設備名</td> <td>炉内圧力調整装置</td> <td>設備名</td> <td>炉内圧力調整装置</td> <td>項目</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>型式</td> <td>112-2001A</td> <td>型式</td> <td>112-2001A</td> <td>型式</td> <td>112-2001A</td> <td>型式</td> <td>112-2001A</td> <td>項目</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>数量</td> <td>1</td> <td>数量</td> <td>1</td> <td>数量</td> <td>1</td> <td>数量</td> <td>1</td> <td>項目</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>設置場所</td> <td>炉内圧力調整装置</td> <td>設置場所</td> <td>炉内圧力調整装置</td> <td>設置場所</td> <td>炉内圧力調整装置</td> <td>設置場所</td> <td>炉内圧力調整装置</td> <td>項目</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>仕様</td> <td>炉内圧力調整装置</td> <td>仕様</td> <td>炉内圧力調整装置</td> <td>仕様</td> <td>炉内圧力調整装置</td> <td>仕様</td> <td>炉内圧力調整装置</td> <td>項目</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>DB適合性</td> <td>適合</td> <td>DB適合性</td> <td>適合</td> <td>DB適合性</td> <td>適合</td> <td>DB適合性</td> <td>適合</td> <td>項目</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>相違</td> <td></td> <td>相違</td> <td></td> <td>相違</td> <td></td> <td>相違</td> <td></td> <td>項目</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> <td>項目</td> <td>仕様</td> </tr> </tbody> </table>				設備仕様		設計仕様		DB仕様		DB適合性		相違		項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	設備名	炉内圧力調整装置	設備名	炉内圧力調整装置	設備名	炉内圧力調整装置	設備名	炉内圧力調整装置	項目	仕様	型式	112-2001A	型式	112-2001A	型式	112-2001A	型式	112-2001A	項目	仕様	数量	1	数量	1	数量	1	数量	1	項目	仕様	設置場所	炉内圧力調整装置	設置場所	炉内圧力調整装置	設置場所	炉内圧力調整装置	設置場所	炉内圧力調整装置	項目	仕様	仕様	炉内圧力調整装置	仕様	炉内圧力調整装置	仕様	炉内圧力調整装置	仕様	炉内圧力調整装置	項目	仕様	DB適合性	適合	DB適合性	適合	DB適合性	適合	DB適合性	適合	項目	仕様	相違		相違		相違		相違		項目	仕様	備考		備考		備考		備考		項目	仕様
設備仕様		設計仕様		DB仕様		DB適合性		相違																																																																																															
項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様	項目	仕様																																																																																														
設備名	炉内圧力調整装置	設備名	炉内圧力調整装置	設備名	炉内圧力調整装置	設備名	炉内圧力調整装置	項目	仕様																																																																																														
型式	112-2001A	型式	112-2001A	型式	112-2001A	型式	112-2001A	項目	仕様																																																																																														
数量	1	数量	1	数量	1	数量	1	項目	仕様																																																																																														
設置場所	炉内圧力調整装置	設置場所	炉内圧力調整装置	設置場所	炉内圧力調整装置	設置場所	炉内圧力調整装置	項目	仕様																																																																																														
仕様	炉内圧力調整装置	仕様	炉内圧力調整装置	仕様	炉内圧力調整装置	仕様	炉内圧力調整装置	項目	仕様																																																																																														
DB適合性	適合	DB適合性	適合	DB適合性	適合	DB適合性	適合	項目	仕様																																																																																														
相違		相違		相違		相違		項目	仕様																																																																																														
備考		備考		備考		備考		項目	仕様																																																																																														
<p>備考：大飯発電所3号炉に1機のみ設置されている炉内圧力調整装置は、本表に示す仕様と異なる。</p> <p>大飯発電所3号炉に1機のみ設置されている炉内圧力調整装置は、本表に示す仕様と異なる。</p> <p>大飯発電所3号炉に1機のみ設置されている炉内圧力調整装置は、本表に示す仕様と異なる。</p> <p>大飯発電所3号炉に1機のみ設置されている炉内圧力調整装置は、本表に示す仕様と異なる。</p>																																																																																																							







赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">計測設備</th> <th colspan="2">制御設備</th> <th colspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> <th>設備名称</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内設備</td> <td>燃料</td> <td>燃料</td> <td>燃料</td> <td>炉内温度計</td> <td>炉内温度計</td> <td>炉内温度計</td> <td>炉内温度計</td> <td>炉内温度計</td> <td>炉内温度計</td> </tr> <tr> <td>炉外設備</td> <td>冷却水</td> <td>冷却水</td> <td>冷却水</td> <td>炉外温度計</td> <td>炉外温度計</td> <td>炉外温度計</td> <td>炉外温度計</td> <td>炉外温度計</td> <td>炉外温度計</td> </tr> <tr> <td>計測設備</td> <td>圧力</td> <td>圧力</td> <td>圧力</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> </tr> <tr> <td>制御設備</td> <td>制御</td> <td>制御</td> <td>制御</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> <td>炉内圧力計</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：本表は、本発電所と女川原子力発電所2号炉との設備が異なる部分のみを記載している。その他の設備は、両発電所とも共通である。また、本表は、設備の仕様や構造など、詳細な情報は記載していない。また、本表は、設備の仕様や構造など、詳細な情報は記載していない。</p>	炉内設備		炉外設備		計測設備		制御設備		その他		設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様	炉内設備	燃料	燃料	燃料	炉内温度計	炉内温度計	炉内温度計	炉内温度計	炉内温度計	炉内温度計	炉外設備	冷却水	冷却水	冷却水	炉外温度計	炉外温度計	炉外温度計	炉外温度計	炉外温度計	炉外温度計	計測設備	圧力	圧力	圧力	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	制御設備	制御	制御	制御	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	その他	その他	その他	その他	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内設備		炉外設備		計測設備		制御設備		その他																																																																	
設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様	設備名称	仕様																																																																
炉内設備	燃料	燃料	燃料	炉内温度計	炉内温度計	炉内温度計	炉内温度計	炉内温度計	炉内温度計																																																																
炉外設備	冷却水	冷却水	冷却水	炉外温度計	炉外温度計	炉外温度計	炉外温度計	炉外温度計	炉外温度計																																																																
計測設備	圧力	圧力	圧力	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計																																																																
制御設備	制御	制御	制御	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計																																																																
その他	その他	その他	その他	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計	炉内圧力計																																																																



















赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計種別： 原子力発電所                      設計者： 株式会社 電力中央研究所                      設計年度： 1981</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">原子炉設備</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉格納容器</th> <th colspan="2">原子炉冷却システム</th> <th colspan="2">原子炉制御システム</th> <th colspan="2">原子炉保護システム</th> <th colspan="2">原子炉監視システム</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> <th>項目</th> <th>適合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>○</td> <td>原子炉建屋</td> <td>○</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>○</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>○</td> <td>原子炉制御システム</td> <td>○</td> <td>原子炉保護システム</td> <td>○</td> <td>原子炉監視システム</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>○</td> <td>原子炉建屋</td> <td>○</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>○</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>○</td> <td>原子炉制御システム</td> <td>○</td> <td>原子炉保護システム</td> <td>○</td> <td>原子炉監視システム</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>○</td> <td>原子炉建屋</td> <td>○</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>○</td> <td>原子炉冷却システム</td> <td>○</td> <td>原子炉制御システム</td> <td>○</td> <td>原子炉保護システム</td> <td>○</td> <td>原子炉監視システム</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	原子炉設備		原子炉建屋		原子炉格納容器		原子炉冷却システム		原子炉制御システム		原子炉保護システム		原子炉監視システム		項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	原子炉格納容器	○	原子炉建屋	○	原子炉格納容器	○	原子炉冷却システム	○	原子炉制御システム	○	原子炉保護システム	○	原子炉監視システム	○	原子炉格納容器	○	原子炉建屋	○	原子炉格納容器	○	原子炉冷却システム	○	原子炉制御システム	○	原子炉保護システム	○	原子炉監視システム	○	原子炉格納容器	○	原子炉建屋	○	原子炉格納容器	○	原子炉冷却システム	○	原子炉制御システム	○	原子炉保護システム	○	原子炉監視システム	○		<p>【女川】                      設計方針の相違                      プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉設備		原子炉建屋		原子炉格納容器		原子炉冷却システム		原子炉制御システム		原子炉保護システム		原子炉監視システム																																																													
項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性	項目	適合性																																																												
原子炉格納容器	○	原子炉建屋	○	原子炉格納容器	○	原子炉冷却システム	○	原子炉制御システム	○	原子炉保護システム	○	原子炉監視システム	○																																																												
原子炉格納容器	○	原子炉建屋	○	原子炉格納容器	○	原子炉冷却システム	○	原子炉制御システム	○	原子炉保護システム	○	原子炉監視システム	○																																																												
原子炉格納容器	○	原子炉建屋	○	原子炉格納容器	○	原子炉冷却システム	○	原子炉制御システム	○	原子炉保護システム	○	原子炉監視システム	○																																																												





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																				
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">炉内機器</th> <th colspan="2">炉外機器</th> <th colspan="2">配管</th> <th colspan="2">電気設備</th> <th colspan="2">その他</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内機器</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>炉外機器</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">                     備考1. 適合性評価に際しては、女川原子力発電所2号炉のDB基準適合性評価結果を参照すること。適合性評価結果が「適合」とある場合は、本発電所3号炉のDB基準適合性評価結果も「適合」と評価される。適合性評価結果が「適合」とある場合は、本発電所3号炉のDB基準適合性評価結果も「適合」と評価される。適合性評価結果が「適合」とある場合は、本発電所3号炉のDB基準適合性評価結果も「適合」と評価される。適合性評価結果が「適合」とある場合は、本発電所3号炉のDB基準適合性評価結果も「適合」と評価される。                 </p> </div>	炉内機器		炉外機器		配管		電気設備		その他		備考		品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	炉内機器	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	炉外機器	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	配管	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	電気設備	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	その他	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内機器		炉外機器		配管		電気設備		その他		備考																																																																													
品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																																																												
炉内機器	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																																																												
炉外機器	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																																																												
配管	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																																																												
電気設備	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																																																												
その他	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																																																												







赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">設計仕様</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備仕様</th> <th colspan="2">設備仕様</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>設備名称</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> <th>設備仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> </tr> <tr> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> </tr> <tr> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：本表は設備仕様を比較するものであり、設備仕様と設備仕様との相違は、設備仕様と設備仕様との相違を示すものではありません。また、設備仕様と設備仕様との相違は、設備仕様と設備仕様との相違を示すものではありません。また、設備仕様と設備仕様との相違は、設備仕様と設備仕様との相違を示すものではありません。</p>	設備概要		設計仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備種別	設備名称	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備概要		設計仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様		設備仕様																																																																																																																																									
設備種別	設備名称	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様	設備仕様																																																																																																																																								
炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備																																																																																																																																								
炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備																																																																																																																																								
電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備																																																																																																																																								
機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備																																																																																																																																								
その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>原子力発電所</p> <p>別添1: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添2: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添3: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添4: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添5: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添6: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添7: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添8: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添9: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添10: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添11: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添12: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添13: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添14: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添15: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添16: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添17: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添18: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添19: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添20: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添21: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添22: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添23: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添24: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添25: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添26: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添27: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添28: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添29: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添30: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添31: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添32: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添33: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添34: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添35: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添36: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添37: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添38: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添39: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添40: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添41: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添42: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添43: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添44: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添45: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添46: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添47: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添48: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添49: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添50: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添51: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添52: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添53: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添54: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添55: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添56: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添57: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添58: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添59: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添60: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添61: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添62: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添63: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添64: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添65: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添66: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添67: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添68: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添69: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添70: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添71: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添72: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添73: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添74: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添75: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添76: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添77: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添78: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添79: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添80: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添81: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添82: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添83: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添84: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添85: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添86: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添87: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添88: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添89: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添90: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添91: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添92: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添93: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添94: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添95: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添96: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添97: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添98: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添99: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> <p>別添100: 緊急時用 緊急時用 緊急時用</p> </div>		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">炉内・炉外設備</th> <th colspan="2">炉内・炉外設備</th> <th colspan="2">炉内・炉外設備</th> <th colspan="2">炉内・炉外設備</th> <th colspan="2">炉内・炉外設備</th> </tr> <tr> <th>設備名</th> <th>型式</th> <th>型式</th> <th>型式</th> <th>型式</th> <th>型式</th> <th>型式</th> <th>型式</th> <th>型式</th> <th>型式</th> <th>型式</th> <th>型式</th> <th>型式</th> <th>型式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> </tr> <tr> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：設備名称が異なるのは、同一の設備でもメーカーや仕様により異なるためである。              ①：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）              ②：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）              ③：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）</p>	炉内設備		炉外設備		炉内・炉外設備		炉内・炉外設備		炉内・炉外設備		炉内・炉外設備		炉内・炉外設備		設備名	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内設備		炉外設備		炉内・炉外設備		炉内・炉外設備		炉内・炉外設備		炉内・炉外設備		炉内・炉外設備																																															
設備名	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式	型式																																														
炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備																																														
炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備																																														















赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">機器</th> <th colspan="2">材料</th> <th colspan="2">その他</th> </tr> <tr> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> <th>品名</th> <th>仕様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内設備</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>炉外設備</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>機器</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>材料</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>品名</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> <td>品名</td> <td>仕様</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：本表は、本表の1～12の2つの区画は同一区画として評価して評価した。なお、本表の1～12の2つの区画は同一区画として評価して評価した。なお、本表の1～12の2つの区画は同一区画として評価して評価した。</p>	炉内設備		炉外設備		機器		材料		その他		品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	炉内設備	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	炉外設備	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	機器	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	材料	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	その他	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内設備		炉外設備		機器		材料		その他																																																																	
品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																																																
炉内設備	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																																																
炉外設備	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																																																
機器	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																																																
材料	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																																																
その他	品名	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様	品名	仕様																																																																



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備概要</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">設置位置</th> <th colspan="2">設置状況</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>設備名</th> <th>型式</th> <th>設備名</th> <th>型式</th> <th>設置位置</th> <th>設置状況</th> <th>設置位置</th> <th>設置状況</th> <th>備考</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091A</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091A</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091A</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091A</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091A</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091B</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091B</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091B</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091B</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091B</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091C</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091C</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091C</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091C</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091C</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091D</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091D</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091D</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091D</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091D</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091E</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091E</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091E</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091E</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091E</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091F</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091F</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091F</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091F</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091F</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091G</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091G</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091G</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091G</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091G</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091H</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091H</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091H</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091H</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091H</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091I</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091I</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091I</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091I</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091I</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091J</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091J</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091J</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091J</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091J</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091K</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091K</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091K</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091K</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091K</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091L</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091L</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091L</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091L</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091L</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091M</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091M</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091M</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091M</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091M</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091N</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091N</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091N</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091N</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091N</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091O</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091O</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091O</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091O</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091O</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091P</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091P</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091P</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091P</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091P</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Q</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Q</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Q</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Q</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Q</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091R</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091R</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091R</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091R</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091R</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091S</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091S</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091S</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091S</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091S</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091T</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091T</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091T</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091T</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091T</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091U</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091U</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091U</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091U</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091U</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091V</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091V</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091V</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091V</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091V</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091W</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091W</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091W</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091W</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091W</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091X</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091X</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091X</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091X</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091X</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Y</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Y</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Y</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Y</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Y</td> </tr> <tr> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Z</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Z</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Z</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Z</td> <td>炉内吹出器</td> <td>225-2091Z</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：炉内吹出器の型式は、型式番号の末尾に「A」～「Z」まであり、型式番号の末尾に「A」～「Z」までの機種名が記載されている。型式番号の末尾に「A」～「Z」までの機種名が記載されている機種は、型式番号の末尾に「A」～「Z」までの機種名が記載されている機種と同一機種である。</p>	設備概要		型式		設置位置		設置状況		備考		設備名	型式	設備名	型式	設置位置	設置状況	設置位置	設置状況	備考	備考	炉内吹出器	225-2091A	炉内吹出器	225-2091A	炉内吹出器	225-2091A	炉内吹出器	225-2091A	炉内吹出器	225-2091A	炉内吹出器	225-2091B	炉内吹出器	225-2091B	炉内吹出器	225-2091B	炉内吹出器	225-2091B	炉内吹出器	225-2091B	炉内吹出器	225-2091C	炉内吹出器	225-2091C	炉内吹出器	225-2091C	炉内吹出器	225-2091C	炉内吹出器	225-2091C	炉内吹出器	225-2091D	炉内吹出器	225-2091D	炉内吹出器	225-2091D	炉内吹出器	225-2091D	炉内吹出器	225-2091D	炉内吹出器	225-2091E	炉内吹出器	225-2091E	炉内吹出器	225-2091E	炉内吹出器	225-2091E	炉内吹出器	225-2091E	炉内吹出器	225-2091F	炉内吹出器	225-2091F	炉内吹出器	225-2091F	炉内吹出器	225-2091F	炉内吹出器	225-2091F	炉内吹出器	225-2091G	炉内吹出器	225-2091G	炉内吹出器	225-2091G	炉内吹出器	225-2091G	炉内吹出器	225-2091G	炉内吹出器	225-2091H	炉内吹出器	225-2091H	炉内吹出器	225-2091H	炉内吹出器	225-2091H	炉内吹出器	225-2091H	炉内吹出器	225-2091I	炉内吹出器	225-2091I	炉内吹出器	225-2091I	炉内吹出器	225-2091I	炉内吹出器	225-2091I	炉内吹出器	225-2091J	炉内吹出器	225-2091J	炉内吹出器	225-2091J	炉内吹出器	225-2091J	炉内吹出器	225-2091J	炉内吹出器	225-2091K	炉内吹出器	225-2091K	炉内吹出器	225-2091K	炉内吹出器	225-2091K	炉内吹出器	225-2091K	炉内吹出器	225-2091L	炉内吹出器	225-2091L	炉内吹出器	225-2091L	炉内吹出器	225-2091L	炉内吹出器	225-2091L	炉内吹出器	225-2091M	炉内吹出器	225-2091M	炉内吹出器	225-2091M	炉内吹出器	225-2091M	炉内吹出器	225-2091M	炉内吹出器	225-2091N	炉内吹出器	225-2091N	炉内吹出器	225-2091N	炉内吹出器	225-2091N	炉内吹出器	225-2091N	炉内吹出器	225-2091O	炉内吹出器	225-2091O	炉内吹出器	225-2091O	炉内吹出器	225-2091O	炉内吹出器	225-2091O	炉内吹出器	225-2091P	炉内吹出器	225-2091P	炉内吹出器	225-2091P	炉内吹出器	225-2091P	炉内吹出器	225-2091P	炉内吹出器	225-2091Q	炉内吹出器	225-2091Q	炉内吹出器	225-2091Q	炉内吹出器	225-2091Q	炉内吹出器	225-2091Q	炉内吹出器	225-2091R	炉内吹出器	225-2091R	炉内吹出器	225-2091R	炉内吹出器	225-2091R	炉内吹出器	225-2091R	炉内吹出器	225-2091S	炉内吹出器	225-2091S	炉内吹出器	225-2091S	炉内吹出器	225-2091S	炉内吹出器	225-2091S	炉内吹出器	225-2091T	炉内吹出器	225-2091T	炉内吹出器	225-2091T	炉内吹出器	225-2091T	炉内吹出器	225-2091T	炉内吹出器	225-2091U	炉内吹出器	225-2091U	炉内吹出器	225-2091U	炉内吹出器	225-2091U	炉内吹出器	225-2091U	炉内吹出器	225-2091V	炉内吹出器	225-2091V	炉内吹出器	225-2091V	炉内吹出器	225-2091V	炉内吹出器	225-2091V	炉内吹出器	225-2091W	炉内吹出器	225-2091W	炉内吹出器	225-2091W	炉内吹出器	225-2091W	炉内吹出器	225-2091W	炉内吹出器	225-2091X	炉内吹出器	225-2091X	炉内吹出器	225-2091X	炉内吹出器	225-2091X	炉内吹出器	225-2091X	炉内吹出器	225-2091Y	炉内吹出器	225-2091Y	炉内吹出器	225-2091Y	炉内吹出器	225-2091Y	炉内吹出器	225-2091Y	炉内吹出器	225-2091Z	炉内吹出器	225-2091Z	炉内吹出器	225-2091Z	炉内吹出器	225-2091Z	炉内吹出器	225-2091Z		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備概要		型式		設置位置		設置状況		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																			
設備名	型式	設備名	型式	設置位置	設置状況	設置位置	設置状況	備考	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091A	炉内吹出器	225-2091A	炉内吹出器	225-2091A	炉内吹出器	225-2091A	炉内吹出器	225-2091A																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091B	炉内吹出器	225-2091B	炉内吹出器	225-2091B	炉内吹出器	225-2091B	炉内吹出器	225-2091B																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091C	炉内吹出器	225-2091C	炉内吹出器	225-2091C	炉内吹出器	225-2091C	炉内吹出器	225-2091C																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091D	炉内吹出器	225-2091D	炉内吹出器	225-2091D	炉内吹出器	225-2091D	炉内吹出器	225-2091D																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091E	炉内吹出器	225-2091E	炉内吹出器	225-2091E	炉内吹出器	225-2091E	炉内吹出器	225-2091E																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091F	炉内吹出器	225-2091F	炉内吹出器	225-2091F	炉内吹出器	225-2091F	炉内吹出器	225-2091F																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091G	炉内吹出器	225-2091G	炉内吹出器	225-2091G	炉内吹出器	225-2091G	炉内吹出器	225-2091G																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091H	炉内吹出器	225-2091H	炉内吹出器	225-2091H	炉内吹出器	225-2091H	炉内吹出器	225-2091H																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091I	炉内吹出器	225-2091I	炉内吹出器	225-2091I	炉内吹出器	225-2091I	炉内吹出器	225-2091I																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091J	炉内吹出器	225-2091J	炉内吹出器	225-2091J	炉内吹出器	225-2091J	炉内吹出器	225-2091J																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091K	炉内吹出器	225-2091K	炉内吹出器	225-2091K	炉内吹出器	225-2091K	炉内吹出器	225-2091K																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091L	炉内吹出器	225-2091L	炉内吹出器	225-2091L	炉内吹出器	225-2091L	炉内吹出器	225-2091L																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091M	炉内吹出器	225-2091M	炉内吹出器	225-2091M	炉内吹出器	225-2091M	炉内吹出器	225-2091M																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091N	炉内吹出器	225-2091N	炉内吹出器	225-2091N	炉内吹出器	225-2091N	炉内吹出器	225-2091N																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091O	炉内吹出器	225-2091O	炉内吹出器	225-2091O	炉内吹出器	225-2091O	炉内吹出器	225-2091O																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091P	炉内吹出器	225-2091P	炉内吹出器	225-2091P	炉内吹出器	225-2091P	炉内吹出器	225-2091P																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091Q	炉内吹出器	225-2091Q	炉内吹出器	225-2091Q	炉内吹出器	225-2091Q	炉内吹出器	225-2091Q																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091R	炉内吹出器	225-2091R	炉内吹出器	225-2091R	炉内吹出器	225-2091R	炉内吹出器	225-2091R																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091S	炉内吹出器	225-2091S	炉内吹出器	225-2091S	炉内吹出器	225-2091S	炉内吹出器	225-2091S																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091T	炉内吹出器	225-2091T	炉内吹出器	225-2091T	炉内吹出器	225-2091T	炉内吹出器	225-2091T																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091U	炉内吹出器	225-2091U	炉内吹出器	225-2091U	炉内吹出器	225-2091U	炉内吹出器	225-2091U																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091V	炉内吹出器	225-2091V	炉内吹出器	225-2091V	炉内吹出器	225-2091V	炉内吹出器	225-2091V																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091W	炉内吹出器	225-2091W	炉内吹出器	225-2091W	炉内吹出器	225-2091W	炉内吹出器	225-2091W																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091X	炉内吹出器	225-2091X	炉内吹出器	225-2091X	炉内吹出器	225-2091X	炉内吹出器	225-2091X																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091Y	炉内吹出器	225-2091Y	炉内吹出器	225-2091Y	炉内吹出器	225-2091Y	炉内吹出器	225-2091Y																																																																																																																																																																																																																																																																																		
炉内吹出器	225-2091Z	炉内吹出器	225-2091Z	炉内吹出器	225-2091Z	炉内吹出器	225-2091Z	炉内吹出器	225-2091Z																																																																																																																																																																																																																																																																																		







赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">規格</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>型式</th> <th>規格</th> <th>設備種別</th> <th>型式</th> <th>規格</th> <th>設備種別</th> <th>型式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> <td>圧力容器</td> </tr> <tr> <td>熱交換器</td> <td>熱交換器</td> <td>熱交換器</td> <td>熱交換器</td> <td>熱交換器</td> <td>熱交換器</td> <td>熱交換器</td> <td>熱交換器</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> <td>配管</td> </tr> <tr> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> <td>弁</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> <td>ポンプ</td> </tr> <tr> <td>タービン</td> <td>タービン</td> <td>タービン</td> <td>タービン</td> <td>タービン</td> <td>タービン</td> <td>タービン</td> <td>タービン</td> </tr> <tr> <td>発電機</td> <td>発電機</td> <td>発電機</td> <td>発電機</td> <td>発電機</td> <td>発電機</td> <td>発電機</td> <td>発電機</td> </tr> <tr> <td>変圧器</td> <td>変圧器</td> <td>変圧器</td> <td>変圧器</td> <td>変圧器</td> <td>変圧器</td> <td>変圧器</td> <td>変圧器</td> </tr> <tr> <td>制御盤</td> <td>制御盤</td> <td>制御盤</td> <td>制御盤</td> <td>制御盤</td> <td>制御盤</td> <td>制御盤</td> <td>制御盤</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> <td>電気設備</td> </tr> <tr> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> <td>機械設備</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> <td>その他</td> </tr> </tbody> </table> <p>凡例 ○：同等仕様 ●：相違</p>	設備種別		型式		規格		備考		設備種別	型式	規格	設備種別	型式	規格	設備種別	型式	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	タービン	タービン	タービン	タービン	タービン	タービン	タービン	タービン	発電機	発電機	発電機	発電機	発電機	発電機	発電機	発電機	変圧器	変圧器	変圧器	変圧器	変圧器	変圧器	変圧器	変圧器	制御盤	制御盤	制御盤	制御盤	制御盤	制御盤	制御盤	制御盤	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備種別		型式		規格		備考																																																																																																													
設備種別	型式	規格	設備種別	型式	規格	設備種別	型式																																																																																																												
圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器	圧力容器																																																																																																												
熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器	熱交換器																																																																																																												
配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管	配管																																																																																																												
弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁	弁																																																																																																												
ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ	ポンプ																																																																																																												
タービン	タービン	タービン	タービン	タービン	タービン	タービン	タービン																																																																																																												
発電機	発電機	発電機	発電機	発電機	発電機	発電機	発電機																																																																																																												
変圧器	変圧器	変圧器	変圧器	変圧器	変圧器	変圧器	変圧器																																																																																																												
制御盤	制御盤	制御盤	制御盤	制御盤	制御盤	制御盤	制御盤																																																																																																												
電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備	電気設備																																																																																																												
機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備	機械設備																																																																																																												
その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>設計者名： 富士建設                  設計責任者名： 伊藤 幸一                  製本番号： D000000</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">大飯発電所3号炉</th> <th colspan="2">女川原子力発電所2号炉</th> <th colspan="2">泊発電所3号炉</th> </tr> <tr> <th>項目</th> <th>大飯</th> <th>女川</th> <th>項目</th> <th>女川</th> <th>泊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>炉内設備</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>炉外設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>炉外設備</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>配管</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>電気設備</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機械設備</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>機械設備</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>その他</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> </div>	大飯発電所3号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		項目	大飯	女川	項目	女川	泊	炉内設備	○	○	炉内設備	○	○	炉外設備	○	○	炉外設備	○	○	配管	○	○	配管	○	○	電気設備	○	○	電気設備	○	○	機械設備	○	○	機械設備	○	○	その他	○	○	その他	○	○		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
大飯発電所3号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉																																															
項目	大飯	女川	項目	女川	泊																																														
炉内設備	○	○	炉内設備	○	○																																														
炉外設備	○	○	炉外設備	○	○																																														
配管	○	○	配管	○	○																																														
電気設備	○	○	電気設備	○	○																																														
機械設備	○	○	機械設備	○	○																																														
その他	○	○	その他	○	○																																														

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料17）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備種別</th> <th colspan="2">型式</th> <th colspan="2">規格</th> <th colspan="2">製造年</th> <th colspan="2">製造所</th> <th colspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>設備種別</th> <th>型式</th> <th>規格</th> <th>製造年</th> <th>製造所</th> <th>設備種別</th> <th>型式</th> <th>規格</th> <th>製造年</th> <th>製造所</th> <th>設備種別</th> <th>型式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧入機</td> <td>205</td> <td>106.1</td> <td>1.8</td> <td>-</td> <td>圧入機</td> <td>205</td> <td>106.1</td> <td>1.8</td> <td>-</td> <td>圧入機</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>811</td> <td>72.1</td> <td>3.7</td> <td>-</td> <td>ポンプ</td> <td>811</td> <td>72.1</td> <td>3.7</td> <td>-</td> <td>ポンプ</td> <td>811</td> </tr> </tbody> </table> <p>凡例 ○：相違なし ●：相違あり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備種別</th> <th>型式</th> <th>規格</th> <th>製造年</th> <th>製造所</th> <th>設備種別</th> <th>型式</th> <th>規格</th> <th>製造年</th> <th>製造所</th> <th>設備種別</th> <th>型式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圧入機</td> <td>205</td> <td>106.1</td> <td>1.8</td> <td>-</td> <td>圧入機</td> <td>205</td> <td>106.1</td> <td>1.8</td> <td>-</td> <td>圧入機</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>811</td> <td>72.1</td> <td>3.7</td> <td>-</td> <td>ポンプ</td> <td>811</td> <td>72.1</td> <td>3.7</td> <td>-</td> <td>ポンプ</td> <td>811</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：本表は、本発電所において、同一の型式・規格の設備が複数台設置されている場合、そのうち1台の型式・規格を示している。また、本表には、型式・規格が異なるが、同一の設備種別であるものも含まれている。なお、本表には、型式・規格が異なるが、同一の設備種別であるものも含まれている。</p>	設備種別		型式		規格		製造年		製造所		備考		設備種別	型式	規格	製造年	製造所	設備種別	型式	規格	製造年	製造所	設備種別	型式	圧入機	205	106.1	1.8	-	圧入機	205	106.1	1.8	-	圧入機	205	ポンプ	811	72.1	3.7	-	ポンプ	811	72.1	3.7	-	ポンプ	811	設備種別	型式	規格	製造年	製造所	設備種別	型式	規格	製造年	製造所	設備種別	型式	圧入機	205	106.1	1.8	-	圧入機	205	106.1	1.8	-	圧入機	205	ポンプ	811	72.1	3.7	-	ポンプ	811	72.1	3.7	-	ポンプ	811		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備種別		型式		規格		製造年		製造所		備考																																																																													
設備種別	型式	規格	製造年	製造所	設備種別	型式	規格	製造年	製造所	設備種別	型式																																																																												
圧入機	205	106.1	1.8	-	圧入機	205	106.1	1.8	-	圧入機	205																																																																												
ポンプ	811	72.1	3.7	-	ポンプ	811	72.1	3.7	-	ポンプ	811																																																																												
設備種別	型式	規格	製造年	製造所	設備種別	型式	規格	製造年	製造所	設備種別	型式																																																																												
圧入機	205	106.1	1.8	-	圧入機	205	106.1	1.8	-	圧入機	205																																																																												
ポンプ	811	72.1	3.7	-	ポンプ	811	72.1	3.7	-	ポンプ	811																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">炉内設備</th> <th colspan="2">炉外設備</th> <th colspan="2">DB項目</th> <th colspan="2">DB値</th> <th colspan="2">適合性</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>設備名</th> <th>仕様</th> <th>項目</th> <th>値</th> <th>項目</th> <th>値</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> <td>炉内設備</td> </tr> <tr> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> <td>炉外設備</td> </tr> <tr> <td>DB項目</td> <td>DB項目</td> <td>DB項目</td> <td>DB項目</td> <td>DB項目</td> <td>DB項目</td> <td>DB項目</td> <td>DB項目</td> <td>DB項目</td> <td>DB項目</td> <td>DB項目</td> <td>DB項目</td> </tr> <tr> <td>DB値</td> <td>DB値</td> <td>DB値</td> <td>DB値</td> <td>DB値</td> <td>DB値</td> <td>DB値</td> <td>DB値</td> <td>DB値</td> <td>DB値</td> <td>DB値</td> <td>DB値</td> </tr> <tr> <td>適合性</td> <td>適合性</td> <td>適合性</td> <td>適合性</td> <td>適合性</td> <td>適合性</td> <td>適合性</td> <td>適合性</td> <td>適合性</td> <td>適合性</td> <td>適合性</td> <td>適合性</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考：設備名が異なる場合は、同一設備でも仕様や材質が異なる場合がある。また、DB値が異なる場合は、設計方針や運用体制の違いによるものである。</p>	炉内設備		炉外設備		DB項目		DB値		適合性		備考	設備名	仕様	設備名	仕様	項目	値	項目	値	A	B	C	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
炉内設備		炉外設備		DB項目		DB値		適合性		備考																																																																											
設備名	仕様	設備名	仕様	項目	値	項目	値	A	B		C																																																																										
炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備	炉内設備																																																																										
炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備	炉外設備																																																																										
DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目	DB項目																																																																										
DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値	DB値																																																																										
適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性	適合性																																																																										







赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉設備</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">原子炉設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">緊急停止機能</td> <td style="text-align: center;">緊急停止機能 (ECC/PSD)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">緊急停止機能 (ECC/PSD)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">緊急停止機能 (ECC/PSD)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">緊急停止機能 (ECC/PSD)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">緊急停止機能 (ECC/PSD)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">炉内機器の寸法</td> <td style="text-align: center;">炉内機器の寸法</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉内機器の寸法</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉内機器の寸法</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉内機器の寸法</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">炉内機器の寸法</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">A層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">A層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">A層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">A層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">A層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">A層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">B層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">B層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">B層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">B層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">B層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">B層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">C層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">C層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">C層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">C層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">C層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">C層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">D層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">D層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">D層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">D層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">D層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">D層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">E層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">E層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">E層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">E層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">E層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">E層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">F層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">F層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">F層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">F層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">F層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">F層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">G層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">G層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">G層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">G層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">G層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">G層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">H層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">H層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">H層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">H層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">H層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">H層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">I層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">I層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">I層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">I層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">I層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">I層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">J層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">J層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">J層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">J層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">J層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">J層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">K層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">K層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">K層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">K層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">K層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">K層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">L層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">L層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">L層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">L層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">L層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">L層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">M層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">M層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">M層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">M層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">M層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">M層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">N層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">N層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">N層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">N層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">N層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">N層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">O層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">O層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">O層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">O層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">O層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">O層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">P層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">P層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">P層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">P層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">P層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">P層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">Q層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">Q層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Q層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Q層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Q層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Q層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">R層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">R層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">R層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">R層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">R層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">R層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">S層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">S層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">S層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">S層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">S層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">S層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">T層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">T層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">T層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">T層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">T層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">T層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">U層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">U層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">U層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">U層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">U層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">U層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">V層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">V層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">V層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">V層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">V層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">V層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">W層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">W層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">W層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">W層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">W層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">W層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">X層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">X層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">X層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">X層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">X層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">X層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">Y層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">Y層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Y層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Y層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Y層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Y層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">Z層(圧力)</td> <td style="text-align: center;">Z層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Z層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Z層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Z層(圧力)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">Z層(圧力)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> </div>	原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		緊急停止機能	緊急停止機能 (ECC/PSD)	緊急停止機能 (ECC/PSD)		緊急停止機能 (ECC/PSD)		緊急停止機能 (ECC/PSD)		緊急停止機能 (ECC/PSD)		○	○		○		○		○		炉内機器の寸法	炉内機器の寸法	炉内機器の寸法		炉内機器の寸法		炉内機器の寸法		炉内機器の寸法		○	○		○		○		○		A層(圧力)	A層(圧力)	A層(圧力)		A層(圧力)		A層(圧力)		A層(圧力)		○	○		○		○		○		B層(圧力)	B層(圧力)	B層(圧力)		B層(圧力)		B層(圧力)		B層(圧力)		○	○		○		○		○		C層(圧力)	C層(圧力)	C層(圧力)		C層(圧力)		C層(圧力)		C層(圧力)		○	○		○		○		○		D層(圧力)	D層(圧力)	D層(圧力)		D層(圧力)		D層(圧力)		D層(圧力)		○	○		○		○		○		E層(圧力)	E層(圧力)	E層(圧力)		E層(圧力)		E層(圧力)		E層(圧力)		○	○		○		○		○		F層(圧力)	F層(圧力)	F層(圧力)		F層(圧力)		F層(圧力)		F層(圧力)		○	○		○		○		○		G層(圧力)	G層(圧力)	G層(圧力)		G層(圧力)		G層(圧力)		G層(圧力)		○	○		○		○		○		H層(圧力)	H層(圧力)	H層(圧力)		H層(圧力)		H層(圧力)		H層(圧力)		○	○		○		○		○		I層(圧力)	I層(圧力)	I層(圧力)		I層(圧力)		I層(圧力)		I層(圧力)		○	○		○		○		○		J層(圧力)	J層(圧力)	J層(圧力)		J層(圧力)		J層(圧力)		J層(圧力)		○	○		○		○		○		K層(圧力)	K層(圧力)	K層(圧力)		K層(圧力)		K層(圧力)		K層(圧力)		○	○		○		○		○		L層(圧力)	L層(圧力)	L層(圧力)		L層(圧力)		L層(圧力)		L層(圧力)		○	○		○		○		○		M層(圧力)	M層(圧力)	M層(圧力)		M層(圧力)		M層(圧力)		M層(圧力)		○	○		○		○		○		N層(圧力)	N層(圧力)	N層(圧力)		N層(圧力)		N層(圧力)		N層(圧力)		○	○		○		○		○		O層(圧力)	O層(圧力)	O層(圧力)		O層(圧力)		O層(圧力)		O層(圧力)		○	○		○		○		○		P層(圧力)	P層(圧力)	P層(圧力)		P層(圧力)		P層(圧力)		P層(圧力)		○	○		○		○		○		Q層(圧力)	Q層(圧力)	Q層(圧力)		Q層(圧力)		Q層(圧力)		Q層(圧力)		○	○		○		○		○		R層(圧力)	R層(圧力)	R層(圧力)		R層(圧力)		R層(圧力)		R層(圧力)		○	○		○		○		○		S層(圧力)	S層(圧力)	S層(圧力)		S層(圧力)		S層(圧力)		S層(圧力)		○	○		○		○		○		T層(圧力)	T層(圧力)	T層(圧力)		T層(圧力)		T層(圧力)		T層(圧力)		○	○		○		○		○		U層(圧力)	U層(圧力)	U層(圧力)		U層(圧力)		U層(圧力)		U層(圧力)		○	○		○		○		○		V層(圧力)	V層(圧力)	V層(圧力)		V層(圧力)		V層(圧力)		V層(圧力)		○	○		○		○		○		W層(圧力)	W層(圧力)	W層(圧力)		W層(圧力)		W層(圧力)		W層(圧力)		○	○		○		○		○		X層(圧力)	X層(圧力)	X層(圧力)		X層(圧力)		X層(圧力)		X層(圧力)		○	○		○		○		○		Y層(圧力)	Y層(圧力)	Y層(圧力)		Y層(圧力)		Y層(圧力)		Y層(圧力)		○	○		○		○		○		Z層(圧力)	Z層(圧力)	Z層(圧力)		Z層(圧力)		Z層(圧力)		Z層(圧力)		○	○		○		○		○			<p>【女川】          設計方針の相違          プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備		原子炉設備																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
緊急停止機能	緊急停止機能 (ECC/PSD)	緊急停止機能 (ECC/PSD)		緊急停止機能 (ECC/PSD)		緊急停止機能 (ECC/PSD)		緊急停止機能 (ECC/PSD)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
炉内機器の寸法	炉内機器の寸法	炉内機器の寸法		炉内機器の寸法		炉内機器の寸法		炉内機器の寸法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
A層(圧力)	A層(圧力)	A層(圧力)		A層(圧力)		A層(圧力)		A層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
B層(圧力)	B層(圧力)	B層(圧力)		B層(圧力)		B層(圧力)		B層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
C層(圧力)	C層(圧力)	C層(圧力)		C層(圧力)		C層(圧力)		C層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
D層(圧力)	D層(圧力)	D層(圧力)		D層(圧力)		D層(圧力)		D層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
E層(圧力)	E層(圧力)	E層(圧力)		E層(圧力)		E層(圧力)		E層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
F層(圧力)	F層(圧力)	F層(圧力)		F層(圧力)		F層(圧力)		F層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
G層(圧力)	G層(圧力)	G層(圧力)		G層(圧力)		G層(圧力)		G層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
H層(圧力)	H層(圧力)	H層(圧力)		H層(圧力)		H層(圧力)		H層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
I層(圧力)	I層(圧力)	I層(圧力)		I層(圧力)		I層(圧力)		I層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
J層(圧力)	J層(圧力)	J層(圧力)		J層(圧力)		J層(圧力)		J層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
K層(圧力)	K層(圧力)	K層(圧力)		K層(圧力)		K層(圧力)		K層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
L層(圧力)	L層(圧力)	L層(圧力)		L層(圧力)		L層(圧力)		L層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
M層(圧力)	M層(圧力)	M層(圧力)		M層(圧力)		M層(圧力)		M層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
N層(圧力)	N層(圧力)	N層(圧力)		N層(圧力)		N層(圧力)		N層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
O層(圧力)	O層(圧力)	O層(圧力)		O層(圧力)		O層(圧力)		O層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
P層(圧力)	P層(圧力)	P層(圧力)		P層(圧力)		P層(圧力)		P層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
Q層(圧力)	Q層(圧力)	Q層(圧力)		Q層(圧力)		Q層(圧力)		Q層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
R層(圧力)	R層(圧力)	R層(圧力)		R層(圧力)		R層(圧力)		R層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
S層(圧力)	S層(圧力)	S層(圧力)		S層(圧力)		S層(圧力)		S層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
T層(圧力)	T層(圧力)	T層(圧力)		T層(圧力)		T層(圧力)		T層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
U層(圧力)	U層(圧力)	U層(圧力)		U層(圧力)		U層(圧力)		U層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
V層(圧力)	V層(圧力)	V層(圧力)		V層(圧力)		V層(圧力)		V層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
W層(圧力)	W層(圧力)	W層(圧力)		W層(圧力)		W層(圧力)		W層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
X層(圧力)	X層(圧力)	X層(圧力)		X層(圧力)		X層(圧力)		X層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
Y層(圧力)	Y層(圧力)	Y層(圧力)		Y層(圧力)		Y層(圧力)		Y層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
Z層(圧力)	Z層(圧力)	Z層(圧力)		Z層(圧力)		Z層(圧力)		Z層(圧力)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	○	○		○		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">設備名</td> <td colspan="2">設備種別</td> <td colspan="2">設備位置</td> <td colspan="2">設備状態</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>設備種別</td> <td>設備位置</td> <td>設備状態</td> <td>設備名</td> <td>設備種別</td> <td>設備位置</td> <td>設備状態</td> </tr> <tr> <td>設備名</td> <td>設備種別</td> <td>設備位置</td> <td>設備状態</td> <td>設備名</td> <td>設備種別</td> <td>設備位置</td> <td>設備状態</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">防漏区画への漏水流入無し</p> <p style="font-size: small; margin-top: 20px;">備考                      1. 設備名は設備の名称（略称）を記載する。略称は必ずしも記載しなくてもよい。                      2. 設備種別は設備の機能（用途）を記載する。略称は必ずしも記載しなくてもよい。                      3. 設備位置は設備の設置場所（建物・設備）を記載する。略称は必ずしも記載しなくてもよい。                      4. 設備状態は設備の稼働状況（稼働/停止）を記載する。略称は必ずしも記載しなくてもよい。</p> </div>	設備名		設備種別		設備位置		設備状態		設備名	設備種別	設備位置	設備状態	設備名	設備種別	設備位置	設備状態	設備名	設備種別	設備位置	設備状態	設備名	設備種別	設備位置	設備状態		<p>【女川】                  設計方針の相違                  プラント設計の違いによる評価結果の相違</p>
設備名		設備種別		設備位置		設備状態																					
設備名	設備種別	設備位置	設備状態	設備名	設備種別	設備位置	設備状態																				
設備名	設備種別	設備位置	設備状態	設備名	設備種別	設備位置	設備状態																				











